# **HP IT Business Analytics**

ソフト ウェアバージョン: 10.00 Linux ®オペレーティングシステム

## ビジネスアナリスト ユーザーガイド



ドキュメントリリース日:2015年8月 ソフトウェアリリース日:2015年5月

ご注意

#### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定 されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、 編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

#### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効 な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、 および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンス に基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

#### 著作権について

© Copyright 2011-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

#### 商標について

Adobe<sup>™</sup> は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Linux®は, Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Red Hat<sup>®</sup>は、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

CentOSは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Javaは、Oracleおよびその関連会社の登録商標です。

Oracle <sup>®</sup> は、Oracle Corporation (Redwood City, California)の米国における登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Groupの登録商標です。

本製品には、'zlib' 汎用圧縮ライブラリのインターフェイスが含まれています (Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.)。

#### ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。

- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

#### https://softwaresupport.hp.com

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次の Webサイトから行うことができます。https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

または、HPソフトウェアサポートページの最上位にある登録リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけま す。詳細については、HPの販売担当者にお問い合わせください。

### サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。https://softwaresupport.hp.com

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要 な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイ トでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

#### https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

#### https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jspです。

#### このPDF版オンラインヘルプについて

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷 したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本 来、オンラインヘルプとしてWebブラウザーで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっ ては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこのPDF 版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

# 目次

スタジオおよびダッシュボードの概要	11
エグゼクティブダッシュボードの詳細について	12
エグゼクティブペルソナおよびそのビジネスチャレンジ	13
セマンティックレイヤー - コンテキストとユニバース	14
ITデータモデル	15
スコアカードKPIエンジン	16
Business Analyticsのアーキテクチャー	17
Business Analyticsソリューション	18
Business Analyticsのコンポーネント	21
ダッシュボードの機能	22
スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成	23
前提条件 - ダッシュボードのエンドユーザーへのインタビュー	29
設定済みテンプレートのインポート - オプション	30
スコアカード、そのパースペクティブ、目標、およびKPIのアクティブ化	
アクティブなスコアカード、そのパースペクティブ、目標、KPIまたはメトリックの作成	ž 30
スコアカード、そのパースペクティブ、および目標のカスタマイズ	31
KPIまたはメトリックのカスタマイズ	31
エグゼクティブダッシュボードの表示の改良	31
現在の期間に対する計算、過去の期間に対する再計算、または計算のスケジュール	32
ダッシュボードの設定済みページ	
ダッシュボード表示の準備	32
テンプレート	34
テンプレート定義の表示	42
テンプレートを使用したスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、または	KPI
のアクティブ化	56
[KPIライブラリ] ペインから [アクティブなKPI] ペインにテンプレートをドラッグする	こと
によるノードのアクティブ化	64
メトリックまたはKPIのアクティブ化	65
フォルダーKPIのアクティブ化	65
アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成	69
新規ノードの作成	73
アクティブな新規KPIの作成	74
新規メトリックの作成	74
既存のKPIまたはメトリックの複製によるアクティブなKPIまたはメトリックの作成	75

KPIの削除	76
使用例 - スコアカードツリーの作成とKPIの新規作成	76
スコアカードの構成の詳細	
ノードのカスタマイズ	
ノードの記入	
パースペクティブの構成の詳細	91
ノードのカスタマイズ	92
ノードの記入	92
目標の構成の詳細	95
ノードのカスタマイズ	97
ノードの記入	
使用例 - 目標の計算ルールの構成	97
KPIの目標からの割り当て解除	
目標のKPI	102
KPIの目標への割り当て	
KPIの目標からの割り当て解除	104
ノードの削除	
ノードを永久に削除する	107
KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細	108
使用例 - KPIまたはメトリックのプロパティの表示と変更	111
使用例 - 新規メトリックの作成	111
KPIまたはメトリックの数式	122
使用例 - KPIまたはメトリック数式の指定	132
IN_PERIODの使用例	
KPIまたはメトリックのフィルター	147
KPIまたはメトリックのフィルターの変更	152
KPIまたはメトリックの構成変更のテスト	152
KPIまたはメトリックのビジネスコンテキスト	157
KPIのビジネスコンテキストの変更	
KPI構成への変更のテスト	159
計算	162
構成変更後の計算の実行	162
[すぐに計算] ダイアログボックス	163
再計算	165
再計算の実行	165
計算のスケジューリング	
ビジネスコンテキスト計算のスケジュール	168
計算と再計算の監視	171
特定のビジネスコンテキストに計算または再計算のステータス監視	171
実行中の計算または再計算の監視	172
スタジオ内での変更と [ダッシュボード] タブおよび [エクスプローラー] タブでの表示	の同
期	176

スタジオでのダッシュボードコンテンツの強化	177
KPIブレークダウン	
KPIブレークダウンの作成	
KPIブレークダウンに対するKPIブレークダウンの作成	
ブレークダウンの削除	
使用例 - KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成	
メトリックブレークダウン	
メトリックブレークダウンの作成	
メトリックブレークダウンに対するメトリックブレークダウンの作成	
ブレークダウンの削除	
KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド	
オーバーライドの管理	
使用例 - KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成	
KPIまたは目標の追加情報	196
KPIまたは目標に関する追加情報の提供	197
スコアカードのカスケード	200
使用例 - スコアカードに対するカスケードスコアカードの構成	203
カスケードスコアカードの削除	203

ダッシュボード表示	206
設定済みページの表示	207
ページの作成	208
ページレイアウトの構成	209
コンポーネントの追加または削除によるページのカスタマイズ	209
ページ上のコンポーネント間のワイヤリングのセットアップ	210
ダッシュボードのパーソナライズ	210
ダッシュボードページ	211
ページを開く	211
ページを閉じるまたはページの削除	212
ダッシュボードへのページの追加	212
ページの複製	213
ページレイアウトとコンポーネント	216
ページレイアウトの構成	216
ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加	217
ページレイアウトの構成 – ページ内のタブ付きコンポーネントの入力シナリオ	220
使用例 - ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追	<b>追加 223</b>
ページギャラリーとページカテゴリ	228
ページカテゴリの変更	228
新規ページカテゴリの作成	229
ユーザー定義ページカテゴリの名前の変更	229
ユーザー定義ページカテゴリの削除	229

カテゴリへのページの割り当て	229
ページのカテゴリ割り当ての変更	. 230
BAダッシュボードページの別のアプリケーションへの埋め込み	. 230
別のアプリケーションに埋め込まれているBAダッシュボードページから元のBAへの移	
動	231
[ページギャラリー] ダイアログボックス	.231
コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ	234
新規カテゴリの作成	. 235
ユーザー定義カテゴリ名の変更	. 235
ユーザー定義カテゴリの削除	235
カテゴリへのコンポーネントの割り当て	235
コンポーネントのカテゴリ割り当ての変更	236
コンポーネント表示形式のその場での変更	241
コンポーネント表示形式のその場での変更	.243
列形式	243
Rolodex - ゲージ形式	. 245
複数または単一の折れ線グラフ形式	248
棒グラフ	.253
円グラフ形式	254
クラスター棒グラフ	256
積み上げ棒グラフ	257
折れ線/棒複合グラフ形式	259
バブルチャート形式	. 262
リスト形式	. 265
コンポーネント表示で使用する周期のオンデマンドでの変更	. 267
コンポーネント表示で使用する周期のオンデマンドでの変更	. 267
ブレークダウンビューコンポーネント	. 274
KPIブレークダウン値の表示	. 275
バブルチャートビューコンポーネント	. 282
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 282
クラスター棒グラフビューコンポーネント	293
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 293
予測コンポーネント	305
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 307
履歴メトリックビューコンポーネント	311
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 311
傾向線の表示	312
履歴ビューコンポーネント	324
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 325
傾向線の表示	325
KPIリストコンポーネント	338
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	. 338

KPI Rolodexコンポーネント	347
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	348
KPIビューコンポーネント	359
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	360
折れ線/棒複合グラフビューコンポーネント	371
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	
ページフィルターコンポーネント	385
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	
使用例 - ダッシュボードページのフィルターコンポーネント	
円グラフコンポーネント	
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	
スコアカードコンポーネント	409
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	409
積み上げ棒グラフビューコンポーネント	419
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	419
SWFレポートビューアーコンポーネント	430
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	430
米国地図コンポーネント	436
前提条件	436
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	437
地図形式でのデータの表示	438
Web Intelligence レポートビューアーコンポーネント	443
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	444
Web Intelligence レポートビューアーコンポーネントのページフィルターコンポーネ	ネン
トへのワイヤリング	
Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネント	
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	450
世界地図コンポーネント	455
前提条件	456
····· ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	456
地図形式でのデータの表示	457
Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネント	468
前提条件 - Xcelsiusコンポーネントが適切に動作していることを確認する	469
ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	469
ユーザー定義のFlashレポートを作成し、Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンオ	、 、 ーネ
	470
カスタマイズされた静的または動的URLコンポーネント	
単純なURLコンポーネントの作成	475
動的URLの作成	
	477
コンポーネント間のワイヤリング	
コンポーネント間のワイヤリングのセットアップ	

ダッシュボードページのパーソナライズ	491
ユーザーの画像のダッシュボードフレームへの追加	491
ビジネス目標の表示と分析	493
	494
ページへの関連する目標の表示	496
ページ上のコンポーネントを使用した目標の分析	496
部下のスコアカードへのドリルダウン	497
特定の目標またはKPIに関する詳細情報の表示	498
ワイヤリング機能によるKPIに関するその他の詳細の表示	500
「エクスプローラー」タブの目標、KPI、KPIブレークダウンの詳細情報へのドリルダ	ン 500
[エクスプローラー] タブのスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレ-	-ク
ダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、孤立KPIの詳細情報の表示	501
目標またはKPIの意味の理解	501
KPIブレークダウン情報へのドリルダウン	501
エクスプローラーを使用した選択したKPIまたは目標に関する詳細情報の表示	502
特定の目標またはKPIへの注釈の追加	502
関連する注釈の印刷、メール送信、またはPDF化	503
スコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、	メト
リックブレークダウン、または未割り当てのKPIの詳細情報の表示	503
KPIまたはメトリックの未加エデータの分析	504
目標、パースペクティブ、およびスコアカードに対する1つのKPIの影響の理解	505
KPIの予測の分析	505
目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)	507
特定の目標に関する詳細情報の表示	507
特定のKPIまたはメトリックに関する詳細情報の表示	508
エクスプローラー	517
[エクスプローラー]にアクセスして選択したKPI、メトリック、または目標に関する	詳
	518
使用例 - エクスプローラーでの詳細情報表示へのドリルダウン	519
	526
[エクスブローラー]-[概要]を使用した選択したKPI、メトリック、または目標に	.関
	528
[概要]ページの内容の電子メールによる达信	528
[概要] 領域の内谷のステッノンヨットの休仔	528
[慨安] 唄晹の内谷の印刷	529
注釈の追加	529
MPIよにはストリックの同期のオノナマノトでの変更	529
ノーノビット	545
エノスノローノーで使用しに選択したMIよには日信に関9の評判情報の衣示 物式に体用される久集計開粉の物体は用の主ニ	545
奴玑に使用される日未計 関奴の奴爬桁未の衣示	546

数式に使用される各集計関数の生データのテーブルの表示	546
SQLクエリの詳細の表示	547
生データの.csvファイルへのエクスポート	548
割合 (%) 数式の主要要素の表示	549
[データセット] ページの内容の電子メールによる送信	550
[データセット] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート	550
[データセット] ページの内容の印刷	550
目標マップ	562
目標マップを使用した詳細情報の表示	564
[目標マップ] ページの内容の電子メールによる送信	564
[目標マップ] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート	564
[目標マップ] ページの内容の印刷	565
予測	572
エンティティの予測の表示	574
使用例	574
注釈	585
特定の目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、	
または未割り当てのKPIへの注釈の追加	585
注釈の電子メールによる送信	586
	F01
トキュメントノィートハックの达信	591

# スタジオおよびダッシュボードの概 要

HP IT Business Analyticsは戦略実現のためのツールであり、これを使用することで、エグゼクティブ は、起こったこと、起きていることを測定し、その情報を分析し、収集した情報に基づいて新しい戦 略を立案することにより、ビジネスを改善し続けることができます。これにより、戦略の実現が促進 され、コストとリスクを削減して、品質と価値を向上させることができます。

以下の項目では、スタジオとダッシュボードを初めて使用する際の主な手順を紹介します。

- エグゼクティブダッシュボードによって、エグゼクティブが直面している課題を解決できることを学びます。詳細については、「エグゼクティブダッシュボードの詳細について」(12ページ)を参照してください。
- HP IT Business Analytics設定が構成されていることを確認します。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Perform Administration Tasks for Foundation」を参照してください。
- 3. HP IT Business Analyticsのユーザーと権限が構成されていることを確認します。詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。
- スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、およびKPIを作成してアクティブ化します。詳細については、「スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成」(23ページ)を参照してください。
- 5. メトリックブレークダウンおよびKPI、オーバーライド、スコアカードのカスケードなどを使用 して、ダッシュボードのコンテンツを強化します。詳細については、「スタジオでのダッシュ ボードコンテンツの強化」(177ページ)を参照してください。
- 設定済みのエグゼクティブページをレビューしたり、ページにコンポーネントを追加したり、 独自のコンポーネントを追加したり、独自のページを作成したりします。詳細については、 「ダッシュボード表示」(206ページ)を参照してください。
- 7. これで、エグゼクティブユーザーは、関連するビジネス目標を表示して分析できるようになり ます。詳細については、「ビジネス目標の表示と分析」(493ページ)を参照してください。
- 8. HP IT Business Analyticsのメンテナンスを実行します。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Getting Started with Administration Tasks」を参照してください。

# エグゼクティブダッシュボードの詳 細について

本項では、BAのいくつかの概念について説明します。

•	エグゼクティブペルソナおよびそのビジネスチャレンジ	.13
•	セマンティックレイヤー - コンテキストとユニバース	.14
•	ΙΤデータモデル	. 15
•	スコアカードKPIエンジン	16
•	Business Analyticsのアーキテクチャー	. 17
•	Business Analyticsソリューション	. 18
•	Business Analyticsのコンポーネント	.21
•	ダッシュボードの機能	.22

## エグゼクティブペルソナおよびそのビジ ネスチャレンジ

このダッシュボードは、HP IT Business Analyticsアジェンダの一部です。これは、ITエグゼクティブが IT組織のパフォーマンスを測定する機能を提供します。

### エグゼクティブペルソナ

下の図は、ダッシュボードのユーザーになりうるエグゼクティブペルソナを表しています。これらの ペルソナは役割を表すもので、必ずしも個人とは限りません。組織によっては、1人の個人が複数の ペルソナを兼ねる場合も、1つのペルソナが複数の個人に分担される場合もあります。また、ペルソ ナの名前は単なる便宜上のラベルです。重要なのはペルソナの定義です。



例:米国の主要な企業、特に金融サービスやメディアといった業界の企業は、ビジネスユニット ごとのCIOと、共有サービス組織に集中化されたオペレーションおよびインフラストラクチャー という、類似した構造を備えています。このような構造において、ビジネスユニットのCIOの責 務の1つに、ビジネスユニットのためのアプリケーション開発があります。同じビジネスユニッ トのCIOが、ビジネスユニットのライブアプリケーションをサポートするために、オペレーショ ンからの共有サービスを利用します。このような構成の場合、CIOが見たいと思うダッシュボー ドは、これらの項目だけを対象とすると同時に、同じ情報をビジネスサービス(またはアプリ ケーションサービス)のライフサイクル全体の視点から見るものです。すなわち、アプリケー ション開発とオペレーションを、1つのビジネスサービスエンティティの異なるライフサイクル ステージとして見るものです。

## セマンティックレイヤー - コンテキストと ユニバース

BAのセマンティックレイヤーには、コンテキストとユニバースが含まれます。

コンテキストデザイナーは、コンテキスト (ユニバース) の作成と管理を行う機能です。コンテキスト の作成には、ターゲットとなるスキーマテーブルや、データローダーによってターゲットスキーマに アップロード可能なExcel (または .CSV) ファイルを使用します。

コンテキストデザイナーでは、データのアップロードやデータからのコンテキスト作成を実行できま す。これにより、データウェアハウスおよびSAP BusinessObjects Enterpriseを使用しなくても、 Business Analyticsのアプリケーションでの操作が可能になります。外部ソースやほかのHP製品との統 合を行わなくても、ファイルを使用してデータをBusiness Analyticsスタジオに直接アップロードでき ます。さらに、サードパーティデータの統合、テスト、または概念実証 (POC) セッションにも使用で きます。また、Business Analyticsのコンポーネントとして、サードパーティデータの統合にも使用で きます。

コンテキストデザイナーは、実際のデータに基づくKPI結果を提供します。

ITデータモデル

データモデルは、チームメンバーの間のコミュニケーションのためのビジネスデータをドキュメント 化して整理するための抽象的モデルであり、アプリケーション開発のための計画として、特にデータ の保管とアクセスの方法として使用されます。

ITデータモデル (概念的データモデルとも呼ぶ) は、ビジネスの概念、エンティティ、用語、事実、および関係を定義します。

HP IT Business Analyticsで用いられるエンティティは、ITデータモデルに基づいています (100%準拠で はありません)。エンティティはコンテキスト (ユニバース) で記述されます。詳細については、次の いずれかの関連するコンテキストを参照してください。

- ALM Data Source Integration, Associated Contexts, KPIs, Metrics, Data Lineage, and Reports
- AWS Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- AWSCW Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- CSA Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- PPM Data Source Integration, Associated Contexts, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- SM Data Source Associated Contexts, KPIs, Metrics, Data Lineage, and Reports

これらのドキュメントは、『BA Content Reference Guide』で入手できます。

### スコアカードKPIエンジン

スコアカードKPIエンジンは、KPIおよび目標を処理します。KPIの概念の詳細については、「重要業績 評価指標 (KPI) およびメトリック」(58ページ)を参照してください。目標の概念の詳細については、 「目標」(58ページ)を参照してください。

スコアカードKPIエンジンは、コンテキスト (データソース) から得られるデータを検出します。

KPIは、目標のステータスを提供します。ステータスは、値、割合、またはその他です。ステータス は正規化されます。

各KPIには、スコアが与えられます。スコアに応じて、目標が満たされているかどうかが決まります。

#### 例

目標がプロフェッショナリズムの場合、KPIはたとえば次のような測定に基づきます。従業員は 次の場合にプロフェッショナルであると見なされます。

- 従業員に割り当てられたオープンバグの数が測定期間中に100未満であること。この目標要素 を測定するには、しきい値100の「オープンバグの数」を使用します。従業員が120個のオー プンバグを持っている場合、KPIのスコアは80%です。
- 従業員は測定期間中に10個の機能を作成すること。この目標要素を測定するには、しきい値9の「10個の機能の作成」KPIを使用します。従業員が9個の機能しかオープンしていない場合、「10個の機能の作成」KPIのスコアは90%です。
- 従業員は測定期間中に2つのコースを修了すること。この目標要素を測定するには、しきい値 1の「2つのコース」KPIを使用します。従業員が1つのコースしか修了していない場合は、「2 つのコースの修了」KPIのスコアは50%です。

プロフェッショナリズム目標のスコアは、そのKPIのスコアの平均です:70%

スコアは次のいずれかのルールに従って計算されます。

- ワーストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPIの最低スコア(目標 に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられている目標の最低スコアです。
- ベストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPIの最高スコア(目標に 子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられている目標の最高スコアです。
- 重み付き平均:目標のスコアは、親目標に割り当てられているすべてのKPIの平均スコア(目標に子 KPIがある場合)、または子目標のスコアに重みを掛けたものの平均です。

### Business Analyticsのアーキテクチャー

HP IT Business AnalyticsはJavaによるエンタープライズアプリケーションです。JEE6アプリケーショ ンサーバー (glassfish) 内部で動作する大規模なWebベースアプリケーションを備えています。

この製品には、いくつかのオープンソースのサードパーティ製jarが使用されています。これらのjar は、Javaの標準の方法で、すなわちクラスパス内にjarを配置し、公開されているAPIを通じてアクセ スすることにより使用されています。



KPIライブラリの詳細については、「テンプレートを使用したスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照してください。

セマンティックレイヤー (ビジネスコンテキストまたはユニバース) の詳細については、「ビジネスコ ンテキスト」(157ページ)を参照してください。

データウェアハウス、ETL、データソースの詳細については、『BA Administrator Guide』の「Getting Started with Administration Tasks」を参照してください。

### Business Analytics ソリューション

HP IT Business Analyticsは戦略実現のためのツールです。を使用することで、エグゼクティブは、起 こったこと、起きていることを測定し、その情報を分析し、収集した情報に基づいて新しい戦略を立 案することで、ビジネスを改善し続けることができます。これにより、戦略の実現が促進され、コス トとリスクを削減して、品質と価値を向上させることができます。

HP IT Business Analyticsで提供されるものは次のとおりです。

- パフォーマンスとITのゴールや目標の達成度合いを測定するパフォーマンス測定 (KPIおよびメト リック) を利用できます。
- ITのゴールと目標を定義する手段となるカスケードされた目標 (スコアカード) を利用できます。
- パフォーマンス改善のために役立つ情報 (KPIおよびデータレベル分析) が得られ、パフォーマンス 改善計画の有効性を共同作業を通じて高めることができます。
- カスケードスコアカードに影響するパフォーマンス測定に関する役に立つ情報が得られます。
- パフォーマンス測定および得られた情報に対するトレーサビリティが得られます。

ソリューション



HP IT Business Analyticsには、さまざまな製品からのデータを扱うデータウェアハウスが付属してい ます。データが収集され、分析が行われて、CIOやオペレーションVPといったエグゼクティブのため の役に立つ情報が、一連のダッシュボードとレポートに表示されます。

データウェアハウスのデータソースとしては、HPのソフトウェア製品である HP Application Lifecycle Management (ALM)、HP Cloud Service Automation (CSA)、Amazon Web Services (AWS)、Amazon Web Service CloudWatch (AWSCW)、HP Service Manager (SM)、HP Project and Portfolio Managementなどに 加えて、サードパーティ製のオープンソース製品も利用できます。

HP IT Business Analyticsアプリケーションは、エグゼクティブが組織の目標達成の程度を測定し、目 標を改善するために何に注力すればよいかを分析して決定するためのツールを提供します。

HP IT Business Analyticsの特徴は次のとおりです。

- ビジネスペルソナのチャレンジによって推進されます。
- これらのチャレンジのIT目標に合致します。
- 重要業績評価指標 (KPI) はITデータモデルに基づいています。
- 分析結果はダッシュボードに表示されます。

ビジネスアナリストユーザーガイド エグゼクティブダッシュボードの詳細について

#### 戦略レポート

HP IT Business Analyticsで提供されるものは次のとおりです。

- 次のようなHP IT Business Analyticsダッシュボードに戦略上重要な測定を表示できます。
  - ペルソナベースのダッシュボード
  - スコアカード
  - カスケードスコアカード
  - KPIライブラリ(テンプレート)
  - KPIエンジン
- 戦略分析:
  - 長期的でかつ鋭い視点からの分析
  - エグゼクティブおよび意思決定者のユーザー
  - IT データウェアハウスベース
  - ITデータモデルに準拠したユニバース
  - 複数製品のデータの相関が可能
- オペレーションレポート:
  - リアルタイムまたはほぼリアルタイムでのデータへのアクセス
  - ユーザーはオペレーション製品のユーザーと同じ
  - サイロレポートソリューション

# Business Analyticsのコンポーネント

HP IT Business Analyticsには次のようなコンポーネントがあります。スタジオ、エクスプローラー、 管理の各タブ、およびダッシュボード。詳細については、『Getting Started with BA』の「Business Analytics UI Modules」を参照してください。

### ダッシュボードの機能

ダッシュボードでは、それぞれのエグゼクティブペルソナの要求とチャレンジに応じて、専用のペー ジを作成する機能が提供されています。

#### 機能

HP IT Business Analyticsダッシュボードには、次の機能が含まれます。

- ページとコンポーネント: ダッシュボードページを作成するには、コンポーネントをページに追加します。これらのコンポーネントは、そのまま使用することも、カスタマイズされたダッシュボード表示を作成するためにカスタマイズすることもできます。
- **ほかの人のページへのドリルダウン:** エグゼクティブは、直属の部下のページに移動し、測定対象 の目標のブレークダウンを参照できます。
- より詳細な情報へのドリルダウン: エグゼクティブは、任意の要素から(円グラフ、バブル、 チャート、ゲージ、スコアカードなどを使用して)ドリルダウンすることにより、重要な結果の分 析処理を実行できます。
- **注釈:** この機能を使用することで、エグゼクティブは、任意の要素のビジネスコンテキストに注を 追加して、後の戦略計画会議やスタッフ会議の際に参照できます。
- ワイヤリングの追加: ワイヤリングでコンポーネントをリンクすることにより、コンポーネントの 要素を選択し、この要素に基づいてすべてのワイヤリングコンポーネントをフィルター処理でき ます。
- •フィルター:コンポーネント内の要素の管理、一部の要素のフィルター、期間の変更など。

# スタジオでのダッシュボードコンテ ンツの作成

スタジオを使用して、ダッシュボードに表示されるすべてのコンポーネントと、コンポーネントの間 の相互作用 (ワイヤリング、ドリルダウン、およびその他の機能) を作成して管理できます。

エグゼクティブダッシュボードには、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリックが 含まれます。

アクセス方法:

[スタジオ]タブをクリックします。

詳細情報 タスク



### スタジオの詳細について

スタジオは、ダッシュボード表示を作成するために使用する環境です。

スタジオには次の内容が含まれます。

- [KPIライブラリ]ペインは、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリックテンプレート、フォルダーのリポジトリです。
- [アクティブなKPI]ペインには、アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリックがすべて表示されます。これらの項目の一部を選択して、ダッシュボードに表示できます。
- [構成の詳細] タブには、選択した要素の構成が表示されます。また、[計算] タブには、選択した KPIまたはメトリックの計算構成が表示されます。

表示を作成するには、[KPIライブラリ] ペインから [アクティブなKPI] ペインに設定済みテンプレート を移動してアクティブにするか、[アクティブなKPI] ペインでユーザー定義の要素を直接作成する か、CAPをアップロードしてアクティブにします。詳細については、「テンプレートを使用したスコ アカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」、「アクティブなス コアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」、または『Guide to BA Content Acceleration Packs』の「コンテンツアクセラレーションパック (CAP) の管理」を参照してください。

注: BAでは、別のタブに移動した後スタジオに戻ると、表示内容が自動的に更新されません。表

示を更新するには、[アクティブなKPI] ペインまたは [KPIテンプレート] ペインのツールバーにある をクリックします。

### テンプレートの詳細について

[KPIライブラリ] ペインでは、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、およびメトリックの設 定済みテンプレートが利用できます。

また、このペインには、設定済みフォルダーもあります。

テンプレートは、企業の最も一般的なビジネスの側面を表現するように作成されています。

詳細については、「テンプレート」(34ページ)を参照してください。

### KPIライブラリの詳細について

KPIライブラリは、スタジオの一部です。これには、設定済みスコアカード、パースペクティブ、目 標、KPI、メトリックテンプレートのほかに、フォルダーが含まれます。

スコアカードテンプレートとそのコンテンツは、対応するビジネスの側面に関する推奨事項と、表示 すべき情報を表します。

テンプレートは、ダッシュボード表示の作成に使用されるアクティブなスコアカード、パースペク ティブ、目標、KPI、およびメトリックの基礎として使用でき、企業の目標が満たされているかどう かをエンドユーザーが判断するためのデータを表示します。

[KPIライブラリ] ペインには、いくつかのツリーを表示できます。ツリーにはスコアカードツリーと ディレクトリツリーがあります。ディレクトリツリーには、ディレクトリ、KPI、メトリックだけが 含まれます。

### アクティブなKPIの詳細について

[アクティブなKPI] ペインは、スタジオの一部です。これには、アクティブなスコアカード、パース ペクティブ、目標、KPI、およびKPIブレークダウンを含むことができるただ1つのツリーが含まれて います。また、メトリックと未割り当てのKPI、およびそれらのブレークダウンを含む[パブリックメ トリックとKPI] ディレクトリも含まれています。未割り当てのKPIまたはメトリックは、ユーザーが スコアカード、パースペクティブ、および目標を扱わない場合に使用されます。

アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPIおよびメトリックは、エグゼクティブエンドユーザーがダッシュボードに表示する要素 (コンポーネントおよびページ)の構成要素です。

ダッシュボード表示の作成に使用される設定済み要素のプールに要素を追加するには、必要なスコア カード、パースペクティブ、目標、KPIおよびメトリックテンプレートを、[KPIライブラリ]ペインか ら[アクティブなKPI]ペインにドラッグします。

[アクティブなKPI] ペインのアクティブなエンティティは変更できます。タスクの詳細については、 「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)を参照 してください。

スタジオの [KPIライブラリ] ペインまたは [アクティブなKPI] ペインでは、テンプレートまたはアク ティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、フォルダー、KPIおよびメトリックが**ツリー**構造 に整理されて表示されます。

### ツリーの詳細について

例
アクティブな <b>KPI</b> 《
システムで構成され、計算された要素をすべて一 覧表示します。 要素を追加するには、ここをクリック するか、 上の横並びのアイコンをクリックし、テンプ レート項目をKPIライブラリから [アクティブなKPI] ベイ ンにドラッグアンドドロップします。 詳細情報
* 🗈 🗄 🗄 🖬 🗘 🦯
検索: < <sub>&lt; 夜 案&gt;</sub>
▼ 合 アクティブなKPI
▶ 📰 CIO
▶ III HPポートフォリオ
ITIL V3
▶ 🗐 アプリケーションVP
▶ 🛅 パブリックメトリックとKPI

[KPIライブラリ] ペインには、いくつかのツリーを表示できます。ツリーには、スコアカード、未割り当てのKPI、メトリック、フォルダーを含めることができます。未割り当てのテンプレートKPIとは、関連するスコアカードツリーの目標または関連するフォルダーツリーのフォルダーのどれにも含

まれていないKPIです。したがって、スコアカードツリーまたはフォルダーごとに、未割り当てのKPI は異なる可能性があります。

[アクティブなKPI] ペインには1つのツリーが含まれ、そのツリーには1つまたは複数のスコアカード ツリーや [**パブリックメトリックとKPI**] ディレクトリを含めることができます。

スコアカードは または で示されます。各スコアカードはそれ自体がツリーであり、いくつか のパースペクティブを含むことができます。パースペクティブは または で示されます。各 パースペクティブは、いくつかの目標を含みます。目標は または で示されます。各目標に は、子目標またはKPIのどちらか一方だけが含まれます。KPIは または で示されます。

ノード (スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPI) の名前は、同じ階層レベル内で一意で す。「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)

メトリックは 🖾 または 🗠 で示されます。

各KPIは、KPIブレークダウンを含むことができます。ブレークダウンKPIは<sup>47</sup>で示されます。KPIブ レークダウンも、KPIブレークダウンを含むことができます。

**注:** KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンは、アクティブなKPIまたはメトリック に対して構成できます。KPIライブラリには存在しません。[アクティブなKPI] ペインだけに表示 できます。詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。



[アクティブなKPI] ペインでは、アクティブなKPIまたはメトリック、目標、およびパースペクティブ を、既存のスコアカードに追加できます。タスクの詳細については、「アクティブなスコアカード、 パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)を参照してください。



このタスクには次の手順があります

• 前提条件 - ダッシュボードのエンドユーザーへのインタビュー	29
• 設定済みテンプレートのインポート - オプション	30
<ul> <li>スコアカード、そのパースペクティブ、目標、およびKPIのアクティブ化</li> </ul>	30
<ul> <li>アクティブなスコアカード、そのパースペクティブ、目標、KPIまたはメトリックの作成…</li> </ul>	30
• スコアカード、そのパースペクティブ、および目標のカスタマイズ	31
• KPIまたはメトリックのカスタマイズ	31
• エグゼクティブダッシュボードの表示の改良	31
• 現在の期間に対する計算、過去の期間に対する再計算、または計算のスケジュール	32
• ダッシュボードの設定済みページ	32
• ダッシュボード表示の準備	32
・ テンプレート	34
• テンプレート定義の表示	42
<ul> <li>テンプレートを使用したスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPI</li> </ul>	の
アクティブ化	56
• [KPIライブラリ] ペインから [アクティブなKPI] ペインにテンプレートをドラッグすること	:に
	64
	65
	65
<ul> <li>アクティブなスコアカート、ハースペクティブ、目標、メトリック、KPIの1F成</li> <li>新規 / ドックにす</li> </ul>	69
<ul> <li>新規ノートの作成</li> <li>フクニュゴか変担の000/CC</li> </ul>	73
<ul> <li>アクテイノな新規KPIの作成</li> <li>新規はし、たった式</li> </ul>	74
	74
<ul> <li>既存のKPIまたはメトリックの複製によるアクティブなKPIまたはメトリックの作成</li> <li>KPIを料除</li> </ul>	75
	76
<ul> <li>使用例 - スコアカードツリーの作成とKPIの新規作成</li></ul>	76
<ul> <li>スコアカードの構成の詳細</li> </ul>	83
	88
	88
• ハースペクティブの構成の詳細	91
	92
<ul> <li>ノートの記入</li> <li>日本の株式の詳細</li> </ul>	92
	95
	97
	97
●	97

<ul> <li>KPIの目標からの割り当て解除</li> </ul>	
• 目標のKPI	102
● KPIの目標への割り当て	
<ul> <li>KPIの目標からの割り当て解除</li> </ul>	
• ノードの削除	
● ノードを永久に削除する	107
<ul> <li>KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細</li> </ul>	
● 使用例 - KPIまたはメトリックのプロパティの表示と変更	
● 使用例 - 新規メトリックの作成	
• KPIまたはメトリックの数式	
● 使用例 - KPIまたはメトリック数式の指定	132
● IN_PERIODの使用例	133
• KPIまたはメトリックのフィルター	147
<ul> <li>KPIまたはメトリックのフィルターの変更</li> </ul>	152
• KPIまたはメトリックの構成変更のテスト	152
• KPIまたはメトリックのビジネスコンテキスト	157
<ul> <li>KPIのビジネスコンテキストの変更</li> </ul>	
● KPI構成への変更のテスト	159
● 計算	162
<ul> <li>構成変更後の計算の実行</li> </ul>	
• [すぐに計算] ダイアログボックス	163
• 再計算	165
● 再計算の実行	165
• 計算のスケジューリング	
• ビジネスコンテキスト計算のスケジュール	
<ul> <li>計算と再計算の監視</li> </ul>	
<ul> <li>特定のビジネスコンテキストに計算または再計算のステータス監視</li> </ul>	
<ul> <li>実行中の計算または再計算の監視</li> </ul>	
<ul> <li>スタジオ内での変更と[ダッシュボード]タブおよび[エクスプローラー]タブで(</li> </ul>	の表示の同期 176

# 1. 前提条件 - ダッシュボードのエンドユー ザーへのインタビュー

エンドユーザーのスコアカードを設計するには、エンドユーザーにインタビューして、そのビ ジネス目標を理解し、カスタマイズする場合に設定済みノードが適切かどうかを確認する必要 があります。

詳細については、「エグゼクティブペルソナおよびそのビジネスチャレンジ」(13ページ)を参照 してください。

HP IT Business Analyticsを起動したときに、設定済みのスコアカード、パースペクティブ、目 標、KPI、またはメトリックテンプレート、フォルダー、未割り当てのKPIまたはメトリックテン プレート、およびダッシュボードコンポーネントが、[KPIライブラリ] ペインに自動的にイン ポートされます。

追加のテンプレートをインポートすることもできます (たとえば、新バージョンにアップグレードしたときに、以前のテンプレートを保持しておきたい場合などです)。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Migrate Trees, Metrics, and Unassigned KPIs」を参照してください。

HP IT Business Analytics では、KPIライブラリにすぐに使用できるスコアカードテンプレートが用 意されています。KPIライブラリから [アクティブなKPI] ペインに設定済みスコアカードテンプ レートをドラッグすることにより、アクティブ化できます。[アクティブなKPI] ペインでは、新 規スコアカードのカスタマイズ、複製、または作成を実行できます。

パースペクティブテンプレート、目標テンプレート、KPIまたはメトリックテンプレートでも同 様です。

詳細については、「テンプレートを使用したスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照してください。

▲ アクティブなスコアカード、そのパース ペクティブ、目標、KPIまたはメトリッ クの作成

アクティブなスコアカード、そのパースペクティブ、目標、KPI、およびメトリックを新規作成 できます。詳細については、「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メト リック、KPIの作成」(69ページ)を参照してください。

## ₅ スコアカード、そのパースペクティブ、 および目標のカスタマイズ

設定済みのスコアカード、そのパースペクティブ、および目標をカスタマイズできます。詳細 については、「スコアカードの構成の詳細」(83ページ)または「パースペクティブの構成の詳 細」(91ページ)または「目標の構成の詳細」(95ページ)を参照してください。

### <sub>α</sub> KPIまたはメトリックのカスタマイズ

次の方法でKPIまたはメトリックをカスタマイズできます。

- KPIまたはメトリックの構成の変更。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細 と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。
- アクティブなKPIを直接作成して目標に割り当てるか、アクティブなメトリックを作成。詳細については、「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックのビジネスコンテキストの変更。詳細については、「KPIまたはメト リックのビジネスコンテキスト」(157ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックの計算に用いられる数式の変更。詳細については、「KPIまたはメト リックの数式」(122ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックの計算に使用されるデータの範囲を制限するフィルターの変更。詳細については、「KPIまたはメトリックのフィルター」(147ページ)を参照してください。
- KPIのステータスを再計算するしきい値の変更。詳細については、「計算」(162ページ)または 「再計算」(165ページ)を参照してください。



次の方法で、エグゼクティブダッシュボードの表示を改良できます。

 カスケードスコアカードを作成して、エグゼクティブが同じスコアカードの下位レベルにド リルダウンできるようにします。詳細については、「スコアカードのカスケード」(200ペー ジ)を参照してください。

- KPIのブレークダウンを作成して、KPIの測定値に関するより詳細な情報が得られるようにします。詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。
- オーバーライドの管理。詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウン のオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
- メトリック、KPIまたは目標への情報の追加。詳細については、「KPIまたは目標の追加情報」(196ページ)を参照してください。
- 現在の期間に対する計算、過去の期間に
   対する再計算、または計算のスケジュール

スコアカードとそのコンテンツのカスタマイズと改良が終わったら、次のいずれかを行いま す。

- 自動スケジュール計算が行われるのを待ちます。
- 目標、KPIまたはメトリックの値、ステータス、およびスコアの計算を起動して、結果の情報 をダッシュボードに表示します。詳細については、「計算」(162ページ)を参照してくださ い。
- 過去の期間の目標、KPIまたはメトリックの値、ステータス、およびスコアの再計算を起動して、結果の情報をダッシュボードに表示します。詳細については、「再計算」(165ページ)を参照してください。

特定のビジネスコンテキストの計算が自動的に行われるようにスケジュールできます。詳細に ついては、「計算のスケジューリング」(168ページ)を参照してください。

<sup>9</sup> ダッシュボードの設定済みページ

エグゼクティブは、関連する情報をダッシュボードの設定済みページに表示できます。詳細に ついては、「ダッシュボード」(494ページ)を参照してください。

また、ページを作成したり、追加コンポーネントによってページを改良したり、コンポーネントを配線して、あるコンポーネントの特定の要素を選択すると、ページ内のほかのコンポーネ

#### ントの表示が変化するように設定したりできます。詳細については、「ダッシュボード表示」 (206ページ)を参照してください。

テンプレート

[KPIライブラリ] ペインでは、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、およびメトリックの設 定済みテンプレートが利用できます。

また、このペインには、設定済みフォルダーもあります。詳細については、「フォルダー」(42ページ)を参照してください。

テンプレートは、企業の最も一般的なビジネスの側面を表現するように作成されています。

新しいテンプレートまたは更新されたテンプレートをインポートすることにより、新しいテンプレー トを作成できます。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Migrate Trees, Metrics, and Unassigned KPIs」を参照してください。

各テンプレートには固有の名前があります。

スタジオKPIのすべての値としきい値は、[構成の詳細] タブと [計算の詳細] タブでの定義に依存します。

詳細については、「スコアカードKPIエンジン」(16ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

- 1. [**スタジオ**] タブをクリックします。[KPIライブラリ] ペインが表示されていない場合、[アクティ ブなKPI] ペインのツールバーで [**ツリーを並べて表示**] ボタン
- 2. [KPIライブラリ]ペインで、関連するノードを選択します。
- 3. 次のどれかをクリックします。
  - a. ツリー内でスコアカードテンプレート、パースペクティブテンプレート、目標テンプレー ト、またはフォルダーをクリックして、その [構成の詳細] 領域を表示します。
    - b. ツリー内でKPIテンプレート、未割り当てのKPIテンプレート、またはメトリックテンプレートをクリックし、[構成の詳細]または[計算の詳細]タブをクリックします。

詳細情報
タスク
UIの説明

■詳細情報

### スコアカード

スコアカードは、組織の何らかのパフォーマンスの高レベルのスナップショット(視覚的サマリー)で す。スコアカードには目標の集合が表示され、目標のステータスを見ることで組織のパフォーマンス を評価します。 スコアカードは、複雑なビジネス情報を誰にでもわかる形にマップして変換する役割を果たします。 この方法では、組織によって定義されたターゲットから出発し、次にスコアカードの目標に進みま す。

次の表は、スコアカードの主要な要素がパフォーマンスに関する重要な問いにどのように関連するか を示します。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
パースペクティ ブ\戦略	達成しようとしている 戦略は何か?	パースペクティブの詳細については、「パースペク ティブ」(57ページ)を参照してください。
		スコアカードには、1つまたは複数のパースペク ティブを含めることができます。
		<b>例</b> : オペレーショナルエクセレンス。
目標	達成しようとしている 目標は何か?	目標の詳細については、「目標」(58ページ)を参照 してください。
		パースペクティブには、1つまたは複数の目標を含 めることができます。
		<b>例</b> : PC注文へのサービスリクエストに対するITの 応答性を2010年に20%改善する。
KPI	パフォーマンスはどの ように測定するか?	KPIの詳細については、「重要業績評価指標 (KPI) お よびメトリック」(58ページ)を参照してください。
		目標には複数のKPIを含めることができます。
		<b>例</b> : PCの注文、構成、およびインストールにかか る時間。
しきい値	必要なパフォーマンス のレベルはどのくらい か?	24時間。

スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPIの設定済みテンプレートが用意されています。 これらのテンプレートは、ビジネス要素に対応します。詳細については、「テンプレートを使用した スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照 してください。

アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPIは、ダッシュボードに実際のデータを表示します。詳細については、「[アクティブなKPI]ペイン」(76ページ)を参照してください。

パースペクティブ

パースペクティブは、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

すべてのスコアカード定義には、既製の定義と、KPIにリンクされた目標を含むパースペクティブが 含まれます。

パースペクティブは、エグゼクティブが関連するビジネスの問題を追跡して分析するために役立つ目 標のグループを表します。

目標

目標は、エグゼクティブによって定義される全体的なパフォーマンスゴールを表します。目標は、 ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループに対する見出しの役割を果たします。

**例**: エグゼクティブがIT部門の応答性を測定したい場合、IT部門の応答性のさまざまな側面を測定 する目標が作成されます。

それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: PC購入までの時間など)。これらのKPI は、値、傾向、ステータスを提供します。

目標は、常にパフォーマンスゴールのステータスを示しますが、パフォーマンスの実際の値は表示しません。一般的なスコアカードでは、目標はKPIのスコアを集計した累積的なパフォーマンスインジケーターを示します。スコアカードでは、目標はKPI階層構造のトップレベルに表示されます。

目標は、"SMART" (Specific: 具体的、Measurable: 測定可能、Action-Oriented: 活動主体、Realistic: 現実的、Time Bound: 期限付き) でなければなりません。この基準は、目標が達成されたかどうかを判 定できるようにするためのものです。

例:「コストの削減」という目標を「コストを削減すること」と定義した場合、組織が目標に達しなかったり、行き過ぎたりするおそれがあります。目標は、組織の行動にマイナスとプラスの両方の影響を与えます。目標が"SMART"基準を満たしていれば、より安定した結果が得られます。この目標を改善するには、たとえば「2011年中にITの運用費用を20%削減する」のように定義します。この新しい目標には、削減の対象となる費用、目指す削減率、期限、および組織が明示されています。これは基準を満たしており、達成可能です。

#### 親子の依存関係:

目標は、KPIの親ユニットです。目標の結果の計算には、特別なルールが用いられます。このルール は、子KPIのスコア結果に基づきます。使用可能な親子ルールは次のとおりです。

- BEST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最高スコアに対応します。
- WORST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最低スコアに対応します。
- WEIGHTED\_AVERAGE 親目標の結果は、子KPIのスコア値の重み付き平均値に対応します。
# 重要業績評価指標(KPI)およびメトリック

重要業績評価指標 (KPI) およびメトリックは、ビジネス価値の主要なドライバーを反映し、測定しま す。価値ドライバーは、正しく実行されることで将来の成功を保証する活動を表します。価値ドライ バーは、公表された財務および組織目標を達成するための正しい方向に組織を動かす役割を果たしま す。

例:価値ドライバーの例としては、「高い顧客満足度」や「優れた製品品質」が挙げられます。

#### KPIおよびメトリックに関する追加情報

KPIはメトリックですが、メトリックがすべてKPIであるわけではありません。最大の違いは、KPIは常 に戦略的価値ドライバーを反映しますが、メトリックはあらゆるビジネス活動の測定を表すことで す。メトリックは常に、パフォーマンスを反映した数値を示します。KPIはそのパフォーマンスをコ ンテキストの中に位置付けます。メトリックはしきい値と照合されません。

KPIは、株主が重視する財務指標 (利益率や収益など) に最も影響を与える領域で、組織がどの程度う まく機能しているかを反映します。

KPIは、予想に基づいてパフォーマンスを評価します。コンテキストは次の要素によって与えられます。

1. しきい値:パフォーマンスの許容範囲の上限と下限。

2. ターゲット: 定義済みの上げ幅。たとえば四半期ごとに10%の新規顧客など。

3. ベンチマーク:業界基準指標やさまざまな方法論 (シックスシグマなど)に基づきます。

4. 傾向: KPIのパフォーマンスの方向性。「向上」、「低下」、または「変更なし」のどれか。

**注:** スタジオKPIのすべての値としきい値は、[構成の詳細] タブと[計算の詳細] タブでの定義に依存します。定義は変更できます。

**例**: メトリックの例としては、MTTR (平均復旧時間) が挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を測定するものです。KPIの例としては、MTTRが挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を、定義済みのしきい値と比較して測定するものです。たとえば、「MTTRが1時間より短い」のように使用します。

KPIは、ビジネス価値の主要ドライバーを数式によって測定します。詳細については、「KPIとメト リックの数式、フィルター、ステータス、しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照し てください。

KPIテンプレート (設定済み)を使用すれば、KPIテンプレートをアクティブにして新しいKPIを作成できます。メトリックテンプレート (設定済み)を使用すれば、メトリックテンプレートをアクティブにして新しいメトリックを作成できます。詳細については、「テンプレートを使用したスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照してください。

KPIとメトリックの完全なリストは、「Excel形式のKPIライブラリ」を参照してください。

# KPIとメトリックの数式、フィルター、しきい 値、値、傾向、およびスコア

本項では、KPIまたはメトリックに関連する情報を記します。

#### KPIの数式、フィルター、および値

スコアカードKPIエンジンは、KPIの値を、KPIに対して指定されている数式を使用して計算し、KPIに 対して指定されているしきい値を使用して、KPIのステータスとスコアを設定します。また、KPIフィ ルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限する こともできます。

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

ҜҎѤ҆҄ユー			- 1i   0 * ×
			14h ~
	SLA遵守	牽 (%) ☰	
	1		
	100	.000%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(	07)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457	23456789

#### KPIのしきい値

エンジンは、KPIの値をKPIのしきい値と比較して、KPIのステータスを計算します。

#### KPIのステータス

KPIの ステータスは、 エラー、 警告、または 良好です。

#### KPIの傾向

傾向は、変化するKPI結果値の前の結果に対する方向性を示します。

傾向は次のとおりです。

- 向上: 現在の結果が前の結果より大きいことを示します。
- 低下:現在の結果が前の結果より小さいことを示します。
- 普通:現在の結果と前の結果が同じであることを示します。

KPIのスコア

KPIの値は、KPIに対して指定されているしきい値を使用して、スコアに変換されます。

すべてのスコアは、同じ測定スケール(0~10など)に正規化されます。これにより、異なるタイプの KPIのスコアに基づいて目標を計算できます。スコアは、ビジネス価値のステータスと、しきい値か らの相対距離を反映しています。

これに加えて、次のことが言えます。

- 親子ルール計算はすべて、子のスコアに基づきます。
- KPIのスコアは、ビジネス目標を基準としたKPIの成績を表します。詳細については、「目標」(58 ページ)を参照してください。

**例**: KPIが%で計算され、しきい値が90%以上で良好だとします。KPIの値が90%~100%の範囲内 の場合、KPIのステータスは「良好」です。ステータスが同じでも、85%のスコアは65%より 大きく、97%のスコアは93%より大きくなります。このように、ステータスが同じ場合でも KPIと目標の傾向を捉えることができます。

正規化プロセスは、メトリックのユーザー定義しきい値に基づきます。KPIしきい値には、良好 (6.6~10)、警告 (3.3~6.6)、エラー (0~3.3) の3つのスコア範囲の区分があります。

スコア計算のプロセスは次のとおりです。

- 1. KPI結果を取得します。
- 2. KPI定義のしきい値によって構成されているステータス範囲を取得します。
- 3. 次の式でスコアを計算します。 F(n) = ((n - a) / (b - a)) \* (y - x) + x ここで:
  - a しきい値範囲の最小値
  - b しきい値範囲の最大値
  - x 対応するスコア範囲の最小値
  - y 対応するスコア範囲の最大値
  - n 結果の値

例:a=2000、b=5000の場合、スコアの値は7.33



例: MTTR (問題の解決までの時間)のようなメトリックのしきい値は、良好ステータスが1
 日、警告ステータスが7日です。スコアのスケールは一定です。8~10が良好ステータス、7~8が警告ステータス、0~7がエラーステータスです。

MTTRスケールのすべての値は、線形変換または指数変換によってスコアスケールに変換す る必要があります。下のしきい値が設定されていない (∞に等しい)ため、式は異なってい ます。

次の結果に基づいてスコアを確認します。

0.5日 → F(1) = ((0.5 - 0) / (1 - 0)) \* (10 - 8) + 8 = 9 (スコアは9)

4日 → F(4) = ((4 - 1) / (7 - 1)) \* (8 - 7) + 7 = 7.5 (スコアは7.5)

10日 → F(10) = (atan(10 - 7) / 1.5707))\*(7-0) = 4.43 (スコアは4.43)



## メトリックの数式と値

スコアカードKPIエンジンは、メトリックの値を、メトリックに対して指定された数式を使用して計

算します。また、メトリックフィルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限することもできます。

フォルダー

フォルダーは、KPIテンプレートのコンテナー (オーガナイザー) として用いられます。フォルダーに は、KPIテンプレートまたはほかのフォルダー (どちらか一方のみ) が入ります。同じKPIテンプレート が複数のフォルダーに属する場合もあります。

フォルダーとそのKPIは、スコアカードを使用しない場合に、フォルダーのKPIを使用してダッシュ ボードコンテンツを作成するために使用します。



# テンプレート定義の表示

- 1. [**スタジオ**] タブをクリックします。[KPIライブラリ] ペインが表示されていない場合、[アクティ ブなKPI] ペインのツールバーで [**ツリーを並べて表示**] ボタン
- 2. [KPIライブラリ]ペインで、関連するノードを選択します。
- 3. 次のどれかをクリックします。
  - a. ツリー内でスコアカードテンプレート、パースペクティブテンプレート、目標テンプレート、またはフォルダーをクリックして、その[構成の詳細]領域を表示します。
  - b. ツリー内でKPIテンプレート、未割り当てのKPIテンプレート、またはメトリックテンプレートをクリックし、[構成の詳細]または[計算の詳細]タブをクリックします。



# スコアカードテンプレートの[構成の詳細]タブ

このページには、[KPIライブラリ]ペインで選択したスコアカードテンプレートの構成情報が表示されます。

構成の詳細	
全般 - スコス	アカードテンプレ ート
*名前:	アプリケーションVP
説明:	アプリケーションVPスコアカード

### 全般 - スコアカードテンプレート

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	スコアカードテンプレートの名前。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
説明	スコアカードの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	スコアカードのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	スコアカードのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理] &gt; [設定] &gt; [BA設定]</b> の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。

# パースペクティブテンプレートの[構成の詳細] タブ

このページでは、パースペクティブテンプレートの構成を表示できます。

構成の詳細	
全般 - パース	ペクティブテンプレート
*名前:	顧客
説明:	顧客

#### 全般 - パースペクティブテンプレート

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	アクティブなパースペクティブテンプレートの名前。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
説明	パースペクティブの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	パースペクティブのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定]</b> > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	パースペクティブのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [ <b>BA設定</b> ] の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。

# 目標テンプレートの[構成の詳細]タブ

このページには、選択した目標テンプレートの構成情報が表示されます。

構成の詳細				
			ソーステン	ノブレートに移動
▼ 全般 - 目標	テンプレート			
*名前:	提供品質の改善			
説明:	<目標の説明>			
計算期間 : 計算根拠 :	毎月 ~ 重み付ぎ平均 ~	注:	ウェイトは計算への KPIのインパクトを判別しま す	
▼ 割り当て済み	укрі			
KPIの追加				
名前 🗘		ウェイト		
失敗したビシ	バネストランザクションの割合 (%)	1		

### 全般 - 目標テンプレート

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	目標テンプレートの名前。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
説明	目標テンプレートの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	目標のID番号。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	目標のタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
計算期間	目標テンプレートの計算期間。
計算根拠	目標のスコアをその子のスコアに基づいて計算するためのルールのタイプ。 次の中から選択できます。
	<ul> <li>ワーストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべての KPIの最低スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられて いる目標の最低スコアです。</li> </ul>
	<ul> <li>ベストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPI の最高スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられてい る目標の最高スコアです。</li> </ul>
	<ul> <li>重み付き平均:目標のスコアは、親目標に割り当てられているKPIのスコアに 重みを掛けたものの平均、または子目標が存在する場合は、子目標のスコア に重みを掛けたものの平均です。このルールをスタジオで選択すると、列 (ウェイト)が追加されるので、重み付き平均の計算で子(目標またはKPI)に 適用するウェイトを構成できます。この値を選択すると、重み付き平均の説 明が表示されます。</li> </ul>

割り当て済みKPIテンプレート

このセクションには、選択した目標テンプレートに割り当てられているKPIテンプレートがリストされます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<テーブル>	テーブルには次の情報がリストされます。
	• 名前: 目標テンプレートに割り当てられているKPIテンプレート。
	• <b>ウェイト:</b> 目標のスコアの計算に使用されるKPIのウェイト。

# KPIテンプレートの[構成の詳細]タブ

このページには、選択したKPIテンプレートの構成の詳細が表示されます。

構成の詳細	計算の詳細		
		ツース	テンプレートに移動
▼ 全般 - KF	<b>コ</b> テンプレート		
*名前:	失敗したビ	バネストランザクションの割合(%)	
説明:	測定期間中 すべての重	のすべての重要なアブリケーションのトランザクションの合計数に対する、 要なアプリケーションの失敗したトランザクションの数。	
計算期間 ▼ <b>结果</b> しきし	]: 每月	~	
方向性: 	ー 最小値が望まし	い ✓ 境界ステータスを含む (警告)	
0	5 10		100
▼ 追加詳細			
ビジネス	৾৾৻৵৻৻	の重要なアプリケーションの成功したトランザクションの数が十分であることを	確認しま
KPIのテ.	スト	保存	破棄

### 全般KPI

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	KPIテンプレートの名前。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
単位	KPIの値の単位。
説明	KPIテンプレートの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
計算期間	KPIの値の計算に用いられる期間 ([計算の詳細] タブで指定された数式を使用)。
ID	KPIのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ
	<b>バッグモード</b> ]設定をオンにします。
タイプ	KPIのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。

#### 結果しきい値

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
方向性	<ul> <li>次のどれかです。</li> <li>目標値が望ましい: 値が特定の値または特定の範囲内の値である場合、KPIの ステータスが最良である。それより大きくても小さくても悪化する。</li> <li>最小値が望ましい: 値が小さい場合、KPIのステータスが最良である。</li> <li>最大値が望ましい: 値が大きい場合、KPIのステータスが最良である。</li> </ul>
しきい値	関連するしきい値が、矢印に付属するボックスに表示されます。しきい値はKPI にステータスを割り当てるために使用されます。ステータスの詳細について は、「KPIとメトリックの数式、フィルター、ステータス、しきい値、値、傾 向、およびスコア」(60ページ)を参照してください。

UI要素	説明
	最小値と最大値が空白の場合は、しきい値が無限の値 (負の無限大と正の無限 大) であることを示します。この場合、しきい値はKPIテンプレートの過去の最 小値と最大値を使用します。
	[しきい値] フィールドの値は左から右に行くに従って大きくなります。
境界ステータス を含む (警告)	このオプションを選択した場合、KPIのステータスは <b>良好</b> 、 <b>警告</b> 、または <b>重大</b> の いずれかになります。
	このオプションを選択しない場合、KPIのステータスは <b>良好</b> または <b>重大</b> になりま す。

### 追加詳細

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
ビジネスモチベーション	KPIのビジネスモチベーション。

# KPIテンプレートの[計算の詳細]タブ

このページには、選択したKPIテンプレートの計算の詳細が表示されます。

### ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

構成の詳細	計算の詳細		
			ソーステンプレートに移動
🗸 ビジネス:	コンテキスト		
Application	PerformanceDe	no ビジネスコンテキストの選択	
▼ 数式			
PERCENTA SUM( Appli SUM(Applic )	PERCENTAGE_MATH( SUM(ApplicationPerformance.FailedTransaction,PERIOD_ENTITY=Period), SUM(ApplicationPerformance.TotalTransaction,PERIOD_ENTITY=Period),100 )		
▼ フィルター			
<ğıtéi	算するために使	用されるデータを選択してください>	フィルタービルダーを開く 検証
▼ コメント			
<もっと詳さ	間な説明を加え	て、数式とフィルターの背後のビジネスロジックまで示してください	
<b>КР</b> のテ.	21		保存 破棄

### ビジネスコンテキスト

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<ビジネスコンテキス	このボックスには、KPIテンプレートのビジネスコンテキストが表示され
ト>	ます。

### 数式

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
KPIの数式	KPIの値の計算に用いられる数式。

### フィルター

[フィルター]領域を使用して、KPIの計算に使用されるデータの範囲を制限できます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
フィルター	KPIを計算するデータの範囲を制限するフィルター。

コメント

[コメント]領域には、数式とその目的の説明を入力できます。

# メトリックテンプレートの[構成]タブ

このページには、選択したKPIテンプレートの構成の詳細が表示されます。

構成の詳細	計算の詳細	
▼ 全般 - メトリ	ックテンプレート	
<b>*</b> 名前:	月次ROI	*単位: US\$ ∽
説明:	自動化の月次ROI (投資利益率)の測定	
計算期間:	每月	
メトリックの	)テスト	

### 全般 - メトリックテンプレート

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	メトリックテンプレートの名前。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
単位	メトリックの値の単位。
説明	メトリックテンプレートの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
計算期間	メトリックの値の計算に用いられる期間 ([計算の詳細] タブで指定された数式 を使用)。
ID	KPIのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	KPIのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理] &gt; [設定] &gt; [BA設定]</b> の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。

# メトリックテンプレートの[計算]タブ

このページには、選択したメトリックテンプレートの計算の詳細が表示されます。

## ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

構成の詳細 計算の詳細	
▼ ビジネスコンテキスト	
OrchestrationAutomation	
▼ 数式	
SUM(AutomationROI.TOTALROI, PERIOD_ENTITY=Period)	
▼ フィルター	
<数式を計算するために使用されるデータを選択してください>	
▼ コメント	
<もっと詳細な説明を加えて、数式とフィルターの背後のビジネスロジックまで示してください	
>	
メトリックのテスト	

### ビジネスコンテキスト

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<ビジネスコンテキ	このボックスには、メトリックテンプレートのビジネスコンテキストが表
スト>	示されます。

#### 数式

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<メトリック数式>	メトリックの値の計算に用いられる数式。

### フィルター

[フィルター]領域を使用して、メトリックの計算に使用されるデータの範囲を制限できます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
フィルター	メトリックを計算するデータの範囲を制限するフィルター。

### コメント

[コメント]領域には、数式、フィルター、メトリック、およびその目的の説明を入力できます。

# フォルダーの[構成の詳細]タブ

このページには、選択したフォルダーの構成情報が表示されます。

構成の言	詳細			
▼ 全船	殳 - フォ	ルダー		
<b>*</b> 名	前:	етом		
説	明:	<フォルダーの説明>		
▼ 割	「当て済	「み KPIテンプレート		
名	前≑			
原	因タイフ 須に使り	プ別問題の割合(%) オネカキックテナンフ時間の割合(%)		
期	1g に反) 限まで			
平:	均故障			
<b>准</b> 則 <b>虚</b> 配	顧客によってレボートされた問題の割合(%) 略変から複数回しポートされたインドノデントの割合(%)			
雇配	· 顧客インシデント平均解決時間			

ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

#### 全般 - フォルダー

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	フォルダーの名前。 <b>制限事項:</b> 文字数の最大は240文字です。
説明	フォルダーの説明。 <b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	フォルダーのID番号。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [ <b>BA設定</b> ] の [デバッグモード] で [ <b>アプリケーションデ</b> バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	フォルダーのタイプ。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[管理] > [設定] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。

#### 割り当て済みKPI

このセクションには、選択したフォルダーに割り当てられているKPIがリストされます。

**注:** このセクションは、フォルダーに子フォルダーがない場合のみ表示されます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	このテーブルには、フォルダーに割り当てられているKPIテンプ レートがリストされます。

# テンプレートを使用したスコアカード、 パースペクティブ、目標、メトリック、 またはKPIのアクティブ化

関連するスコアカード、そのパースペクティブ、目標、KPI、およびメトリックをアクティブにする には、対応するテンプレートを [KPIライブラリ] ペインから [アクティブなKPI] ペインにドラッグしま す。

アクティブなKPIも作成するには、対応するKPIテンプレートを[KPIライブラリ]ペインからドラッグす る方法もあります。

アクティブなメトリックを作成するには、対応するメトリックテンプレートを [KPIライブラリ] ペイ ンからドラッグする方法もあります。

### アクセス方法:

[スタジオ] タブをクリックします。[KPIライブラリ] ペインが表示されていない場合、[アクティブな KPI] ペインのツールバーで [**ツリーを並べて表示**] ボタン をクリックするか、垂直の [KPIライブラ リ] ボタン (スタジオの左) をクリックします。



スコアカード

スコアカードは、組織の何らかのパフォーマンスの高レベルのスナップショット(視覚的サマリー)で す。スコアカードには目標の集合が表示され、目標のステータスを見ることで組織のパフォーマンス を評価します。

スコアカードは、複雑なビジネス情報を誰にでもわかる形にマップして変換する役割を果たします。 この方法では、組織によって定義されたターゲットから出発し、次にスコアカードの目標に進みま す。 次の表は、スコアカードの主要な要素がパフォーマンスに関する重要な問いにどのように関連するか を示します。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
パースペクティ ブ\戦略	達成しようとしている 戦略は何か?	パースペクティブの詳細については、「パースペク ティブ」(57ページ)を参照してください。
		スコアカードには、1つまたは複数のパースペク ティブを含めることができます。
		<b>例</b> : オペレーショナルエクセレンス。
目標	達成しようとしている 目標は何か?	目標の詳細については、「目標」(58ページ)を参照 してください。
		パースペクティブには、1つまたは複数の目標を含 めることができます。
		<b>例</b> : PC注文へのサービスリクエストに対するITの 応答性を2010年に20%改善する。
КРІ	パフォーマンスはどの ように測定するか?	KPIの詳細については、「重要業績評価指標 (KPI) お よびメトリック」(58ページ)を参照してください。
		目標には複数のKPIを含めることができます。
		<b>例</b> : PCの注文、構成、およびインストールにかか る時間。
しきい値	必要なパフォーマンス のレベルはどのくらい か?	24時間。

スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPIの設定済みテンプレートが用意されています。 これらのテンプレートは、ビジネス要素に対応します。詳細については、「テンプレートを使用した スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照 してください。

アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPIは、ダッシュボードに実際のデータを表示します。詳細については、「[アクティブなKPI] ペイン」(76ページ)を参照してください。

パースペクティブ

パースペクティブは、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

すべてのスコアカード定義には、既製の定義と、KPIにリンクされた目標を含むパースペクティブが 含まれます。

パースペクティブは、エグゼクティブが関連するビジネスの問題を追跡して分析するために役立つ目 標のグループを表します。

目標

目標は、エグゼクティブによって定義される全体的なパフォーマンスゴールを表します。目標は、 ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループに対する見出しの役割を果たします。

**例**: エグゼクティブがIT部門の応答性を測定したい場合、IT部門の応答性のさまざまな側面を測定 する目標が作成されます。

それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: PC購入までの時間など)。これらのKPIは、値、傾向、ステータスを提供します。

目標は、常にパフォーマンスゴールのステータスを示しますが、パフォーマンスの実際の値は表示し ません。一般的なスコアカードでは、目標はKPIのスコアを集計した累積的なパフォーマンスインジ ケーターを示します。スコアカードでは、目標はKPI階層構造のトップレベルに表示されます。

目標は、"SMART" (Specific: 具体的、Measurable: 測定可能、Action-Oriented: 活動主体、Realistic: 現実的、Time Bound: 期限付き) でなければなりません。この基準は、目標が達成されたかどうかを判 定できるようにするためのものです。

例:「コストの削減」という目標を「コストを削減すること」と定義した場合、組織が目標に達しなかったり、行き過ぎたりするおそれがあります。目標は、組織の行動にマイナスとプラスの両方の影響を与えます。目標が"SMART"基準を満たしていれば、より安定した結果が得られます。この目標を改善するには、たとえば「2011年中にITの運用費用を20%削減する」のように定義します。この新しい目標には、削減の対象となる費用、目指す削減率、期限、および組織が明示されています。これは基準を満たしており、達成可能です。

#### 親子の依存関係:

目標は、KPIの親ユニットです。目標の結果の計算には、特別なルールが用いられます。このルール は、子KPIのスコア結果に基づきます。使用可能な親子ルールは次のとおりです。

- BEST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最高スコアに対応します。
- WORST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最低スコアに対応します。
- WEIGHTED\_AVERAGE 親目標の結果は、子KPIのスコア値の重み付き平均値に対応します。

# 重要業績評価指標(KPI)およびメトリック

重要業績評価指標 (KPI) およびメトリックは、ビジネス価値の主要なドライバーを反映し、測定しま す。価値ドライバーは、正しく実行されることで将来の成功を保証する活動を表します。価値ドライ バーは、公表された財務および組織目標を達成するための正しい方向に組織を動かす役割を果たしま す。

例:価値ドライバーの例としては、「高い顧客満足度」や「優れた製品品質」が挙げられます。

KPIおよびメトリックに関する追加情報

KPIはメトリックですが、メトリックがすべてKPIであるわけではありません。最大の違いは、KPIは常 に戦略的価値ドライバーを反映しますが、メトリックはあらゆるビジネス活動の測定を表すことで す。メトリックは常に、パフォーマンスを反映した数値を示します。KPIはそのパフォーマンスをコ ンテキストの中に位置付けます。メトリックはしきい値と照合されません。

KPIは、株主が重視する財務指標 (利益率や収益など) に最も影響を与える領域で、組織がどの程度う まく機能しているかを反映します。

KPIは、予想に基づいてパフォーマンスを評価します。コンテキストは次の要素によって与えられます。

- 1. しきい値:パフォーマンスの許容範囲の上限と下限。
- 2. ターゲット: 定義済みの上げ幅。たとえば四半期ごとに10%の新規顧客など。
- 3. ベンチマーク:業界基準指標やさまざまな方法論 (シックスシグマなど)に基づきます。

4. 傾向: KPIのパフォーマンスの方向性。「向上」、「低下」、または「変更なし」のどれか。

**注:** スタジオKPIのすべての値としきい値は、[構成の詳細] タブと[計算の詳細] タブでの定義に依存します。定義は変更できます。

**例**: メトリックの例としては、MTTR (平均復旧時間) が挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を測定するものです。KPIの例としては、MTTRが挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を、定義済みのしきい値と比較して測定するものです。たとえば、「MTTRが1時間より短い」のように使用します。

KPIは、ビジネス価値の主要ドライバーを数式によって測定します。詳細については、「KPIとメト リックの数式、フィルター、ステータス、しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照し てください。

KPIテンプレート (設定済み)を使用すれば、KPIテンプレートをアクティブにして新しいKPIを作成でき ます。メトリックテンプレート (設定済み)を使用すれば、メトリックテンプレートをアクティブにし て新しいメトリックを作成できます。詳細については、「テンプレートを使用したスコアカード、 パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照してください。

KPIとメトリックの完全なリストは、「Excel形式のKPIライブラリ」を参照してください。

# KPIとメトリックの数式、フィルター、ステータ ス、しきい値、値、傾向、およびスコア

本項では、KPIまたはメトリックに関連する情報を記します。

#### KPIの数式、フィルター、および値

スコアカードKPIエンジンは、KPIの値を、KPIに対して指定されている数式を使用して計算し、KPIに 対して指定されているしきい値を使用して、KPIのステータスとスコアを設定します。また、KPIフィ ルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限する こともできます。

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

КРѤ́⊐−			- 1i   0 * ×
			<i>(</i> 4) ∨
	SLA遵守	牽 (%) ☰	
	(		
	0.00%	.000%	
	- 📀	FY2014/07(	07)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457	23456789

#### KPIのしきい値

エンジンは、KPIの値をKPIのしきい値と比較して、KPIのステータスを計算します。

#### KPIのステータス

KPIの ステータスは、 エラー、 警告、または 良好です。

#### KPIの傾向

傾向は、変化するKPI結果値の前の結果に対する方向性を示します。

傾向は次のとおりです。

- 向上: 現在の結果が前の結果より大きいことを示します。
- 低下:現在の結果が前の結果より小さいことを示します。
- 普通:現在の結果と前の結果が同じであることを示します。

KPIのスコア

KPIの値は、KPIに対して指定されているしきい値を使用して、スコアに変換されます。

すべてのスコアは、同じ測定スケール(0~10など)に正規化されます。これにより、異なるタイプの KPIのスコアに基づいて目標を計算できます。スコアは、ビジネス価値のステータスと、しきい値か らの相対距離を反映しています。

これに加えて、次のことが言えます。

- 親子ルール計算はすべて、子のスコアに基づきます。
- KPIのスコアは、ビジネス目標を基準としたKPIの成績を表します。詳細については、「目標」(58 ページ)を参照してください。

**例**: KPIが%で計算され、しきい値が90%以上で良好だとします。KPIの値が90%~100%の範囲内 の場合、KPIのステータスは「良好」です。ステータスが同じでも、85%のスコアは65%より 大きく、97%のスコアは93%より大きくなります。このように、ステータスが同じ場合でも KPIと目標の傾向を捉えることができます。

正規化プロセスは、メトリックのユーザー定義しきい値に基づきます。KPIしきい値には、良好 (6.6~10)、警告 (3.3~6.6)、エラー (0~3.3) の3つのスコア範囲の区分があります。

スコア計算のプロセスは次のとおりです。

- 1. KPI結果を取得します。
- 2. KPI定義のしきい値によって構成されているステータス範囲を取得します。
- 3. 次の式でスコアを計算します。 F(n) = ((n - a) / (b - a)) \* (y - x) + x ここで:
  - a しきい値範囲の最小値
  - b しきい値範囲の最大値
  - x 対応するスコア範囲の最小値
  - y 対応するスコア範囲の最大値
  - n 結果の値

例:a=2000、b=5000の場合、スコアの値は7.33



**例**: MTTR (問題の解決までの時間) のようなメトリックのしきい値は、良好ステータスが1 日、警告ステータスが7日です。スコアのスケールは一定です。8~10が良好ステータス、 7~8が警告ステータス、0~7がエラーステータスです。

MTTRスケールのすべての値は、線形変換または指数変換によってスコアスケールに変換す る必要があります。下のしきい値が設定されていない (∞に等しい)ため、式は異なってい ます。

次の結果に基づいてスコアを確認します。

0.5日 → F(1) = ((0.5 - 0) / (1 - 0)) \* (10 - 8) + 8 = 9 (スコアは9)

4日 → F(4) = ((4 - 1) / (7 - 1)) \* (8 - 7) + 7 = 7.5 (スコアは7.5)

10日 → F(10) = (atan(10 - 7) / 1.5707))\*(7-0) = 4.43 (スコアは4.43)



## メトリックの数式と値

スコアカードKPIエンジンは、メトリックの値を、メトリックに対して指定された数式を使用して計

算します。また、メトリックフィルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限することもできます。



#### 本項の内容

•	[KPIライブラリ] ペインから [アクティブなKPI] ペインにテンプレートをドラッグすることによ	
る,	ノードのアクティブ化	.64
•	メトリックまたはKPIのアクティブ化	65
•	フォルダーKPIのアクティブ化	. 65

# [KPIライブラリ]ペインから[アクティブなKPI]ペ インにテンプレートをドラッグすることによる ノードのアクティブ化

ノードテンプレートのアクティブなコピーを作成するには、テンプレートを [KPIライブラリ] ペイン から [アクティブなKPI] ペインにドラッグします。その後、[アクティブなKPI] ペインでアクティブな コピーを変更できます。

ノードテンプレートを使用してノードを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- [KPIライブラリ] ペインと [アクティブなKPI] ペインを並べて作業する必要があるので、必要な場合、[KPIライブラリ] バーをクリックして、[KPIライブラリ] ペインと [アクティブなKPI] ペイン を並べて表示します。
- 3. [表示:] リストから [スコアカードテンプレートツリー] を選択します。[KPIライブラリ] ペイン に、[スコアカード] テンプレートツリーと未割り当てのKPIが表示されます。
- アクティブノードを作成するには、[KPIライブラリ]ペインのスコアカードツリーで関連する ノードテンプレートをクリックし、[アクティブなKPI]ペインにドラッグします。
   [KPIライブラリ]ペインから[アクティブなKPI]ペインにノードを次のようにドラッグアンドドロップできます。
  - スコアカードテンプレートは [アクティブなKPI] ペインの任意の場所にドロップできます。
  - パースペクティブテンプレートは関連するスコアカードのみにドロップできます。
  - 目標テンプレートは関連するパースペクティブまたはほかの目標 (ターゲットの目標にKPIが含まれない場合)のみにドロップできます。

これにより、ノードテンプレートの動作するコピーが、すべてのサブツリー構造を含めて作成されま す。新しいノードには、一意の名前が与えられます。一意な名前の詳細については、「アクティブな スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)「詳細情報」の項を参 照してください。

# メトリックまたはKPIのアクティブ化

メトリックまたはKPIテンプレートのコピーを作成するには、[アクティブなKPI] ペインにテンプレートをドラッグします。その後、[アクティブなKPI] ペインでアクティブなコピーを変更できます。

メトリックまたはKPIテンプレートを使用してメトリックまたはKPIを作成するには、次の手順を実行 します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**KPIライブラリ**]バーをクリックして、KPIライブラリを開きます。
- 3. [表示:] リストから [KPI] を選択します。メトリックまたはKPIのリストが [表示:] ボックスの下に 表示されます。
- アクティブなメトリックまたはKPIを作成するには、[KPIライブラリ]ペインのKPIツリーで関連す るメトリックまたはKPIテンプレートをクリックし、[アクティブなKPI]ペインにドラッグしま す。

これにより、メトリックまたはKPIテンプレートの動作するコピーが作成されます。[アクティブな KPI] ペインに配置されたメトリックまたはKPIはアクティブ化され、関連するデータがダッシュボー ドの関連するコンポーネントに表示されます。

メトリックは、[パブリックメトリックとKPI] ディレクトリに自動的に移動されます。

KPIを関連する目標に移動することもできます。空のスペースに移動すると、自動的に[パブリックメ トリックとKPI] ディレクトリに移動されます。メトリックを[パブリックメトリックとKPI] ディレク トリに直接移動することもできます。

# フォルダーKPIのアクティブ化

アクティブなKPIを作成するには、フォルダーKPIテンプレートをKPIライブラリから[アクティブなKPI] ペインにドラッグします。その後、[アクティブなKPI] ペインでアクティブなコピーを変更できま す。

フォルダーKPIテンプレートを使用してKPIを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- [KPIライブラリ] ペインと [アクティブなKPI] ペインを並べて作業する必要があるので、必要な場合、[KPIライブラリ] バーをクリックして、[KPIライブラリ] ペインと [アクティブなKPI] ペインを並べて表示します。
- 3. [**表示:**] リストから [**HPポートフォリオ**] を選択します。[KPIライブラリ] ペインに、[フォルダー] テンプレートツリーと未割り当てのKPIが表示されます。

4. アクティブノードを作成するには、[KPIライブラリ]ペインのフォルダーツリーで関連するKPIテ ンプレートをクリックし、[アクティブなKPI]ペインにドラッグします。

これにより、KPIテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しいKPIには、一意の名前が 与えられます。一意な名前の詳細については、「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目 標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)「詳細情報」の項を参照してください。



# [KPIライブラリ]ペイン

このペインには、利用可能なスコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPIテンプレートのツ リーに加えて、フォルダーと未割り当てのKPIテンプレートが含まれます。

KPIวイブラリ 《			
テンプレートの項目を[アクティブなKPI]ツリーにドラッグアンド × ドロップして、システムでそれらをアクティブにします。			
<i>詳細情報</i>			
e e o			
表示: ビジネススコアカード ~			
検索: <			
▼ 🖻 ビジネススコアカード			
▶ 📾 ALM-Rndディレクター			
▶IIIa その他			
▶ 🖫 アプリケーションVP			
▶  VPOps			

[KPIライブラリ]ペインで要素を選択すると、スタジオの右端のペインに、選択した要素の構成が表示されます。

**注**:フィールドが空でもよい場所に関連情報を入力すると、フィールドの内容が自動的に検証されます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明		
マクティブなKPI	[KPIライブラリ] ペインが閉じている場合は、[KPIライブラリ] バー をクリックします。[アクティブなKPI] ペインが閉じている場合 も、同様の操作を行います。		
し、 レート項目をKPIライブ	ペインを折りたたむには、ペインの右上隅にある<<をクリックし ます。		
プレます。	両方のペインを [構成の詳細] / [計算の詳細] タブとともに並べて表 示できます。		
0	<b>ツリーの更新:</b> クリックするとツリーの表示が更新されます。詳細 については、「テンプレート」(34ページ)を参照してください。		
	ツリーのノードの折りたたみと展開を行います。		
<ツリー>	ツリーには、スコアカードテンプレート、パースペクティブテン プレート、目標テンプレート、およびKPIテンプレートの階層構造 が表示されます。フォルダーとそのKPIテンプレート、および未割 り当てのKPIテンプレートが表示される場合もあります。概念の詳 細については、「テンプレート」(34ページ)の「詳細情報」の項 を参照してください。		
表示	現在のテンプレートツリーを表示します。		
	<b>注:</b> 選択を変更するには、ボックスの右側の矢印をクリック し、テンプレートのリストで表示したいテンプレートを選択 します。		
検索	文字列を入力して、名前にその文字列を含むすべての要素 (スコア カード、パースペクティブ、目標、およびKPIテンプレート、未割 り当てのKPIテンプレート、およびフォルダー) をツリー内で検索 します。		
	フィルターは、ルートから指定された文字列を名前に含む要素ま でのツリーの部分 (パス) を返します。このパスに直接含まれない 要素は返されません。要素の子サブツリーは、折りたたまれて要 素の下に表示されます。		
	指定した文字列が複数の要素に含まれる場合、これらの要素への パスも表示されます。		
	<b>例:</b> 次のようなツリーがあったとします。		

## ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

UI要素	説明
	KPIライブラリ 《
	テンプレートの項目を[アクティブなKPI] ツリーにドラッ × グアンドドロップして、システムでそれらをアクティブ にします。
	<i>詳細情報</i>
	表示: HPポートフォリオ ~
	検索: < <u><!--</u--></u>
	▼ 音 HPポートフォリオ
	▶ 🔂 HP IT Performance Suiteのポートフォリオ
	▶ 🛅 IaaSリソースプロバイダー
	グアンドドロップして、システムでそれらをアクティブ 「にします。
	<i>詳細情報</i>
	Et EL C
	表示: HPボートフォリオ ~
	► HPボートフォリオ
	▼ 音 HP IT Performance Suiteのボートフォリオ
	→ Business Service Automation
	────────────────────────────────────

# アクティブなスコアカード、パースペク ティブ、目標、メトリック、KPIの作成

[アクティブなKPI] ペインで、アクティブなスコアカード、そのパースペクティブ、目標、メトリック、およびKPIを直接作成できます。

注:以下の各項では、「ノード」はスコアカード、パースペクティブ、または目標を表します。

#### アクセス方法:

[スタジオ] タブをクリックします。[アクティブなKPI] ペインが表示されていない場合 (既定では表示 されます)、[アクティブなKPI] バーをクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



# スコアカード

スコアカードは、組織の何らかのパフォーマンスの高レベルのスナップショット(視覚的サマリー)で す。スコアカードには目標の集合が表示され、目標のステータスを見ることで組織のパフォーマンス を評価します。

スコアカードは、複雑なビジネス情報を誰にでもわかる形にマップして変換する役割を果たします。 この方法では、組織によって定義されたターゲットから出発し、次にスコアカードの目標に進みま す。

次の表は、スコアカードの主要な要素がパフォーマンスに関する重要な問いにどのように関連するか を示します。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
パースペクティ ブ\戦略	達成しようとしている 戦略は何か?	パースペクティブの詳細については、「パースペク ティブ」(57ページ)を参照してください。
		スコアカードには、1つまたは複数のパースペク ティブを含めることができます。
		<b>例</b> : オペレーショナルエクセレンス。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
目標	達成しようとしている 目標は何か?	目標の詳細については、「目標」(58ページ)を参照 してください。
		パースペクティブには、1つまたは複数の目標を含 めることができます。
		<b>例</b> : PC注文へのサービスリクエストに対するITの 応答性を2010年に20%改善する。
KPI	パフォーマンスはどの ように測定するか?	KPIの詳細については、「重要業績評価指標 (KPI) お よびメトリック」(58ページ)を参照してください。 目標には複数のKPIを含めることができます。
		<b>例</b> : PCの注文、構成、およびインストールにかか る時間。
しきい値	必要なパフォーマンス のレベルはどのくらい か?	24時間。

スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPIの設定済みテンプレートが用意されています。 これらのテンプレートは、ビジネス要素に対応します。詳細については、「テンプレートを使用した スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照 してください。

アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPIは、ダッシュボードに実際のデータを表示します。詳細については、「[アクティブなKPI]ペイン」(76ページ)を参照してください。

パースペクティブ

パースペクティブは、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

すべてのスコアカード定義には、既製の定義と、KPIにリンクされた目標を含むパースペクティブが 含まれます。

パースペクティブは、エグゼクティブが関連するビジネスの問題を追跡して分析するために役立つ目 標のグループを表します。



目標は、エグゼクティブによって定義される全体的なパフォーマンスゴールを表します。目標は、

ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループに対する見出しの役割を果たします。

**例**: エグゼクティブがIT部門の応答性を測定したい場合、IT部門の応答性のさまざまな側面を測定 する目標が作成されます。

それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: PC購入までの時間など)。これらのKPIは、値、傾向、ステータスを提供します。

目標は、常にパフォーマンスゴールのステータスを示しますが、パフォーマンスの実際の値は表示しません。一般的なスコアカードでは、目標はKPIのスコアを集計した累積的なパフォーマンスインジケーターを示します。スコアカードでは、目標はKPI階層構造のトップレベルに表示されます。

目標は、"SMART"(Specific: 具体的、Measurable: 測定可能、Action-Oriented: 活動主体、Realistic: 現実的、Time Bound: 期限付き) でなければなりません。この基準は、目標が達成されたかどうかを判 定できるようにするためのものです。

例:「コストの削減」という目標を「コストを削減すること」と定義した場合、組織が目標に達しなかったり、行き過ぎたりするおそれがあります。目標は、組織の行動にマイナスとプラスの両方の影響を与えます。目標が"SMART"基準を満たしていれば、より安定した結果が得られます。この目標を改善するには、たとえば「2011年中にITの運用費用を20%削減する」のように定義します。この新しい目標には、削減の対象となる費用、目指す削減率、期限、および組織が明示されています。これは基準を満たしており、達成可能です。

#### 親子の依存関係:

目標は、KPIの親ユニットです。目標の結果の計算には、特別なルールが用いられます。このルール は、子KPIのスコア結果に基づきます。使用可能な親子ルールは次のとおりです。

- BEST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最高スコアに対応します。
- WORST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最低スコアに対応します。
- WEIGHTED\_AVERAGE 親目標の結果は、子KPIのスコア値の重み付き平均値に対応します。

# 一意な名前の詳細について

各エンティティ (スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPI) の名前は一意で ある必要がありますが、一意である必要があるコンテキストはそれぞれ異なっています。

### スコアカード名は同じアクティブなツリー内で一意であること

スコアカードテンプレートを [アクティブなKPI] ペインにドラッグアンドドロップした場合、そのサ ブツリー構造すべてを含むスコアカードテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。同じ名 前のスコアカードが [アクティブなKPI] ペインにすでに存在する場合、新しく追加されたスコアカー ドの名前に、(n) というサフィックスが付けられます (1回目はn=0で、必要に応じてnの値が増やされ ます)。

#### パースペクティブ名は同じスコアカード内で一意であること

パースペクティブテンプレートを [アクティブなKPI] ペインにドラッグアンドドロップした場合、 パースペクティブテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しいパースペクティブは、 スコアカードツリー内で一意の名前を持つ必要があります。そのパースペクティブがスコアカードツ リーにまだ存在していない場合は、パースペクティブテンプレートと同じ名前が付けられます。同じ 名前のパースペクティブが同じスコアカードツリーにすでに存在する場合、新しく追加されたパース ペクティブの名前に、(n) というサフィックスが付けられます (1回目はn=0で、必要に応じてnの値が 増やされます)。

## 目標名は同じ親(パースペクティブまたは目標)の下で一意であること

目標テンプレートを[アクティブなKPI]ペインにドラッグアンドドロップした場合、目標テンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しい目標は、同じ階層レベルのパースペクティブまたは目標ツリートで一意の名前を持つ必要があります。その目標がパースペクティブまたは目標ツリーにまだ存在していない場合は、目標テンプレートと同じ名前が付けられます。同じ名前の目標が同じパースペクティブまたは目標ツリーにすでに存在する場合、新しく追加された目標の名前に、(n)というサフィックスが付けられます(1回目はn=0で、必要に応じてnの値が増やされます)。

### KPI名は同じアクティブなツリー内で一意であること

KPIテンプレートを[アクティブなKPI]ペインにドラッグアンドドロップした場合、KPIテンプレートの アクティブなコピーが作成されます。新しいKPIは、[アクティブなKPI]ペイン内で一意の名前を持つ 必要があります。そのKPIがアクティブなツリーにまだ存在していない場合は、KPIテンプレートと同 じ名前が付けられます。同じ名前のKPIが同じアクティブなツリーにすでに存在する場合、新しく追 加されたKPIの名前に、(n)というサフィックスが付けられます(1回目はn=0で、必要に応じてnの値が 増やされます)。同じKPIが複数の目標に割り当てられる場合があります。

### メトリック名は同じアクティブなツリー内で一意であること

メトリックテンプレートを[アクティブなKPI]ペインにドラッグアンドドロップした場合、メトリッ クテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しいメトリックは、[アクティブなKPI]ペ イン内で一意の名前を持つ必要があります。そのメトリックがツリーにまだ存在していない場合は、 メトリックテンプレートと同じ名前が付けられます。同じ名前のメトリックが同じツリーにすでに存 在する場合、新しく追加されたメトリックの名前に、(n)というサフィックスが付けられます(1回目 はn=0で、必要に応じてnの値が増やされます)。

## 重要な情報

[アクティブなKPI] ペインで要素を選択すると、スタジオの右端のペインに、選択した要素の構成が 表示されます。

- スコアカードの詳細については、「スコアカードの構成の詳細」(83ページ)のUIの説明の項を参照 してください。
- パースペクティブの詳細については、「パースペクティブの構成の詳細」(91ページ)のUIの説明の 項を参照してください。
- 目標の詳細については、「目標の構成の詳細」(95ページ)のUIの説明の項を参照してください。
KPIの詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)のUIの説明の項を参照してください。

**注:** フィールドが空でもよい場所に関連情報を入力すると、フィールドの内容が自動的に検証されます。

### • タスク

#### 本項の内容

•	新規ノードの作成	. 73
•	アクティブな新規KPIの作成	74
•	新規メトリックの作成	74
•	既存のKPIまたはメトリックの複製によるアクティブなKPIまたはメトリックの作成	75
•	KPIの削除	76
•	使用例 - スコアカードツリーの作成とKPIの新規作成	76

### 新規ノードの作成

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、[新規エンティティの作成] \*\* ボタンをクリックします。
- 3. メニューが開いたら、[スコアカード]、[パースペクティブ]、[目標]のどれかのオプションを選 択します。選択に応じて、[アクティブなKPI]ペインで次のいずれかのことが起こります。
  - [アクティブなKPI]のツリーの下部に新規スコアカードノードが追加されます。新規スコア カードには、自動生成された一意の名前が付けられます。スコアカードはツリーで自動的に選 択されます。その後、スコアカードを構成できます。詳細については、「スコアカードの構成 の詳細」(83ページ)を参照してください。
  - パースペクティブを追加する前に選択したスコアカードツリーの下部に、新規パースペクティ ブノードが追加されます(新規パースペクティブの作成オプションは、スコアカードを選択し てある場合のみ利用できます)。新規パースペクティブには、自動生成された一意の名前が付 けられます。パースペクティブはツリーで自動的に選択されます。その後、パースペクティブ を構成できます。詳細については、「パースペクティブの構成の詳細」(91ページ)を参照して ください。

目標を追加する前に選択したパースペクティブの下部に、新規目標ノードが追加されます(新規目標の作成オプションは、パースペクティブを選択してある場合のみ利用できます)。新規目標には、自動生成された一意の名前が付けられます。目標はツリーで自動的に選択されます。その後、目標を構成できます。詳細については、「目標の構成の詳細」(95ページ)を参照してください。

**注:** 新規目標は、選択した目標の下部にも作成できます。ただし、選択した目標にまだKPIが存在しないことが条件です。

### アクティブな新規KPIの作成

アクティブなKPIを新規作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次の操作を実行できます。
  - KPIを割り当てる目標を選択し、[新規エンティティの作成] ※ ボタンをクリックし、表示されたメニューで[KPI]オプションを選択します。新規KPIが目標ツリーの一番下に追加されます。新規KPIには、自動生成された一意の名前が付けられます。KPIはツリーで自動的に選択されます。KPIの名前は変更できます。その後、KPIを構成できます。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。
  - [パブリックメトリックとKPI] ディレクトリを選択し、[新規エンティティの作成] \* ボタン をクリックし、表示されたメニューで [KPI] オプションを選択します。新しい未割り当ての KPIまたはメトリックがディレクトリに追加されます。名前の後には (n) が付けられます。こ こでnは、同じKPIまたはメトリックから作成された複製の数を表します。KPIまたはメトリッ クの名前は変更できます。その後、KPIまたはメトリックを構成できます。詳細については、 「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。その 後、KPIを関連する目標に移動できます。

### 新規メトリックの作成

本項では、新しいメトリックを作成する方法を説明します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- [アクティブなKPI] ペインで[パブリックメトリックとKPI] ディレクトリを選択し、[新規エン ティティの作成] \* アイコンをクリックしてから[メトリック]をクリックします。
- 新しいメトリックの名前と説明を入力し、単位と計算期間を設定します。[作成]をクリックすると、新しいメトリックが作成されます。
   詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」を参照してください。

- 4. [計算の詳細] タブをクリックしてビジネスコンテキストを選択し、数式とフィルターを設定しま す。完了したら、[作成] をクリックします。
- 5. 作成したメトリックの結果が想定どおりであることを確認するには、[メトリックのテスト]ボタ ンをクリックします。結果が想定どおりではない場合は、メトリック数式を変更して結果を再 度チェックします。
- メトリックの確認ができたら、[すぐに計算]をクリックしてエンジンを起動します。詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「計算」を参照してください。
   新規作成したメトリックの結果が計算され、ダッシュボードに表示されます。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

# 既存のKPIまたはメトリックの複製によるアク ティブなKPIまたはメトリックの作成

アクティブなKPIまたはメトリックを新規作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン (右上隅) をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**] ペインで、複製するKPIまたはメトリックを右クリックして[**現在のエンティ ティのコピーを作成**] 日 オプションを選択するか、KPIまたはメトリックを選択してアクティブ

なKPIツールバーの [現在のエンティティのコピーを作成] <sup>(1)</sup> ボタンをクリックします。 複製したKPIまたはメトリックは、目標に対するKPIのリストの末尾、または [パブリックメト リックとKPI] ディレクトリの末尾に追加されます。名前の後には (n) が付けられます。ここでn は、同じKPIから作成された複製の数を表します。KPIまたはメトリックの名前は変更できます。

その後、KPIまたはメトリックを構成できます。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。

KPIの削除

既存のアクティブなKPIを永久に削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - ・該当するKPIを選択し、アクティブなKPIツールバーの
     [現在選択されているノードを削除]

     ボタンをクリックします。
  - 該当するKPIを右クリックし、開いたメニューで [**削除**] オプションを選択します。
- 3. 選択したKPIに応じて、次の動作が行われます。
  - KPIが目標の子である場合、削除を確認するように求められたときに、次のいずれかを選択できます。
    - 目標からこの特定のKPIを割り当て解除。[はい]をクリックするとこの動作が行われます。
    - システムからこのKPIを削除。このオプションを選択した場合、[はい]をクリックする
       と、リストされているアクティブなKPIインスタンスがすべて削除されます。
  - 未割り当てのKPIの場合、[はい]をクリックするとKPIが削除されます。

### 使用例 - スコアカードツリーの作成とKPIの新規 作成

詳細については、『Getting Started with BA』の「Use Case - Build a Scorecard Tree and Create a New KP」を参照してください。



# [アクティブなKPI]ペイン

このペインには、アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPI、および 未割り当てのKPIとメトリックを含む [パブリックメトリックとKPI] ディレクトリのツリーが表示され ます。



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
	[KPIライブラリ] ペインが閉じている場合は、[KPIライブラリ] バー をクリックします。[アクティブなKPI] ペインが閉じている場合 も、同様の操作を行います。
マ、システムで構成され、 う。 するには、ここをクリッ レート項目をKPIライブ	ペインを折りたたむには、ペインの右上隅にある<<をクリックし ます。
<i>プします。</i>	両方のペインを[構成の詳細]/[計算の詳細]タブとともに並べて表 示できます。
*	<b>新規エンティティの作成:</b> クリックするとメニューが表示され、次 のいずれかを選択できます。
	<ul> <li>スコアカード: 新規スコアカードがツリーの一番下に表示され ます。スコアカードの [構成の詳細] タブが構成ペイン、新規ス コアカードの詳細を入力できます。詳細については、「スコア</li> </ul>

UI要素	説明
	カードの構成の詳細」(83ページ)のUIの説明の項を参照してく ださい。
	<ul> <li>パースペクティブ:新規パースペクティブが選択したスコアカー ドの下でツリーの一番下に表示されます。パースペクティブの [構成の詳細] タブが構成ペイン、新規パースペクティブの詳細 を入力できます。詳細については、「パースペクティブの構成 の詳細」(91ページ)のUIの説明の項を参照してください。</li> </ul>
	• 目標:新規目標が選択したパースペクティブの下でツリーの一 番下に表示されます。目標の[構成の詳細]タブが構成ペイン、 新規目標の詳細を入力できます。詳細については、「目標の構 成の詳細」(95ページ)のUIの説明の項を参照してください。
	<ul> <li>KPI: 未割り当ての新規KPI、または選択した目標のKPIがツリーの一番下に表示されます。KPIの[構成]タブと[計算]タブが表示され、新規KPIの詳細を入力できます。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)のUIの説明の項を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>メトリック:新規メトリックがツリーの一番下に表示されます。メトリックの[構成] タブと[計算] タブが表示され、新規メトリックの詳細を入力できます。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)のUIの説明の項を参照してください。</li> </ul>
	現在のエンティティのコピーを作成: ツリー内のエンティティを選 択してボタンをクリックすると、エンティティが複製されます。 エンティティは、ツリー内の元のエンティティの下に、同じ名前 で作成されます。エンティティ名の後ろに括弧で囲んだ番号が追 加されます (例: MTTR(0))。
<b> <b> </b></b>	<b>現在選択されているノードの削除:</b> 削除するスコアカード、パース ペクティブ、目標、メトリック、KPI、KPIまたはメトリックブレー クダウンを選択して、ボタンをクリックします。
AG	<b>KPIまたはメトリックブレークダウンの作成:</b> KPIまたはメトリック に対する利用可能なエンティティのリストが表示されます。
	KPIブレークダウンまたはメトリックを作成するには、次のどれか の方法を使用します。
	<ul> <li>該当するKPI、メトリック、KPIブレークダウン、またはブレー クダウンメトリックを右クリックし、[ブレークダウン]を選択 して、開いたリストでエンティティとディメンションを選択し ます。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>該当するKPI、メトリック、KPIブレークダウン、またはメト リックブレークダウンを選択し、ツールバーのボタンをクリッ クします。エンティティとディメンションのリストが開いた ら、適切なエンティティとディメンションを選択します。</li> <li>KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンの詳細について は、「KPIブレークダウン」(178ページ)または「メトリックブレー クダウン」(185ページ)を参照してください。</li> </ul>
٢	<b>計算オプション:</b> 計算オプションを表示します。
	■ すぐに計算 すぐに計算:選択したユニバースのすべてのKPI および目標の値、ステータス、およびスコアを計算します。[すぐ に計算]ダイアログボックスが開いたら、ユニバースを選択して、 現在の期間に対する計算を実行することを確認します。詳細につ いては、「計算」(162ページ)を参照してください。
	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
	択したエンティティの再計算を実行します。再計算の期間は、過 去1年間に限定されます。[再計算]ダイアログボックスが開いた ら、ユニバースと期間を指定します。詳細については、「再計 算」(165ページ)を参照してください。
	III コンテキスト計算のスケジュール コンテキスト計算のスケ
	ジュール: [ビジネスコンテキスト計算のスケジューリング] ダイア ログボックスが開いたら、コンテキスト計算をスケジュールしま す。詳細については、「計算のスケジューリング」(168ページ)を 参照してください。
	☑ 計算監視 計算監視:[計算監視] ダイアログボック
	スが開きます。ビジネスコンテキストでの計算または再計算の履 歴の監視や、計算または再計算中のビジネスコンテキストの表示 を行います。詳細については、「計算と再計算の監視」(171ペー ジ)を参照してください。
Ea↑ Eat	ツリーのノードの折りたたみと展開を行います。
0	<b>ツリーの更新:</b> クリックするとツリーの表示が更新されます。
検索	文字列を入力して、名前にその文字列を含むすべての要素 (スコア カード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリック、KPIブレーク

UI要素	説明
	ダウン、またはメトリックブレークダウン) をツリー内で検索しま す。
	フィルターは、ルートから指定された文字列を名前に含む要素ま でのツリーの部分 (パス) を返します。このパスに直接含まれない 要素は返されません。要素の子サブツリーは、折りたたまれて要 素の下に表示されます。
	指定した文字列が複数の要素に含まれる場合、これらの要素への パスも表示されます。
	19]
	次のようなツリーがあったとします。
	アクティブなKPI 《
	システムで構成され、計算された要 × 素をすべて一覧表示します。要素を 追加するには、ここをクリックする か、上の横並びのアイコンをクリック し、テンプレート項目をKPIライブラリ から[アクティブなKPI]ペインにドラッ グアンドドロップします。 詳細情報 * ■ ■ 物 甘 ■ ○ ✓ 検索: < <u>検索</u> >
	▼ 合 アクティブなKPI
	▶  III ALM-Rndディレクター
	▶ III PMO
	► バブリックメトリックとKPI
	文字列「目標」を検索すると、結果のツリーは次のようになります。

UI要素	説明
	アクティブなKPI       《         システムで構成され、計算された要素をすべて一覧表示にます。要素を追加するに は、こをクリックするか、上の構造びのアイコンをクリックレ、テンプレート項目をKPIライブ うけから「アクティブなKPI       ※         *       ●       ●
<ヅIJー>	<ul> <li>ペインには、関連するスコアカード、パースペクティブ、目標、 KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、および[パブリックメトリックから成るアクティブなツリーが表示されます。</li> <li>・ツリーの任意の要素を右クリックすると、関連するオプションが表示されます。これはツールバーのオプションに対応します。また、オンラインヘルプを表示するための[ヘルプ]ボタンも含まれます。</li> <li>・ツリーのノード(スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPI)を移動するには、ツリーの適切な位置にノードをドラッグアンドドロップします。たとえば、KPIをある目標から別の目標にドラッグできます。</li> <li>・KPIブレークダウンを別のKPIにドラッグすることはできません。</li> <li>・メトリックブレークダウンを別のメトリックにドラッグすることはできません。</li> <li>・素割り当てのKPIを目標にドラッグして未割り当てのKPIに変更することはできません。</li> <li>・ドラッグアンドドロップ操作を実行する場合:</li> <li>・ショングアンドドロップ操作を実行する場合:</li> <li>・ショングアンドドロップできないことを示します。</li> </ul>

UI要素	説明
	します。
	[パブリックメトリックとKPI] ディレクトリに関する注意: こ のディレクトリ下にあるKPIとメトリックはパブリックであ り、1つまたは複数を変更すると、他のユーザーに影響を与え る可能性があります。スタンドアロンKPIを使用してスコア カードに割り当てる場合、割り当ての前に複製してくださ い。その後、変更して要件に合わせることができます。

# スコアカードの構成の詳細

アクティブ化されたスコアカードでは、ダッシュボードの関連するスコアカードコンポーネントに、 対応する目標がどの程度満たされているかが表示されます。

[アクティブなKPI] ペインで選択したアクティブなスコアカードの構成情報を表示して変更できま す。

注: この項で、「ノード」はスコアカードを表します。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI]ペインでスコアカードをクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



# アクティブなスコアカードの詳細について

スコアカードは、組織の何らかのパフォーマンスの高レベルのスナップショット(視覚的サマリー)で す。スコアカードには目標の集合が表示され、目標のステータスを見ることで組織のパフォーマンス を評価します。

スコアカードは、複雑なビジネス情報を誰にでもわかる形にマップして変換する役割を果たします。 この方法では、組織によって定義されたターゲットから出発し、次にスコアカードの目標に進みま す。

次の表は、スコアカードの主要な要素がパフォーマンスに関する重要な問いにどのように関連するか を示します。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
パースペクティ ブ\戦略	達成しようとしている 戦略は何か?	パースペクティブの詳細については、「パースペク ティブ」(57ページ)を参照してください。
		スコアカードには、1つまたは複数のパースペク ティブを含めることができます。
		<b>例</b> : オペレーショナルエクセレンス。

スコアカードの 要素	パフォーマンスに関す る重要な問い	詳細情報と例
目標	達成しようとしている 目標は何か?	目標の詳細については、「目標」(58ページ)を参照 してください。
		パースペクティブには、1つまたは複数の目標を含 めることができます。
		<b>例</b> : PC注文へのサービスリクエストに対するITの 応答性を2010年に20%改善する。
KPI	パフォーマンスはどの ように測定するか?	KPIの詳細については、「重要業績評価指標 (KPI) お よびメトリック」(58ページ)を参照してください。 目標には複数のKPIを含めることができます。
		<b>例</b> : PCの注文、構成、およびインストールにかか る時間。
しきい値	必要なパフォーマンス のレベルはどのくらい か?	24時間。

スコアカード、パースペクティブ、目標、およびKPIの設定済みテンプレートが用意されています。 これらのテンプレートは、ビジネス要素に対応します。詳細については、「テンプレートを使用した スコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照 してください。

アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPIは、ダッシュボードに実際のデータを表示します。詳細については、「[アクティブなKPI] ペイン」(76ページ)を参照してください。

スコアカード名は、同じアクティブなツリー内 で一意である必要があります。

スコアカードテンプレートを [アクティブなKPI] ペインにドラッグアンドドロップした場合、そのサ ブツリー構造すべてを含むスコアカードテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。同じ名 前のスコアカードが [アクティブなKPI] ペインにすでに存在する場合、新しく追加されたスコアカー ドの名前に、(n) というサフィックスが付けられます (1回目はn=0で、必要に応じてnの値が増やされ ます)。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

# バランススコアカード

バランススコアカードは、ビジネスユニットの使命と戦略を、具体的な目標と評価基準に翻訳する役 割を果たします。

バランススコアカードの目的は、組織戦略全体の一目でわかる全体像を提示することです。この方法 では、ビジネスのさまざまな側面が互いに影響を与えることが意識されています。バランススコア カードは、いくつかの重要な側面からパフォーマンスを調査します。

バランススコアカードはIT機能の管理のための有効なリソースであり、エグゼクティブにとって重要なすべての側面を明らかにしてくれます。

通常、バランススコアカードは次の側面を表します。

### IT価値パースペクティブ

IT価値という名称は、ITのビジネスに対する価値を明らかにする目的から来ています。その主な役割 は、ITとビジネスの間の整合性を組織のエグゼクティブに明らかにすることでもあります。

IT価値パースペクティブは、過去のビジネス上の決定とアクションの経済的結果を描き出します。財務指標は通常アクションより遅れるため、現在のビジネスを必ずしも反映しない可能性があります。 ただし、財務指標は特定の戦略が成功したかどうかを判定するには有効です。

財務指標は、ビジネスのライフサイクルの段階(成長、持続、および収穫)をしばしば反映します。成 長時の財務要件は、ターゲットとする市場、顧客グループ、および地域における収益や売り上げの成 長率に焦点が当たります。持続段階のビジネスでは、投資収益率、使用資本利益率、付加経済価値な どを測定します。収穫段階での分析では、会社へのキャッシュフローを最大化するビジネスの能力を 測定します。主要な財務指標の多くは、収益性に関連しています(営業収入、使用資本利益率、付加 経済価値など)。その他の財務指標は、株主価値(ROI、財務リスク管理など)または測定(収益成長率 および構成、コスト削減/生産性向上、資産利用率など)に関連しています。 その他のIT価値パースペクティブには次のものがあります。

- すべての重要な予測は、企業全体の収益性に現実的な影響を与えることがあります。
- エグゼクティブは、ITが費用予測に関連してどのような役割を果たすかを常に知っておく必要があります。
- 費用を予想と一致させることがきわめて重要です。
- エグゼクティブは、特定のコスト削減目標を追跡している場合があります。財務関連の目標とメトリックの組み合わせは、有用なダッシュボードに欠かせない要素の1つです。
- 支出が計画と地域をどのように関連付けるか。

# 顧客パースペクティブ

このパースペクティブは、バランススコアカードを作成する際に2番目に定義されることが多いパー スペクティブです。このパースペクティブは、主要な顧客成果測定(満足度、ロイヤリティ、維持 率、獲得率、利益率)を、ターゲットとする顧客および市場セグメントと整合させる役割を果たしま す。これらの価値提案は、主要な顧客成果測定のドライバー(主要な指標)を表します。「高い満足 度、維持率、獲得率、そして最終的に高い市場占有率を実現するために、会社は顧客に何を提供すべ きか?」顧客セグメント内の別の測定として、セグメントごとまたは顧客ごとの支出占有率(share of wallet)が挙げられます。主な顧客メトリック以外に、顧客価値提案は3つの領域に分類できます。製 品/サービスの属性、顧客との関係、イメージおよび評判です。

#### 例

- 製品/サービス属性のメトリックとしては、サービス、価格、品質が挙げられます。
- 顧客との関係のメトリックとしては、顧客への提供、対応および提供時間、カスタマーエク スペリエンスが挙げられます。
- イメージのメトリックとしては、市場占有率、ブランド認知度が挙げられます。

# オペレーショナルエクセレンスのパースペク ティブ

この運用パースペクティブは、戦略をサポートする内部ビジネスプロセスを反映します。財務および 顧客パースペクティブが設計された後で、顧客パースペクティブはその内部パースペクティブを定義 します。一般的に、顧客はこれらのプロセスに直接気づくことはありませんが、ビジネスの成功のた めにはこれらのプロセスが優れていることが重要です。BSCの顧客は、これらの重要なビジネスプロ セスをリーンとシックスシグマのレンズを通して見ることで、品質、歩留まり、スループット、サイ クル時間の補足的指標を発見します。このような指標は、コストの削減やカスタマーエクスペリエン スの改善といった潜在的な財務および顧客目標の定量化を可能にします。エンドツーエンドの重要な ビジネスプロセスから無駄と不具合を取り除くことで、組織はプロセスを成熟させ(シグマレベルま たは成熟度スケール)、リスクとコストを削減する機会を発見することができます。もう1つのメト リックであるブレークイーブンタイム(BET)は、製品の開発サイクルに関する有用な測定です。この 測定は、生産性の重要さを強調すると同時に、生産性を取得して比較します。この測定は、結果測定 というよりはインジケーターです。

ほかのパースペクティブとしては次のものがあります。

- エグゼクティブは、効率、予測可能性、長期的なスケーラビリティを保証するために、IT組織の内部プロセスを常に調査して改良する必要があります。
- 主な内部ITプロセスとしては、プロジェクト管理、変更管理、サポート管理、ネットワーク管理な どがあります。
- また、このパースペクティブで特定のサイクル時間短縮や品質イニシアチブが追跡される場合もあります。
- 内部プロセス改善に関連する目標およびメトリックは、ITの成熟に対するエグゼクティブのバラン スビューの重要な一部です。

# 将来方針パースペクティブ

将来方針パースペクティブは、組織の人的インフラストラクチャーを対象とするもので、最後に作成 するパースペクティブです。これが最後である理由は、ほかの戦略や目標を定義する間に、組織の発 展に関連するギャップや機会に気づくことがあるからです。このパースペクティブは、従業員、シス テム、および組織内の手順に関するパフォーマンスインジケーターを対象とします。

学習と成長の分野の3つの主要なカテゴリとして、従業員の能力、情報システムの能力、およびモチ ベーションの有効性と整合性が挙げられます。従業員に関する3つの主要な測定は、従業員の満足 度、従業員の持続性、および従業員の生産性です。これらのメトリックには、関連する戦略に基づく バリエーションが存在します。

例: 従業員の生産性は従業員のタイプによって分類することができ、これらのタイプの間の比も 補足情報として役立ちます。新しい技術、フレームワーク、または顧客セグメントに基づく職場 のスキル再教育の機会も、追加の指標となり得ます。役割に基づく学習またはスキルの目録に 関する組織的目標も、測定の対象となることがあります。ギャップが存在する場合は、教育また はアウトソーシングの機会につながることがあります。

ほかのパースペクティブとしては次のものがあります。

- IT組織内の人材への投資は、長期的な成功のためにきわめて重要です。
- 技術認証や能力の向上を目標としたトレーニングは、IT従業員の教育に対するマネジメントの本気 さを計るよい指標です。
- その他の重要なインジケーターとしては、給与の競争力、従業員の満足度、および従業員の離職
   率があります。
- チームの強みと弱みは何か?
- スタッフを異動させることによって成長させているか?
- ITの人的資源の総数は何人か? その中で、正社員と契約社員、国内と海外の比率はどうなっているか?

### ユーザー指向パースペクティブ

- エグゼクティブの直接の顧客は、ビジネスユニットのシニアマネージャーです。
- エグゼクティブがITの有効性に関する顧客パースペクティブを意識し続けることはきわめて重要です。
- 顧客が依存しているシステムの信頼性を測定します。
- サポートのレベル、プロジェクトのステータス、および全体的な満足度評価も測定します。
- 顧客の満足度が時間とともにどの程度向上しているか?
- 顧客サービスの定量可能な要素 (SLA、リクエスト、プロジェクト) がどのような値を示している か?
- 顧客の資金をどの程度うまく管理できているか?



#### 本項の内容

# ノードのカスタマイズ

ノードをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**]ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が[構成の詳細]ペインに 表示されます。
- 3. ノードの詳細を変更して[保存]をクリックし、変更を保存します。

### ノードの記入

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**]ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が[構成の詳細]ペインに 表示されます。
- また、次のノードを追加または削除して、ノードに記入することもできます。
   a. パースペクティブ:詳細については、「パースペクティブの構成の詳細」(91ページ)を参照 してください。
  - b. 目標:詳細については、「目標の構成の詳細」(95ページ)を参照してください。

- c. KPI: 詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。
- d. KPIブレークダウン: 詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。

 UIの説明

スコアカードの[構成の詳細]タブ

このページには、[アクティブなKPI]ペインで選択したアクティブなスコアカードの構成情報が表示されます。

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

構成の詳細		
		ソーステンプレートに移動
会船 - スコアカ〜	۲.	
	' <u> </u>	
*名前:	新規スコアカード	
説明:	<スコアカードの説明>	
▼ スコアカードのカスケード		
カスケードスコアカードの管理		

UI要素	説明
ソーステンプ レートに移動	[KPIライブラリ] ペインで、現在のスコアカードの作成に使用されたテンプレー トにカーソルを移動します。テンプレートの詳細が [構成の詳細] タブに表示さ れます。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[保存] 操作より後に行った変更が破棄されます。
ヘルプ ℃ ×	右上隅にある更新ボタンをクリックして、表示を更新します。

#### 全般 - スコアカード

### ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前	アクティブなスコアカードの名前。
	制限事項:
	• \/:*?" < >  は使用できません。
	• 文字数の最大は240文字です。
説明	スコアカードの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	スコアカードのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	スコアカードのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理] &gt; [設定] &gt; [BA設定]</b> の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。

#### スコアカードのカスケード

UI要素	説明
カスケードスコ アカードの管理	クリックすると[ <b>カスケードスコアカードの管理</b> ]ダイアログボックスが開き、 現在のスコアカードからのドリルダウンのターゲットスコアカードとなるスコ アカードを選択できます。詳細については、「スコアカードのカスケード」 (200ページ)を参照してください。
名前	カスケードスコアカードの名前。
削除	対応する [ <b>削除</b> ] <sup>- ∭</sup> ボタンをクリックすると、選択したスコアカードがカス ケードスコアカードのリストから削除されます。

# パースペクティブの構成の詳細

アクティブ化されたパースペクティブは、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

**注:** この項で、「ノード」はパースペクティブを表します。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI]ペインでパースペクティブをクリックします。





パースペクティブ

パースペクティブは、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

すべてのスコアカード定義には、既製の定義と、KPIにリンクされた目標を含むパースペクティブが 含まれます。

パースペクティブは、エグゼクティブが関連するビジネスの問題を追跡して分析するために役立つ目 標のグループを表します。

# パースペクティブ名は、同じスコアカード内で 一意である必要があります。

パースペクティブテンプレートを [アクティブなKPI] ペインにドラッグアンドドロップした場合、 パースペクティブテンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しいパースペクティブは、 スコアカードツリー内で一意の名前を持つ必要があります。そのパースペクティブがスコアカードツ リーにまだ存在していない場合は、パースペクティブテンプレートと同じ名前が付けられます。同じ 名前のパースペクティブが同じスコアカードツリーにすでに存在する場合、新しく追加されたパース ペクティブの名前に、(n) というサフィックスが付けられます (1回目はn=0で、必要に応じてnの値が 増やされます)。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

### ノードのカスタマイズ

ノードをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**] ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が [構成の詳細] ペインに 表示されます。
- 3. ノードの詳細を変更して [保存]をクリックし、変更を保存します。

ノードの記入

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**]ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が[構成の詳細]ペインに 表示されます。
- また、次のノードを追加または削除して、ノードに記入することもできます。
   a. 目標:詳細については、「目標の構成の詳細」(95ページ)を参照してください。
  - b. KPI: 詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してください。
  - c. KPIブレークダウン: 詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。

UIの説明

# パースペクティブの[構成の詳細]タブ

このページでは、アクティブなパースペクティブの構成を表示できます。

成の詳細		
		ソーステンプレートに移重
般 - バースベ	クティブ	
*名前:	新規パースベクティブ	
説明:		

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
ソーステンプ レートに移動	[KPIライブラリ] ペインで、現在のパースペクティブの作成に使用されたテンプ レートにカーソルを移動します。テンプレートの詳細が[構成の詳細] タブに表 示されます。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[保存] 操作より後に行った変更が破棄されます。
へルプ <b>G</b> ×	クリックすると表示が更新されます。

#### 全般 - パースペクティブ

UI要素	説明
名前	アクティブなパースペクティブの名前。
	制限事項:
	• \/:*?" < >  は使用できません。
	• 文字数の最大は240文字です。
説明	パースペクティブの説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	パースペクティブのID。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定]</b> > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	パースペクティブのタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定]</b> > [ <b>BA設定</b> ] の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。

### 目標の構成の詳細

アクティブ化された目標は、スコアカードに含まれる戦略の1つを表します。

注:この項で、「ノード」は目標を表します。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI]ペインで目標をクリックします。





### アクティブな目標の詳細について

目標は、エグゼクティブによって定義される全体的なパフォーマンスゴールを表します。目標は、 ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループに対する見出しの役割を果たします。

**例**: エグゼクティブがIT部門の応答性を測定したい場合、IT部門の応答性のさまざまな側面を測定 する目標が作成されます。

それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: PC購入までの時間など)。これらのKPI は、値、傾向、ステータスを提供します。

目標は、常にパフォーマンスゴールのステータスを示しますが、パフォーマンスの実際の値は表示し ません。一般的なスコアカードでは、目標はKPIのスコアを集計した累積的なパフォーマンスインジ ケーターを示します。スコアカードでは、目標はKPI階層構造のトップレベルに表示されます。

目標は、"SMART" (Specific: 具体的、Measurable: 測定可能、Action-Oriented: 活動主体、Realistic: 現実的、Time Bound: 期限付き) でなければなりません。この基準は、目標が達成されたかどうかを判 定できるようにするためのものです。

例:「コストの削減」という目標を「コストを削減すること」と定義した場合、組織が目標に達しなかったり、行き過ぎたりするおそれがあります。目標は、組織の行動にマイナスとプラスの両方の影響を与えます。目標が"SMART"基準を満たしていれば、より安定した結果が得られます。この目標を改善するには、たとえば「2011年中にITの運用費用を20%削減する」のように定義します。この新しい目標には、削減の対象となる費用、目指す削減率、期限、および組織が明示されています。これは基準を満たしており、達成可能です。

#### 親子の依存関係:

目標は、KPIの親ユニットです。目標の結果の計算には、特別なルールが用いられます。このルール は、子KPIのスコア結果に基づきます。使用可能な親子ルールは次のとおりです。

- BEST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最高スコアに対応します。
- WORST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最低スコアに対応します。
- WEIGHTED\_AVERAGE 親目標の結果は、子KPIのスコア値の重み付き平均値に対応します。

# 目標名は、同じ親(パースペクティブまたは目標) の下で一意である必要があります。

目標テンプレートを[アクティブなKPI]ペインにドラッグアンドドロップした場合、目標テンプレートのアクティブなコピーが作成されます。新しい目標は、同じ階層レベルのパースペクティブまたは目標ツリートので一意の名前を持つ必要があります。その目標がパースペクティブまたは目標ツリーにまだ存在していない場合は、目標テンプレートと同じ名前が付けられます。同じ名前の目標が同じパースペクティブまたは目標ツリーにすでに存在する場合、新しく追加された目標の名前に、(n)というサフィックスが付けられます(1回目はn=0で、必要に応じてnの値が増やされます)。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

٠	ノードのカスタマイズ	.97
•	ノードの記入	. 97
•	使用例 - 目標の計算ルールの構成	. 97
•	KPIの目標からの割り当て解除	. 98

### ノードのカスタマイズ

ノードをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**]ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が[構成の詳細]ペインに 表示されます。
- 3. ノードの詳細を変更して[保存]をクリックし、変更を保存します。

### ノードの記入

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI] ペインで、関連するノードを選択します。その詳細が[構成の詳細] ペインに 表示されます。
- 3. また、次のノードを追加または削除して、ノードに記入することもできます。
  - a. KPI:詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照 してください。
     目標間でKPIを共有することも検討できます。詳細については、「共有KPI」(103ページ)を参 照してください。
  - b. KPIブレークダウン: 詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。

### 使用例-目標の計算ルールの構成

- 1. [スタジオ] ボタン (右上隅) をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、計算ルールを設定する目標を選択します。
- 3. 右のペインで、[構成の詳細]タブの[計算根拠]フィールドを選択し、計算ルールを選択します。
  - BEST\_CHILD 最高のスコアの子KPIに基づいて、目標を計算します。
  - WORST\_CHILD 最悪のスコアの子KPIに基づいて、目標を計算します。
  - WEIGHTED\_AVERAGE 子KPIスコアの平均に基づいて、目標を計算します。
- 4. 特定のKPIを計算で重視したい場合は、そのKPIのウェイトを指定できます。
- 5. [**保存**]をクリックすると構成が保存されます。目標が計算され、変更内容がダッシュボードに反映されます。

ムービー:ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある

[**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細については、「ムービーへのアクセス」を参照してください。

KPIの目標からの割り当て解除

- 1. [アクティブなKPI]ペインで、目標を選択します。
- 2. [構成の詳細] タブの [**割り当て済みKPI**] セクションで、該当するKPIに対する [**割り当て解除**] ボタンをクリックします。KPIはKPIテーブルからただちに消えます。
- 3. 変更を保存するには、[保存]をクリックして目標を保存する必要があります。



目標の[構成の詳細]タブ

構成の詳細				
				ソーステンプレートに移動
▼ 全般 - 目標				
*名前:	リスクの低減			
説明:	<目標の説明>			
計算期間:	每月~			
計算根拠:	重み付き平均 🖌		注: ウェイトは計算へのKPIのインパクトを判別します	
허비생각장고, 씨				
▼ 割り当し済めК	PI			
KPIの追加				
名前 ↓ 監祖対象アブリ	ケーションの割合 (%)	ウェイト 1 前		
セキュリティ関連	シードの比率			
セキュリティ関連	割に分類されるインシデントの割合 (9	6)1		
▼ 追加詳細				
追加情報:	名前	URI		
	нш		表示するデータがありません	— 追加
11 al an 11				
所有者:	≪人力して ユーザーのリストをフ	ィルタリング>	~	
				保存 破棄

UI要素	説明
ソーステンプ レートに移動	[KPIライブラリ] ペインで、現在の目標の作成に使用されたテンプレートにカー ソルを移動します。テンプレートの詳細が[構成の詳細] タブに表示されます。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[保存]操作より後に行った変更が破棄されます。
<ul><li>∧ルプ © ×</li></ul>	クリックすると表示が更新されます。

#### 全般 - 目標

UI要素	説明
名前	アクティブな目標の名前。
	制限事項:
	• \/:*?" < >  は使用できません。
	• 文字数の最大は240文字です。
説明	目標の説明。
	<b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	目標のID番号。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	目標のタイプ。これは自動的に割り当てられます。
	この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定]</b> > [ <b>BA設定</b> ] の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ バッグモード</b> ] 設定をオンにします。
計算期間	目標の計算期間。
	目標とその子は同じ計算期間を持つ必要があるため、このフィールドの値は、 目標に子KPIまたは子目標がない場合のみ変更できます。
計算根拠	目標のスコアをその子のスコアに基づいて計算するためのルールのタイプ。 次の中から選択できます。
	• ワーストチャイルド: 目標のスコアは親目標に割り当てられているすべての

UI要素	説明
	KPIの最低スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられて いる目標の最低スコアです。
	<ul> <li>ベストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPI の最高スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられてい る目標の最高スコアです。</li> </ul>
	<ul> <li>重み付き平均:目標のスコアは、親目標に割り当てられているKPIのスコアに 重みを掛けたものの平均、または子目標が存在する場合は、子目標のスコア に重みを掛けたものの平均です。このルールをスタジオで選択すると、列 (ウェイト)が追加されるので、重み付き平均の計算で子(目標またはKPI)に 適用するウェイトを構成できます。この値を選択すると、重み付き平均の説 明が表示されます。</li> </ul>

#### 割り当て済みKPI

このセクションには、選択したアクティブな目標に割り当てられているKPIがリストされます。

UI要素	説明
KPIの追加	クリックすると[目標にKPIを割り当て]ダイアログボックスが開き、現在の目 標にKPIを割り当てることができます。詳細については、「目標のKPI」(102 ページ)を参照してください。
<テーブル>	テーブルには次の情報がリストされます。 • 名前: 目標に割り当てられているKPI。 • ウェイト: この列は、[全般 - 目標] 領域の [計算根拠] フィールドで [重み付き 平均] を選択した場合のみ表示されます。目標スコアの計算でKPIに対して使 用するウェイトを入力します。[割り当て済みKPI] テーブルでウェイトの値 をクリックすると、ボックスが開いてウェイトを変更できます。ウェイトの 値を変更すると、[保存] ボタンと [破棄] ボタンが使用可能になります。変更 を保存するには、[保存] をクリックして目標を保存する必要があります。 
	• ビンリッショるとKPIの割りヨ C か解除されよす。[割りヨ C 済みKPI] 領域の

UI要素	説明
	KPIのリストがただちに更新されます。[ <b>保存</b> ] ボタンと [ <b>破棄</b> ] ボタンが有効 になります。変更を保存するには、[ <b>保存</b> ] をクリックして目標を保存する必 要があります。

#### 追加詳細

UI要素	説明
追加情報	<ul> <li>目標に対する追加情報をリストします。これは、BOまたはXcelsiusレポートへのリンク、外部リンク、またはダッシュボードページへのリンクです。</li> <li>ジョンク、外部リンク、またはダッシュボードページへのリンクです。</li> <li>デーブルには次の情報が含まれます。</li> <li>名前: リンク、ダッシュボードページ、レポートの名前、またはURLの名前。</li> <li>URL: 追加の外部情報にアクセスするためのハイパーリンク。リンクをクリックすると[情報リンクの編集]ダイアログボックスが開き、選択した追加情報を編集できます。詳細については、「KPIまたは目標の追加情報」(196ページ)を参照してください。</li> <li>ブリックすると選択した追加情報を削除できます。</li> </ul>
所有者	アクティブな目標の所有者。 利用可能な所有者のリストは、[ <b>管理</b> ] > [ <b>ユーザーおよび役割</b> ] > [ <b>ユーザー管理</b> ] で定義されたユーザーに対応しています。詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。
追加	クリックすると[ <b>情報リンクの追加</b> ]ダイアログボックスが開き、目標の追加情 報を追加できます。詳細については、「KPIまたは目標の追加情報」(196ペー ジ)を参照してください。

目標のKPI

KPIを目標に割り当てることができます。

#### アクセス方法:

目標の [構成の詳細] タブで、[KPIの追加] リンクをクリックします。





目標

目標は、エグゼクティブによって定義される全体的なパフォーマンスゴールを表します。目標は、 ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループに対する見出しの役割を果たします。

**例**: エグゼクティブがIT部門の応答性を測定したい場合、IT部門の応答性のさまざまな側面を測定 する目標が作成されます。

それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: PC購入までの時間など)。これらのKPI は、値、傾向、ステータスを提供します。

目標は、常にパフォーマンスゴールのステータスを示しますが、パフォーマンスの実際の値は表示しません。一般的なスコアカードでは、目標はKPIのスコアを集計した累積的なパフォーマンスインジケーターを示します。スコアカードでは、目標はKPI階層構造のトップレベルに表示されます。

目標は、"SMART" (Specific: 具体的、Measurable: 測定可能、Action-Oriented: 活動主体、Realistic: 現実的、Time Bound: 期限付き) でなければなりません。この基準は、目標が達成されたかどうかを判 定できるようにするためのものです。

例:「コストの削減」という目標を「コストを削減すること」と定義した場合、組織が目標に達しなかったり、行き過ぎたりするおそれがあります。目標は、組織の行動にマイナスとプラスの両方の影響を与えます。目標が"SMART"基準を満たしていれば、より安定した結果が得られます。この目標を改善するには、たとえば「2011年中にITの運用費用を20%削減する」のように定義します。この新しい目標には、削減の対象となる費用、目指す削減率、期限、および組織が明示されています。これは基準を満たしており、達成可能です。

#### 親子の依存関係:

目標は、KPIの親ユニットです。目標の結果の計算には、特別なルールが用いられます。このルール は、子KPIのスコア結果に基づきます。使用可能な親子ルールは次のとおりです。

- BEST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最高スコアに対応します。
- WORST\_CHILD 親目標の結果は、子KPIのスコア値の最低スコアに対応します。

• WEIGHTED\_AVERAGE – 親目標の結果は、子KPIのスコア値の重み付き平均値に対応します。 KPIおよび目標の詳細については、「目標」(58ページ)を参照してください。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

### 共有KPI

KPIを作成すると、そのKPIは[アクティブなKPI]ペインの[**パブリックメトリックとKPI**]ディレクトリ に表示されます。

KPIを目標に割り当てると、そのKPIは[アクティブなKPI]ペインの[パブリックメトリックとKPI]ディレクトリから削除されます。

同じKPIを複製する代わりに、別の目標に割り当てることができます。このようなKPIは共有KPIとなります。

複製せずに共有KPIを使用しても、割り当て先のすべての目標に対して共有KPIの計算は一度しか行われないため、パフォーマンスは向上します。KPIの各複製を更新する代わりに、共有KPIを一度だけ更 新するため、次のバージョンへの更新も簡単になります。

別のGEN\_<スコアカード名> 役割を持つユーザーが作成したスコアカードに対しては、共有KPIを使用 できないことに注意してください。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Role Management」を参照してください。

# タスク

#### 本項の内容

•	KPIの目標への割り当て	.104
•	KPIの目標からの割り当て解除	.104

KPIの目標への割り当て

- 1. [アクティブなKPI] ペインで、目標を選択します。
- 2. [構成の詳細] タブで、[KPIの追加] リンクをクリックします。
- 3. [目標にKPIを割り当て]ダイアログボックスで、該当するKPIを [利用可能なKPI] 領域から [割り当 て済みKPI] 領域に移動します。
   目標間でKPIを共有することも検討できます。詳細については、「共有KPI」(103ページ)を参照し てください。
- 4. [OK] をクリックします。[目標にKPIを割り当て] ダイアログボックスが閉じます。
- 5. KPIは、[構成の詳細] タブの [割り当て済みKPI] リストにただちに表示されます。[保存] ボタンと [破棄] ボタンが有効になります。変更を保存するには [保存] をクリックします。
- 6. [アクティブなKPI]ペインのツリーが更新され、変更が表示されます。

KPIの目標からの割り当て解除

- 1. [アクティブなKPI] ペインで、目標を選択します。
- 2. [構成の詳細] タブの [割り当て済みKPI] セクションで、該当するKPIに対する [割り当て解除] 
   ボタンをクリックします。
   KPIはKPIテーブルからただちに消えます。
- 3. 変更を保存するには、[保存]をクリックして目標を保存する必要があります。

■ UIの説明

# [目標にKPIを割り当て]ダイアログボックス



UI要素	説明
利用可能なKPI	目標に割り当てることのできるKPIのリストが表示されます。 次のことができます。
	<ul> <li>[&lt;すべてのコンテキスト&gt;]リストでコンテキストを選択して、選択したコン テキストに関連するKPIを表示できます。タイトルに表示された期間は、KPI のリストに対して実行されたフィルターを表します。これにより、目標に割 り当てることのできるKPIだけが表示されます(目標とその下のKPIの計算期</li> </ul>

UI要素	説明
	間は一致する必要があるため)。 • [<検索>] ボックスに文字列を入力して、その文字列を名前に含むKPIだけを フィルターします。
割り当て済みKPI	目標に割り当てるKPIのリストが表示されます。
説明	[利用可能なKPI] 領域で選択されたKPIの説明。
	KPIを選択し、ボタンを使用して適切なフィールドに移動します。
ОК	クリックすると、選択したKPIが割り当てられます。[割り当て済みKPI] 領域の KPIのリストがただちに更新されます。[ <b>保存</b> ] ボタンと [ <b>破棄</b> ] ボタンが有効にな ります。変更を保存するには、[ <b>保存</b> ] をクリックしてフォルダーを保存する必 要があります。

### ノードの削除

ノード (スコアカード、パースペクティブ、または目標) を永久に削除できます。 KPIの削除についての詳細は、「KPIの削除」(76ページ)を参照してください。

タスク

### ノードを永久に削除する

- 1. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかを実行します。

  - 該当するノードを右クリックし、[削除]メニューオプションを選択します。
- 2. 次のいずれかのオプションを選択するように求められます。
  - KPIを含むすべての要素を削除します。その他のサブツリーの目標に割り当てられたKPIは削除されません。ノードを削除すると、そのサブツリーとサブツリー内のKPIも削除されます。 その他のサブツリーの目標に割り当てられたKPIは削除されません。削除したいノードのサブ ツリー内のKPIがほかのサブツリーにも属する場合、KPIはほかのサブツリーからは削除され ません。

**例**: 目標AとBの両方にKPI Cが含まれる場合、目標Aを削除しても、KPI Cは目標Bのサブツ リーに残ります。

KPIを除くすべての要素を削除します。ノードを削除すると、そのサブツリーも削除されますが、サブツリー内のKPIは削除されません。KPIはほかのサブツリー構造内に残ります。ほかのサブツリーに存在しないKPIは、[パブリックメトリックとKPI]ディレクトリに移動します。

注: KPIを削除しても、履歴データは削除されません。そのため、削除されたKPIを含むダッシュボードコンポーネントが更新されない場合でも、ダッシュボードコンポーネントに履 歴データが表示されます。ダッシュボードコンポーネントは永続的で、ダッシュボードコンポーネントに属 のポーネントの構成にはKPIが含まれます。そのため、KPIの履歴データのみが表示されま す。再構成されるまで、現在のデータは削除されます。

2. 削除を承認するように求められたら、[**はい**]をクリックします。ツリーはただちに更新されま す。

# KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細

KPIまたはメトリックをアクティブ化するには、KPIまたはメトリックテンプレートを [アクティブな KPI] ペインにドラッグします。その後、[アクティブなKPI] ペインでアクティブなコピーを変更できま す。

また、KPIまたはメトリックは[アクティブなKPI]ペインで直接作成することもできます。詳細については、「アクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、メトリック、KPIの作成」(69ページ)を参照してください。

共有KPIの詳細については、「共有KPI」(103ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI] ペインでKPIまたはメトリックをクリックして、選択したKPIに対する[構成の詳細] タブと[計算の詳細] タブを表示します。



### 重要業績評価指標(KPI)およびメトリック

重要業績評価指標(KPI)およびメトリックは、ビジネス価値の主要なドライバーを反映し、測定しま す。価値ドライバーは、正しく実行されることで将来の成功を保証する活動を表します。価値ドライ バーは、公表された財務および組織目標を達成するための正しい方向に組織を動かす役割を果たしま す。

例:価値ドライバーの例としては、「高い顧客満足度」や「優れた製品品質」が挙げられます。

KPIおよびメトリックに関する追加情報

KPIはメトリックですが、メトリックがすべてKPIであるわけではありません。最大の違いは、KPIは常 に戦略的価値ドライバーを反映しますが、メトリックはあらゆるビジネス活動の測定を表すことで す。メトリックは常に、パフォーマンスを反映した数値を示します。KPIはそのパフォーマンスをコ ンテキストの中に位置付けます。メトリックはしきい値と照合されません。

KPIは、株主が重視する財務指標 (利益率や収益など) に最も影響を与える領域で、組織がどの程度う まく機能しているかを反映します。
KPIは、予想に基づいてパフォーマンスを評価します。コンテキストは次の要素によって与えられます。

1. しきい値:パフォーマンスの許容範囲の上限と下限。

- 2. ターゲット: 定義済みの上げ幅。たとえば四半期ごとに10%の新規顧客など。
- 3. ベンチマーク:業界基準指標やさまざまな方法論 (シックスシグマなど)に基づきます。
- 4. 傾向: KPIのパフォーマンスの方向性。「向上」、「低下」、または「変更なし」のどれか。

**注:** スタジオKPIのすべての値としきい値は、[構成の詳細] タブと[計算の詳細] タブでの定義に依存します。定義は変更できます。

**例**: メトリックの例としては、MTTR (平均復旧時間) が挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を測定するものです。KPIの例としては、MTTRが挙げられます。これは、一群のインシデントの発生からその解決までの平均時間を、定義済みのしきい値と比較して測定するものです。たとえば、「MTTRが1時間より短い」のように使用します。

KPIは、ビジネス価値の主要ドライバーを数式によって測定します。詳細については、「KPIとメト リックの数式、フィルター、ステータス、しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照し てください。

KPIテンプレート (設定済み)を使用すれば、KPIテンプレートをアクティブにして新しいKPIを作成でき ます。メトリックテンプレート (設定済み)を使用すれば、メトリックテンプレートをアクティブにし て新しいメトリックを作成できます。詳細については、「テンプレートを使用したスコアカード、 パースペクティブ、目標、メトリック、またはKPIのアクティブ化」(56ページ)を参照してください。

KPIとメトリックの完全なリストは、「Excel形式のKPIライブラリ」を参照してください。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

# 10進数の精度

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

• スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部

# は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

KPIビュー			- ĭi   @ ∧ ×
			<i>(</i> 4) ∨
	SLA遵守	率 (%) ≡	
	100	.000%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(0	7)

### スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457	23456789

• タスク

### 本項の内容

•	使用例 - KPIまたはメトリックのプロパティの表示と変更	. 11	11
•	使用例 - 新規メトリックの作成		11

# 使用例 - KPIまたはメトリックのプロパティの表示と変更

本項では、KPI構成を変更する方法を説明します。[スタジオ]をクリックすると、スタジオが開きます。

- 1. [スタジオ] ボタン (右上隅) をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、変更するKPIを選択します。
- 3. [構成の詳細]ペインで次の操作を行います。
  - a. [全般 KPI] 領域ではKPI名を変更できます。別の単位の選択またはカスタマイズした単位 の入力が可能です。計算期間を変更できます。
  - b. [結果しきい値] 領域では、しきい値の方向の変更、境界ステータスを含む設定、しきい値の 境界の設定を行うことができます。操作には、ハンドルをドラッグします。
  - c. [追加詳細]領域では、ダッシュボードとエクスプローラーで表示するKPIの詳細情報を追加 できます。[ビジネスモチベーション]では、関連するモチベーションを入力します。
  - d. [追加情報]領域では、KPIで表示する情報を追加できます。これには、URL、ダッシュボードページ、レポートなどが含まれます。
     KPIの所有者も設定できます。所有者には、ダッシュボードページまたは[エクスプローラー]タブのKPIで入力された注釈が通知されます。
  - e. 変更を保存します。
- 4. 右のペインで[計算の詳細]タブをクリックします。
  - a. [**数式ビルダーを開く**]をクリックしてKPIの数式を変更します。 数式を変更する方法は、別のセクションを参照してください。
  - b. [数式フィルターを開く]をクリックしてKPIフィルターを変更します。
  - c. [コメント]フィールドに、追加情報を入力します。
- 5. 現在の数式を削除し、新しく作成します。
- 6. [保存]をクリックして変更内容を保存します。
- 7. [KPIのテスト]ボタンをクリックすると、設定したKPIの結果が想定どおりの内容かどうかを確認 できます。想定どおりではない場合は、変更してから再度チェックします。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

# 使用例-新規メトリックの作成

本項では、新しいメトリックを作成する方法を説明します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- [アクティブなKPI] ペインで[パブリックメトリックとKPI] ディレクトリを選択し、[新規エン ティティの作成] \*\* アイコンをクリックしてから[メトリック]をクリックします。
- 新しいメトリックの名前と説明を入力し、単位と計算期間を設定します。[作成]をクリックすると、新しいメトリックが作成されます。
   詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」を参照してください。
- 4. [計算の詳細] タブをクリックしてビジネスコンテキストを選択し、数式とフィルターを設定しま す。完了したら、[作成] をクリックします。
- 5. 作成したメトリックの結果が想定どおりであることを確認するには、[メトリックのテスト]ボタ ンをクリックします。結果が想定どおりではない場合は、メトリック数式を変更して結果を再 度チェックします。
- メトリックの確認ができたら、[すぐに計算]をクリックしてエンジンを起動します。詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「計算」を参照してください。
   新規作成したメトリックの結果が計算され、ダッシュボードに表示されます。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

UIの説明

# [計算の詳細]タブ

構成の詳細 計算の詳細	
	ソーステンプレートに移動
▼ ビジネスコンテキスト	
ALM_Defect ビジネスコンテキストの選択	
▼ 数式	
1	数式ビルダーを開く
	検証
<ul> <li>フィルター</li> </ul>	
<数式を計算するために使用されるデータを選択してください>	フィルタービルダーを開く
	検証
→ コメント	
不具合メトリック	
メトリックのテスト	作成 キャンセル

### 一般情報

UI要素	説明
ソーステンプ レートに移動	[KPIライブラリ] ペインで、現在のKPIの作成に使用されたテンプレートにカー ソルを移動します。テンプレートの詳細が[構成の詳細] タブに表示されます。
KPIのテスト	KPI構成を変更した後、[ <b>保存</b> ]をクリックして変更を保存します。[ <b>KPIのテスト</b> ] ボタンが有効になります。これをクリックすると、KPI構成に対する変更をテス トできます。KPI値が計算され、ポップアップウィンドウに表示されます。ウィ ンドウには、変更されたKPIの新しい値、スコア、およびステータスが表示され ます。結果はデータベースには保存されません。

UI要素	説明
	スタジオ × ■ KPI名: オーブンされたリスク数 KPIの値: 93 # スコア: 0.462 ステータス: ◎ OK このボタンはKPIブレークダウンに対しては無効です。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[保存]操作より後に行った変更が破棄されます。
ヘルプ <b>ロ</b> ×	クリックすると表示が更新されます。

### ビジネスコンテキスト

UI要素	説明
<ビジネスコンテ キスト>	このボックスには選択したコンテキストが表示されます。
	コンテキストテザイデーを使用してコンテキストをfF成することにより、追加 の変数およびエンティティを使用できます。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してくだ さい。
	<b>注:</b> コンテキストデザイナーで作成したコンテキストをKPIに割り当てた 後、コンテキスト名をコンテキストデザイナーで変更した場合、スタジオ で、変更後のコンテキストをKPIに割り当ててください。この割り当てを行 わないと、KPIは存在しないコンテキストを使用することが原因で無効にな ります。
ビジネスコンテ キストの選択	クリックすると [ビジネスコンテキスト] ダイアログボックスが開き、ビジネス コンテキストを選択できます。この選択により、KPI値の計算の元になるビジネ スエンティティが決定され、数式に使用されるエンティティが定義されます。 詳細については、『BA Content Reference Guide』の「SAP BusinessObjects Enterprise Contexts (Universes)」を参照してください。
	このリンクは、KPIに対してKPIブレークダウンが定義されていない場合のみ表

UI要素	説明
	示されます。KPIにブレークダウンKPIがすでに存在する場合、コンテキストを 変更できない理由を示すメッセージが表示されます。

#### 数式

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
KPIの数式	KPIの値の計算に用いられる数式。
検証	クリックすると、[数式] ボックスに表示された数式を検証できます。
数式ビルダーを 開く	クリックすると、[ <b>数式ビルダー</b> ]ダイアログボックスが開き、KPIの値を計算す るための数式を作成できます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「KPIまたはメトリックの数式」(122ページ)を参照してください。

#### フィルター

[フィルター]領域を使用して、KPIの計算に使用されるデータの範囲を制限できます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
フィルター	KPIの計算対象となるデータの範囲を制限するフィルターを指定します。
検証	クリックしてフィルターを検証します。
フィルタービル ダーを開く	クリックすると、[ <b>フィルタービルダー</b> ]ダイアログボックスが開き、KPI計算の 元になるデータの範囲を制限するフィルターを作成できます。ユーザーイン ターフェイスの詳細については、「KPIまたはメトリックのフィルター」(147 ページ)を参照してください。

#### コメント

[コメント]領域には、数式やその目的の説明を自由に入力します。

[構成の詳細]タブ

構成の詳細	計算の詳細				
ு கிலை கில					ソーステンプレートに移動
▲ 王版 - KP *名前:	オーブンさ	れたリスク数		*単位:	#~
説明:	測定期間	りにオーブンされたリスクの数。			
計賀期間	: 毎日	~			
▼結果しきい	· 值				
方向性:	最小値が望	ŧしい ✓ ☑ 境界ステータスを	含む (警告)		
0		25	50		100
▼ 追加詳細					
ビジネス モチベー:	リスク娘 ンヨン:	理ブロセスが効率的であることを確認	忍します。		
KPIのテス	Z  -				保存 破棄

### 一般情報

UI要素	説明
ソーステンプ レートに移動	[KPIライブラリ] ペインまたは [メトリックライブラリ] ペインで、アクティブな KPIまたはメトリックの作成に使用されたテンプレートにカーソルを移動しま す。テンプレートの詳細が [構成の詳細] タブに表示されます。 このオプションはKPI/メトリックブレークダウンに対しては無効です。
KPIのテスト/メ トリックのテス ト	KPI/メトリックの構成を変更した後、[保存]をクリックして変更を保存します。[KPIのテスト]または[メトリックのテスト]ボタンが有効になります。このボタンをクリックすると、KPI/メトリックの構成に対する変更をテストできます。KPI/メトリック値が計算され、ポップアップウィンドウに表示されます。ウィンドウには、変更されたKPI/メトリックの新しい値、スコア、ステータスが表示されます。結果はデータベースには保存されません。

UI要素	説明		
	スタジオ × ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
	<b>注:</b> このボタンはKPI/メトリックブレークダウンに対しては無効です。 計算の詳細については、「KPIとメトリックの数式、フィルター、ステータス、 しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照してください。		
保存	クリックして変更を保存します。 クリックすると、前回の[ <b>保存</b> ]操作より後に行った変更が破棄されます。		
破棄			
へル <b>プ 8</b> ×	クリックすると表示が更新されます。		

### 全般 - KPI/メトリック

UI要素	説明
名前	KPI/メトリックの名前またはKPI/メトリックテンプレートの名前。 <b>制限事項:</b>
	<ul> <li>\/:*?" &lt; &gt;  は使用できません。</li> <li>文字数の最大は240文字です。</li> </ul>
	ヒント:
	<ul> <li>KPIブレークダウンを持つKPIの名前、またはメトリックブレークダウン を持つメトリックの名前を変更する場合、名前を更新するには、計算を 新しく実行する必要があります。オーバーライドの詳細については、 「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」 (190ページ)を参照してください。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>KPIまたはメトリックブレークダウンの名前は、KPIまたはメトリックの 親の名前を変更しても、新しい計算の後でも自動的に更新されません。 スタジオにアクセスして、新しい親KPIまたはメトリックの名前に合わ せてKPIまたはメトリックブレークダウンの名前を手動で変更する必要 があります。</li> </ul>
単位	KPI/メトリックの値の単位。
説明	KPI/メトリックの説明。 <b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
計算期間	<ul> <li>KPI/メトリックの値の計算に用いられる期間([計算の詳細] タブで指定された数 式を使用)。次のどれかです。[毎年]、[毎四半期]、[毎月]、[毎週]、[毎日] を指 定できます。</li> <li>KPI/メトリックの計算期間に[毎日] を選択し、KPI/メトリック数式にin_period (-XX)、end_period(-XX)、Period_entity = Period (-XX)のいずれかが含まれてい る場合、XXには365以下の値を指定してください。</li> </ul>
ID	KPI/メトリックのID。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[管理] > [設定] > [BA設定]の[デバッグモード] で[アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。
タイプ	KPI/メトリックのタイプ。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[管理] > [設定] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。

#### 結果しきい値

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

注:本項の内容はメトリックには該当しません。

UI要素	説明
方向性	次の中から選択します。  ・ 目標値が望ましい: 値が特定の値または特定の範囲内の値である場合、KPIの ステータスが最良である。それより大きくても小さくても悪化する。  ・ 最小値が望ましい: 値が小さい場合、KPIのステータスが最良である。

UI要素	説明
	• 最大値が望ましい: 値が大きい場合、KPIのステータスが最良である。
	例
	<ul> <li>従業員の離職率を測定している場合、値が小さいほうがいいので、[方 向性 = 最小値が望ましい]を選択します。</li> </ul>
	<ul> <li>・ 収益を測定している場合、値が大きいほうがいいので、[方向性 = 最大値が望ましい]</li> </ul>
しきい値	矢印をスライドさせて、矢印に付属するボックス内で関連するしきい値を選択 します。しきい値はKPIにステータスを割り当てるために使用されます。ステー タスの詳細については、「KPIとメトリックの数式、フィルター、ステータス、 しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照してください。
	値を入力するには、ボックスにテキストを入力する方法もあります。スライ ダーは自動的に調整されます。
	最小値と最大値を空白のままにしておくと、無限の値 (負の無限大と正の無限 大) を表します。この場合、しきい値はKPIまたはKPIテンプレートの過去の最小 値と最大値を使用します。
	しきい値の最小値と最大値はすべてfloatの精度 (Javaの浮動小数点数) なので、 たとえば値999999は1000000に丸められます。
	<b>例</b> : 従業員の離職率の測定単位は%なので、しきい値の限界は0と100です。 たとえば、自分の会社にとっての許容できる離職率が0%~5%(緑)、警告 とみなす率が5%~10%(黄色)、不良とみなす率が10%~100%(赤)というよ うに定義できます。
	方向性:     最小値が望ましい ~     「境界ステータスを含む(警告)       0     5     100
	しきい値フィールドは、値を入力したときに検証されます。値は左から右に行 くに従って大きくなる必要があります。
	Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。
	<ul> <li>スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメト リックの値は、最大6桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以 下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部は最大3桁に丸められ、K、M、T が使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は3.300M、9999999は 999.999Kのように表示されます。</li> </ul>

# ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

UI要素	説明
	KPIビュー     ▼ 11 ● ≪ ×       …     小 ~       SLA遵守率 (%) ≡     □
	<ul> <li>100.00%</li> <li>0.00%</li> <li>100%</li> </ul>
	<ul> <li>スタジオでのしきい値。</li> <li>スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:</li> </ul>
境界ステータス を含む (警告)	KPIのステータスを <b>良好、警告、エラー</b> の3種類にする場合は、選択します。 KPIのステータスを <b>良好、エラー</b> の2種類にする場合は、選択を解除します。 [ <b>方向性 = 目標値が望ましい</b> ] および [ <b>境界ステータスを含む (警告)</b> ] オプション を選択した場合、しきい値には次のように2つの警告領域が含まれます。

UI要素	説明
	方向性:     目標値が望ましい ~     ✓ 境界ステータスを含む (警告)       -50     -30     -10     10     30     50
	しきい値フィールドは、値を入力したときに検証されます。値は左から右に行 くに従って大きくなる必要があります。

### 追加詳細

UI要素	説明
ビジネスモチ ベーション	KPIのビジネスモチベーションを入力します。
	4項の内容はメトリックには該当しません。
追加情報	KPIに対する追加情報をリストします。これは、BOまたはXcelsiusレポートへの リンク、外部リンク、またはダッシュボードページへのリンクです。
	テーブルには次の情報が含まれます。
	• 名前: リンクまたはレポートの名前。
	• URL:追加の外部情報にアクセスするためのハイパーリンク。
	<ul> <li>リンクをクリックすると[情報リンクの編集]ダイアログボックスが開き、選択した追加情報を編集できます。詳細については、「KPIまたは目標の追加 情報」(196ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• 🔟 クリックすると選択した追加情報を削除できます。
所有者	アクティブなKPIの所有者。
	利用可能な所有者のリストは、[ <b>管理</b> ]> [ <b>ユーザーおよび役割</b> ]> [ <b>ユーザー管理</b> ] で定義されたユーザーに対応しています。詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。
追加	クリックすると [ <b>情報リンクの追加</b> ] ダイアログボックスが開き、KPIの追加情 報を追加できます。詳細については、「KPIまたは目標の追加情報」(196ペー ジ)を参照してください。

# KPIまたはメトリックの数式

KPIまたはメトリックの既存の数式を変更して、エンドユーザーのニーズに合わせてカスタマイズすることができます。KPIまたはメトリックの値を計算する数式を作成することもできます。

また、数式に使用される変数の特定の値をフィルターで選択することにより、数式の範囲を制限する こともできます。詳細については、「KPIまたはメトリックのフィルター」(147ページ)を参照してく ださい。

共有KPIの詳細については、「共有KPI」(103ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

KPIまたはメトリックの[プロパティ] ペインの[計算の詳細] タブで[**数式ビルダーを開く**]をクリック します。

詳細情報 タスク UIの説明



# KPIとメトリックの数式、フィルター、しきい 値、値、傾向、およびスコア

本項では、KPIまたはメトリックに関連する情報を記します。

#### KPIの数式、フィルター、および値

スコアカードKPIエンジンは、KPIの値を、KPIに対して指定されている数式を使用して計算し、KPIに 対して指定されているしきい値を使用して、KPIのステータスとスコアを設定します。また、KPIフィ ルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限する こともできます。

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

ҜҎѤ҆҄ユー			- 1i   0 * ×
			14h ~
	SLA遵守	牽 (%) ☰	
	1		
	100	.000%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(	07)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457		2345678

#### KPIのしきい値

エンジンは、KPIの値をKPIのしきい値と比較して、KPIのステータスを計算します。

#### KPIのステータス

KPIの ステータスは、 エラー、 警告、または 良好です。

#### KPIの傾向

傾向は、変化するKPI結果値の前の結果に対する方向性を示します。

傾向は次のとおりです。

ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

- 向上: 現在の結果が前の結果より大きいことを示します。
- 低下:現在の結果が前の結果より小さいことを示します。
- 普通:現在の結果と前の結果が同じであることを示します。

KPIのスコア

KPIの値は、KPIに対して指定されているしきい値を使用して、スコアに変換されます。

すべてのスコアは、同じ測定スケール(0~10など)に正規化されます。これにより、異なるタイプの KPIのスコアに基づいて目標を計算できます。スコアは、ビジネス価値のステータスと、しきい値か らの相対距離を反映しています。

これに加えて、次のことが言えます。

- 親子ルール計算はすべて、子のスコアに基づきます。
- KPIのスコアは、ビジネス目標を基準としたKPIの成績を表します。詳細については、「目標」(58 ページ)を参照してください。

**例**: KPIが%で計算され、しきい値が90%以上で良好だとします。KPIの値が90%~100%の範囲内 の場合、KPIのステータスは「良好」です。ステータスが同じでも、85%のスコアは65%より 大きく、97%のスコアは93%より大きくなります。このように、ステータスが同じ場合でも KPIと目標の傾向を捉えることができます。

正規化プロセスは、メトリックのユーザー定義しきい値に基づきます。KPIしきい値には、良好 (6.6~10)、警告 (3.3~6.6)、エラー (0~3.3) の3つのスコア範囲の区分があります。

スコア計算のプロセスは次のとおりです。

- 1. KPI結果を取得します。
- 2. KPI定義のしきい値によって構成されているステータス範囲を取得します。
- 次の式でスコアを計算します。
   F(n) = ((n a) / (b a)) \* (y x) + x ここで:
  - a しきい値範囲の最小値
  - b しきい値範囲の最大値
  - x 対応するスコア範囲の最小値
  - y 対応するスコア範囲の最大値
  - n 結果の値

例:a=2000、b=5000の場合、スコアの値は7.33



例: MTTR (問題の解決までの時間)のようなメトリックのしきい値は、良好ステータスが1
 日、警告ステータスが7日です。スコアのスケールは一定です。8~10が良好ステータス、7~8が警告ステータス、0~7がエラーステータスです。

MTTRスケールのすべての値は、線形変換または指数変換によってスコアスケールに変換す る必要があります。下のしきい値が設定されていない (∞に等しい)ため、式は異なってい ます。

次の結果に基づいてスコアを確認します。

0.5日 → F(1) = ((0.5 - 0) / (1 - 0)) \* (10 - 8) + 8 = 9 (スコアは9)

4日 → F(4) = ((4 - 1) / (7 - 1)) \* (8 - 7) + 7 = 7.5 (スコアは7.5)

10日 → F(10) = (atan(10 - 7) / 1.5707))\*(7-0) = 4.43 (スコアは4.43)



メトリックの数式と値

スコアカードKPIエンジンは、メトリックの値を、メトリックに対して指定された数式を使用して計

算します。また、メトリックフィルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限することもできます。

# 重要な情報

- KPIまたはメトリックの数式言語では、大文字と小文字が区別されません。
- フィールド値では大文字と小文字が区別されます。
- 数式では、エンティティフィールドの値と文字列プリミティブ(数値、二重引用符の間の文字、お よび日付)でのみ一重引用符を使用します。
- 計算中に、数式はデータベース上で実行されるSQLクエリに変換されます。

コンテキストデザイナーを使用してビジネスコンテキストを作成することにより、追加の変数および エンティティを使用できます。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Semantic Layer -Context Designer」を参照してください。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

# 10進数の精度

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

K⅁ピュー			- ¥i   Ø ∧ ×
			<i>(4)</i> ~
	SLA遵守	牽 (%) ☰	
	100	000%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(07	7)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457	2345678

# コンテキストとKPIまたはメトリックの数式との 間のリンク

コンテキストの作成では、テーブルの選択、テーブル間のリンクの作成、コンテキストに含めるテー ブル列の選択を行います。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してください。 KPIまたはメトリックの作成では、作成したKPIまたはメトリックをスタジオでコンテキストに割り当 てます。コンテキストテーブルは、KPIまたはメトリックの数式を作成する際に変数として使用で き、テーブル列は変数のエンティティとして機能します。

たとえば、再オープンされた不具合の割合 (%)というKPIに、次の式が指定されているとします。

RATIO\_MATH(COUNT\_DISTINCT( DefectHist.Defect , DefectHist.ReopenFlag =1 And Defect.Status <> 'Closed') , COUNT( Defect ,Defect.DefectSummary<> 'INVALID' And Defect.DefectSummary<> 'UNKNOWN' ),0)\*100

定義は次のとおりです。

		ヘルプ O ×
至 アクティブなKPI 《	構成の詳細 計算の詳細	
<ul> <li>マンステムで腐成され、計算された ×</li> <li>要素をすべて一覧表示にます。要</li> <li>素を追加するには、ここをクリック</li> </ul>	▼ 全般 - KPI	ソーステンプレートに移動
クリックレ、テンプレート項目をKPI ライブラリから [アクティブなKPI] ペ	*名前:     再オーナンされた不具合の動合 (%)(2)     *単位:     % ~)	
インバニドラッグアンドドロップしま す。 いまのまた12	説明: ログに記録された不具合の合計数に対する、再オーナンされた不具合の数 修正されたはずの不具合、あたは修正後に再度発生した不具合)。	
*		
検索: <sub>&lt; 放索&gt;</sub>	計算期間: 每月 🗸	
ー ▶ 回 アブリケーションVP	<ul> <li>✓ 結果しざい値</li> </ul>	
▼ 合 バブリックメトリックとKPI ▶ Ø (PI)使用物(%)(0)		
ゆ クローズされた不具		
ゅ ディスクスペース使用	0 8 20	100
☞ 再オーブンされた不	141 AV100	
☞ 完了したテストの割	▲ 「 」 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	
☞ 承認されたテストの		
☞ 拒否された不具合の	モディーション: パンロレビンロ ビハル 307年115 (2019年115 (2019)))))))	
∞ 自動テストの割合 (%)	KPKのテスト	保存 破棄

ビジネスコンテキストはALM\_Defectです。[**管理**] > [**セマンティックレイヤー**]をクリックすると、 ALM\_Defectコンテキストが開きます。

<ul> <li>ユーザーおよび役割</li> <li>データソース管理</li> <li>ETL管理</li> </ul>	- コンテキスト管理 コンテキストデザイナーを使用すると、ビジネスコンテキスト(ユニバース)を作成および管理できます。 コンテキストには、ターゲットスキーマテーブルか、またはコンテキストデザイナーを使用して ターゲットスキーマにアップロードできる.CSVファイルを含めることができます。		
▶ 設定	下のリストのコンテキストをクリックすると、コンテキストの構成が開きます。		
▶ 通知	<b>0</b>	コンテキストデザイナーの起動	
▼ セマンティックレイヤー	□ コンテキスト名		
セマンティックレイヤー	ALM Defect		
データローダースケジューラー	ALM DefectDemo		
コンテンツアクセラレーションバック	ALM Requirement		
	ALM RequirementDem	0	
	ALM Test		
	ALM TestDemo		
	ApplicationPerformance	<u>e</u>	
	ApplicationPerformance	eDemo	





#### () Context Designer



右の [エンティティ] 領域には、ALM\_Defectコンテキストに追加したテーブルとテーブル列が表示されます。

KPIまたはメトリックの数式を作成する際は、ALM\_Defectコンテキストで使用されているALMエン ティティについてよく理解しておく必要があります。

Defect\_Histテーブルは、DefectHistというエンティティに相当します。これは、ALM\_Defectコンテ キストをベースにKPI数式を作成または変更する際の変数の1つです。KPIまたはメトリックの数式に アクセスするには、[スタジオ]をクリックし、KPI(再オープンされた不具合の割合(%)など)を強調表 示してから、[計算の詳細]タブをクリックして[数式ビルダーを開く]をクリックします。

# 数式ビルダーで使用される変数は、コンテキストデザイナー (上記)のエンティティに相当し、式の構 文では<エンティティ名>に相当します (詳細については『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の 「KPIまたはメトリックの数式」を参照してください)。

数式ビルダー	ヘルプ ×	
関数	変数	
▼ 集計	検索	
SUM	▶ Defect	
MIN	▶ DefectHist	
МАХ	▶ DefectPLHD	
AVG	DefectRequirementBridge	
COUNT	DefectTestInstanceBridge	
PERCENTAGE	DetectedCycle	
COUNT_DISTINCT	DetectedProject	
説明		
+ - * / > < = <> >= <= And Or Not Like (), '		
PERCENTAGE(Incident, Incident.Category = 'incident' and Incident.Subcategory = 'security' and		
rekion_entitit = createrinierenou, rekion_entity = createrinierenou)		
	テスト	
L		

# 変数を拡張したときに表示される項目は、フィールドに相当し(コンテキストデザイナー)、式の構文 では<FieldName>項目に相当します(詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の 「KPIまたはメトリックの数式」を参照してください)。

数式ビルダー	ヘルプ ×
関数	変数
▼ 集計	検索
SUM	▶ Defect
MIN	✓ DefectHist
MAX	DATE_OF_NEW_VALUE
AVG	DATE_OF_NEW_VALUE_PERIOD_U
COUNT	DATE_OF_NEW_VALUE_TIME_LOC
PERCENTAGE	DATE_OF_NEW_VALUE_TIME_UTC
COUNT_DISTINCT	DATE OF OLD VALUE
說明	
数式 +-*/ > < = <> >= <=	And Or Not Like (), '
PERCENTAGE(Incident , Incident.Category = 'incid PERIOD_ENTITY = CreateTimePeriod , PERIOD_EN	lent' and Incident.Subcategory = 'security' and ITITY = CreateTimePeriod )
	テスト



### 本項の内容

•	使用例 - KPIまたはメトリック数式の指定	13	32	
•	IN PERIODの使用例	. 13	33	

# 使用例-KPIまたはメトリック数式の指定

本項では、KPIまたはメトリックの数式を構成する方法を説明します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、数式を変更するKPIまたはメトリックを選択します。
- 3. 右のペインで[計算の詳細]タブをクリックし、[数式ビルダーを開く]リンクをクリックします。
- 4. 現在の数式を削除し、新しく作成します。
- 5. [検証]をクリックすると、構文がチェックされます。
- 6. [OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じ、[保存]をクリックして変更した数式を保存します。
- 7. [KPIのテスト] ボタンをクリックすると、設定したKPIの結果が想定どおりの内容かどうかを確認 できます。想定どおりではない場合は、変更してから再度チェックします。

#### 例

COUNT関数を使った数式を作成します(この例では、ビジネスコンテキストとしてインシデント 管理を使用します)。

- [関数] ペインで、COUNT関数をダブルクリック、またはCOUNT関数をクリックして[追加]ボ タンをクリック、またはCOUNT関数を選択して下の領域にドラッグします。
   上の説明領域に、数式の構文が表示されます。
   COUNT関数は、フィルター式の条件を満たしたエンティティの数を返します。たとえば、開 いているインシデントの数を取得したい場合、次のエンティティを指定します。
  - Incidentエンティティをカウント
  - フィルター式はIncident.Status = 'Open'
- 2. 上記のエンティティをCOUNT関数に追加します。
  - a. 数式の括弧の中をクリックすると [変数] ペインが開くので、Incidentエンティティを選択します (検索フィールドで検索可能です)。
  - b. エンティティをダブルクリックするか、エンティティを選択して [**追加**] ボタンをクリッ クします。

IncidentエンティティがCOUNT関数の最初のセクションに表示されます。

- 3. COUNT関数の2番目のセクションに移動し、[**変数**]ペインで[Status]エンティティを選択します。
- 4. 数式に追加します。
- 5. 条件演算子には等号を追加し、リストから [Open] を選択します。 式は、次のようになります。COUNT (Incident, Incident.Status=' Open')

**ムービー:**ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある[**へ ルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につい ては、「ムービーへのアクセス」を参照してください。

# IN\_PERIODの使用例

IN\_PERIOD数式: <エンティティ名>.<フィールド名> IN\_PERIOD

IN\_PERIODは、フィルター式で、KPIまたはメトリックに対して定義された計算期間の開始を基準とした条件を指定するために使用します。条件は、KPIまたはメトリックの期間に関連します。

たとえば、月次KPIであるインシデントKPIを使用して、毎月発生するインシデントの数をカウントす る場合、次の数式を使用できます。

	結果			
数式	6月	7月	8月	9月
COUNT (INCIDENT, *)	20	25	12	17
COUNT(INCIDENT, INCIDENT.OPEN_DATE = IN_PERIOD)	20	25	12	17

インシデントKPIに関連するコンテキストで計算を実行すると、結果は同じになります。

	結果			
数式	6月	7月	8月	9月
COUNT (INCIDENT, *)	22	23	13	16
COUNT(INCIDENT, INCIDENT.OPEN_DATE = IN_PERIOD)	22	23	13	16

インシデントKPIに関連するコンテキストで再計算を実行すると、次のようになります。

- COUNT(INCIDENT, INCIDENT.OPEN\_DATE IN\_PERIOD)の結果は、値が各月ごとに別々に再計算される ため、正しくなります。
- COUNT (INCIDENT, \*) の結果は正しくありません。数式でシステム内のすべてのインシデントが期間 フィルターなしでカウントされ (例: 90)、上の各月の値が90で置き換えられるためです。

# ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

	結果			
数式	6月	7月	8月	9月
COUNT (INCIDENT, *)	90	90	90	90
COUNT(INCIDENT, INCIDENT.OPEN_DATE = IN_PERIOD)	20	19	10	10

UIの説明

# [数式ビルダー]ダイアログボックス

数式ビルダー	ヘルブ >
関数	变数
▼ 集計	検索
SUM	▶ Issue0wner
MIN	Person
MAX	Project
AVG	ProjectIssue
COUNT	ProjectLocation
PERCENTAGE	ProjectManager
COUNT_DISTINCT	
	追加
説明	
+ - * / > < = <> >= <=	And Or Not Like (), '
DATE_CONVERT('ms','d',(AVG(Project.EndDate, I	Project.Status='Complete' And Project.EndDate
And Project.EndDate IN_PERIOD)/30)	cus= Complete And Project.startDate is not NULL
	テスト

### 数式内の演算の順序に関する注意:

数式で複数の演算子を使用している場合、BAは特定の順序に従って数学的演算を実行します。この演算の順序は、等式に括弧を追加することで変更できます。演算の順序は次のとおりです。

- 1. 関数(集計およびその他)
- 2. 括弧
- 3. 除算
- 4. 乗算
- 5. 加算
- 6. 減算

### 関数

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
関数	• <b>集計</b> : KPIまたはメトリックの数式で使用できる集計関数のリスト。詳細については、「集計関数」(136ページ)を参照してください。
	• <b>数学的</b> : KPIまたはメトリックの数式で使用できる数学的関数のリスト。詳細 については、「数学的関数」(139ページ)を参照してください。
	• 日付定数: KPIまたはメトリックの数式で使用できる日付定数のリスト。詳細 については、「日付定数」(141ページ)を参照してください。
追加	• [関数] ボックスの下の [ <b>追加</b> ] をクリックすると、選択した関数が数式ボック スの現在の式の最後に追加されます。
	• [変数] ボックスの下の [ <b>追加</b> ] をクリックすると、選択した変数が数式ボック スの現在の式の最後に追加されます。

### • 集計関数

集計関数には次のものがあります。

UI要素	説明
SUM	<b>数式:</b> SUM(<エンティティ名>.<フィールド名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすエンティティのフィールド値の合計 を返します。
	例: SUM(Cost.Amount, Cost.CostType="Actual")
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。

UI要素	説明
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、SUM (Cost.Amount, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、SUM(Cost.Amount, *)と記述 します。
MIN	数式: MIN(<エンティティ名>.<フィールド名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすエンティティのフィールド値の最小 値を返します。 例: MIN(Cost Amount, Cost CostType=" Actual")
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。
	例: たとえば、コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、 MIN(Cost.Amount, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、MIN(Cost.Amount, *)と記述 します。
MAX	<b>数式:</b> MAX(<エンティティ名>.<フィールド名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすエンティティのフィールド値の最大 値を返します。
	例: MAX(Cost.Amount, Cost.CostType="Actual")
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、MAX (Cost.Amount, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、MAX(Cost.Amount, *)と記述 します。
AVG	<b>数式:</b> AVG (<エンティティ名>.<フィールド名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすエンティティのフィールド値の平均

# ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

UI要素	説明	
	値を返します。	
	例: AVG(Cost.Amount, Cost.CostType="Actual")	
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。	
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、AVG (Cost.Amount, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、AVG(Cost.Amount, *)と記述 します。	
COUNT	<b>数式:</b> COUNT (<エンティティ名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすエンティティの数を返します	
	例: COUNT(Cost, Cost.CostType ='Actual')	
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。	
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、COUNT (Cost.Amount, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、COUNT(Cost.Amount, *)と記 述します。	
COUNT_DISTINCT	<b>数式:</b> COUNT_DISTINCT (<エンティティ名>.<フィールド名>, <フィルター式>) フィルター式で指定された条件を満たすすべてのエンティティのフィールド の相異なる値の数を返します。	
	例: COUNT_DISTINCT(Service.Name, Service.Name <> 'UNKNOWN')	
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。	

UI要素	説明	
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、COUNT (Service.Name.Service.Name, Cost.CostType="Actual" or Cost.CostType="Planned")の代わりに、COUNT (Service.Name.Service.Name, *)と記述します。	
PERCENTAGE	<ul> <li>数式: PERCENTAGE (&lt;エンティティ名&gt;, &lt;フィルター式1&gt;, &lt;フィルター式2&gt;,defaultValue)</li> <li>フィルター式1で指定された条件を満たすエンティティの数と、フィルター 式2で指定された条件を満たすエンティティの数との比(%)を返します。</li> <li>defaultValueはオプションであり、整数または浮動小数点数が指定できま す。既定では、defaultValueは0です。これは、分母が0のときに返される値</li> </ul>	
	です。既定値は変更できます。 <b>例</b> : PERCENTAGE(Cost, Cost.CostType ="Actual", Cost.CostType ="Planned", 0)	
	<b>注:</b> 生データの値として、可能性があるすべての値を使用した計算を フィルター処理するには、<フィルター式>に「*」(アスタリスク)を指 定します。	
	例: コストタイプの値がActualおよびPlannedである場合、PERCENTAGE (Cost, Cost.CostType="Actual", Cost.CostType ="Actual" or Cost.CostType="Planned", 0)の代わりに、PERCENTAGE(Cost, Cost.CostType="Actual", *, 0)と記述します。	

### • 数学的関数

数学的関数には次のものがあります。

UI要素	説明	
SUM_MATH	<b>数式:</b> SUM_MATH (arg1, arg2, arg3, …) 引数の和を返します。	
	例: SUM_MATH(6.36, 11.02, 51, -2.44, MAX(Cost.Amount, Cost.CostType='Actual'))	
MIN_MATH	<b>数式:</b> MIN_MATH (arg1, arg2, …) 引数の最小値を返します。	

# ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの作成

UI要素	説明	
	例: MIN_MATH(SUM(Cost.Amount, Cost.CostType ='Actual'), SUM(Cost.Amount, Cost.CostType ='Planned'))	
MAX_MATH	<b>数式:</b> MAX_MATH (arg1, arg2, …) 引数の最大値を返します。	
	例: MAX_MATH(COUNT(Incident, Incident.Status='Open'), COUNT(Incident, Incident.Status='Reopened'))	
AVG_MATH	<b>数式:</b> AVG_MATH (arg1, arg2, …) 引数の算術平均を返します。	
	<b>例</b> : AVG_MATH(6.36, 11.02, 51, -2.44, SUM(Cost.Amount, Cost.CostType='Actual'))	
PERCENTAGE_ MATH	<ul> <li>数式: PERCENTAGE_MATH(numerator,denominator, defaultValue)</li> <li>引数の比(%)を返します:(numerator / denominator) * 100。</li> <li>defaultValueはオプションであり、整数または浮動小数点数が指定できます。</li> <li>既定では、defaultValueは0です。これは、分母が0のときに返される値です。既定値は変更できます。</li> </ul>	
	<b>例</b> : PERCENTAGE_MATH(Defect, Defect.severity = "High",*)	
RATIO_MATH	<ul> <li>数式: RATIO_MATH(numeratorVal,denominatorVal, defaultValue)</li> <li>この関数は、numeratorをdenominatorで除算します。denominatorが00</li> <li>合、関数はdefaultValueを返します。</li> <li>defaultValue&gt;が指定されていない</li> <li>合は0を返します。</li> <li>defaultValueはオプションであり、整数または浮動小数点数が指定できます。</li> <li>既定では、defaultValueは0です。これは、分母が0のときに返される値です。既定値は変更できます。</li> <li>例: RATIO_MATH(SUM(Cost.Amount,Cost.CostType='Actual'), SUM(Cost.Amount,Cost.CostType='Actual'),</li> </ul>	
DATE_CONVERT		

UI要素	説明
<数学的日付関数>の結果を、変換前形式から変換後形式に変 変換前形式は、次のいずれかです:'MS'、'S'、'M'、'H'。 変換後形式は、次のいずれかです:'S'、'M'、'H'、'D'。'MS' = A 秒、'M' = 分、'H' = 時、'D' = 日 例: DATE_CONVERT('MS','H', AVG(Incident.OutageEnd, PERIOD_ENTITY=OutageStartPeriod) - AVG(Incident.OutageStart,PERIOD_ENTITY=OutageStartPer	<数学的日付関数>の結果を、変換前形式から変換後形式に変換します。 変換前形式は、次のいずれかです: 'MS'、'S'、'M'、'H'。 変換後形式は、次のいずれかです: 'S'、'M'、'H'、'D'。'MS' = ミリ秒、'S' = 秒、'M' = 分、'H' = 時、'D' = 日
	例: DATE_CONVERT('MS','H', AVG(Incident.OutageEnd, PERIOD_ENTITY=OutageStartPeriod) - AVG(Incident.OutageStart,PERIOD_ENTITY=OutageStartPeriod))

## • 日付定数

日付には次のものがあります。

UI要素	説明
IN _PERIOD	<ul> <li>数式: &lt;エンティティ名&gt;.&lt;フィールド名&gt; IN_PERIOD</li> <li>フィルター式で、KPIまたはメトリックに対して定義された計算期間の開始</li> <li>を基準とした条件を指定するために使用します。条件は、KPIまたはメトリックの期間に関連します。</li> <li>KPI/メトリックの計算期間に[毎日]を選択し、KPI/メトリック数式にin_</li> <li>period(-XX)、end_period(-XX)、Period_entity = Period (-XX)のいずれかが含</li> <li>まれている場合、XXには365以下の値を指定してください。</li> </ul>
	<ul> <li>例</li> <li>COUNT(Incident, Incident.CreateTime IN_PERIOD) カウントされるイン シデントは、現在の期間中にオープンされたものです。KPI期間が 「毎週」の場合、この数式は週ごとに作成されたインシデントだけ をカウントします。</li> <li>COUNT(Defect,Defect.Open_In_Date IN_PERIOD)- COUNT (Defect,Defect.Open_In_Date IN_PERIOD)- COUNT (Defect,Defect.Open_In_Date IN_PERIOD(-12)) 現在の期間中の不具合 の数をカウントし、12期間前に発生した不具合の数を減算します。 たとえば、周期が「毎月」の場合、この数式は13年1月に発生した不 具合の数を計算し、12年1月に発生した不具合の数を減算します。</li> </ul>
IN_CURRENT_ YEAR	<ul> <li>数式: &lt;エンティティ名&gt;.&lt;フィールド名&gt; IN_CURRENT_YEAR</li> <li>計算に適用するフィルター式で、今年を基準とした条件の指定に使用します。</li> <li>例: SUM(Period.PeriodNumber, Period.Year IN_CURRENT_YEAR) 何年か</li> </ul>

UI要素	説明	
	遡ってKPIを再計算する場合、Period.Yearは期間をまたいで計算を続行 するたびにその年度で置き換えられます。Period.Yearフィールドの値は 次のパターンの文字列です: FYxxxx. 例: FY2011またはFY2009。	
END_PERIOD	<ul> <li>数式: &lt;エンティティ名&gt;.&lt;フィールド名&gt; 条件演算子END_PERIOD</li> <li>フィルター式で、KPIまたはメトリックに対して定義された計算期間の終了</li> <li>を基準とした条件を指定するために使用します。条件は期間に関連します。</li> <li>KPI/メトリックの計算期間に[毎日]を選択し、KPI/メトリック数式にin_</li> <li>period(-XX)、end_period(-XX)、Period_entity = Period (-XX)のいずれかが含まれている場合、XXには365以下の値を指定してください。</li> </ul>	
	<ul> <li>Ø</li> <li>COUNT(Incident, Incident.CreateTime &lt;= END_PERIOD) カウントされる インシデントは、現在の期間が終了する前に作成されたものです。 KPI期間が「毎週」の場合、この数式は週の終わりまでに作成された インシデントのみをカウントします。</li> <li>COUNT(Defect,Defect.Open_In_Date END_PERIOD)- COUNT (Defect,Defect.Open_In_Date END_PERIOD)- COUNT (Defect,Defect.Open_In_Date END_PERIOD(-12)) 現在の期間が終了す るまでに作成された不具合の数をカウントし、過去12期間に発生し た不具合の数を減算します。たとえば、周期が「毎月」の場合、こ の数式は計算期間の開始から13年1月までに発生した不具合の数を計 算し、計算期間の開始から13年1月の12か月前までに発生した不具合 の数を減算します。</li> </ul>	
PERIOD_ENTITY	<ul> <li>数式: PERIOD_ENTITY=Period</li> <li>フィルター式で、計算の元になるPERIODテーブルを表すエンティティを指定するために使用します。</li> <li>一部のユニバースは、データウェアハウスとして作成されています。すなわち、期間ごとの集計値をすでに記録しています。このフィールドには、使用する期間に対応するユニバースのエンティティを指定します。そのエンティティの内容によって、計算のためにフィルターされるエンティティが決まります。</li> <li>KPI/メトリックの計算期間に[毎日]を選択し、KPI/メトリック数式にin_period(-XX)、end_period(-XX)、Period_entity = Period (-XX)のいずれかが含まれている場合、XXには365以下の値を指定してください。</li> </ul>	

UI要素	説明	
	<ul> <li>COUNT(Incident, PERIOD_ENTITY = CreateTimePeriod)</li> <li>COUNT(SLAStatus, PERIOD_ENTITY = Period(-12)) この例では、期間は 12期間前にずらされます。13年1月は12年1月にずらされます。</li> </ul>	
KPI_ PERIODICITY_ TYPE	数式: KPI_PERIODICITY_TYPE=Period 計算で使用される特定のKPIまたはメトリックの計算期間に置き換えられる 定数。詳細については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳 細」(108ページ)を参照してください。 例: COUNT(Incident, CreateTimePeriod.Periodicity = KPI_PERIODICITY_ TYPE)	
NOW	計算中に現在の計算日に置き換えられる定数。 例: COUNT(Incident, NOW - Incident.CreateTime > 5*DAY)	
HOUR	1時間を表す定数。 例: COUNT(Incident, NOW - Incident.CreateTime > 5*HOUR)	
DAY	1日を表す定数。 例: COUNT(Incident, NOW - Incident.CreateTime > 5*DAY)	
WEEK	1週間を表す定数。 例: COUNT(Incident, NOW - Incident.CreateTime > 5*WEEK)	

### 変数

UI要素	説明
変数	KPIまたはメトリックの数式で使用できる変数のリスト。 このリストには、KPIまたはメトリックの[計算の詳細] タブで選択したビジネ スコンテキストに対応するユニバースのエンティティとフィールドが表示され ます。

UI要素	説明
	注: SAP BusinessObjects Enterpriseで変数に値リストが割り当てられてい て、その変数でオートコンプリート機能が有効になっている場合、変数 と、数式またはフィルターの条件演算子を選択すると、変数に割り当てら れている値リストが表示されます。表示された値を選択するか、テキスト を手入力してください。表示できる値の最大数はパラメーターで設定でき ます (50や100など)。
<検索>	エンティティやフィールドの名前に含まれる、フィルターに使用する文字列。
追加	<ul> <li>・ [関数] ボックスの下の [追加] をクリックすると、選択した関数が数式ボックスの現在の式の最後に追加されます。</li> <li>・ [変数] ボックスの下の [追加] をクリックすると、選択した変数が数式ボックスの現在の式の最後に追加されます。</li> </ul>

#### 説明

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明	
説明	[関数] 領域で選択した関数の説明、または[変数] 領域で選択した変数の説明。	

#### <数式>

UI要素	説明
+ - * /	これらのボタンは、四則演算を数式に入力するために使 用します。
> < = <>>= <=	これらのボタンは、条件演算子を数式に入力するために 使用します。条件演算子は次のとおりです。
	・ = (等しい)
	<b>構文:</b> op1 = op2
	<ul> <li>&gt;(より大きい)</li> </ul>
	構文: op1 > op2
	• <(より小さい)
	<b>構文:</b> op1 < op2
UI要素	説明
-----------------	--
	<ul> <li>&gt;= (より大きいか等しい)</li> <li>構文: op1 &gt;= op2</li> <li>&lt;= (より大きいか等しい)</li> <li>構文: op1 &lt;= op2</li> <li>&lt;&gt; (等しくない)</li> <li>構文: op1 &lt;&gt; op2</li> </ul>
And Or Not Like	これらのボタンは、論理演算子を数式に入力するために 使用します。論理演算子は次のとおりです。 ・LIKE。構文: operand like char % 特定のパターンに一致します。%は「任意の文字に一 致」を表すワイルドカードです。文字列タイプのオペ ランドに対して使用できます。
	<ul> <li>AND。論理的AND。</li> <li>構文: (expr1) AND (expr2)</li> <li>OR。論理的OR。</li> <li>構文: (expr1) OR(expr2)</li> <li>NOT。ブール式の論理否定を返します。</li> <li>構文: NOT (expr)</li> </ul>
(), '	これらのボタンは、対応する要素を数式に入力するため に使用します。
<数式ボックス>	変数、関数、およびボタンを使用して作成中の数式が表 示されます。
テスト	クリックして数式とフィルターを検証およびテストしま す。 システムは、数式とフィルターの両方を検証してから、 KPIまたはメトリックをテストし、結果を表示します。
ОК/キャンセル	次のどれかをクリックします。 • [OK] をクリックすると、選択した数式が[計算の詳細] タブの[ <b>数式</b> ] ボックスに転送されます。 • [キャンセル] をクリックすると変更をキャンセルでき ます。 注: [計算の詳細] タブでは、[ <b>保存</b> ] ボタンと [ <b>破棄</b> ] ボ

UI要素	説明
	タンが有効になり、[ <b>保存</b> ] をクリックして変更を保 存できます。

# KPIまたはメトリックのフィルター

数式に使用される変数の特定の値をフィルターで選択することにより、KPIまたはメトリックの数式の範囲を制限できます。

また、KPIまたはメトリックの数式をカスタマイズすることもできます。詳細については、「KPIまた はメトリックの数式」(122ページ)を参照してください。

共有KPIの詳細については、「共有KPI」(103ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

KPIまたはメトリックの[プロパティ]ペインにある[計算の詳細]タブで[**フィルタービルダーを開く**] ボタンをクリックします。





### 大文字と小文字の区別とその他の情報

- KPIまたはメトリックのフィルター言語では、フィールドの値を除いて、大文字と小文字は区別されません。
- フィルターでは、文字列プリミティブ (二重引用符の間の文字、および日付) でのみ一重引用符を 使用します。
- フィールド値では大文字と小文字が区別されます。

コンテキストデザイナーを使用してコンテキストを作成することにより、追加の変数およびエンティ ティを使用できます。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してください。

# 数式、フィルター、しきい値、値、傾向、およ びスコア

本項では、KPIまたはメトリックに関連する情報を記します。

#### KPIの数式、フィルター、および値

スコアカードKPIエンジンは、KPIの値を、KPIに対して指定されている数式を使用して計算し、KPIに 対して指定されているしきい値を使用して、KPIのステータスとスコアを設定します。また、KPIフィ ルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択することにより、数式の範囲を制限する

こともできます。

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

KPIĽ⊐-			- 1i   @ ∧ ×
			45~
	SLA遵守	牽 (%) ☰	
	100	000%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(	07)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

				······································		
-100	13715060	36123929	55136524	7287.457		2345678

#### KPIのしきい値

エンジンは、KPIの値をKPIのしきい値と比較して、KPIのステータスを計算します。

KPIのステータス

KPIの ステータスは、エラー、 警告、または 良好です。

KPIの傾向

傾向は、変化するKPI結果値の前の結果に対する方向性を示します。 傾向は次のとおりです。

- 向上: 現在の結果が前の結果より大きいことを示します。
- 低下:現在の結果が前の結果より小さいことを示します。
- 普通:現在の結果と前の結果が同じであることを示します。

KPIのスコア

KPIの値は、KPIに対して指定されているしきい値を使用して、スコアに変換されます。

すべてのスコアは、同じ測定スケール(0~10など)に正規化されます。これにより、異なるタイプの KPIのスコアに基づいて目標を計算できます。スコアは、ビジネス価値のステータスと、しきい値か らの相対距離を反映しています。

これに加えて、次のことが言えます。

- 親子ルール計算はすべて、子のスコアに基づきます。
- KPIのスコアは、ビジネス目標を基準としたKPIの成績を表します。詳細については、「目標」(58 ページ)を参照してください。

**例**: KPIが%で計算され、しきい値が90%以上で良好だとします。KPIの値が90%~100%の範囲内の場合、KPIのステータスは「良好」です。ステータスが同じでも、85%のスコアは65%より大きく、97%のスコアは93%より大きくなります。このように、ステータスが同じ場合でもKPIと目標の傾向を捉えることができます。

正規化プロセスは、メトリックのユーザー定義しきい値に基づきます。KPIしきい値には、良好 (6.6~10)、警告 (3.3~6.6)、エラー (0~3.3) の3つのスコア範囲の区分があります。

スコア計算のプロセスは次のとおりです。

- 1. KPI結果を取得します。
- 2. KPI定義のしきい値によって構成されているステータス範囲を取得します。
- 次の式でスコアを計算します。
   F(n) = ((n a) / (b a)) \* (y x) + x
   ここで:
  - a しきい値範囲の最小値
  - b しきい値範囲の最大値
  - x 対応するスコア範囲の最小値

- y 対応するスコア範囲の最大値
- n 結果の値



**例**: MTTR (問題の解決までの時間) のようなメトリックのしきい値は、良好ステータスが1 日、警告ステータスが7日です。スコアのスケールは一定です。8~10が良好ステータス、 7~8が警告ステータス、0~7がエラーステータスです。

MTTRスケールのすべての値は、線形変換または指数変換によってスコアスケールに変換す る必要があります。下のしきい値が設定されていない (∞に等しい)ため、式は異なってい ます。

次の結果に基づいてスコアを確認します。

0.5日 → F(1) = ((0.5 - 0) / (1 - 0)) \* (10 - 8) + 8 = 9 (スコアは9) 4日 → F(4) = ((4 - 1) / (7 - 1)) \* (8 - 7) + 7 = 7.5 (スコアは7.5)

10日 → F(10) = (atan(10 - 7) / 1.5707))\*(7-0) = 4.43 (スコアは4.43)



### メトリックの数式と値

スコアカードKPIエンジンは、メトリックの**値**を、メトリックに対して指定された数式を使用して計 算します。また、メトリックフィルターを使用して、数式に使用される変数の特定の値を選択するこ とにより、数式の範囲を制限することもできます。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

- KPIまたはメトリックのフィルターの変更 ......152
- KPIまたはメトリックの構成変更のテスト ......152

### KPIまたはメトリックのフィルターの変更

- 1. [アクティブなKPI] ペインで、関連するKPIまたはメトリックを選択します。[構成の詳細] タブと [計算の詳細] タブが表示されます。
- 2. [計算の詳細] タブをクリックします。
- [フィルター] 領域では、次のことができます。
   a. フィルタービルダーを使用して、適切なフィルターを作成できます。[フィルタービルダー を開く] ボタンをクリックすると、[フィルタービルダー] ダイアログボックスが開きます。
  - b. 新しいフィルターを入力するか、[フィルター]領域で既存のフィルターを直接変更します。
- 4. [検証]ボタンをクリックしてフィルターを検証します。
- 5. [保存]をクリックして変更を保存します。

### KPIまたはメトリックの構成変更のテスト

KPIの数式またはしきい値を変更した場合、変更が有効であるかどうかをテストする必要があります。

- 1. [計算の詳細] タブまたは [構成の詳細] タブでKPIの構成を変更した後、[保存] をクリックして変 更を保存します。[KPIのテスト] ボタンが有効になります。
- [KPIのテスト]ボタンをクリックして、KPI構成に対する変更をテストします。KPI値が計算され、 ポップアップウィンドウに表示されます。ウィンドウには、変更されたKPIの新しい値、スコ ア、およびステータスが表示されます。結果はデータベースには保存されません。

スタジオ			×
0	KPI名: KPIの値: スコア: ステータス:	オープンされたリスク数 93 # 0.462 😢	
		[	ОК

3. [OK]をクリックして、[構成の詳細]または[計算の詳細]タブに戻ります。

UIの説明

# [フィルタービルダー]ダイアログボックス

	x-e <i>nx</i> -		ヘルブ
変数	Į		
Ŕ\$	ta a		
•	IssueOwner		
	Barson		
	Person		
•	Project		
•	ProjectIssue		
•	ProjectLocation		
•	ProjectManager		
•	P. L. LOUT, M.		
э¥ л	τ		
帝定 色	7		
wa 7			
-va 7			
A70 7			
*** =	÷		
数 王	t.		
数 	t < = <> >= <= And	Or Not Like (), '	
数 了  ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	た   < = <> >= <= And 激気を計算するために使用される:	<mark>────────────────────────────────────</mark>	
数 	t、   < = <> >= <= And 次式を計算するために使用される	<mark>Or Not Like (),</mark> ・ データを選択してください>	
数 了 	た   < = <> >= <= And 次式を計算するために使用される:	<b>Or Not Like (), '</b> データを選択してください>	
数 了 ~ 须	t   < = <> >= <= And 次式を計算するために使用される	<mark>Or Not Like (),</mark> ,・ データを選択してください>	

UI要素	説明
変数	KPIまたはメトリックのフィルターで使用できる変数のリ スト。
	このリストには、KPIまたはメトリックの [計算の詳細] 夕 ブで選択したビジネスコンテキストに対応するユニバー スのエンティティとフィールドが表示されます。

UI要素	説明
	注: SAP BusinessObjects Enterpriseで変数に値リスト が割り当てられていて、その変数でオートコンプ リート機能が有効になっている場合、変数と、数式 またはフィルターの条件演算子を選択すると、変数 に割り当てられている値リストが表示されます。表 示された値を選択するか、テキストを手入力してく ださい。表示できる値の最大数はパラメーターで設 定できます (50や100など)。
<検索>	エンティティやフィールドの名前に含まれる、フィル ターに使用する文字列。
説明	[変数] 領域で選択した変数の説明。
> < = <> >= <=	これらのボタンは、対応する条件演算子をフィルターに 入力するために使用します。条件演算子は次のとおりで す。
	・ = (等しい) <b>構文:</b> op1 = op2
	・ > (より大きい) <b>構文:</b> op1 > op2
	<ul> <li>&lt;(より小さい)構文: op1 &lt; op2</li> </ul>
	<ul> <li>&gt;= (より大きいか等しい)構文: op1 &gt;= op2</li> <li>(トリルナいか等しい)構立 1 &gt;= op2</li> </ul>
	• <= (より小さいか寺しい) <b>備义:</b> op1 <= op2
And Or Not Like	• こくましくない <b>いろ</b> . の ( く の) この ( の) これらのボタンは、対応する論理演算子をフィルターに 入力するために使用します。論理演算子は次のとおりで す。
	<ul> <li>LIKE。構文: operand like char%</li> <li>特定のパターンに一致します。%は「任意の文字に一致」を表すワイルドカードです。これは文字列タイプのオペランドに対して使用できます。</li> </ul>
	• AND。構文: (expr1) AND (expr2) 論理的AND
	• OR。構文: (expr1) OR(expr2) 論理的OR
	• NOT。構文: NOT (expr) ブール式の論理否定を返します。

UI要素	説明
(), '	これらのボタンは、対応する要素をフィルターに入力す るために使用します。
<フィルターボックス>	変数、関数、およびボタンを使用して作成中のフィル ターが表示されます。
テスト	クリックして数式とフィルターを検証およびテストしま す。 システムは、数式とフィルターの両方を検証してから、 KPIまたはメトリックをテストし、結果を表示します。
ОК/キャンセル	次のどれかをクリックします。 • [OK] をクリックすると、選択した数式が[計算の詳細] タブの[フィルター] ボックスに転送されます。 注: [計算の詳細] タブでは、[保存] ボタンと[破棄]
	ボタンが有効になり、[ <b>保存</b> ]をクリックして変更 を保存できます。
	• [ <b>キャンセル</b> ]をクリックすると変更をキャンセルでき ます。

# KPIまたはメトリックのビジネスコンテキ スト

KPIまたはメトリックのビジネスコンテキストまたはユニバースは、KPIまたはメトリックが表すビジ ネスの様相に関連するグローバルなビジネスの側面を表します。

**例**: メンテナンス状態の資産の割合 (%) KPIは、AssetManagementユニバースの1つの側面を表します。

KPIまたはメトリックを複製する際に、KPIまたはメトリックのビジネスコンテキストを変更したり、 数式を変更したりできます。

また、ビジネスコンテキストを追加して、新しいビジネスコンテキストにKPIまたはメトリックをア タッチすることもできます。詳細については、『BA Content Reference Guide』の 「SAP BusinessObjects Enterprise Contexts (Universes)」を参照してください。

#### アクセス方法:

選択したアクティブなKPIまたはKPIテンプレートに対する[計算の詳細]タブで、[**ビジネスコンテキス トの選択**]をクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



### ビジネスコンテキスト

セマンティックレイヤーとは、エンドユーザーのデータアクセスをサポートする機能です。エンド ユーザーは一般的なビジネス用語を使用して企業データを分析でき、複雑なデータが使い慣れたビジ ネス用語 (製品、顧客、収益など) にマッピングされているので、組織内のデータ全体を一貫した方法 で表示できます。また、データ言語ではなく一般的なビジネス用語を使用して情報アクセス、操作、 編成を行うので、複雑なビジネスデータを簡素化することができます。このビジネス用語は、オブ ジェクトとしてビジネスコンテキスト (ユニバース) 内に保存され、ビジネスビューでアクセスできま す。ビジネスコンテキストは、リレーショナルデータベースとOLAPキューブに保存されているデー タへのアクセスと分析に使用します。これをコアビジネスインテリジェンス (BI) テクノロジーとして 活用すれば、ユーザーは難解なIT技術を使用する必要がなくなるだけでなく、正しい結果を取得する ことができます。

ビジネスビューは複数の階層構造を持つシステムであり、包括的で具体的なビジネスオブジェクトを 作成することによって、レポート設計者とエンドユーザーが必要な情報にアクセスできるようになり ます。ビジネスビューでは、必要なビジネスコンテキストをデータアイランドに追加し、複数のアイ ランドをリンクすることで1つのビジネスビューを作成することができます。

コンテキストまたはユニバースは、組織のデータのビジネス表現であり、エンドユーザーが共通のビ ジネス用語を使用してデータにアクセスするのを支援する役割を果たします。コンテキストは、メタ データのセマンティックレイヤーの結果で、データのビジネス指向のビューを作成します。コンテキ ストには、ディメンションおよび測定オブジェクトを構成するテーブルのスキーマが含まれます。コ ンテキストは、データウェアハウスとデータを表示する分析との間のインターフェイスです。

コンテキストは、ソースデータにマップされたオブジェクトとクラスから構成され、クエリとレポートからアクセスできます。これは、HP IT Business Analyticsで使用されるビジネスコンテキストに対応します。

各コンテキストには、クラス (エンティティ)、ディメンション属性を持つオブジェクト、エンティ ティ間の関係が含まれます。エンティティの値は、それらを表現する重要業績評価指標 (KPI) または メトリックの値とステータスの計算に使用されます。KPIまたはメトリックは、HP IT Business Analyticsエンジンおよびスタジオで使用される構成要素です。

Business Analyticsセマンティックレイヤーには、次の内容が含まれます。

- SAP BusinessObjectsで作成したユニバース。ユニバースの詳細については、SAP BusinessObjectsの ドキュメントを参照してください。
- コンテキストデザイナーで作成した設定済みコンテキスト。
- コンテキストデザイナーで作成し、.CSVファイルからアップロードしたデータを格納したユーザー 定義のコンテキスト。コンテキストデザイナーの詳細については、『BA Content Reference Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してください。

KPIまたはメトリックの数式を変更したい場合、KPIまたはメトリックのコンテキスト (ユニバース) 内の関係を意識する必要があります。詳細については、「ExcelフォーマットのKPIおよびメトリックライブラリ」または次の関連するコンテキストを参照してください。

- ALM Data Source Integration, Associated Contexts, KPIs, Metrics, Data Lineage, and Reports
- AWS Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- AWSCW Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- CSA Data Source Integration, Associated Context, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- PPM Data Source Integration, Associated Contexts, KPIs, Metrics, and Data Lineage
- SM Data Source Associated Contexts, KPIs, Metrics, Data Lineage, and Reports

これらのドキュメントは、『BA Content Reference Guide』で入手できます。

スタジオで表示、使用されるコンテキスト、エンティティ、およびディメンションは、BAライブラ リにあるユニバースの一部です。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

•	KPIのビジネスコンテキストの変更	159
•	KPI構成への変更のテスト	

### KPIのビジネスコンテキストの変更

- 1. [アクティブなKPI]ペインで、関連するKPIを選択します。
- 2. オプションで、[**現在のエンティティのコピーを作成**] <sup>1</sup> ボタンをクリックして、KPIを複製しま す。同じ名前の後に括弧に入ったインデックス番号が付いたKPIが、同じ目標内に作成されま す。
- 3. KPIの [計算の詳細] タブで、[ビジネスコンテキストの選択] をクリックします。
- 4. [ビジネスコンテキスト]ダイアログボックスで、新しいビジネスコンテキストを[ビジネスコン テキストの選択]リンクで選択します。[OK]をクリックします。
- 5. 必要な場合、数式またはフィルターを変更します。詳細については、「KPIまたはメトリックの 数式」(122ページ)または「KPIまたはメトリックのフィルター」(147ページ)を参照してください。

### KPI構成への変更のテスト

KPIのユニバース (ビジネスコンテキスト)を変更した場合、変更が有効であるかどうかをテストする 必要があります。

- 1. [計算の詳細] タブまたは [構成の詳細] タブでKPIの構成を変更した後、[保存] をクリックして変 更を保存します。[KPIのテスト] ボタンが有効になります。
- 2. [KPIのテスト] ボタンをクリックして、KPI構成に対する変更をテストします。KPI値が計算され、

ポップアップウィンドウに表示されます。ウィンドウには、変更されたKPIの新しい値、スコ ア、およびステータスが表示されます。結果はデータベースには保存されません。

スタジオ			×
0	KPI名: KPIの値: スコア: ステータス:	オープンされたリスク数 93 # 0.462 8	
			ОК

3. [OK]をクリックして、[構成の詳細]または[計算の詳細]タブに戻ります。



## [ビジネスコンテキストの選択] ダイアログボッ クス

ビジネスコンテキスト	ヘルプ	×
KP徴式で使用されるエンティティを決めるビジネスコンテキストを選抜 い。	Rしてくださ	
ビジネスコンテキストの選択: FinancialManagement 💙		
▲ 注:ビジネスコンテキストの選択は、KPIのフィルター、数 ブレークダウンに影響します。	式、および	
OK +*	ッンセル	

UI要素	説明
ビジネスコンテキス	適切なビジネスコンテキストを選択します。
トの選択	ビジネスコンテキストは、KPIの値の計算のための数式に利用可能なビジネ スエンティティを決定します。

計算

アクティブなKPIを構成した後で、その数式、フィルター、またはしきい値を変更した場合、KPIとそれに関連する目標の値、ステータス、および傾向を再計算して、対応するデータをダッシュボードに 表示する必要があります。計算は、選択したビジネスコンテキスト内の各KPIの現在の期間に対して 行います。

アクセス方法:

[アクティブなKPI]ペインで、該当するKPIを選択し、[**計算オプション**] <sup>//</sup>ボタンをクリックして、

 9515計算	オプションを選択します。

タスク UIの説明

■タスク

### 構成変更後の計算の実行

このタスクには次の手順があります。

1. **前提条件** 

KPIの数式、フィルター、しきい値定義を作成または変更しました。詳細については、「KPIまた はメトリックの数式」(122ページ)または「KPIまたはメトリックのフィルター」(147ページ)を参 照してください。

2. 現在の期間の計算

KPIの定義(数式またはしきい値)を変更した場合、KPIの値が変化し、KPIに関連する目標に影響 が及ぶことがあります。選択されているビジネスコンテキストの各KPIに対して、KPI構成で指定 された期間について計算を実行することにより、変更の影響をダッシュボードに表示されてい る結果にただちに反映させることができます。

現在のデータを計算するには、次の手順を実行します。

- a. [アクティブなKPI] ペインで、[アクティブなKPI] ツールバーの [**計算オプション**] <sup>ズ</sup>ボタンを クリックし、 <sup>同 すぐに計算</sup>オプションを選択します。
- b. [すぐに計算]ダイアログボックスが開いたら、次の手順を実行します。
  - [再計算のユニバース/コンテキスト]で、再計算に使用するコンテキスト(データソース)
     を選択します。

 ○ [このプロセスの影響について理解しています。計算を進めます]オプションを選択して 計算を進めます。

制限事項:計算は、選択したビジネスコンテキスト内の各KPIの現在の期間に対して行います。

c. [**計算**]をクリックします。

計算は選択したコンテキスト(ユニバース)のすべてのKPIと目標に対して実行されます。

注:

- 計算を実行すると、計算対象として選択された期間と同じ期間について利用可能だった すべてのデータは削除されます。
- バックアップは利用できません。

3. 結果

ダッシュボードの関連するコンポーネントに計算結果のデータが表示されます。



# [すぐに計算]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、すべてのKPI、目標の値、傾向、およびステータスを、選択したビジネスコンテキストおよび同じビジネスコンテキスト内の各KPIの期間に対して計算できます。

すく"に計算	ヘルプ ×
このプロセスは特定のデータユニバース/コンテキストについてすべてのKPIと目標を計算す。	むしま
再計算のユニバース/コンテキスト: ALM_Defect ~	
▲ 警告: このブロセスは、ユニバース/コンテキストから収集されたすべての約 ンパクトがあり、元に戻すことができません。 さらに、このブロセスは大量 荷を発生させ、すべてのユーザーの計算時間中にシステムのパフォーマン げる場合があります。	課にイ のDB負 っスを下
□ このブロセスの影響について理解しています。計算を進めます	
計算 キャンセ	μ

UI要素	説明
再計算のユニバース/コンテキスト	再計算に使用するコンテキスト (データソース) を選択し ます。
このプロセスの影響について理解して います。計算を進めます	このオプションを選択し、計算を進めます。
計算	クリックして計算を開始します。
	<b>制限事項:</b> 計算は、選択したビジネスコンテキスト内の各 KPIの現在の期間に対して行います。

再計算

アクティブなKPIを構成した後で、その数式、フィルター、またはしきい値を変更した場合、KPIとそれに関連する目標の値、ステータス、および傾向を再計算して、対応するデータをダッシュボードに 表示する必要があります。選択した日付(最長1年前)から現在の日付までの期間で、選択したビジネ スコンテキスト内の各KPIに対して、履歴計算(再計算)を実行します。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI] ペインで、該当するKPIを選択し、[**計算オプション**] <sup>//</sup>ボタンをクリックして、

▶ ■ 再計算	オプションを選択し	ます。
詳細情報	タスク	UIの説明



選択した日付 (最長1年前) から現在の日付までの期間で、選択したユニバース/コンテキストのすべて の結果を再計算できます。



### 再計算の実行

このタスクには次の手順があります。

- 「前提条件」(165ページ)
- 「履歴情報の再計算」(165ページ)
- 「結果」(166ページ)
- 1. 前提条件

KPIの数式、フィルター、しきい値定義を作成または変更しました。詳細については、「KPIまた はメトリックの数式」(122ページ)または「KPIまたはメトリックのフィルター」(147ページ)を参 照してください。

#### 2. 履歴情報の再計算

KPIの定義 (数式またはしきい値) を変更した場合、KPIの値が変化し、KPIに関連する目標に影響 が及ぶことがあります。KPIに関連する履歴 (過去) 情報の再計算を行った方がよい場合もありま す。 履歴 (過去) 情報を再計算するには、次の手順を実行します。

- a. [アクティブなKPI]ペインで、変更したKPIを選択します。
- b. [アクティブなKPI] ツールバーの [**計算オプション**] <sup>が</sup>ボタンをクリックし **記** 再計算 オプションを選択します。
- c. [再計算]ダイアログボックスが開いたら、該当するコンテキストを選択して、[**計算**]をク リックします。
- d. [**このプロセスの影響について理解しています。計算を進めます**]オプションを選択して再計 算を進めます。

履歴の再計算は、選択したコンテキスト (データソース) に関連するコンテキストで構成され たKPIに対して実行されます。履歴計算を開始する日付を指定します。計算は、過去1年間に 関して、選択した日付から現在の日付まで行われます。

注:

- ・
   ・
   再計算は並列には実行できません。新たに再計算を実行するには、現在の再計算が終わるまで待つ必要があります。
- 再計算プロセスはCPUに大きな負荷を与えます。必要な場合のみ実行するようにしてく ださい。

3. 結果

ダッシュボードの関連するコンポーネントに再計算結果のデータが表示されます。



### [再計算]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、すべてのKPI、目標、値、傾向、およびステータスの再計算を、数 式、フィルター、またはしきい値を変更したKPIのコンテキストで、選択した日付 (最長1年前) から現 在の日付までの期間にわたって行う方法を指定できます。

再計算		ヘルプ ×
このプロセスは選択した日付 (最長 キストのすべての結果を再計算しま	5年前まで)から現在の日付ま です。	で選択したユニバース/コンテ
再計算のユニバース/コンテキスト:	CloudOptimization	~
再計算開始日:	2014/06/26	
▲ 警告: このブロセスは、ユニンバクトがあり、元に戻すこ荷を発生させ、すべてのコートする場合があります。 □ このプロセスの影響について我の	ニバース/コンテキストから収 ことができません。 さらに、、 ユーザーの計算時間中にシス 里解しています。計算を進めま	集されたすべての結果にイ このプロセスは大量のDB負 テムのバフォーマンスを下
	計	算 キャンセル

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (ラベルのない要素は角括弧付きで示され ます)。

UI要素	説明
再計算のユニバー ス/コンテキスト	すべての結果を再計算するユニバース/コンテキストを選択します。
再計算開始日	履歴の再計算を開始する日付を選択します。この計算は、指定した日付から 現在の日付までの期間に対して実行されます。
	<ul> <li>制限事項:</li> <li>再計算の期間は、[再計算開始日]で指定した日から1年間までに限定されます。</li> <li>KPIまたはメトリックの期間が毎日である場合、再計算の期間は、既定では、[再計算開始日]で指定した日から30日間になります。既定値は変更できます。詳細については、『BA Administrator Guide』の「Engine Settings」を参照してください。</li> </ul>
このプロセスの影 響について理解し ています。計算を 進めます	このオプションを選択し、再計算を進めます。
計算	クリックして再計算を開始します。 <b>制限事項:</b> 計算は、選択したビジネスコンテキスト内の各KPIの選択した期間 に対して行います。

計算のスケジューリング

ビジネスコンテキストの計算を定期的に実行するようにスケジュールできます。これにより、ビジネ スコンテキストに関連付けられたKPIの値、ステータス、傾向、およびスコアが計算され、ダッシュ ボードのスコアカードおよびコンポーネントに計算とその結果が反映されます。選択した日付(最長1 年前)から現在の日付までの期間で、選択したユニバース/コンテキストのすべての結果を再計算する 方法を指定できます。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI] ペインで、該当するKPIを選択し、[**計算オプション**] <sup>が</sup>ボタンをクリックして、



○詳細情報

スケジュールされた時間に、次のプロセスが実行されます。

- ・ ビジネスコンテキストに関連付けられたKPIの計算が、現在の期間に対して実行されます。
- これらのKPIを含む目標も、現在の期間に対して計算されます。
- これらのKPIを含むスコアカードとコンポーネントは、ダッシュボードを開いたときに更新されます。



# ビジネスコンテキスト計算のスケジュール

ここでは、コンテキストの自動計算のスケジュールを設定する方法を説明します。計算は構成内容に 基づいて自動実行され、最新のデータがダッシュボードに表示されます。

計算エンジンは、ユーザーの設定に応じて自動的に稼働します。

- 1. [**スタジオ**]タブをクリックします。
- 2. [アクティブなKPI]ペインでKPIを選択し、[計算オプション] 🖍 ボタンをクリックして、

部 コンテキスト計算のスケジュール オプションを選択します。

計算のスケジュールは、ビジネスコンテキストごとに指定します。

- [ビジネスコンテキスト計算のスケジューリング]ダイアログボックスで、[ビジネスコンテキスト]ドロップダウンリストからビジネスコンテキストを選択し、[スケジュールの詳細]領域に、計算の実行日時を入力します。[保存]をクリックします。
   追加したいビジネスコンテキストがある場合は、同じ手順で計算のスケジュールを指定します。
- 4. スケジュールの設定が完了したら、[保存]をクリックして設定を保存します。

スケジュールされた時間に、次のプロセスが実行されます。

- ビジネスコンテキストに関連付けられたKPIの計算が、現在の期間に対して実行されます。
- これらのKPIを含む目標も、現在の期間に対して計算されます。
- これらのKPIを含むスコアカードとコンポーネントは、ダッシュボードを開いたときに更新されます。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、「ムービーへのアクセス」を参照してください。

UIの説明

## [ビジネスコンテキスト計算のスケジューリング] ダイアログボックス

ビジネスコンテキスト計算のスケジューリング	ヘルプ	
ビジネスコンテキストの計算時間をスケジュールしてください。スケジューリングのないコンテキスト は警告アイコンでマークされ、それに関連付けられたKPIがある場合は、計算されません。		
ビジネスコンテキスト	スケジュールの詳細	
🔒 ALM_Defect		
▲ ALM_DefectDemo		
ALM_Requirement	左側のビジネスコンテキストリストから選択し、ス	
\rm ALM_RequirementDemo	ケジュールを編集してくたさい。	
🛕 ALM_Test		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	保存 キャンセル	

UI要素	説明	
ビジネスコンテ キスト	ビジネスコンテキストのリストで、計算をスケジュールするビジネスコンテキストを選択します。	
	[スケジュールの註細] 領域は次のように表示されます。	
	ビジネスコンテキスト計算のスケジューリング ヘルプ ビジネスコンテキストの計算時間をスケジューリルしてください。スケジューリングのないコンテキスト は警告アイコンでマークされ、それに関連付けられたKPWがある場合は、計算されません。	
	ビジネスコンテキスト スケジュールの詳細	
	▲ ALT_requirement ▲ ALM_RequirementDemo 計算開始時間: 00:00 HH:MM	
	- KU_UCK 最終実行日時: 2014/06/19 21:30	
	次回実行日時: N/A 保存 キャンセル	
スケシュールの 詳細	ビジネスコンテキストの計算を実行する曜日を選択します。 <b>注:</b>	
	スタジオ内の計算スケジューラー、またはコンテンツフロー管理の[エン	
	ジン自動計算設定]ダイアログボックスで、同じビジネスコンテキストの トリガーを構成した場合、エンジンが同一のビジネスコンテキストを同時 に計算しようとする状況が発生する可能性があります。トリガーが手動の 場合、このビジネスコンテキストの計算が実行中であるため、後でもう一 度やり直すように通知されます。スケジューリングが自動的にトリガーさ	
	れる場合、エンジンは前の計算が続けした後にビジネスコンテキストの計算を実行します。	
	詳細については、『BA Administrator Guide』の「Run ETL - Content Flow	
	Management」を参照してください。	
計算開始時間	ビジネスコンテキストの計算を開始する時刻を入力します。	
最終実行日時	最新の計算が実行された日時。	
次回実行日時	次の計算が実行される予定の日時。	

# 計算と再計算の監視

アクティブなKPIを構成した後で数式、フィルター、しきい値を変更した場合、変更後の新しいデー タをダッシュボードで表示するには再計算が必要になります。計算は、選択したビジネスコンテキス ト内の各KPIの現在の期間に対して行います。また、選択した日付から現在の日付までの期間で、選 択したビジネスコンテキスト内の各KPIに対して再計算(履歴計算)を実行することも可能です。さら に、計算を定期的に実行するようスケジュール設定もできます。

ビジネスコンテキスト (ユニバース) での計算または再計算の履歴の監視や、計算中または再計算中の ビジネスコンテキストの表示を行います。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI] ペインで [**計算オプション**] /ボタンをクリックし、 日前算監視 [**計算監視**] オプションを選択します。

<mark>タスク</mark> UIの説明



本項の内容

特定のビジネスコンテキストに計算または再計 算のステータス監視

1. [アクティブなKPI] ペインで [計算オプション] <sup>/</sup>ボタンをクリックし、

🔄 計算監視

[計算監視] オプションを選択します。

- 2. [計算監視] ダイアログボックスで、[ビジネスコンテキストごとの計算ステータス] を選択しま す。
- [ビジネスコンテキスト]ドロップダウンリストでビジネスコンテキストを選択します。このリストには、ビジネスコンテキストがすべて表示されます。

ダイアログボックスには、計算または再計算のステータス、計算または再計算の開始日、計算 または再計算の終了日が表示されます。

### 実行中の計算または再計算の監視

- 1. [アクティブなKPI] ペインで [計算オプション] <sup>▶</sup>ボタンをクリックし、 ♀ 計算監視
  [計算監視] オプションを選択します。
- 2. [計算監視] ダイアログボックスで、[現在実行中の計算] を選択します。
   ダイアログボックスに、計算または再計算を実行中のビジネスコンテキストが表示されます。
- 関連するビジネスコンテキストを選択します。[現在の計算期間] 領域には、現在実行中の計算または再計算プロセスで使用されている計算期間([毎年]、[毎月]、[毎四半期]、[毎週]、または[毎日] のいずれか) が表示されます。ビジネスコンテキストをクリックすると、実行中の計算または再計算に関するデータが更新されます。[計算開始時間] フィールドには、計算または再計算が開始された日時が表示されます。



# [計算監視] ダイアログボックス

各ビジネスコンテキストでの計算または再計算の履歴の監視や、計算または再計算中のビジネスコン テキストの表示を行います。

計	算監視	ヘルプ	×
	監視オプション: <計算監視のタイプの選択> ──		
-			
		肌る	

UI要素	説明	
監視オプション	次の中から選択します。	
	• ビジネスコンテキストごとの計算ステータス: 選択したビジネスコンテキストの計算または再計算の履歴を監視します。詳細については、「<ビジネスコンテキストごとの計算ステータス>」(174ページ)を参照してください。	
	• 現在実行中の計算:計算または再計算を実行中のビジネスコンテキストを表示します。詳細については、「<実行中の計算>」(175ページ)を参照してください。	
ビジネスコンテ キスト	ドロップダウンリストから、監視対象となるビジネスコンテキストを選択しま す。このリストには、ビジネスコンテキストがすべて表示されます。	

<ビジネスコンテキス	トごとの計算ステータス>
------------	--------------

計算監視	ヘルプ	×
監視オプション: ビジネスコンテキストごとの計算ス 🖌		
ビジネスコンテキスト: ALM_Defect		
計算ステータス:		
開始日:		
終了日:		
最終更新日:		
閉	じる	

UI要素	説明
ビジネスコンテ キスト	ドロップダウンリストでビジネスコンテキストを選択します。このリストに は、ビジネスコンテキストがすべて表示されます。
ステータス	計算または再計算のステータス。次のどれかです。[ <b>実行中</b> ]、[ <b>未計算</b> ]、[ <b>エ</b> ラー]、[ <b>完了</b> ]
開始日	計算または再計算を開始した日時。
終了日	計算または再計算が終了した日時。計算または再計算がまだ実行されていない 場合、このフィールドは空になります。
最終更新日	最新の計算が完了した日時。計算が完了すると、[終了日] と[最終更新日] が同 じ値になります。計算の実行中、現在実行中の計算の新しい結果と新しい期間 に基づいてデータベースが更新されます。計算に関連する新規レコードでデー タベースが更新されるたびに、[最終更新日]も更新されます。履歴の再計算に 時間がかかる場合、この情報が役立ちます。

### <実行中の計算>

計算監視		ヘルプ	×
監視オブション: 現在実行中の計算	~		
ビジネスコンテキストを選択すると計算詳細が表	示されます		
ビジネスコンテキスト	現在の計算期間:		
表示する項目がありません.	毎年:		
	毎月:		
	每四半期:		
	毎週:		
	毎日:		
	計算開始時間:		
	[	閉じる	

UI要素	説明
ビジネスコンテ キスト	計算または再計算を実行中のビジネスコンテキストが一覧表示されます。ユニ バースをクリックすると、計算または再計算の詳細情報が表示されます。
現在の計算期間	現在実行中の計算または再計算プロセスで使用されている計算期間([毎年]、 [毎月]、[毎四半期]、[毎週]、または[毎日]のいずれか)が表示されます。期間 を変更してビジネスコンテキストをクリックすると、ボックス内の数値が変更 されます。
	計算開始時間:計算または再計算を開始した日時。

# スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの 表示の同期

スタジオの[アクティブなKPI]ペインで変更を行うと、その変更は即座にダッシュボードとエクスプ ローラーに反映されます。その効果は、次のようにスタジオで行われた変更のタイプに応じて変わり ます。

- 次の変更では、変更されたKPI、メトリック、または目標に対して計算を実行し、[エクスプロー ラー] タブまたは [ダッシュボード] タブにデータを表示して、計算が完了するまで変更された KPI、メトリック、または目標の値が [保留中] になるようにする必要があります。
  - コンテキスト、数式、フィルター、しきい値の方向性、境界ステータス(警告)、およびKPIの計 算期間の変更。
  - コンテキスト、数式、フィルター、およびメトリックの計算期間の変更。
  - 目標の変更:
    - KPIの割り当て(または割り当て解除)。
    - そのルール(ベストチャイルド、ワーストチャイルドなど)、および割り当てられているサブ 目標またはKPIのウェイトの変更。
- 次の変更は小さな変更と見なされ、計算が関与せず、即座にダッシュボードとエクスプローラーに表示されます。
  - スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリック、KPIまたはメトリックブレークダウン名と説明が変更されます。
  - カスケードスコアカードの変更。
  - ビジネスモチベーション、コメント、所有者、追加情報、または単位の変更。

# スタジオでのダッシュボードコンテ ンツの強化

次の方法で、エグゼクティブダッシュボードコンテンツを改良できます。

- カスケードスコアカードを作成して、エグゼクティブが同じスコアカードの下位レベルにドリル ダウンできるようにします。詳細については、「スコアカードのカスケード」(200ページ)を参照 してください。
- KPIまたはメトリックのブレークダウンを作成して、KPIまたはメトリックの測定値に関するより詳細な情報が得られるようにします。詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)または「メトリックブレークダウン」(185ページ)を参照してください。
- ブレークダウンKPIの特定のディメンションの値の所有者としきい値を指定することにより、ブレークダウンの一部が特定のユーザーだけに見えるようにしたり、KPIブレークダウンに関して一部のユーザーに異なるしきい値を適用したりすることができます。詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
- KPIの追加情報 (ほかのページ、BO、またはXcelsiusレポートへのリンクや外部URLなど)を指定しま す。詳細については、「KPIまたは目標の追加情報」(196ページ)を参照してください。
- カスケードスコアカードを追加して、スコアカードの目標の所有者に基づいて、パフォーマンス 測定をトップダウン的に追跡します。詳細については、「スコアカードのカスケード」(200ページ)を参照してください。

KPIブレークダウン

KPIディメンションに基づいて、KPIのブレークダウンを作成して管理できます。

#### アクセス方法:

[アクティブなKPI]ペインで、KPIブレークダウンを選択します。







KPIは、ビジネスコンテキスト (ユニバース) を表します。KPIの値は、ビジネスコンテキストに関する 情報を提供するエンティティ (ファクトまたはディメンション) に基づいて計算されます。ビジネスコ ンテキストには、多数のファクトやディメンションが含まれることがあります。

#### 例

- 会社全体の離職率KPIは、社内の各組織の離職率から構成され、各組織の離職率は組織内の各 グループの離職率から構成されます。離職率KPIは、社内の従業員数と、ほかの関心を追究す るために会社を去ったか引退した従業員の数から計算されます。
- 部門、主題、問題の場所、および追加情報に関する方法を含むチケットがあります。

管理者は、KPIの定義とKPIのユニバースに応じて、複数のレベルのKPIブレークダウンを作成します。 これらの定義から生じるさまざまなレベルのブレークダウンを使用すれば、きわめて詳細な情報が得 られます。

**例:**たとえば、エグゼクティブが会社全体の離職率を知りたいとします。離職率KPIのディメン ションが企業内の組織、グループ、および場所だとした場合、管理者は組織、グループ、および 場所ごとの離職率のKPIブレークダウンを作成できます。これにより、エグゼクティブは、企業 全体の離職率から出発して、組織および下位組織へとたどり、特定の場所の最も小さい組織の離 職率にまで至ることができます。

スタジオでは、ブレークダウンをディメンションに基づいて構成できます。各KPIについて、関連す るエンティティのリストがメニューに表示され、これらのエンティティのディメンションがサブメ ニューに表示されます。KPIは複数のレベルのブレークダウンを持つことができます(最大6レベル)。

**注:** ブレークダウンを構成する際には、対象となるKPIのコンテキストはロックされます。これは、ブレークダウンがKPIの定義(期間の定義など)を継承するためです。ブレークダウンに異な

る定義を指定することはできず、ブレークダウンを作成したKPIの定義を変更することもできま せん。KPIコンテキストのロックを解除するには、ブレークダウンを削除する必要があります。

ブレークダウンで使用できるフィールドのリストは、コンテキストデザイナーで設定します。既定で は、数値フィールドはディメンションではないので、ブレークダウンには使用できません。この フィールドをブレークダウンで使用するには、コンテキストデザイナーを開き、[エンティティ]領域 でひをクリックします。これにより、ブレークダウンの作成が可能になります。詳細については、 『BA Content Reference Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してください。

データフィールドは、ブレークダウンに使用できません。

ヒント:

- KPIブレークダウンを持つKPIの名前、またはメトリックブレークダウンを持つメトリックの名前を変更する場合、名前を更新するには、計算を新しく実行する必要があります。オーバー ライドの詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックブレークダウンの名前は、KPIまたはメトリックの親の名前を変更しても、新しい計算の後でも自動的に更新されません。スタジオにアクセスして、新しい親KPIまたはメトリックの名前に合わせてKPIまたはメトリックブレークダウンの名前を手動で変更する必要があります。

# スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

•	KPIブレークダウンの作成	. 180
•	KPIブレークダウンに対するKPIブレークダウンの作成	. 180
•	ブレークダウンの削除	181
•	使用例 - KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成	. 181

### KPIブレークダウンの作成

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するKPIを選択し、ツールバーの [KPIのブレークダウンを作成] <sup>1</sup> ボタンをクリックしま す。
  - 該当するKPIを右クリックし、開いたメニューで[**ブレークダウン**]を選択します。
- 3. エンティティのリストが開いたら、必要なディメンションを選択します。
- 4. KPIブレークダウンは、KPIの子として、ブレークダウン<sup>①</sup>アイコン付きで挿入されます。

例 (一般的なKPIブレークダウン):



5. 複数のブレークダウンを追加することもできます。

KPIブレークダウンに対するKPIブレークダウンの 作成

- 1. [スタジオ]ボタン (右上隅) をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI] ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するKPIブレークダウンを選択し、ツールバーの [KPIのブレークダウンを作成] <sup>30</sup>ボタン をクリックします。
  - 該当するKPIブレークダウンを右クリックし、開いたメニューで<sup>34</sup>[ブレークダウン]を選択します。
- 開いたメニューで、必要なエンティティを選択し、該当する場合は必要なディメンションを選択します。
   新しいKPIブレークダウンが、関連するスコアカードツリーに、KPIブレークダウンの子として、 ブレークダウン・アイコン付きで挿入されます。
   例(KPIブレークダウンに対するKPIブレークダウン):
▼ ~ビジネス目標に紐づくプロジェクトの割合(%)

▼ 冊 ビジネス目標に紐づくプロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority

- 冊ビジネス目標に紐づくプロジェクトの割合 (%) - ProjectRisk ThresholdMet

4. 選択したディメンションによっては、さらに多くのブレークダウンレベルを追加できます。ブレークダウンの上位レベルで選択したディメンションは、下位レベルでは無効になります。

## ブレークダウンの削除

ブレークダウンを削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン (右上隅) をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するKPIブレークダウンを選択し、ツールバーの[現在選択されているノードを削除]
     ボタンをクリックします。
  - 該当するブレークダウンKPIを右クリックし、開いたメニューで []][]]除]オプションを選択します。選択したブレークダウンに子ブレークダウンがある場合、操作を確認すると子ブレークダウンも削除されます。
- 3. 削除の確認を求められたら、確認を行います。

# 使用例 - KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成

詳細については、『Getting Started with BA』の「Use Case - Create KPI Breakdowns and Configure Breakdown Override」を参照してください。

UIの説明

## KPIブレークダウンの[構成の詳細]タブ

<ul> <li>              ◆会会 - KPrプレークダウン          </li> <li>             エンティティ: ProjectObjective             ディメンション: Priority         </li> <li>             * 名前: ビジネス目標に知て、プロジェクトの割合(%) - ProjectObjective Priority             説明: マプレークダウンの説明      </li> <li>             * 名黒しざい         </li> <li>             がらかり、             * ストー・クダウンの説明         </li> <li>             * ストー・クダウンの説明         </li> <li>             * ストー・クダウンの説明         </li> <li>             * ストー・クダウンの説明         </li> <li>             * ストー・クダウンストー・バーライドの追加         </li> </ul>	<b>素成の詳細</b>		
<ul> <li>              ◆金般 - KPiプレークダウン          </li> <li>             エンティティ: ProjectObjective             ディメンション: Priority         </li> <li>             *名前: ビジネス目標に知づくプロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority</li></ul>			
エンティティ: ProjectObjective ディボンション: Priority *名前: ピジネス目標に狙・次プロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority 説明: <i>ペプレークダウンの説明</i> - <b>・ 結果しさい値</b> 方向性: 服小値が望まい ~ □ 境界ステータスを含む (響合) 0 33.333 66.667 100 <b>・ オーバーライド</b>	▼ 全般 - KPIブレ~	クダウン	
ディズンション: Priority *名前: ビジネス目標に超スペプロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority 説明: <i>プレークダウンの説明&gt;</i> <b> </b>	エンティティ:	ProjectObjective	
<ul> <li>*名前: ビジネス目標に狙べくブロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority</li> <li>説明: </li> <li>ブレークダウンの説例&gt;</li> <li></li></ul>	ディメンション :	Priority	
*名前:       ビンチ×X目標に超 × ノロシェントの割合 (%) - Project/00ject/00 Priority         説明:       <プレークダウンの成例>          名黒しさい値         方向性:       温小値が望まし、         0       33.333         66.667       100         ブレークダウンオーバーライドの追加       100	محد جار ی		
WH: <i>スレークダウンの説明 大田大小支イドの追加 ブレークダウンオーバーライドの追加</i>	"名則:	ビンネス目標に超 スプロジェクトの割合 (%) - Projective Priority	
✓ 結果しざい値 方向性: 最小値が望ましい ✓ ☑ 境界ステータスを含む (警告) 0 33.333 66.667 100 ✓ オーバーライドの追加	訊明:	<ブレークダウンの説明>	
<ul> <li>✓ 結果しざい値</li> <li>方向性:          ●/値が望ましい ●           </li> <li>33.333 66.667 100         </li> <li>オーバーライドの追加      </li> </ul>			
方向性: 最小値が望ましい ✓ ✓ 境界ステータスを含む (警告) 0 33.333 66.667 100 ✓ オーバーライド プレークダウンオーバーライドの追加	▼ 結果しぎい値		
・ オーバーライド フレークダウンオーバーライドの追加	方向性:	最小値が望ましい ~ □ 境界ステータスを含む (警告)	
0 33.333 66.667 100 ▼ オーバーライド ブレークダウンオーバーライドの追加			
★ オーバーライド ブレークダウンオーバーライドの追加	0	33.333 66.667	100
ブレークダウンオーバーライドの追加	▼ オーバーライド		
	ゴレーカがウンオ	ーパーティングの治疗する	
ー KPIのテスト			

#### 一般情報

UI要素	説明
KPIのテスト	クリックすると、KPIをテストできます。 このボタンはKPIブレークダウンに対しては無効です。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[ <b>保存</b> ]操作より後に行った変更が破棄されます。

ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの強化

#### 全般 - KPIブレークダウン

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
エンティティ	KPIブレークダウンを作成する際に選択したエンティティの名前。
ディメンション	KPIブレークダウンを作成する際に選択したディメンションの名前。
名前	<b>KPIブレークダウンの名前。</b> 形式は次のとおりです。 <kpi名> - &lt;エンティティ名&gt; &lt;ディメンション名&gt;</kpi名>
説明	KPIの説明。 <b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。
ID	親KPIのID。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[ <b>管理</b> ] > [ <b>設定</b> ] > [ <b>BA設定</b> ] の [ <b>デバッグモード</b> ] で [ <b>アプリケーションデ</b> <b>バッグモード</b> ] 設定をオンにします。
タイプ	親KPIのタイプ。これは自動的に割り当てられます。 この情報は、デバッグモードでのみ表示されます。デバッグモードに設定する には、[管理] > [設定] > [BA設定] の [デバッグモード] で [アプリケーションデ バッグモード] 設定をオンにします。

#### 結果しきい値

UI要素	説明
方向性	親KPIに対して選択されたしきい値の方向性を表示します。詳細については、 「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してく ださい。
	<ul> <li>例</li> <li>・ 従業員の離職率を測定している場合、値が小さいほうがいいので、[方向性 = 最小値が望ましい]を選択します。</li> <li>・ 収益を測定している場合、値が大きいほうがいいので、[方向性 = 最大値が望ましい]を選択します。</li> </ul>

UI要素	説明
しきい値	親KPIに対して選択されたしきい値の値を表示します。詳細については、「KPI またはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ)を参照してくださ い。
	各ボックスに、しきい値として使用する値を入力します。しきい値はKPIにス テータスを割り当てるために使用されます。ステータスの詳細については、 「KPIとメトリックの数式、フィルター、ステータス、しきい値、値、傾向、お よびスコア」(60ページ)を参照してください。
	<b>例</b> : 従業員の離職率の測定単位は%なので、しきい値の限界は0と100です。 たとえば、自分の会社にとっての許容できる離職率が0% ~ 5% (緑)、警告 とみなす率が5% ~ 10% (黄色)、不良とみなす率が10% ~ 100% (赤) というよ うに定義できます。
	✓ 結果しさい値           方向性:         最小値が望ましい ◇         ✓ 境界ステータスを含む(警告)           単単単単 ()         単単単 ()         ● <td< th=""></td<>
境界ステータス を含む (警告)	親KPIを構成した際にこのオプションを選択したかどうかが表示されます。詳細 については、「KPIまたはメトリックの構成の詳細と計算の詳細」(108ページ) を参照してください。

#### オーバーライド

UI要素	説明
ブレークダウン オーバーライド の追加	クリックすると[ブレークダウンオーバーライドの追加] ダイアログボックスが 開きます。詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウン のオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
名前	作成したオーバーライドの名前。形式は次のとおりです。 <kpi名>: &lt;オーバーライドするKPI結果&gt;</kpi名>
0	編集: クリックして選択したオーバーライドを編集します。詳細については、 「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ペー ジ)を参照してください。
Ū	<b>削除:</b> クリックして選択したオーバーライドを削除します。

# メトリックブレークダウン

メトリックディメンションに基づいて、メトリックのブレークダウンを作成して管理できます。 **アクセス方法:** 

[アクティブなKPI]ペインで、メトリックブレークダウンを選択します。





## メトリックブレークダウンについて

メトリックは、ビジネスコンテキスト (ユニバース) を表します。メトリックの値は、ビジネスコンテ キストに関する情報を提供するエンティティ (ファクトまたはディメンション) に基づいて計算されま す。ビジネスコンテキストには、多数のファクトやディメンションが含まれることがあります。

管理者は、メトリックの定義とメトリックのユニバースに応じて、複数のレベルのメトリックブレー クダウンを作成します。これらの定義から生じるさまざまなレベルのブレークダウンを使用すれば、 きわめて詳細な情報が得られます。

スタジオでは、ブレークダウンをディメンションに基づいて構成できます。各メトリックについて、 関連するエンティティのリストがメニューに表示され、これらのエンティティのディメンションがサ ブメニューに表示されます。メトリックは複数のレベルのブレークダウンを持つことができます(最 大6レベル)。

**注:** ブレークダウンを構成する際には、対象となるメトリックのコンテキストはロックされま す。これは、ブレークダウンがメトリックの定義(期間の定義など)を継承するためです。ブレー クダウンに異なる定義を指定することはできず、ブレークダウンを作成したメトリックの定義を 変更することもできません。メトリックコンテキストのロックを解除するには、ブレークダウン を削除する必要があります。

ブレークダウンで使用できるフィールドのリストは、コンテキストデザイナーで設定します。既定で は、数値フィールドはディメンションではないので、ブレークダウンには使用できません。この フィールドをブレークダウンで使用するには、コンテキストデザイナーを開き、[エンティティ]領域 でいたをクリックします。これにより、ブレークダウンの作成が可能になります。詳細については、 『BA Content Reference Guide』の「Semantic Layer - Context Designer」を参照してください。

データフィールドは、ブレークダウンに使用できません。

ヒント:

- KPIブレークダウンを持つKPIの名前、またはメトリックブレークダウンを持つメトリックの名前を変更する場合、名前を更新するには、計算を新しく実行する必要があります。オーバーライドの詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックブレークダウンの名前は、KPIまたはメトリックの親の名前を変更しても、新しい計算の後でも自動的に更新されません。スタジオにアクセスして、新しい親KPIまたはメトリックの名前に合わせてKPIまたはメトリックブレークダウンの名前を手動で変更する必要があります。

## スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

•	メトリックブレークダウンの作成	186
•	メトリックブレークダウンに対するメトリックブレークダウンの作成	.187

## メトリックブレークダウンの作成

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI] ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するメトリックを選択し、ツールバーの[メトリックのブレークダウンを作成] <sup>1</sup>/<sub>1</sub> ボタンをクリックします。
  - 該当するメトリックを右クリックし、開いたメニューで[**ブレークダウン**]を選択します。
- 3. エンティティのリストが開いたら、必要なディメンションを選択します。
- メトリックブレークダウンは、メトリックの子として、ブレークダウン<sup>⊕</sup>アイコン付きで挿入 されます。

5. さらにほかのメトリックブレークダウンを追加できます。



- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するメトリックブレークダウンを選択し、ツールバーの [KPIのブレークダウンを作成]
     ポタンをクリックします。
  - 該当するメトリックブレークダウンを右クリックし、開いたメニューで<sup>39</sup>[ブレークダウン]
     を選択します。
- 開いたメニューで、必要なエンティティを選択し、該当する場合は必要なディメンションを選択します。
   新しいメトリックブレークダウンが、関連するスコアカードツリーに、メトリックブレークダウンの子として、ブレークダウンサアイコン付きで挿入されます。
- 4. 選択したディメンションによっては、さらに多くのブレークダウンレベルを追加できます。ブレークダウンの上位レベルで選択したディメンションは、下位レベルでは無効になります。

ブレークダウンの削除

ブレークダウンを削除するには、次の手順を実行します。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [アクティブなKPI]ペインで、次のどれかの操作を実行します。
  - 該当するメトリックブレークダウンを選択し、ツールバーの[現在選択されているノードを削除] 
     第3 (1) ボタンをクリックします。
  - ・該当するメトリックブレークダウンを右クリックし、開いたメニューで

     Ⅲ[削除]オプション
     を選択します。選択したブレークダウンに子ブレークダウンがある場合、操作を確認すると
     子ブレークダウンも削除されます。
- 3. 削除の確認を求められたら、確認を行います。

## UIの説明

# メトリックブレークダウンの[構成の詳細]タブ

構成の詳細				
▼ 全般 - メトリック:	ブレークダウン 			
エンティティ:	Budget			
ディメンション :	Name			
*名前:	リスクのあるブロジェクト予算の割合 (%) - Budget Name			
説明:	<ブレークダウンの説明>			
▼ オーバーライド				
ブレークダウンオーバーライドの追加				

#### 一般情報

UI要素	説明
<領域>	「全般 - メトリックブレークダウン」(189ページ) 「オーバーライド」(189ページ)
メトリックのテスト	クリックすると、メトリックをテストできます。 このボタンはメトリックブレークダウンに対しては無効です。
保存	クリックして変更を保存します。
破棄	クリックすると、前回の[ <b>保存</b> ]操作より後に行った変更が破棄されます。

ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの強化

#### 全般 - メトリックブレークダウン

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
エンティティ	メトリックブレークダウンを作成する際に選択したエンティティの名前。
ディメンション	メトリックブレークダウンを作成する際に選択したディメンションの名前。
名前	メトリックブレークダウンの名前。 形式は次のとおりです。 <メトリック名> - <エンティティ名> <ディメンション名>
説明	メトリックの説明。 <b>制限事項:</b> 文字数の最大は1000文字です。

#### オーバーライド

UI要素	説明
ブレークダウン オーバーライド の追加	クリックすると [ブレークダウンオーバーライドの追加] ダイアログボックスが 開きます。詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウン のオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
名前	作成したオーバーライドの名前。形式は次のとおりです。 <メトリック名>: <オーバーライドするKPI結果>
0	<b>編集:</b> クリックして選択したオーバーライドを編集します。詳細については、 「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ペー ジ)を参照してください。
Ū	<b>削除:</b> クリックして選択したオーバーライドを削除します。

KPIブレークダウンとメトリックブレーク ダウンのオーバーライド

オーバーライドは、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンに異なるしきい値や所有者 を割り当てたい場合に使用します。

アクセス方法:

新規オーバーライドを作成するには、次の手順を実行します。KPIブレークダウンまたはメトリック ブレークダウンの [構成の詳細] タブで、[オーバーライド] 領域の [**ブレークダウンオーバーライドの** 追加] リンクをクリックします。

**既存のオーバーライドを編集するには、次の手順を実行します**。KPIブレークダウンまたはメトリッ クブレークダウンの [構成の詳細] タブの [オーバーライド] 領域で、[**編集**] パタンをクリックしま す。





オーバーライド

KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンを構成する際に、その構成(数式、期間など) は、親KPIの構成と同じになります。KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの詳細につ いては、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。

KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの特定の「枝」に対して、異なるしきい値また は所有者を適用したい場合があります。また、一部のKPIブレークダウンのしきい値を変更したい場 合もあります。

例

MTTR KPIに対してインシデントステータスによるブレークダウンを定義した場合、ダッシュボードには次の情報が表示されます。

• MTTR

- MTTR New
- MTTR Open

- MTTR Fixed
- MTTR Closed

ここで、Open、New、Closed、およびFixedは、インシデントステータスの値です。

インシデントステータスによるMTTRKPIブレークダウンに対して優先度によるブレークダウンの ブレークダウンを作成した場合、ダッシュボードには次の情報が表示されます。

- MTTR
- MTTR New
  - MTTR New High
  - MTTR New Medium
  - MTTR New Low
- MTTR Open
  - MTTR Open High
  - MTTR Open Medium
  - MTTR Open Low
- MTTR Fixed
  - MTTR Fixed High
  - MTTR Fixed Medium
  - MTTR Fixed Low
- MTTR Closed
  - MTTR Closed High
  - MTTR Closed Medium
  - MTTR Closed Low

ここで、High、Medium、およびLowは、優先度の値です。

オーバーライドを使用してKPIブレークダウンに別のしきい値または所有者を指定できるので、 MTTR Newを特定の所有者に、MTTR Fixed Highを別の所有者に異なるしきい値で割り当てるこ とにより、MTTRの監視を改善できます。



オーバーライドは、[オーバーライドするKPI結果]フィールドまたは[オーバーライドするメトリック

結果]フィールドで選択したディメンションの値に対してのみ使用できます。

オーバーライド構成は次の対象には伝搬されません。

- 親のKPIまたはメトリック、あるいは親のKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウン。
- 同じKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンのほかのディメンションの値。
- 子のKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウン。

ヒント:

- KPIブレークダウンを持つKPIの名前、またはメトリックブレークダウンを持つメトリックの名前を変更する場合、名前を更新するには、計算を新しく実行する必要があります。オーバーライドの詳細については、「KPIブレークダウンとメトリックブレークダウンのオーバーライド」(190ページ)を参照してください。
- KPIまたはメトリックブレークダウンの名前は、KPIまたはメトリックの親の名前を変更しても、新しい計算の後でも自動的に更新されません。スタジオにアクセスして、新しい親KPIまたはメトリックの名前に合わせてKPIまたはメトリックブレークダウンの名前を手動で変更する必要があります。

## スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。



本項の内容

- 使用例 KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成 ......193

## オーバーライドの管理

KPIブレークダウンの特定のディメンションの値に対して、KPIまたはメトリックの所有者としきい値 をオーバーライドできます。

オーバーライドにより、エンドユーザーは、親のKPIまたはメトリックの所有者でなく、KPIブレーク ダウンまたはメトリックブレークダウンの所有者に対する注釈を、[エクスプローラー]ページで追加 できるようになります。親のKPIまたはメトリックおよびKPIブレークダウンは同じしきい値を持ちま すが、オーバーライドを使用して別のしきい値を構成することにより、企業の特定部門とその各セク ションの目標をより精密に監視できます。

オーバーライドを作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [アクティブなKPI] ペインで、関連するKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンを選択します。
- 2. そのKPIまたはメトリックの [構成の詳細] ペインで、[オーバーライド] 領域の [**ブレークダウン オーバーライドの追加**] リンクをクリックします。
- [ブレークダウンオーバーライドの追加] ダイアログボックスが開いたら、関連する [オーバーラ イドするKPI結果] または [オーバーライドするメトリック結果] を選択し、関連するしきい値を 入力して所有者を選択します。
- [OK] をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、新しいオーバーライドがKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの [構成の詳細] ペインの [オーバーライド] 領域に表示されます。
- 5. 変更を保存するには、[構成の詳細]ペインで[保存]をクリックします。

# 使用例 - KPIブレークダウンの作成とブレークダウンオーバーライドの構成

詳細については、『Getting Started with BA』の「Use Case - Create KPI Breakdowns and Configure Breakdown Override」を参照してください。

UIの説明

[ブレークダウンオーバーライドの追加]または [ブレークダウンオーバーライドの編集]ダイア ログボックス

ブレークダウンオーバーライドの追加	ヘルプ	×
ルートKPI: ビジネス目標に紐づくブロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priority		
オーバーライドするKPI結果 : ビジネス目標に紐づくブロジェクトの割合 (%): Other, 1.0	~	
0 33.333 66.667	100	
所有者:		
ОК +-	ャンセル	

ブレークダウンオーバーライドの追加	ヘルプ 🗙
ルートKPI: ビジネス目標に紐づくプロジェクトの割合 (%) - ProjectObjective Priorit	ty
オーバーライドするKPI結果: </td <td>~</td>	~
OK	キャンセル

UI要素	説明
Љ− ⊢крі	親のKPIまたはメトリックの名前を表示します。
オーバーライド するKPI結果/ オーバーライド するメトリック 結果	このフィールドには、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンに対 して選択したディメンションの値がリストされます。ディメンションのそれぞ れの値に対して、別のしきい値や別の所有者を割り当てることができます。
しきい値と所有 者の詳細の調整	矢印をスライドさせて、矢印に付属するボックス内で関連するしきい値を選択 します。しきい値はKPIブレークダウンにステータスを割り当てるために使用さ れます。
	注:変更できるのはしきい値の中央値だけです。最小値と最大値は変更で きません。最小値と最大値、およびしきい値の構造(最小値が望ましい、 最大値が望ましい、目標値が望ましい、または境界ステータスを含む(警 告))は、親のKPIのレベルでのみ構成できます。
	ステータスの詳細については、「KPIとメトリックの数式、フィルター、ステー タス、しきい値、値、傾向、およびスコア」(60ページ)を参照してください。
所有者	オーバーライドの所有者を選択します。
ОК	クリックして変更を保存します。オーバーライド情報は、KPIブレークダウンま たはメトリックブレークダウンの [構成の詳細] タブの [ <b>オーバーライド</b> ] 領域に 追加されます。変更は、このタブの [ <b>保存</b> ] ボタンをクリックした後でのみ保存 されます。
	変更を保存すると、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンが[構 成の詳細] タブの[オーバーライド] 領域に表示されます。その後、これらの オーバーライドをリストで編集または削除できます。
キャンセル	クリックすると、変更が破棄されます。

## KPIまたは目標の追加情報

KPIまたは目標の構成に情報を追加できます。この情報は、次の項目へのリンクです。

- 関連するダッシュボードページ。
- 外部URL。
- KPIまたは目標に関する詳細情報(値の時間変化など)を提供するBOレポート。
- システムで構成されているXcelciusレポート。

#### アクセス方法:

アクティブなKPIまたは目標の [構成の詳細] タブで、[追加情報] 領域の [**追加**] リンクをクリックする か、[**編集**] / ボタンをクリックします。

タスク UIの説明 詳細情報

○詳細情報

## KPIまたは目標の追加情報

追加情報があると、KPIまたは目標に関連する外部情報や、KPIまたは目標の値、ステータス、および スコアに関する詳細情報を[エクスプローラー]タブの[概要]タブの下部に表示できるので、エグゼ クティブにとって役立ちます。

これはまた、FLNダイアログボックスのKPIまたは目標のツールヒントで追加情報 リックすることによっても利用できます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関す る第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してください。

スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

タスク

## KPIまたは目標に関する追加情報の提供

アクティブなKPIまたは目標に関する追加情報を提供できます。この情報は、ほかのダッシュボード ページ、外部ページ、BOレポート、またはXcelsiusレポートへのリンクに使用できます。

KPIまたは目標に関する追加情報を追加するには、次の手順を実行します。

- 1. [アクティブなKPI] ペインで、関連するKPIまたは目標を選択します。
- 2. KPIまたは目標の[構成の詳細]ペインで、[メタデータ]領域の[追加]リンクをクリックします。
- 3. [追加] ダイアログボックスが開いたら、情報タイプを選択します。ダイアログボックスの下のセ クションのフィールドが、情報タイプに応じて変化します。適切な情報を入力します。
- [追加]をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、新しい情報がKPIまたは目標の[構成の詳細]ペインの[メタデータ]領域に表示されます。
- 変更を保存するには、[保存]をクリックします。 エンドユーザーは、[エクスプローラー]タブで関連するアクティブなKPIまたは目標を選択する ことにより、追加情報を表示してアクセスできます。追加情報は、[エクスプローラー]タブの右 端のペインにリストされます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照して ください。



[情報リンクの追加]/[情報リンクの編集]ダイア ログボックス

情報リンクの追加		ヘルプ	×
情報タイブ: URL	~		
*リンク名: *ハイパーリンク: < 有効なURLを入力してください>			]
	追加	キャンセル	

UI要素	説明
情報タイプ	提供する情報のタイプを選択します。
	• <b>外部リンク:</b> ユーザーはダッシュボード中のKPIから外部リンクにアクセスで きます。
	• BOレポート: ユーザーはダッシュボード中のKPIから選択したBOレポートに アクセスできます。
	<ul> <li>ダッシュボードページ: ユーザーはダッシュボードの特定のページを開くことができます。</li> </ul>
	<ul> <li>Xcelsiusレポート: ユーザーはダッシュボード中のKPIまたは目標から選択したXcelsiusレポートにアクセスできます。</li> </ul>
リンク名	このフィールドは、[ <b>情報タイプ</b> ] リストで [ <b>外部リンク</b> ] を選択した場合に表示 されます。
	[ <b>構成の詳細</b> ] タブの [ <b>メタデータ</b> ] 領域にある [ <b>追加情報</b> ] テーブルに表示される リンクの名前を入力します。
ハイパーリンク	このフィールドは、[ <b>情報タイプ</b> ] リストで [ <b>外部リンク</b> ] を選択した場合に表示 されます。
	ユーザーが開く外部ページのURLを入力します。
レポート名	このフィールドは、[ <b>情報タイプ</b> ]リストで [ <b>B0レポート</b> ] または [Xcelsiusレ ポート] を選択した場合に表示されます。
	<ul> <li>BOレボート: このオプションは、すでにBOEサーバーでWebiレポートを作成 している場合にのみ表示されます。利用可能なレポートのリストは、ユー ザーの権限によって異なります。レポートのリストには、カスタマイズした 独自レポートおよび設定済みレポート (CSA-クラウドサービス用課金明細、 CSA-クラウドサービス用課金明細デモ、またはコンシューマー組織管理用課 金明細) が含まれます。詳細については、『BA Content Reference Guide』の 「CSA-Related Reports」を参照してください。</li> </ul>
	• Xcelsiusレポート: このオプションは、すでにXcelsiusレポートを作成し、 BOEサーバーにエクスポートしている場合にのみ表示されます。
	ユーザーが表示する権限を持つすべてのレポートのリストから、適切なレポー トを選択します。
ダッシュボード ページ	このフィールドは、[ <b>情報タイプ</b> ] リストで [ <b>ダッシュボードページ</b> ] を選択した 場合に表示されます。
	ダッシュボードに現在構成されているページのうち、ユーザーが表示する権限 を持つものすべてのリストから、適切なダッシュボードページを選択します。
追加/キャンセル	[ <b>追加</b> ] をクリックします。ダイアログボックスが閉じ、新しい情報がKPIの [構 成の詳細] ペインの [ <b>メタデータ</b> ] 領域に表示されます。変更を保存するには [ <b>保</b>

#### ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの強化

UI要素	説明
	<b>存</b> ]をクリックします。

# スコアカードのカスケード

カスケードとはスコアカードの機能の1つで、スコアカードの目標の所有者に基づいて、パフォーマンス測定をトップダウン的に追跡できることです。これによりエグゼクティブは、自分のスコアカードから直属の部下のスコアカード目標のスコアカードへとカスケードすることで、直属の部下のパフォーマンスを測定できます。

#### アクセス方法:

スコアカードの[構成の詳細]タブで、[カスケードスコアカードの管理]リンクをクリックします。





## 地理的分布

大規模な組織では、CIOの役割が会社の複数の事業部や支社にわたっており、IT機能にも集中化されたものと各部門に分散しているものとがあります。



ITの機能的分布

大規模な事業部を複数持つ会社では、会社レベルで1つの「CIOオフィス」と複数の「事業部CIO」が存在し、後者はビジネスユニットのGMと企業のCIOの両方の配下にあります。



ITの組織的分布

CIOは直属の部下 (インフラストラクチャーおよびオペレーションの責任者) を測定できます。



#### ITの非集中的分布

米国の金融サービスやメディア企業に一般的なモデルとして、インフラストラクチャー/オペレー ション共有サービスによってIT機能が非集中化されており、企業レベルのCIOが存在しないこともあ ります。



## スタジオ内での構成変更が[ダッシュボード]タ ブおよび[エクスプローラー]タブの表示に与え る影響

スタジオで変更作業を行うと、ダッシュボードとエクスプローラーの表示に影響が発生します。詳細 については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「スタジオ内での変更と[ダッシュボード] タブおよび[エクスプローラー]タブでの表示の同期」を参照してください。

・タスク

#### 本項の内容

# 使用例-スコアカードに対するカスケードスコ

アカードの構成

本項では、カスケードスコアカードを作成する方法を説明します。スコアカードのカスケードにより、ダッシュボードページで、スコアカードとカスケードスコアカードの両方を1つのスコアカード コンポーネントで表示できるようになります。

特定のスコアカードのカスケードスコアカードを構成するには、[アクティブなKPI]ペインに複数の アクティブ化されたスコアカードが存在する必要があります。

エグゼクティブが部下のスコアカードにドリルダウンできるようにするには、両方のスコアカードが スタジオで定義され、アクティブなスコアカードになっている必要があります。

- 1. [スタジオ]ボタン(右上隅)をクリックして、スタジオを開きます。
- 2. [**アクティブなKPI**] ペインで、ドリルダウン元となる親スコアカードを選択します (このスコア カードに対してカスケードスコアカードが作成されます)。
- [カスケードスコアカードの管理] リンクをクリックし、ダブルクリックまたは矢印のボタンをク リックして、カスケードするスコアカードを [利用可能なスコアカード] ペインから [割り当て済 みのスコアカード] ペインに移動します。

スコアカードは、複数選択できます。

4. [OK] をクリックし、[保存] をクリックして構成を保存します。

これで、メインのスコアカードからカスケードスコアカードに移動してデータを表示する、という操 作をワンクリックで実行できるようになります。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、「ムービーへのアクセス」を参照してください。

## カスケードスコアカードの削除

カスケードスコアカードを削除して、親スコアカードへの割り当てを解除するには、次の手順を実行 します。

- 1. [アクティブなKPI]ペインで、親スコアカードを選択します。
- 2. 対応する [構成の詳細] ペインの [カスケードスコアカードの管理] 領域で、該当するカスケード スコアカードの [削除]
  - カスケードスコアカードが [**カスケードスコアカードの管理**] 領域のリストからただちに削除さ れます。
- 3. [保存]ボタンと[破棄]ボタンが有効になります。変更を保存するには[保存]をクリックしま す。

注: または、[カスケードスコアカードの管理] リンクをクリックし、[カスケードスコア カードの管理] ダイアログボックスが開いたら、該当するスコアカードを [割り当て済みの スコアカード] 領域から [利用可能なスコアカード] 領域に移動して、[OK] をクリックしま す。[カスケードスコアカードの管理] ダイアログボックスが閉じます。カスケードスコア カードが [カスケードスコアカードの管理] 領域のリストからただちに削除されます。[保存] ボタンと [破棄] ボタンが有効になります。変更を保存するには [保存] をクリックします。

**UI**の説明

## [カスケードスコアカードの管理] ダイアログ ボックス

カスケードスコアカードの管理			ヘルプ	×
利用可能なスコアカード		割り当て済みのスコアカード		
🖽 CIO		ITIL V3		
□ HPボートフォリオ				
	$(\Rightarrow)$			
	G			
	$\bigcirc$			
		0K キャン	セル	

UI要素	説明
利用可能なスコ	親スコアカードのカスケードスコアカードとして割り当てることができるスコ
アカード	アカードをリストします。
割り当て済みの	親スコアカードのカスケードスコアカードにするために選択したスコアカード
スコアカード	をリストします。

#### ビジネスアナリストユーザーガイド スタジオでのダッシュボードコンテンツの強化

UI要素	説明
	スコアカードを選択し、ボタンを使用して適切なフィールドに移動します。
ОК	クリックすると、選択したスコアカードが割り当てられます。[スコアカードの カスケード] 領域のスコアカードのリストがただちに更新されます。[ <b>保存</b> ] ボ タンと[ <b>破棄</b> ] ボタンが有効になります。変更を保存するには、[構成の詳細] ペ インで[ <b>保存</b> ] をクリックする必要があります。

# ダッシュボード表示

ダッシュボード管理者は、さまざまなタイプの上級管理者ユーザーに対して、役割に基づくワークス ペースを作成できます。

ダッシュボード管理者は、特定のユーザーまたはユーザーのグループが関心を持つコンポーネントを 含むページを作成します。各ページについて、管理者はページ上のコンポーネントのレイアウトと、 ページコンポーネントの相互のインタラクションを定義します。

**注:** ページのレイアウトを構成する際には、レイアウトを最大4回まで繰り返し分割できます(最大16個のボックスを作成できます)。

#### アクセス方法:

すべてのタブを閉じます。



本項の内容

•	設定済みページの表示	207
•	ページの作成	208
•	ページレイアウトの構成	209
•	コンポーネントの追加または削除によるページのカスタマイズ	209
•	ページ上のコンポーネント間のワイヤリングのセットアップ	210
•	ダッシュボードのパーソナライズ	210
•	ダッシュボードページ	211
	• ページを開く	211
	• ページを閉じるまたはページの削除	212
	• ダッシュボードへのページの追加	212
	• ページの複製	213
•	ページレイアウトとコンポーネント	216
	• ページレイアウトの構成	216
	• ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加	217
	• ページレイアウトの構成 – ページ内のタブ付きコンポーネントの入力シナリオ	220
	• 使用例 - ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加	223
•	ページギャラリーとページカテゴリ	228

● ページカテゴリの変更	228
• 新規ページカテゴリの作成	229
<ul> <li>ユーザー定義ページカテゴリの名前の変更</li> </ul>	
● ユーザー定義ページカテゴリの削除	229
• カテゴリへのページの割り当て	
• ページのカテゴリ割り当ての変更	230
<ul> <li>BAダッシュボードページの別のアプリケーションへの埋め込み</li> </ul>	230
<ul> <li>別のアプリケーションに埋め込まれているBAダッシュボードページから元のBAへの利</li> </ul>	移動 231
• [ページギャラリー] ダイアログボックス	231
• コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ	234
● 新規カテゴリの作成	235
● ユーザー定義カテゴリ名の変更	235
● ユーザー定義カテゴリの削除	
• カテゴリへのコンポーネントの割り当て	
● コンポーネントのカテゴリ割り当ての変更	236

# 設定済みページの表示

BAには、ダッシュボードで表示できる設定済みページが用意されています。

 ダッシュボードで、ダッシュボードのツールバーの [ページギャラリー] <sup>33</sup> ボタンをクリックし ます。[ページギャラリー] ダイアログボックスが開き、設定済みページのリストが表示されま す。



 該当するページをダブルクリックするか、ダッシュボードまでドラッグして[ページギャラリー] ダイアログボックスを閉じます。設定済みページとユーザー定義ページが表示されます。設定 済みページの詳細については、「設定済みダッシュボードページのリファレンス」(211ページ) を参照してください。

ページの作成

ページは、一緒に表示され、相互作用するコンポーネントの集合です。ページはページギャラリーか ら開くことができます。ページギャラリーは、カテゴリごとにグループ化された既存のページを表示 します。

これで、新規ページをダッシュボードに追加できます。詳細については、「ダッシュボードページ」 (211ページ)を参照してください。

注:管理者は、開いているページの最大数と、アクティブなページの最大数を設定します。たと えば、ユーザーが5つのページを開いていて、開いているページの最大数が3に設定されている場 合、ダッシュボードは表示頻度が低い2つのページを非アクティブ化して、ブラウザーのメモリ を節約します。ページは、ビューアーで選択されるとただちに再アクティブ化されます。既定値 は無制限であり、管理者はこれらの設定を[管理] > [設定] > [ページ] で構成します。詳細につい ては、『BA Administrator Guide』の「Dashboard Settings」を参照してください。

ページレイアウトの構成

レイアウトは、ページ上にコンポーネントが配置される方法です。コンポーネントの配置方法には、 水平、垂直、およびタブ付きがあります。詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」 (216ページ)を参照してください。

**注:** ページのレイアウトを構成する際には、レイアウトを最大4回まで繰り返し分割できます(最大16個のボックスを作成できます)。

# コンポーネントの追加または削除による ページのカスタマイズ

コンポーネントは、ダッシュボードユーザーのビジネスタスクに関連する情報を表示するページ上の 領域です。コンポーネントギャラリーには、ダッシュボードで使用できるアプリケーションコンポー ネントが、ソースアプリケーションごとにグループ化されて存在します。

次のことができます。

- コンポーネントギャラリーからページへのコンポーネントの追加。
- 設定済みコンポーネントの追加または削除によるページのカスタマイズ:
  - ブレークダウンビューコンポーネント
  - バブルチャートビューコンポーネント
  - クラスター棒グラフビューコンポーネント
  - 予測コンポーネント
  - 「履歴メトリックビューコンポーネント」(311ページ)
  - 「履歴ビューコンポーネント」(324ページ)
  - 「KPIリストコンポーネント」(338ページ)
  - 「KPI Rolodexコンポーネント」(347ページ)
  - 「KPIビューコンポーネント」(359ページ)
  - 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
  - ページフィルターコンポーネント

- 「円グラフコンポーネント」(396ページ)
- 「スコアカードコンポーネント」(409ページ)
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
- 「SWFレポートビューアーコンポーネント」(430ページ)
- 米国地図コンポーネント
- 「Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネント」(443ページ)
- 「Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネント」(449ページ)
- 世界地図コンポーネント
- 「Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネント」(468ページ)
- コンポーネントの作成とページへの追加。詳細については、「カスタマイズされた静的または動的URLコンポーネント」(475ページ)を参照してください。

**注:** ページ上に追加できるコンポーネントの数に制限はありません。ただし、コンポーネントの 負荷がブラウザーのパフォーマンスに影響を与える可能性があります。

# ページ上のコンポーネント間のワイヤリ ングのセットアップ

ページ内では、コンポーネントは互いに情報を受け渡します。このようにして、あるコンポーネント が別のコンポーネントの変化に反応します。

**例**: あるコンポーネントでKPIを選択すると、ページ上の別のコンポーネントもそのKPIを対象とするように設定できます。既定のページには定義済みのワイヤリングがあります。

設定済みページ以外のページでは、ユーザーがワイヤリングを定義できます。詳細については、「コ ンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。

# ダッシュボードのパーソナライズ

所有者の画像を追加して、ダッシュボードをパーソナライズすることができます。詳細については、 「ダッシュボードページのパーソナライズ」(491ページ)を参照してください。

# ダッシュボードページ

ダッシュボードには既定のページがあります。既定のページは、ユーザーが作成して保存したページ とともに、ページギャラリーに置かれています。

ダッシュボードに新しいページを追加することもできます。

アクセス方法:

ダッシュボードで、[保存または名前を付けて保存] 🗒 ボタンをクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



設定済みダッシュボードページのリファレンス

設定済みページは、コンテンツアクセラレーションパックによって提供されます。詳細については、 『Guide to BA Content Acceleration Packs』を参照してください。



#### 本項の内容

•	ページを開く	.211
•	ページを閉じるまたはページの削除	.212
•	ダッシュボードへのページの追加	212
•	ページの複製	.213

ページを開く

ダッシュボードには既定のページがあります。既定のページは、ユーザーが作成して保存したページ とともに、ページギャラリーに置かれています。詳細については、「ダッシュボード」(494ページ) を参照してください。 ページを開くには、次の方法があります。

- 対応するタブをクリックします。
- ダッシュボードツールバーで <sup>113</sup>をクリックし、ページギャラリーが開いたら、ページを右クリックして、<sup>11</sup>[ページを開く]オプションを選択します。対応するページをダブルクリックするか、ページのサムネイルをクリックして、ページギャラリーツールバーで [ページを開く] <sup>113</sup>ボタンをクリックすることもできます。

### ページを閉じるまたはページの削除

ページを閉じるには、ページタブの [**レイアウトの削除**] × ボタンをクリックします。ページはワー クスペースでは閉じられますが、ページギャラリーからは削除されません。ユーザー定義ページのみ 削除できます。設定済みページは削除できません。

ページギャラリーからページを削除するには、[ページギャラリー] 🔠 ボタンをクリックし、ページ を選択して削除します。

ダッシュボードへのページの追加

ページを追加するには、次のようにします。

- 1. ダッシュボードのツールバーの [**新規ページ**] <sup>1</sup>ボタンをクリックします。
- 2. [新規ページ] タブが開いたら、ページの形式を作成します。詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。
- 3. ページを保存するには、[保存または名前を付けて保存] 💖 ボタンをクリックします。
- ページギャラリーに保存]ダイアログボックスが開いたら、ページの名前、説明、およびカテゴ リを入力します。 新しいページがページギャラリーのリストに表示されます。 新しいページは、ダッシュボードの新しいタブとしても表示されます。
- ページを表示するには、ダッシュボードで、ダッシュボードのツールバーの[ページギャラリー]
   ボタンをクリックします。詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216 ページ)を参照してください。

### ページの複製

ページを追加するには、次のようにします。

- ダッシュボードで、関連するタブをクリックするか、ダッシュボードツールバーの[ページギャ ラリー] 部 ボタンをクリック後にページの表示を選択してから関連するページを選択すること で、複製するページを表示します。
   ページギャラリーを開いて、関連するページを選択し、ツールバーまたは右クリックメニュー から[ページの複製] をクリックすることもできます。これが設定済みページを複製する唯一 の方法です。
- 2. 複製するページが表示されたら、[保存または名前を付けて保存]
- 【ページギャラリーに保存】ダイアログボックスが開いたら、ページの名前、説明、およびカテゴリを入力し、[新規ページとして保存]を選択します。 新しいページがページギャラリーのリストに表示されます。 新しいページは、ダッシュボードの新しいタブとしても表示されます。

■UIの説明

## [ページギャラリーに保存]ダイアログボックス

ページギャラリー	C保存	×
*名前:	新規ページ(2) 新規ページ/として保存	
説明:		
* / 🗊		
🗌 カテゴリ		
FPA~~	ジ 🔒	
	C	OK キャンセル

次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

UI要素	説明
名前	ページの名前を入力します。この名前は、タブとページギャラリーに表示され ます。
説明	ページの説明。
新規ページとし て保存	クリックするとページが複製されます。このオプションを選択する前に、[ <b>名</b> 前]フィールドで複製されるページの名前を指定することをお勧めします。
	このオプションは、既存のダッシュボードページを選択すると表示されます。

#### <カテゴリ>

ページが表示されるカテゴリを選択します。複数のカテゴリを選択することもできます。新しいカテ ゴリを作成することもできます。

UI要素	説明
*	<b>新規カテゴリ:</b> クリックして新規カテゴリを作成します。[新規カテゴリ] ダイ アログボックスが開き、新しいカテゴリの名前を入力して [ <b>OK</b> ] をクリックする ことにより保存できます。
	新規力テゴリ ×
	*名前: OK キャンセル
0	<b>カテゴリ名の編集:</b> 関連するカテゴリを選択し、ボタンをクリックしてカテゴ リを編集します。[カテゴリ名の編集]ダイアログボックスが開き、カテゴリの 名前を変更して [ <b>OK</b> ] をクリックすることにより変更を保存できます。

UI要素	説明
	カテゴリ名の編集 × *名前: new_category OK キャンセル
Ū	<b>カテゴリの削除:</b> 関連するカテゴリを選択し、ボタンをクリックして削除しま す。
<カテゴリのリス ト>	この領域には利用可能なカテゴリが表示されます。
	<ul> <li>注:</li> <li>「カテゴリ]を選択またはクリアすると、すべてのカテゴリが選択または 選択解除されます。</li> <li>▲ は、対応するカテゴリを編集または削除できないことを示します。</li> </ul>

# ページレイアウトとコンポーネント

ダッシュボードワークスペースを使用して、既定のページを表示したり、コンポーネントを含む新し いページを作成したりできます。各ページは、ワークスペース内のタブとして表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードは、HP IT Business Analyticsにログオンすると表示されます。ほかのタブを閉じることによっても、この表示にアクセスできます。





- 既定のページのリストについては、「ダッシュボード」(494ページ)を参照してください。
- BAには既定のコンポーネントがあります。既定のコンポーネントのリストについては、「ダッシュボード表示」(206ページ)を参照してください。



本項の内容

- 使用例 ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加 ......223

## ページレイアウトの構成

ダッシュボードの関連するページタブで、コンポーネントの表示方法を構成できます。

ページは次のように構成できます。

- 水平レイアウト(コンポーネントは横に並べて表示されます)
- 垂直レイアウト(コンポーネントは上下に積み重なって表示されます)。
- 水平レイアウトと垂直レイアウトの組み合わせ。
- タブ (コンポーネントはレイアウト自身内のタブに表示されます)。

どのコンポーネントをどのようにページに配置するかを前もって計画しておき、それに従ってページ のレイアウトを構成することをお勧めします。


この項では、管理者によるページのコンポーネントのレイアウト構成方法の例を示します。 どのコンポーネントをどのようにページに配置するかを前もって計画しておき、それに従ってページ のレイアウトを構成することをお勧めします。

- 1. アプリケーションのタブをすべて閉じ、ダッシュボードを開きます。
- ダッシュボードツールバーまたはページの中央にある [新規ページ] <sup>1</sup> ボタンをクリックします。空のページが開きます。

IT BUSINESS ANALYTICS	スタジオ	エクスプローラー	管理
新規ページ(1) ×	ベージの選択 🖌	o 🕫 🕮 🏷	& ~ • Q
000 %			
			×
	15 🖾		

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「ダッシュボードページ」を参照してください。

3. このページを、左右2つのセクションに分割します。

旜 іт ві	IT BUSINESS ANALYTICS		スタジオ エクスプローラー 管理				
新規べく	-ジ(1) ×			ページの選択 🖌	C 🛱 🖩 🖒	& . · · ·	
		×				×	

水平レイアウトでは、セクションは横に並ぶ形で表示されます。

4. 分割アイコンが水平方向になります。左側の - をクリックすると、上下2つのセクションに 分割されます。

IT BUSINESS ANALYTICS		スタジオ エクスプローラー 管理
新規ページ(1) ×		ベージの選択 🖌 🕻 🏷 🔀 🖽 🔍 🔍 🔍
	×	×
	×	

5. 同じように、 ー をクリックすると、2番目の列も上下2つに分割されます。

/ IT BUSIN	ESS ANALYTICS		スタジオ	エクスプローラー	管理
新規ページ(1	) ×		ベージの選択 🖌	<b>c 17</b> 🖩 🏷	& ···   Q
		×			×
			E	ā (1) 🗗 🖹	
		×			×
			E	ā () B 🖹	

6. <sup>₩</sup>をクリックするとページが保存されます。
 ページの名前を入力し、カテゴリを選択します。

これで、ページは4つに分割されました。

(1) IT BUSINESS ANALYTICS		スタジオ エクスブローラー 管理
<b>新規ページ(7) ×</b> 新規ページ(1) ×		ベージの選択 🗸   🌣 陀 🖾 🏷   👳
	×	ページギャラリーに保存       ×         *名前:       新規ページ(1)         説明:       ・         *       ・         カテゴリ       表示する項目はありません。         0K       キャンセル

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「ダッシュボードページの作成と スコアカードコンポーネントのページへの追加」を参照してください。

**注:** 領域を削除するには、[レイアウトの削除] <sup>Ш</sup>アイコンをクリックします。

7. 次に、作成したページレイアウトにコンポーネントを追加していきます。

- 額域を選択して[コンポーネントの追加]アイコンをクリックするか、右上のメニューバーにある[コンポーネントギャラリー] ズ ボタンをクリックすると、[コンポーネント]ダイアログボックスが開きます。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグし、[コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。
- 10. 作成した領域に追加したいコンポーネントを選択し、ドラッグします。必要に応じて、ほかの 領域にもコンポーネントを追加します。
   詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「コンポーネントギャラリーと コンポーネントカテゴリ」を参照してください。
- 11. タブ領域では、コンポーネントをドラッグすると、新しいタブが開きます。
- 12. 領域にコンポーネントを追加する作業が完了したら、[保存] アイコンをクリックしてページを保存します。ページの名前と説明を入力し、ページを保存するカテゴリを指定します。カテゴリを選択しないで保存すると、[カテゴリなし] というカテゴリに保存されます。

# ページレイアウトの構成 – ページ内のタブ付き コンポーネントの入力シナリオ

この項では、管理者によるタブを含むページコンポーネントの構成方法の例を示します。

どのコンポーネントをどのようにページに配置するかを前もって計画しておき、それに従ってページ のレイアウトを構成することをお勧めします。

ダッシュボードへのページの追加

- ページをダッシュボードに追加し、左右2つに分割して、一番上の領域をタブに設定します。詳細については、「ダッシュボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加」(217ページ)を参照してください。
- 2. これでページをフォーマットできます。

これで、レイアウト内の2つの領域にコンポーネントを追加できるようになりました。ページの 上部セクションに追加されたコンポーネントはタブで表示され、下部セクションに追加された コンポーネントは垂直に表示されます。

- a. ページの上部セクションで、KPIリストコンポーネントをダッシュボードページに追加しま す。
  - i. [コンポーネントギャラリー] 🖾 ボタンをクリックします。
  - ii. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、KPIリストコンポーネントをクリック またはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択して ページ上の領域にドラッグします。[閉じる]をクリックして、結果を表示します。

KPIリスト	•	Yé	0	«	×
() このコンポーネントは構成されていません。					
↓ <u>ここ</u> をクリックして構成してください					

iii. [コンポーネント] 🔍 ボタンをクリックして、同様にタブ付きコンポーネントを追加します。



これで、各コンポーネントに表示する項目を選択できます。詳細については、関連す るコンポーネントの項を参照してください。

- b. ページの下部セクションで、スコアカードコンポーネントをダッシュボードページに追加し ます。
  - i. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
  - ii. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、スコアカードコンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。



ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネン トギャラリーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントを ドラッグする場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにド ラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- iii. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ページにスコアカードコンポーネントが表示されます。



これで、[**コンポーネントの構成**]<sup>11</sup>ボタンをクリックして、コンポーネントに表示す る項目を選択できます。詳細については、「スコアカードコンポーネント」(409ペー ジ)を参照してください。

- これで、 をクリックしてページを保存できます。[ページギャラリーに保存]ダイアログボックスが開いたら、ページの名前、説明、およびカテゴリを入力します。 新しいページがページギャラリーのリストに表示されます。
   新しいページは、ダッシュボードの新しいタブとしても表示されます。
- ページを表示するには、ダッシュボードで、ダッシュボードのツールバーの[ページギャラリー]
   ボタンをクリックし、該当するページを選択します。

# 使用例-ダッシュボードページの作成とスコア カードコンポーネントのページへの追加

詳細については、『Getting Started with BA』の「Use Case - Create a Dashboard Page and add a Scorecard Component to the Page」を参照してください。

ビジネスアナリストユーザーガイド ダッシュボード表示

UIの説明

# ダッシュボードワークスペース

ダッシュボードワークスペースでは、既定のページを表示したり、新しいページを作成してコンポー ネントを配置したりできます。各ページは、ワークスペース内のタブとして表示されます。

IT BUSINESS ANALYTICS	スタジオ	エクスコ	プローラー	管理
新規ページ(1) ×	ベージの選択 🖌	o 🛱		፼
				~
				^

#### ページ管理ツールバー

ワークスペースの右上にある[ページ管理] ツールバーでは、ページの作成、ページへのコンポーネントの追加、およびコンポーネントの相互作用の方法の定義を実行できます。

UI要素	説明
ページの選択	このドロップダウンリストからページを選択すると、ワークスペースでページ が開かれます。リストには、ページギャラリーで定義されているページが含ま れます。 このボックスにページ名を入力すると、リストがフィルターされます。
~	<b>声架</b> 、クリックナスレページが再新されます
0	更和: ソリッン9 るとハーン小更利されよ9。

	<b>保存</b> または <b>名前を付けて保存</b> : クリックすると、現在のページがページギャラ リーに保存されます。ダイアログボックスが開き、ページの名前の指定、ペー ジの説明の入力、およびページのカテゴリの選択を行うことができます。説明 は、ページギャラリーでページのツールヒントとして表示されます。
	ページギャラリー: クリックするとページギャラリーが開きます。ページギャ ラリーには、既定のページと、ユーザーが保存したページが含まれます。ペー ジの定義を編集したり、ページを開いたりできます。ユーザーインターフェイ スの詳細については、「ページギャラリーとページカテゴリ」(228ページ)を参 照してください。
*`	<b>新規ページ:</b> クリックすると新規ページが作成されます。新規ページを開いた あと、レイアウトを構成したり、ページにコンポーネントを追加したり、コン ポーネントの間のワイヤリングを定義したりできます。タスクの詳細について は、「ダッシュボードページ」(211ページ)を参照してください。
8	ページレイアウトの編集: クリックすると、既存のページのレイアウトを変更 できます。ページの現在のレイアウトが表示されます。各レイアウトの左上隅 にあるレイアウトツールを使用して、レイアウト領域を変更できます。詳細に ついては、「レイアウトツール」(226ページ)を参照してください。 編集の終了: 終わったら、このボタンをクリックして編集を終了します。
20	コンポーネントメニュー: クリックするとコンポーネントギャラリーが開きま す。これには、既定のコンポーネントと、ユーザーが追加したコンポーネント が含まれます。コンポーネントの定義を編集したり、ページにコンポーネント を追加したりできます。ユーザーインターフェイスの詳細については、「コン ポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してくだ さい。
-@-	ページワイヤリング: クリックすると、コンポーネントの間のワイヤリングを 定義できます。これにより、コンポーネントの相互作用を指定できます。ユー ザーインターフェイスの詳細については、「コンポーネント間のワイヤリン グ」(483ページ)を参照してください。
Q	<b>スライドショーの開始/終了</b> :クリックすると、開いているページのスライド ショーが開始されます。ダイアログボックスが開き、ページを循環する間隔を 定義できます。

スライドショー × [0K]をクリックしてスライドショーを開始します。スライドショー を停止するには、[スライドショー]ボタンをもう一度クリックしま す。 ベージの循環間隔:30秒 ~ OK キャンセル
ダッシュボードに複数のページが含まれる場合、最も表示頻度が高いページの うち最大で5つまでが、切り替えたときに即座に表示されます。ほかのページ は表示頻度の少ないページであり、バックグラウンドで静かに非アクティブ化 されています。これらのページを選択した場合、ページがロードされてコンテ ンツが表示されるまで数秒間かかることがあります。 スライドショーの実行中にこのボタンをクリックすると、スライドショーが終 了します。

#### レイアウトツール

レイアウトが空の場合、左上にあるレイアウトツールを使用して、レイアウトを定義できます。レイ アウトの中央にあるアイコンは、レイアウトのタイプを示します。タイプには、水平、垂直、タブ付 きがあります。

UI要素	説明
レイアウトツー ル:	
x	<b>レイアウトの削除:</b> クリック (右上隅) するとページからレイアウトを削除でき ます。
	コンポーネントの追加: クリックするとコンポーネントギャラリーが開きま す。コンポーネントをダブルクリックすると、レイアウト領域にコンポーネン トを追加できます。ユーザーインターフェイスの詳細については、「コンポー ネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してくださ い。
	<b>分割</b> : クリックすると、垂直レイアウトが上下2つのレイアウトに分割されます。

	ページのレイアウトを構成する際には、レイアウトを最大4回まで繰り返し分 割できます(最大16個のボックスを作成できます)。
	<b>分割</b> : クリックすると、水平レイアウトが左右2つのレイアウトに分割されま す。
	ページのレイアウトを構成する際には、レイアウトを最大4回まで繰り返し分 割できます(最大16個のボックスを作成できます)。
85	<b>垂直に切り替え:</b> クリックすると、レイアウトが垂直またはタブ付きから水平 に切り替わります。この領域に配置されたコンポーネントは、上下方向に追加 されます。
	<b>水平に切り替え:</b> クリックすると、レイアウトが水平またはタブ付きから垂直 に切り替わります。この領域に配置されたコンポーネントは、左右方向に追加 されます。
	<b>タブに切り替え:</b> クリックすると、レイアウトが垂直または水平からタブレイ アウトに切り替わります。この領域に配置されたコンポーネントは、タブとし て追加されます。
レイアウトアイ コン:	
	< <b>水平レイアウト&gt;</b> レイアウトの左上隅にあるこのアイコンは、レイアウトが水 平であることを示します。この領域に配置されたコンポーネントは、左右方向 に追加されます。
	<b>&lt;垂直レイアウト&gt;</b> レイアウトの左上隅にあるこのアイコンは、レイアウトが垂 直であることを示します。この領域に配置されたコンポーネントは、上下方向 に追加されます。
	<b>&lt;タブ付きレイアウト&gt;</b> レイアウトの左上隅にあるこのアイコンは、レイアウト が水平であることを示します。この領域に配置されたコンポーネントは、タブ として追加されます。

# ページギャラリーとページカテゴリ

ダッシュボードには、設定済みページおよびコンポーネントが用意されています。これらのページや コンポーネントをカスタマイズすることで、ダッシュボード表示をカスタマイズできます。また、独 自のページやコンポーネントを作成して組み合わせることで、カスタマイズしたダッシュボードを作 成することもできます。ページの管理に役立てるために、ページカテゴリを使用できます。

ダッシュボードページのURLを生成し、そのページを別のアプリケーションに埋め込むことができま す。そのページのどこかをクリックすると、アプリケーションからBusiness Analyticsのダッシュボー ドページにアクセスします。

### アクセス方法:

ダッシュボードで、 <sup>333</sup> ページギャラリーをクリックします。

タスク UIの説明



#### 本項の内容

•	ページカテゴリの変更	228
•	新規ページカテゴリの作成	. 229
•	ユーザー定義ページカテゴリの名前の変更	. 229
•	ユーザー定義ページカテゴリの削除	229
•	カテゴリへのページの割り当て	. 229
•	ページのカテゴリ割り当ての変更	. 230
•	BAダッシュボードページの別のアプリケーションへの埋め込み	230
•	別のアプリケーションに埋め込まれているBAダッシュボードページから元のBAへの移動	231
•	[ページギャラリー] ダイアログボックス	. 231

### ページカテゴリの変更

ダッシュボードでは、ページの整理に使用するために、ページギャラリーに既定のカテゴリが用意されています。

この項では、ページギャラリー内のカテゴリを使用して、ページを整理する方法を説明します。

カテゴリを追加したり、ユーザー定義のカテゴリを編集または削除したり、カテゴリに対してページ を追加または削除したりできます。 **注:** カテゴリは相互に排他的ではなく、1つのページを複数のカテゴリに割り当てることができます。

### 新規ページカテゴリの作成

ダッシュボードには、ページを割り当てるカテゴリが用意されています。

新規ページカテゴリを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. ページ管理ツールバーの [ページギャラリー] ボタンをクリックし、[新規カテゴリ] \* ボタン (ダイアログボックスの左側のセクション) をクリックします。
- 2. [新規カテゴリ]ダイアログボックスで、新しいカテゴリの名前を入力します。
- 3. **[OK]**をクリックします。

既存のページをカテゴリに割り当てることも、新しい外部コンポーネントをカテゴリに追加すること もできます。

### ユーザー定義ページカテゴリの名前の変更

ユーザー定義ページカテゴリの名前を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. カテゴリを選択して、[カテゴリ名の編集] 🧖 ボタンをクリックします。
- 2. [カテゴリ名の編集]ダイアログボックスで、カテゴリの名前を変更します。
- 3. [**OK**]をクリックします。

既定のカテゴリ ( 🎴 アイコンが付いたもの) の名前は変更できません。

ユーザー定義ページカテゴリの削除

ユーザー定義ページカテゴリを削除するには、カテゴリを選択して [**カテゴリの削除**] 🏛 ボタンをク リックします。

既定のカテゴリ ( 🎴 アイコンが付いたもの) は削除できません。

# カテゴリへのページの割り当て

ページをカテゴリに割り当てるには、ページを右クリックし、 <sup>[37]</sup> [カテゴリ分け] (ページまたはコンポーネント) オプションを選択します。[ページのカテゴリ分け] ダイアログボックスが開いたら、 ページまたはコンポーネントを割り当てるカテゴリを1つまたは複数選択し、[OK] をクリックしま す。

### ページのカテゴリ割り当ての変更

ページのカテゴリ割り当てを変更するには、ページを右クリックし、 <sup>1</sup> [カテゴリ分け] (ページまたはコンポーネント) オプションを選択します。[ページのカテゴリ分け] ダイアログボックスが開いたら、カテゴリの選択を変更して、[OK] をクリックします。



ダッシュボードページのURLを生成し、そのページを別のアプリケーションに埋め込むことができま す。そのページのどこかをクリックすると、Business Analyticsのダッシュボードページが開きます。

ダッシュボードで、 <sup>図</sup>ページギャラリーをクリックします。ページを選択して [URLの生成]
 をクリックすると、そのページのURLが生成されます。このURLをしようして、別のアプリケーションのページに埋め込むことができます。

次のダイアログボックスが開きます。

埋め込みベージURL		ヘルプ	×
次の "DWHステータスページ" ページのURLをアプリケーションに埋め込みま https://iwfvm01007.hpswlabs.adapps.hp.com/fndwar/loadedApplication.jsp forceRedirect=true&embeddedPage=6686b5b6-10ec-4e8c-876e-55fa38a	ातुः p? ifc59f		
URLをクリップボードにコピー		閉じる	

- 2. その後、次のことができます。
  - [URLをクリップボードにコピー]をクリックします。次に、コピーされたURLを使用して、選 択したBAダッシュボードページを別のアプリケーションに埋め込むことができます。
  - ダイアログボックスのリンクをクリックして、ページを表示し、正しいページであることを 確認します。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、オンラインヘルプの「ムービーへのアクセス」を参照してください。

# 別のアプリケーションに埋め込まれているBA ダッシュボードページから元のBAへの移動

BAダッシュボードページがBA以外のアプリケーションに埋め込まれています。

ページをクリックすると、BA以外のアプリケーションに埋め込まれたBAダッシュボードページから BAに戻ることができます。

Business Analyticsでは、BAアプリケーションのコンテキストでダッシュボードページが開きます。

ログオンの確認が表示されます。これを防ぐには、シングルサインオンを構成する必要があります。 詳細については、 『BA Administrator Guide』の「LW-SSO」を参照してください。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、オンラインヘルプの「ムービーへのアクセス」を参照してください。



# [ページギャラリー]ダイアログボックス



#### カテゴリ (左側)

次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

UI要素 説明

*	<b>新規カテゴリ:</b> クリックすると新規カテゴリを作成できます。このカテゴリに ページを割り当てることができます。詳細については、「コンポーネントギャ ラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
Ø	<b>カテゴリ名の編集:</b> ユーザー定義カテゴリを選択してクリックすると、名前を 変更できます (既定のカテゴリの名前は変更できません)。
Ŵ	<b>カテゴリの削除:</b> ユーザー定義カテゴリを選択してクリックすると、削除でき ます (既定のカテゴリは削除できません)。
カテゴリ	ここには、ページが割り当てられているカテゴリのリストが含まれます。カテ ゴリには、名前の後に以下の情報が表示される場合があります。
	<ul> <li>カテゴリ名の後の数値は、そのカテゴリに存在するページの数を表します。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・          ・          ・</li></ul>
	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>
	ツールバーを使用して、カテゴリを管理したり、カテゴリを選択してそのペー ジをダイアログボックスの右側に表示したりできます。
	カテゴリは相互に排他的ではなく、1つのページを複数のカテゴリに割り当て ることができます。

#### ページ (右側)

次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

UI要素	説明
	<b>ページを開く</b> : ページを選択してクリックすると、ダッシュボードワークス ペースでページが開きます。
	ページギャラリー内でページをダブルクリックする方法もあります。
- T <sup>1</sup>	<b>ページのカテゴリ分け</b> : ページを選択してクリックすると、ページをカテゴリ に割り当てることができます。
Ф	<b>ページの複製:</b> ページを選択してクリックすると、ページのコピーを作成でき ます。コピーしたページを変更して、新しい名前で保存できます。
	ダイアログボックスが開き、新しいページの名前の指定、ページの説明の入 力、およびページのカテゴリの選択を行うことができます。説明は、ページ ギャラリーでページのツールヒントとして表示されます。
Ŵ	ページの削除: ページを選択してクリックすると、ページをギャラリーから削

	除できます。
G	<b>URLの生成:</b> ページを選択してクリックすると、ページのURLを生成できます。 その後、URLを使用してページを別のアプリケーションに埋め込むことができ ます。詳細については、「BAダッシュボードページの別のアプリケーションへ の埋め込み」(230ページ)を参照してください。
	次のダイアログボックスが開きます。その後、次のことができます。
	<ul> <li>[URLをクリップボードにコピー]をクリックします。次に、コピーされた URLを使用して、選択したBAダッシュボードページを別のアプリケーション に埋め込むことができます。</li> </ul>
	<ul> <li>ダイアログボックスのリンクをクリックして、ページを表示し、正しいページであることを確認します。</li> </ul>
	埋め込みページURL ヘルプ ×
	次の "DWHステータスページ" ページのURLをアプリケーションに埋め込みます: https://iwfvm01007.hpswlabs.adapps.hp.com/fndwar/loadedApplication.jsp? forceRedirect=true&embeddedPage=6686b5b6-10ec-4e8c-876e-55fa38afc59f
	URLをクリッブボードにコピー 閉じる
	その他のアプリケーションで、埋め込まれたダッシュボードページの任意の場 所をクリックして、BAのコンテキストで同じダッシュボードページを開きます (セッションを抜ける場合は、ログオン確認付きで)。
ページ	ここには、ダッシュボードに表示できる既定のページと、ユーザーが保存した カスタムページが表示されます。ページを選択し、ツールバーを使用してペー ジ定義を編集したり、ページをダブルクリックしてダッシュボードワークス ペースで開いたりできます。
	BAには、ダッシュボードですぐに表示できる設定済みページが用意されていま す。設定済みページの詳細については、「設定済みダッシュボードページのリ ファレンス」(211ページ)を参照してください。
検索ボックス	テキスト文字列を入力して、特定のページを検索できます。

# コンポーネントギャラリーとコンポーネ ントカテゴリ

ダッシュボードでは、コンポーネントの整理に使用するために、コンポーネントギャラリーに既定の カテゴリが用意されています。

この項では、コンポーネントギャラリー内のカテゴリを使用して、コンポーネントを整理する方法を 説明します。

カテゴリを追加したり、ユーザー定義のカテゴリを編集または削除したり、カテゴリに対してコン ポーネントを追加または削除したりできます。

**注:** カテゴリは相互に排他的ではなく、1つのコンポーネントを複数のカテゴリに割り当てることができます。

アクセス方法:

エグゼクティブダッシュボードで、[**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。

ダッシュボードページで、[**コンポーネントの追加**] 「」 ボタンをクリックします。

タスク UIの説明



本項の内容

•	新規力テゴリの作成	. 235
•	ユーザー定義カテゴリ名の変更	. 235
•	ユーザー定義カテゴリの削除	.235
•	カテゴリへのコンポーネントの割り当て	.235
•	コンポーネントのカテゴリ割り当ての変更	. 236

### 新規カテゴリの作成

ダッシュボードには、コンポーネントを割り当てるカテゴリが用意されています。新規カテゴリを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. ページ管理ツールバーの [**コンポーネントギャラリー**] ボタンをクリックし、[新規カテゴリ] \*\* ボタン (ダイアログボックスの左側のセクション) をクリックします。
- 2. [新規カテゴリ]ダイアログボックスで、新しいカテゴリの名前を入力します。
- 3. [**OK**]をクリックします。

既存のコンポーネントをカテゴリに割り当てることも、新しい外部コンポーネントをカテゴリに追加 することもできます。

### ユーザー定義カテゴリ名の変更

ユーザー定義カテゴリの名前を変更するには、次の手順を実行します。

- 1. カテゴリを選択して、[**カテゴリ名の編集**] 🖉 ボタンをクリックします。
- 2. [カテゴリ名の編集]ダイアログボックスで、カテゴリの名前を変更します。
- 3. [OK] をクリックします。

既定のカテゴリ ( 🎴 アイコンが付いたもの) の名前は変更できません。

### ユーザー定義カテゴリの削除

既定のカテゴリ ( 🎴 アイコンが付いたもの) は削除できません。

# カテゴリへのコンポーネントの割り当て

コンポーネントをカテゴリに割り当てるには、コンポーネントを選択して、ツールバーの[カテゴリ 分け] <sup>3</sup> ボタン (右側) を選択します。[コンポーネントのカテゴリ分け] ダイアログボックスが開い たら、ページまたはコンポーネントを割り当てるカテゴリを1つまたは複数選択し、[OK] をクリック します。

# コンポーネントのカテゴリ割り当ての変更

コンポーネントのカテゴリ割り当てを変更するには、コンポーネントを選択して、ツールバーの[**カ** テゴリ分け] <sup>①</sup> ボタン (右側) を選択します。[コンポーネントのカテゴリ分け] ダイアログボックス が開いたら、カテゴリの選択を変更して、[**OK**] をクリックします。

#### UIの説明

# [コンポーネントギャラリー]ダイアログボック ス



#### 左ペイン

UI要素	説明	
*	新規カテゴリ: クリックして新規カテゴリを作成します。[新規カテゴリ] ダイア ログボックスが開き、新しいカテゴリの名前を入力して [OK] をクリックするこ とにより保存できます。	
	新規力テゴリ ×	
	*名前:	
	<b>OK</b> キャンセル	
0	<b>カテゴリ名の編集:</b> 関連するカテゴリを選択し、ボタンをクリックしてカテゴリ を編集します。[カテゴリ名の編集] ダイアログボックスが開き、カテゴリの名前 を変更して [ <b>OK</b> ] をクリックすることにより変更を保存できます。	
	カテゴリ名の編集 × *名前: new_category	
	OK キャンセル	
Ū	<b>カテゴリの削除:</b> 関連するカテゴリを選択し、ボタンをクリックして削除します。	
<カテゴリのリ 	このペインにはカテゴリが表示されます。	
スト>	• [カテゴリ]を選択またはクリアすると、すべてのカテゴリが選択または選択 解除されます。	
	• 🚨 は、対応するカテゴリを編集できないことを示します。	
	<ul> <li>         ・          ・             「             は、カテゴリに割り当てられていないすべてのコンポーネントがこのカテ ゴリにまとめられていることを示します。      </li> </ul>	

### ビジネスアナリストユーザーガイド ダッシュボード表示

UI要素	説明		
	<b>しまし</b> ブレークダウンビュー	<b>い</b> ブルチャートビュー	<b>します</b> クラスター棒グラフビュ・
	<b>ト</b> ア 予測	をした 履歴メトリックビュー	履歴ビュー
	<b>グー</b> <b>ベー</b> KPIリスト	KPI Rolodex	
	がれ線/棒複合グラフビ	ページフィルター	<b>し</b> 円グラフビュー
	● ● ● スコアカード	■ ■ 種み上げ棒グラフビュー	Xcelsiusレポートビューフ

UI要素	説明		
	米国地図	Web 	Web
	世界地図	<b>Xcelsius</b> レポートビューフ	

### 右ペイン

UI要素	説明
*	<b>外部コンポーネントの追加:</b> クリックすると、コンポーネントのギャラリーに 外部コンポーネントを追加できます。[新規コンポーネント] ダイアログボック スが開きます。詳細については、「カスタマイズされた静的または動的URLコ ンポーネント」(475ページ)を参照してください。
0	コンポーネントのプロパティ編集: 関連するコンポーネントを選択し、ボタン をクリックしてコンポーネントを編集します。[コンポーネントの編集] ダイア ログボックスが開き、選択したコンポーネントの構成を変更できます。詳細に ついては、「カスタマイズされた静的または動的URLコンポーネント」(475 ページ)を参照してください。
Ŵ	<b>コンポーネントの削除:</b> 関連するコンポーネントを選択し、ボタンをクリック して削除します。
	コンポーネントのカテゴリ分け: 関連するコンポーネントを選択し、ボタンを クリックしてコンポーネントのカテゴリを指定します。[コンポーネントのカテ ゴリ分け] ダイアログボックスが開き、1つまたは複数のカテゴリを選択できま す。

UI要素	説明
	<ul> <li>コンボーネントのカテゴリ分け: KPI ×</li> <li>カテゴリ</li> <li>new_category</li> <li>KPIガジェット</li> <li>TEST</li> <li>OK キャンセル</li> </ul>
検索	文字列を入力して、その文字列が名前に含まれるすべてのコンポーネントを表 示します。
コンポーネント	使用可能な標準設定のコンポーネントとカスタマイズコンポーネントがダイア ログボックスに表示されます。

# コンポーネント表示形式のその場での変 更

ダッシュボードページの一部のコンポーネントでは、表示形式をその場で変更できます。

#### アクセス方法:

関連するコンポーネントで、 クリックし、関連する表示形式を選択して、その場で表示を 変更します。

詳細情報 タスク



表示形式をその場で変更できるコンポーネント

以下のコンポーネントで、 アイコンは表示形式をその場で変更できることを示します。該当 するコンポーネントは、次のとおりです。

- KPI Rolodexコンポーネント
- ブレークダウンビューコンポーネント
- バブルチャートビューコンポーネント
- クラスター棒グラフビューコンポーネント
- 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
- 履歴メトリックビューコンポーネント
- 履歴ビューコンポーネント
- KPIリストコンポーネント
- KPIビューコンポーネント
- 円グラフコンポーネント
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント

利用可能な表示形式

コンポーネントによって一部利用できない表示形式があります。

- <sup>1</sup> コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細については、「列形式」 を参照してください。
- 小-コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex ゲージ形式」を参照してください。
- <sup>1</sup>/<sub>4</sub> コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の 折れ線グラフ形式」を参照してください。
- 山 コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ形式」を参照してく ださい。
- 📼 コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形式」を参照してください。
- ラ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex ゲージ形式」を参照してください。
- ・ □ンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の 折れ線グラフ形式」を参照してください。
- <sup>▲</sup> コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラ フ形式」を参照してください。
- U コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。
- コンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。
- - コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」 を参照してください。
- □ コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。

注:

選択したKPIとメトリック:	選択した形式:	自動変更後の形式:
周期が異なる場合	折れ線/棒複合グラフ	複数の折れ線グラフ
周期が異なる、または単位 が異なる場合	クラスター棒グラフまたは積み上げ棒グ ラフ	複数の折れ線グラフ

選択したKPIとメトリック:	選択した形式:	自動変更後の形式:
周期が異なる、または単位 が異なる場合	バブルチャート、棒グラフ、または円グ ラフ	垂直の列
選択数が15より多い場合 (ブレークダウン除く)	棒グラフ	垂直の列
選択数が15より多い場合 (ブレークダウン除く)	積み上げ棒グラフ、クラスター棒グラ フ、または折れ線/棒複合グラフ	複数の折れ線グラフ



# コンポーネント表示形式のその場での変更

コンポーネント表示形式をその場で変更するには、次の手順を実行します。

- 1. 関連するコンポーネントのいずれかで アイコンをクリックし、必要な表示形式を選択し ます。ただし、コンポーネントによって一部利用できない表示形式があります。利用可能な形 式については、「UIの説明」(243ページ)の形式に関する説明を参照してください。
- 2. 表示が自動的に変更されます。



### 列形式

選択した形式に応じて、グラフのデータが水平方向 🔤 または垂直方向 📲 に表示されます。

注:ブレークダウンをドリルダウンすると、最大15個のブレークダウンが表示されます。





UI要素	説明
<列>	列には各項目に関して次の情報が表示されます。
	<ul> <li>タイトル(垂直レイアウトでは列の上、水平レイアウトでは列の 左)に項目名が表示されます。タイトルをダブルクリックすると、 選択した項目に関してフィルターされた[エクスプローラー]タブ が開きます。</li> </ul>
	<ul> <li>■(項目に新しい注釈が追加された場合は<sup>*=</sup>)。アイコンの上に カーソルを移動すると、項目のツールヒントが開いて項目に関す る詳細情報が表示され、項目のコンテキストでエクスプローラー にアクセスできます。詳細については、「目標、KPI、またはメト</li> </ul>

UI要素	説明
オープンされたリスク数 ≡	リックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参 照してください。
<b>93.0000</b> #	<ul> <li>値(垂直レイアウトではカラーの列の上部、水平レイアウトでは列の右)は、最大しきい値を表します。</li> </ul>
	<ul> <li>値(垂直レイアウトではカラーの列の下部、水平レイアウトでは列の左)は、最小しきい値を表します。</li> </ul>
	<ul> <li>小さい列の色は、列に対して定義されているしきい値を表します。</li> </ul>
0.00#	<ul> <li>灰色の列の色ブロックの単位付きの値は、項目の値を表します。</li> <li>ブロックの色は、項目のステータスを表します。</li> </ul>
V FY2014/07(07) T	<ul> <li>テキスト (垂直レイアウトでは列の下部、水平レイアウトでは列の 左の項目名の下) は、項目の表示期間を示します。</li> </ul>
	<ul> <li>表示期間の左にあるアイコンは、表示期間を対象として計算された傾向</li> </ul>
	<ul> <li>表示期間の左にあるアイコンは、表示期間中の項目のステータス を示します。</li> </ul>
	▪
	•  は、ステータスが [警告] であることを示します。
	<b>・ 😢</b> は、ステータスが [ <b>エラー</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが計算されなかったか、計算でエラーが発生したことを示します。</li> </ul>
	矢印を使用すると、水平方向の列の「ページ」の間をスクロールで きます。「ページ」の幅、すなわち「ページ」に表示される列数 は、ダッシュボードのコンポーネントの幅に依存します。
	左端のページに達すると、左矢印は消えます。右端のページに達す ると、右矢印は消えます。

Rolodex - ゲージ形式

注: ブレークダウンをドリルダウンすると、最大15個のブレークダウンが表示されます。

選択した形式に応じて、グラフのデータが水平方向小または垂直方向・に表示されます。





コンポーネントには、選択した各KPIに対するゲージが表示されます。コンポーネント内のゲージの 順序は、フィルターダイアログボックスの[選択したKPI]領域にあるKPIの順序に対応します。

	UI要素
<ul> <li>&lt;コンポーネント         次の情報がコンポーネントに表示されます。         <ul> <li>ゲージの上またはゲージの左にあるKPIの名前。名前をダブルクリックする             と、選択した要素に関してフィルターされた[エクスプローラー]タブが開き             ます。             ・</li></ul></li></ul>	<コンポーネント のコンテンツ>

UI要素	説明
	移動すると、項目のツールヒントが開いて項目に関する詳細情報が表示され、項目のコンテキストでエクスプローラーにアクセスできます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してください。
	<ul> <li>値 (ゲージの右側) は、最大のしきい値を表します。値 (ゲージの左側) は、 最小のしきい値を表します。ゲージの中央の値は、KPIの値を単位付きで示 します。丸印の色は、KPIのステータスに対応します。</li> </ul>
	<ul> <li>小さいバーの色は、KPIに対して定義されているしきい値を表します。</li> <li>丸印はKPIの値を示します。</li> </ul>
	• ゲージの下部のテキストは、KPIの表示期間を示します。
	<ul> <li>表示期間の左にあるアイコンは、表示期間を対象として計算された傾向</li> <li>▲ ◆ ◆ を示します。</li> </ul>
	<ul> <li>表示期間の左にあるアイコンは、表示期間中のKPIのステータスを示します。</li> </ul>
	<b>. ──</b> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	•は、ステータスが[警告] であることを示します。
	<b>。 😢</b> は、ステータスが [ <b>エラー</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが計算されなかったか、計算でエラーが発生したこと を示します。</li> </ul>
	データがありません は、選択した期間に選択した項目に関する 計算済みのデータが存在しない場合にゲージの下部に表示されます。原 因としては、数式の誤り (0による除算など)、値の欠落による算術エラー などが考えられます。
	問題のあるポイントをダブルクリックすると、[エクスプローラー] ペー ジが開き、そのポイントに関するデータが存在しない理由の簡単な説明 が、ページの上部に表示されます。
<ツールヒント>	KPI名の上にマウスを移動すると、KPIの詳細情報がツールヒントに表示されま す。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビ ゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してください。
$\mathbf{O}$	矢印を使用すると、ゲージの「ページ」の間をスクロールできます。「ページ」の幅、すなわち「ページ」に表示されるゲージの数は、ダッシュボードのコンポーネントの幅に依存します。

UI要素	説明
	左端のページに達すると、左矢印は消えます。右端のページに達すると、右矢 印は消えます。

# 複数または単一の折れ線グラフ形式

選択した形式に応じて、複数の折れ線がまとめて1つのグラフに表示されるか(KPIの単位が同じ場合)、単一のグラフが複数表示されます。









UI要素 説明 このようなポイントの上にマウスを移動すると、ツールヒントにポイント に関連する注釈情報が表示されます。詳細については、「目標、KPI、また はメトリックに関する第1レベルナビゲーション(FLN)」(507ページ)を参照 してください。 リスクの低減 × 所有者が未定義 2014/02/28 2014/06/19 🔻 🔘 リスクの低減 7.527 - 📀 - 😣 ……∽♪ セキュリティ関連… 0.375% - 📀 ……∽ セキュリティ関連… 0% - 🕗 administrator 2014/06/25 17:22 パッチの成功率を上げることでリスクを… 調査... ツールヒントに3つまでの注釈が表示されます。注釈が3つより多い場合 は、最初の2つの後に[調査...]が表示されます。[調査...]をクリックする と、コンテキスト内で[エクスプローラー] タブが開き、すべての注釈のリ ストが表示されます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ) を参照してください。 アイコンをダブルクリックすると、選択した要素に関してフィルターされ た[エクスプローラー]タブが開きます。 レポート用に選択されている期間の区切りを示すポイントです。 -\_\_\_ ポイントにはステータスの色が付いています(緑色: OK、黄色: 警告、赤色: 重大)。 「ポイント」をダブルクリックすると、「ポイント」で定義される期間ま での項目の詳細情報が[エクスプローラー]タブに表示され、その項目範囲 に対応する期間範囲が[エクスプローラー]タブで選択された状態になりま す。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してくださ

UI要素	説明
	ι <sub>°</sub>
	<b>注:</b> グラフの線をクリックして、項目の値に関する情報を提供する垂直 線を表示します。
<しきい値>	<ul> <li>項目のしきい値は、コンポーネントの右側に表示されます。</li> <li>1つの項目を表示するグラフでは、しきい値のバーと点線がデフォルトで表示されます。</li> <li>複数の項目を表示するグラフでは、関連する線または凡例項目をクリックして項目を選択すると、グラフにY軸と点線付きのしきい値バーが表示されます。</li> </ul>
	歴ビュー     「」のの       エスケーブされた不再会数 =     100       0.00     0.00       第一回     0.00       第二回     0.00       第二回     0.00       第二回     0.00       第二回     0.00       第二回     0.00       100     100
<y軸></y軸>	<ul> <li>Y軸には、項目の値が適切な単位で表示され、コンポーネントの構成時に1</li> <li>つのグラフ()</li> <li>・項目の単位が同じ場合:</li> <li>選択した項目の単位がすべて同じ場合、Y軸が表示されます。</li> </ul>


UI要素	説明	
	セグメントに分割されて表示されます。詳細については、「円グラフ形 式」(254ページ)を参照してください。	

### 棒グラフ

#### 制限事項:

- 表示可能なKPIは最大で15個です。
- ブレークダウンをドリルダウンすると、最大14個のブレークダウンが表示されます。ブレー クダウンの数が14を超える場合、[その他]バーにその他のブレークダウンの合計が表示されま す。
- ・ 選択したKPIの単位と期間がすべて同じでないと、このオプションは選択できません。



コンポーネントには、選択した各項目に対するバーが表示されます。コンポーネント内のバーの順序 は、フィルターダイアログボックスで選択した項目の順序に対応します。

UI要素	説明
<コンポーネントのコ ンテンツ>	次の情報がコンポーネントに表示されます。
	• バーの下にある項目の名前。
	• バーの高さ。項目の値に応じて変化します。
	• バーの色。項目の値のしきい値の範囲を示します。

UI要素	説明
<ツールヒント>	バーの上にマウスを移動すると、項目の値や名前などの詳細情報がツー ルヒントに表示されます。

## 円グラフ形式

#### 制限事項:

- ・ 選択したKPIの単位と期間がすべて同じでないと、このオプションは選択できません。
- ブレークダウンをドリルダウンすると、最大14個のブレークダウンが表示されます。ブレー クダウンの数が14を超える場合、[その他]の扇型にその他のブレークダウンの合計が表示され ます。



UI要素	説明
<円グラフ>	円グラフは、選択した項目が扇型で表示されます。ツールヒントには、項目の 値と全体に占めるパーセンテージが表示されます。
	• [ダッシュボード] ページにコンポーネント (円グラフコンポーネントとKPIリ ストコンポーネントを除く) を追加して円グラフ形式を選択すると、最大15 のブレークダウンでコンポーネントが表示されます。
	扇型をクリックすると、使用可能なブレークダウンディメンションが表示さ れます。ブレークダウンディメンションを選択すると、 ™⇒アイコンが表示 されます。
	灣與アイコンをクリックすると、選択したブレークダウンディメンションの

UI要素	説明
	最大値と最小値が、15の扇型で表示されます。
	<ul> <li>円グラフコンポーネントを[ダッシュボード]ページに追加している場合、次の操作が可能です。</li> </ul>
	• [ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合、選択した扇形の数に応じ て、次の内容を表示できます。
	<ul> <li>KPIまたはメトリックブレークダウンディメンションのそれぞれの値</li> <li>は、円グラフの扇形で表されます。</li> </ul>
	<ul> <li>1つまたは複数の扇形がKPIまたはメトリックブレークダウンディメンションのうち値が大きいものを表し、残った1つの扇形がそれ以外のKPIまたはメトリックブレークダウンディメンションの値を表します。</li> </ul>
	• [ <b>複数選択</b> ]を選択している場合、選択した扇形の数に応じて、次の内容 を表示できます。
	∘ 選択されている各項目が、円グラフの扇形で表されます。
	<ul> <li>1つまたは複数のスライスが選択されている項目のうち値が大きいものを表し、残りの1つの扇形がそれ以外のすべての項目を表します。</li> </ul>
<凡例>	次のいずれかを表示します。
	• [ブレークダウンの選択]を選択している場合:
	<ul> <li>扇形の色、対応するKPIまたはメトリックブレークダウンディメンションの値の名前。名前をダブルクリックすると、選択した要素に関してフィルターされた[エクスプローラー]タブが開きます。</li> </ul>
	• ≡ (KPIまたはメトリックブレークダウンに新しい注釈が追加された場合
	は <sup>*=</sup> )。アイコンの上にカーソルを移動すると、ツールヒントが開いて KPIまたはメトリックブレークダウンに関する詳細情報が表示され、KPIま たはメトリックブレークダウンのコンテキストでエクスプローラータブ にアクセスできます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリック に関する第1レベルナビゲーション(FLN)」(507ページ)を参照してくださ い。
	• [ <b>複数選択</b> ]を選択している場合:
	<ul> <li>扇形の色、対応するメトリックまたはKPIの名前、単位の順。名前をダブ ルクリックすると、選択した要素に関してフィルターされた[エクスプ ローラー]タブが開きます。</li> </ul>
	<ul> <li>■ (KPIまたはメトリックブレークダウンに新しい注釈が追加された場合は*=)。アイコンの上にカーソルを移動すると、ツールヒントが開いて</li> </ul>

UI要素	説明
	KPIまたはメトリックブレークダウンに関する詳細情報が表示され、KPIま たはメトリックブレークダウンのコンテキストでエクスプローラータブ にアクセスできます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリック に関する第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してくださ い。
<ツールヒント>	扇形の上にマウスを移動すると、選択した項目に関する詳細情報がツールヒン トに表示されます。
>>または<<	クリックすると、凡例が表示または非表示になります。

### クラスター棒グラフ

#### 制限事項:

- 選択したKPIまたはメトリックの単位と周期がすべて同じである必要があります。
- この形式では、最大15のKPIまたはメトリックの時系列データを表示できます。



UI要素	説明
<クラスター棒グ ラフ>	クラスター棒グラフでは、選択された項目の値を時系列で表す棒グラフを表示 します。
	<ul> <li>関連する棒グラフをクリックすると、選択した棒グラフに対応するKPIまた はメトリックの時系列値が表示されます。</li> </ul>

UI要素	説明
	・       ・
<凡例>	<ul> <li>選択したKPIまたはメトリックとそれぞれの時系列値の表示に使用する色をリスト表示します。</li> <li>また、 (KPIまたはメトリックに新しい注釈が追加された場合は<sup>★</sup>)も表示されます。</li> <li>アイコンの上にカーソルを移動すると、ツールヒントが開いてKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメトリックブレークダウン(存在する場合)に関する詳細情報が表示されます。</li> <li>アイコンをクリックすると、KPIまたはメトリックのコンテキストで[エクスプローラー]タブにアクセスできます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。</li> <li>詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション(FLN)」(507ページ)を参照してください。</li> </ul>
<ツールヒント>	ツールヒントには、選択した期間のKPIまたはメトリックの値が表示されます (上のグラフの例を参照)。
>>または<<	クリックすると、凡例が表示または非表示になります。

## 積み上げ棒グラフ

#### 制限事項:

- 選択したKPIまたはメトリックの単位と周期がすべて同じである必要があります。
- この形式では、最大15のKPIまたはメトリックの時系列データを表示できます。



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<積み上げ棒グラ フ>	積み上げ棒グラフでは、選択された項目の絶対値を時系列で表す棒グラフを表 示します。
	関連する棒グラフのセクションの上にカーソルを置くと、選択したセクション に対応するKPIまたはメトリックの時系列値が表示されます。
	■ オーブンされたイン = 2K#
	■ 保留状態のインシデ = 1.6K#
	■ 変更から発生したイ = 1.2K# - 変更から発生したインシデント数 00000 88#
	400#
	0#
	FY2014/07(300) FY2015/03(Mar) FY2015/07(300)
<凡例>	選択したKPIまたはメトリックとそれぞれの時系列値の表示に使用する色をリス ト表示します。
	凡例の関連するKPIまたはメトリックをクリックすると、その棒グラフと値のみ が表示されます。

UI要素	説明
	■ $\tau - \tau $ $z_{K\#}$
	■ 保留状態のインシデ = 1.5K#
	■ 変更から発生したイ = 1.2K#
	800#
	0#
	FY2014/07(Jul) FY2014/12(Dec) FY2015/03(Mar) FY2015/07(Jul)
	<ul> <li>されます。</li> <li>凡例には、 (KPIまたはメトリックに新しい注釈が追加された場合は*=)も表示されます。</li> <li>アイコンの上にカーソルを移動すると、ツールヒントが開いてKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメトリックブレークダウン(存在する場合)に関する詳細情報が表示されます。</li> <li>アイコンをクリックすると、KPIまたはメトリックのコンテキストで[エクスプローラー]タブにアクセスできます。 詳細については、「エクスプロー</li> </ul>
	ラー」(517ページ)を参照してください。
	詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲー ション (FLN)」(507ページ)を参照してください。
<ツールヒント>	ツールヒントには、選択した期間のKPIまたはメトリックの値が表示されます (上のグラフの例を参照)。ツールヒントには、KPIまたはメトリックの値 (絶対 値ではありません) が表示されます。
>>または<<	クリックすると、凡例が表示または非表示になります。

## 折れ線/棒複合グラフ形式

#### 制限事項:

- 選択したKPIまたはメトリックの周期がすべて同じである必要があります。
- この形式では、最大15のKPIまたはメトリックの時系列データを表示できます。



UI要素	説明	
折れ線/棒複合グ ラフ>	折れ線/棒複合グラフでは れ線グラフを表示します	よ、選択された項目の値を時系列で表す棒グラフと折 <sup>.</sup> 。
	表示するKPIまたはメトリ した最初のKPIまたはメト す。	リックを選択すると、折れ線/棒複合グラフには、選択 、リックが棒グラフまたは折れ線グラフで表示されま
	関連する棒グラフまたは たは折れ線グラフに対応	折れ線グラフをクリックすると、選択した棒グラフま するKPIまたはメトリックの時系列値が表示されます。
	≪ ■エスカレートされた =	
	▲インシデント平均 =	エスカレートされたインシテン
	↓ インシデント解決 =	インシデント解決時間(0)(時 2010-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-00-
		FY2014/07(Jul) FY2014/12(Dec) FY2015/03(Mar) FY2015/06(Jun)
<凡例>	選択したKPIまたはメトリ ト表示します。	リックとそれぞれの時系列値の表示に使用する色をリス
	凡例の関連するKPIまたに れ線グラフと値のみが表	↓メトリックをクリックすると、その棒グラフまたは折 示されます。



UI要素	説明
	詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲー ション (FLN)」(507ページ)を参照してください。
<ツールヒント>	ツールヒントには、選択した期間のKPIまたはメトリックの値が表示されます (上のグラフの例を参照)。
>>または<<	クリックすると、凡例が表示または非表示になります。

### バブルチャート形式

#### 制限事項:

- 選択したKPIまたはメトリックの単位と周期がすべて同じである必要があります。
- この形式では、最大15のKPIまたはメトリックの時系列データを表示できます。
- ブレークダウンをドリルダウンすると、最大14個のブレークダウンが表示されます。ブレー クダウンの数が14を超える場合、[その他]の扇型にその他のブレークダウンの合計が表示され ます。



UI要素	説明
バブルチャート グラフ形式>	バブルチャートグラフ形式では、バブルが表示されます。個々のバブルには、 対応するKPIまたはメトリックの名前と、コンポーネントの[表示期間のフィル ター] フィールドで選択された期間に対する項目の値が含まれます。バブルの



UI要素 説明 詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲー ション(FLN)」(507ページ)を参照してください。 <ツールヒント> ツールヒントの最初の行には、残りのバブルと比較した、KPIまたはメトリック の値の割合が表示されます。2番目の行には、コンポーネントの[表示期間の フィルター]フィールドで選択された期間に対する項目の値が表示されます。  $1.5 \sim$ ----■ インシデントの合計コスト(0): Exchange (US\$) = ■ インシデントの合計コスト(0): Advantage Inc Apps (US\$) = 11.7097% (\$23.04) ■ インシデントの合計コスト(0): SharePoint (US\$) = インシデントの合… \$87.94 インシデントの合… \$85.78 >>または<< クリックすると、凡例が表示または非表示になります。 <ブレークダウン 選択された項目のいずれかにブレークダウンが存在する場合、対応するバブル をクリックすると、その項目のブレークダウンが表示されます。 > .... 12 V ■ 問題の平均コスト(0) (US\$) = ■ 問題の合計コスト(0) (US\$) = 問題の平均コント。 \$141.67 問題の合計コスト(... \$144.02 ServiceManagement Problem\_Categ... ServiceManagement Service\_Name ブレークダウンをクリックすると、関連するKPIまたはメトリックブレークダウ ンが表示されます。

UI要素	説明
	problem (US\$) $\equiv$ (US\$) $\equiv$
	problem \$138.317 \$151.73
	ブレークダウンディメンションを選択すると、ゴミアイコンが表示されます。 ゴミアイコンをクリックすると、選択したブレークダウンディメンションの最 大値と最小値が、15の扇型で表示されます。

## リスト形式

オープンされた要求数 ≡ <b>107#</b> FY2015/07(Jul)	8 🕈
クローズされた要求の割合 (%)(0) ≡ 80.28% FY2015/07(Jul)	▲ ↓
保留状態の要求数(0) ≡ 137# FY2015/07(Jul)	⊘

UI要素	説明
リストグラフ>	リストグラフでは、選択したKPIまたはメトリックがリスト形式で表示されま す。次の内容が表示されます。
	• KPIまたはメトリックの名前。
	<ul> <li>コンポーネントの表示期間フィルターで選択した期間に対するKPIまたはメトリックの値。</li> </ul>
	• 表示期間の開始のタイムスタンプ。

UI要素	説明
	• KPIのステータス (メトリックの場合はデータなしアイコン)
	• KPIの傾向 (メトリックの場合はフラットな傾向)

# コンポーネント表示で使用する周期のオ ンデマンドでの変更

ダッシュボードページの一部のコンポーネントでは、コンポーネント表示で使用する周期をローカル に変更できます。

アクセス方法:

関連するコンポーネントで、 <sup>100</sup>をクリックし、関連する周期を選択して、その場で表示を変更しま す。



本項の内容

### コンポーネント表示で使用する周期のオンデマ ンドでの変更

**注:** 次のコンポーネントの特定の形式で、 アイコンは異なる周期を選択してデータを表示で きることを示します。該当するコンポーネントは、次のとおりです。

- KPI Rolodexコンポーネント
- ブレークダウンビューコンポーネント
- バブルチャートビューコンポーネント
- クラスター棒グラフビューコンポーネント
- 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
- 履歴メトリックビューコンポーネント
- 履歴ビューコンポーネント
- KPIリストコンポーネント
- KPIビューコンポーネント
- 円グラフコンポーネント
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント

1. 関連するコンポーネントで 開アイコンをクリックします。

注:オンデマンド周期をアクティブ化した後の注意点:

- 選択したオンデマンド周期がそれぞれの既定の周期と一致しているKPIまたはメトリック を除き、計算は一時的であるため、コンポーネントに<sup>★</sup>または = FLNアイコンは表示 されません。
- 元の表示に戻すには、階層リストの青い線が使用できる場合はそれをクリックします。
   また、複数の折れ線グラフ形式の場合は、オンデマンド周期スライダーでボタンを既定の位置までスライドします。
- ブレークダウンを含むKPIまたはメトリックでゲージまたは線(複数の折れ線グラフ形式) をクリックすると、選択したオンデマンド周期に対してそれぞれの値が表示されます。 元の表示に戻すには、階層リストの青い線をクリックします。
- 計算はオンデマンドで実行され、一時的です。ページを離れて戻ると、元の表示に戻っています。
- 2. ゲージまたはバー形式の場合:



a. グラフの下部にある <sup>IIII</sup> アイコンをクリックし、オンデマンド周期カレンダーを表示します。



- b. ドロップダウンリストで期間を選択します。
  - 現在

KPIまたはメトリックで定義された周期に対応する現在の期間に対して、KPIまたはメト リックが (一時的に) 再計算されます。

たとえば、KPI周期が毎月である場合、現在の日までの現在の月に対して再計算されま す。また、KPI周期が毎週である場合、現在の日までの現在の週に対して再計算されま す。

○ 最終終了

KPIまたはメトリックで定義された周期に対応した、現在の期間の前に閉じられた期間に 対してKPIまたはメトリックが (一時的に) 再計算されます。

たとえば、KPI周期が毎月である場合、前月に対して再計算されます。また、KPI周期が 毎週である場合、前の週に対して再計算されます。

○ 毎年

KPIまたはメトリックの年のリストで必要な年を選択します。将来の年は無効です。選択 した年に対してKPIまたはメトリックが (一時的に) 再計算されます。

×		明問:
~		毎年
+	1 <b>2-</b> F	🔶 FY201
3		FY2012
5		FY2014
5		FY2014

**注:** KPIまたはメトリックの既定の周期が毎年である場合、年のカレンダーが自動的に表示されます。

#### ○ 毎四半期

カレンダーで必要な四半期を選択します。将来の年は無効です。選択した四半期に対してKPIまたはメトリックが(一時的に)再計算されます。

期間:			×
每四半期			~
+	FY20	15	+
Q1		Q2	
Q3			

**注:** KPIまたはメトリックの既定の周期が四半期である場合、四半期のカレンダーが 自動的に表示されます。 ○ 毎月

カレンダーで必要な月を選択します。将来の月、および年は無効です。選択した月に対してKPIまたはメトリックが(一時的に)再計算されます。

期間:			×
毎月			~
+	20	15	+
1月	2月	3月	4月
5月	<b>6</b> 月	7月	8月
9月	10月	11月	12月

**注:** KPIまたはメトリックの既定の周期が月である場合、月のカレンダーが自動的に 表示されます。

○ 毎週

カレンダーで必要な週を選択します。将来の週、月、および年は無効です。選択した週 に対してKPIまたはメトリックが (一時的に) 再計算されます。

ļ	明問:						×
	毎週	3					~
	+		<b>7</b> )	3 20	15		+
	月	火	ж	木	金	±	в
	29	30	1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31	1	2
	3	4	5	6	7	8	9
_				$\sim$			_

**注:** KPIまたはメトリックの既定の周期が週である場合、週のカレンダーが自動的に 表示されます。

○ 日次

カレンダーで必要な日を選択します。将来の日、月、および年は無効です。選択した日 に対してKPIまたはメトリックが (一時的に) 再計算されます。

期間	:					×
毎	8					~
+		<b>7</b> )	<b>3 20</b>	15		+
月	火	ж	木	金	±	в
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
_		_	$\overline{}$	_	_	

**注:** KPIまたはメトリックの既定の周期が毎日である場合、日のカレンダーが自動的に表示されます。

- c. 表示がローカルに自動的に変更されます。
- 3. 複数の折れ線グラフ形式の場合:
  - a. グラフの右上隅にある III アイコンをクリックし、オンデマンド周期スライダーを表示します。

	オリジナル	毎日	毎週	毎月	毎四半期	毎年
Periodicity:	4			0		

ボタンを適切な周期までスライドし、コンポーネントに表示される選択した(チェックした) KPIまたはメトリックを一時的に再計算します。オンデマンド周期用に選択されていないKPI またはメトリックを選択すると、それぞれの既定の周期に戻り、計算された結果が再表示さ れます。

元の表示に戻すには、次のいずれかを実行します。

 グラフに表示されるKPIまたはメトリックの既定の周期を表す元の位置までボタンをスラ イドして戻します。

- ∘ 階層リストの青い線をクリックします。
- b. 表示が自動的に変更されます。

## ブレークダウンビューコンポーネント

ブレークダウンビューコンポーネントには、同じダッシュボードページのKPIビュー、履歴ビュー、 またはRolodexコンポーネントで選択したKPIのKPIブレークダウンの値を表示できます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。





**ヒント:** ブレークダウンビューコンポーネントには、KPIブレークダウンが1つだけ表示されます。複数のKPIブレークダウンをダッシュボードページに表示するには、複数のブレークダウン ビューコンポーネントを作成して、それぞれの名前を変更します。

### 権限

**権限:** ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っている スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素 は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在 しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」と いうメッセージが表示されます。

### ワイヤリング

**ワイヤリング:** ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存 しません。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してくださ い。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

履歴ビューコンポーネントは、ブレークダウンビューコンポーネントと予測コンポーネントに自動的 にワイヤリングされます。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ) および「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。



主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項の内容

### KPIブレークダウン値の表示

ダッシュボードページのコンポーネントにKPIブレークダウン値を表示するには、次の手順を実行します。

- 1. 前提条件KPIに関連するKPIブレークダウンがあることを確認します。詳細については、「KPIブ レークダウン」(178ページ)を参照してください。
- 2. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、「ページギャラリー) <sup>68</sup> ボタンをクリックします)。
- ブレークダウンビューコンポーネントをページに追加します。詳細については、「ダッシュ ボードページの作成とスコアカードコンポーネントのページへの追加」(217ページ)を参照して ください。
- オプションで、KPIビュー、履歴ビュー、またはKPI Rolodexコンポーネントをページに追加しま す。これらのコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリン グされます。
- ブレークダウンビューコンポーネントで、グラフ表示の種類として、[Top 10] または [Bottom 10]、および表示するKPIブレークダウンを選択します。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(275ページ)を参照してください。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

6. ページを保存します。



# ブレークダウンビューコンポーネント

#### 重要:

 ブレークダウンビューコンポーネントは、自動的に同じダッシュボードページに表示される KPIビュー、履歴ビュー、およびKPI Rolodexコンポーネントにワイヤリングされます。つまり、KPIビューコンポーネントでKPIを選択すると、そのKPIブレークダウンがBreakdown Listに 表示され、関連するブレークダウンを選択して表示できます。ブレークダウンビューコン ポーネントを構成することはできません。

注: Xcelsiusコンポーネントまたはメトリックブレークダウンコンポーネントでメトリックブレークダウンレポートのデータを表示するには、ページに履歴メトリックビューコンポーネントを追加する必要があります。履歴メトリックビューコンポーネントニアのメトリックのグラフをクリックすると、メトリックブレークダウンのリストがメトリックブレークダウンレポートリストに表示されます。ここから、メトリックブレークダウン「報を表示できます。

ブレークダウンビュー		▼ 11   @   « ×				
戦略的プロジェクトに書やされた	戦略的プロジェクトに書やされた時間の割合(%)でフィルター ×					
戦略的プロジェクトに	Project Name $\sim$					
Project 425 $\equiv$	100					
	0.00					
Project 72 $\equiv$	100	•				
	0.00					
Project 13≡	100	•				
	0.00					
Project 406 $\equiv$	100	•				
	0.00					
Project 7 $\equiv$	100	•				
	2013/07/03	2014/07/03				

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。

UI要素	説明
	<ul> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネン</li> <li>トの[&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> </ul>
	<ul> <li>ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントの</li> <li>コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>更新</li> <li>更新:表示を更新します。このボタンは、</li> <li>ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> <li>予 新しいウィンドウで開く</li> <li>新しいウィンドウで開きます。</li> </ul>
	<b>コンボーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。

UI要素	説明
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
X	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。
	オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。
	・ KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント

UI要素	説明
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	・ KPIリストコンポーネント
	・ KPIビューコンポーネント
	• 円グラフコンポーネント
	• 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
	詳細については、「コンポーネント表示でのオンデマンド周期」を参照し てください。
傾向線の表示 🗌	単一の折れ線グラフ形式のみで利用できます。
	このボタンを選択すると、関連する期間に対する傾向線が表示されます。
	履歴ビュー - ¥↓ @ « ×
	保留状態の問題数(0)(折れ線/棒複合グラフビュー)でフィルター ×
	傾向線の表示 🔽 🔤 🗠 🗸
	保留状態の問題数(0) =
	31/01/2014 30/09/2014
<表示形式>	関連する形式を選択して、一部のコンポーネントの表示形式をその場で変 更できます。コンポーネントによって一部適用できない表示形式がありま す。
	表示形式をその場で変更できるコンポーネントは、次のとおりです。
	• KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	・ バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	• KPIリストコンポーネント

UI要素	説明
	<ul> <li>KPIビューコンポーネント</li> <li>円グラフコンポーネント</li> <li>積み上げ棒グラフビューコンポーネント</li> <li>選択できる表示形式は、次のとおりです。</li> </ul>
	<ul> <li><sup>1</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細については、「列形式」を参照してください。</li> <li>小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>・ - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ー コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴ - コンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>



## バブルチャートビューコンポーネント

バブルチャートビューコンポーネントには、既定で、選択したKPIまたはメトリック、およびその測 定期間中の値、傾向、およびステータスのリストが、バブルチャート形式で表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限: ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

### タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>333</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



### バブルチャートビューコンポーネント



コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<ul> <li>コンボーネントメニュー:次のメニュー項目を選択できます。</li> <li>プリファレンス:構成中のコンボーネント トの[&lt;コンボーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> <li>● ワイヤリング ワイヤリング:構成中のコンポーネントの [ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンボーネントの [ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンボーネントをほかの コンボーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ボーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> <li>● 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> </ul>
Yi	<ul> <li>・ 新しいウィンドウで開く: コンホーネンド を新しいウィンドウで開きます。</li> <li>コンポーネントの構成: 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。</li> <li>注:         <ul> <li>・ このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul> <li>これは、フレークダワンビューコンボーネントか、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず</li> </ul>

UI要素	説明
	れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

<コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<表示形式>	既定で、このコンポーネントには、選択したKPIまたはメトリックに関する詳細 がバブルチャート形式で表示されます。詳細については、「バブルチャート形 式」(262ページ)を参照してください。
	また、必要な形式を選択して、コンポーネントの表示形式をその場で変更する こともできます。一部の表示形式は適用されません。
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	• <sup>11</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細に ついては、「列形式」を参照してください。
	<ul> <li>小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グラ フ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラ フ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ー コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• III - コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、 「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、</li> <li>「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示 形式の変更」を参照してください。

## [バブルチャートビュー - コンポーネントの構成] ダイアログボックス

[複数選択]または[ブレークダウンの選択]オプションを選択できます。

• 複数選択: このオプションを使用すると、複数のメトリックまたはKPIを比較できます。

したKPIJ 視環に移します アクティブなKPI	選択したKPI	
्, ≽	ステータス順 🗸 🛀	
ステータス: すべ ♥ タイプ: すべて ♥ ■ ALM-Rndデ ルクター ■ PM0 「 ゴロジェクト管理 ♥ ◎ ブロジェクトコストの透明性の改善 ペ プロジェクトの合計実績コスト ペ プロジェクトの合計計画コスト ペ プロジェクトの計画コストに対する♥	<ul> <li>ペ プロジェクトの合計実績コスト</li> <li>ペ プロジェクトの合計計画コスト</li> </ul>	
表示期間 現在 イ		

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。
	さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に 文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域またはツリー領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	<ul> <li>すべて:選択したステータスを持つアクティブなKPIまたはツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul>
	○ KPI: アクティブなKPIまたはツリーにKPIだけを表示します。
	<ul> <li>目標: アクティブなKPIまたはツリーに目標とそのKPIだけを表示します。</li> </ul>
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連する項目 (存在する場合) を選択できます。
アクティブなKPI	ツリーボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。選択できる項目は ハイライトされます ([ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合は、KPIブ レークダウンだけがハイライトされます)。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④④を使用 して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダ ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
	<b>注:</b> 選択できるメトリックまたはKPIは、単位と期間が一致するものだけ です。これらの基準に一致しないものを選択すると、エラーメッセージ が表示されます。
選択したKPI	ボックスには、コンポーネントに表示するために選択したメトリックまたは KPIがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④€を使用 して、[使用可能なKPI]と[選択したKPI]の間で要素を移動します。要素をダ
UI要素	説明
------	--
	<ul> <li>ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。</li> <li>&lt;ステータスによる並べ替え&gt;</li> <li>ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータス順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>
表示期間	<ul> <li>コンポーネントに表示する期間を選択します。</li> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> </ul>
	<ul> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次:期間のリストは、選択されているメトリックあたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値です。</li> </ul>

• **ブレークダウンの選択:** このオプションを選択すると、選択したKPIブレークダウンディメンションの値を比較できます。

<ul> <li>○ 複数選択 ●ブレークダウンの選択</li> <li>表示するブレークダウンKPIを選択するには、[アクティブなKPI]領域でKPIをダブルクリックします</li> <li>○ &gt;</li> <li>○ =</li> <li>○ =</li></ul>
表示するブレークダウンKPIを選択するには、[アクティブなKPI] 領域でKPIをダブルクリックします Q ► ■ SMデルクター < ● ■ SMデルクター(0) < ● □ コスト < ● ③ IT運用コストの削減 < <i>a</i> <i>a</i> <i>a</i> <i>a</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i> <i>c</i>
<ul> <li>Q ≥</li> <li>■ SMデルクター</li> <li>■ SMデルクター(0)</li> <li>● ロコスト</li> <li>● IT運用コストの削減</li> <li>(ペインシデントの合計コスト (0)</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - インシデント 優先度</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ペインシデントの平均コスト(0)</li> <li>● ペ合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>Q ×</li> <li>■ SMデル・クター(0)</li> <li>● ロスト</li> <li>● の IT運用コストの削減</li> <li>● ペインシデントの合計コスト(0)</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - インシデント力テゴリ</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - インシデント優先度</li> <li>● 晩インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ペインシデントの平均コスト(0)</li> <li>● ペインシデントの平均コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>▶目 SMデルクター</li> <li>▲ 回 SMデルクター(0)</li> <li>▼ 回 コスト</li> <li>▼ ⑩ IT運用コストの削減</li> <li>▼ ペインシデントの合計コスト(0)</li> <li>▶ 晩 インシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>▶ 晩 インシデントの合計コスト - インシデント優先度</li> <li>▶ 晩 インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>▶ ペ インシデントの平均コスト(0)</li> <li>▶ ペ 合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>         ・ 回 5Mデル・クター(0)         ・ 回 コスト         ・ ⑩ IT運用コストの削減         ・ ペ・インシデントの合計コスト(0)         ・ 晩・インシデントの合計コスト・インシデントカテゴリ         ・ 晩・インシデントの合計コスト・インシデント優先度         ・ 晩・インシデントの合計コスト・サービス名         ・ ペ・インシデントの平均コスト(0)         ・ ペ・合計変更コスト(0)         ・ ペ・合計変更コスト(0)         ・</li> </ul>
<ul> <li>・ ロコスト</li> <li>・ (の) IT運用コストの削減</li> <li>・ (ペーインシデントの合計コスト (0)</li> <li>・ 部・インシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>・ 部・インシデントの合計コスト - インシデント優先度</li> <li>・ 部・インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>・ ペーインシデントの平均コスト (0)</li> <li>・ (ペークシデントの平均コスト (0)</li> </ul>
<ul> <li>〇 IT運用コストの削減</li> <li>ヘ インシデントの合計コスト(0)</li> <li>ト 冊 インシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>ト 冊 インシデントの合計コスト - インシデント優先度</li> <li>ト 冊 インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>ト ヘ インシデントの平均コスト(0)</li> <li>ヘ 合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>ヘインシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>● ポーインシデントの合計コスト - インシデント優先度</li> <li>● ポーインシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ペーインシデントの平均コスト(0)</li> <li>● ペー合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>● 部 インシデントの合計コスト - インシデントカテゴリ</li> <li>● 部 インシデントの合計コスト - インシデント 優先度</li> <li>● 部 インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ベ インシデントの平均コスト(0)</li> <li>● ベ 合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>● 部 インシテントの合計コスト - インシテント優先度</li> <li>● 部 インシデントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ベ インシデントの平均コスト (0)</li> <li>● ベ 合計変更コスト (0)</li> </ul>
<ul> <li>● 部インシテントの合計コスト - サービス名</li> <li>● ペインシデントの平均コスト(0)</li> <li>● ペ 合計変更コスト(0)</li> </ul>
<ul> <li>▶ &lt; &lt; &lt; <p>ペ 1 &gt; &lt; &gt; &gt; &lt; &lt; &lt; &lt; <p>○ &lt; &lt; &lt; <p>○ &lt; &lt;</p></p></p></li></ul>
躍切したづけ、一力が白い。
表示期間 現在 🖌
項目の最大数 15 🗸
OK キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。 さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に

UI要素	説明	
	文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。	
*	<ul> <li>詳細検索: コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを開きます。</li> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> <li>タイプ: 次の中から選択します。</li> </ul>	
	。 <b>すべて:</b> ツリーにすべての要素を表示します。	
	○ <b>KPI:</b> ツリーにKPIだけを表示します。	
	○ <b>目標:</b> ツリーに目標とそのKPIだけを表示します。	
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。	
	関連するKPIまたはメトリックブレークダウン (存在する場合) を選択できま す。	
<ツリー>	ツリーボックスには、スタジオの[アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIブレークダウン だけがハイライトされます。 レポートに表示したい項目を選択するには、項目をダブルクリックします。	
	選択した項目か[ <b>選択したメトリック</b> ] ボックスに表示されます。項目の選択 を解除するには、[ <b>選択したメトリック</b> ] ボックスから削除します。	
選択したメト リック	このボックスには、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンが表示さ れます。	
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。 • 現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計 算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI ([複 数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウン ディメンション ([ブレークダウンの選択]) の値。	
	<ul> <li>最終終了:選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次:期間のリストは 選択されているメト</li> </ul>	

UI要素	説明
	リックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリック のブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成 されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/ 日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エ ンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グ ラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されてい るメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメト リックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値で す。
項目の最大数	<ul> <li>このフィールドは、[ブレークダウンの選択]を選択した場合にだけ表示されます。</li> <li>2。値が最も大きい項目が、バブルで表されます。それ以外の項目は、別のバブルで表されます。これら2つの項目の詳細がツールヒントに表示されます。</li> <li>3、4、5、6、7、8、9、10、15。値が最も大きい項目が、バブルで表されます。</li> <li>3、4、5、6、7、8、9、10、15。値が最も大きい項目が、バブルで表されます。選択されたバブルの数に応じて、その他のバブルのそれぞれが、次に値が大きい項目に対応します。最後のバブルは、次に値が大きい3つの項目を表します。これら3つの項目の詳細がツールヒントに表示されます。</li> </ul>

クラスター棒グラフビューコンポーネン

クラスター棒グラフビューコンポーネントには、既定で、選択したKPIまたはメトリックとその測定 期間中の値、傾向、およびステータスのリストが、クラスター棒グラフ形式で表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。



□詳細情報

- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

・タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>283</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- 3. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリッ

クしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>™</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

|詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

UIの説明

### クラスター棒グラフビューコンポーネント



#### コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント

によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<ul> <li>コンポーネントメニュー:次のメニュー項目を選択できます。</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネントの[&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> </ul>
	<ul> <li>ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントの</li> <li>コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>更新</li> <li>更新:表示を更新します。このボタンは、</li> <li>ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> <li>引いウィンドウで開く</li> <li>新しいウィンドウで開く</li> <li>新しいウィンドウで開きます</li> </ul>
YI	コンポーネントの構成: 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの</li> </ul>

UI要素	説明
	予測データが表示されます。
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

#### <コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<表示形式>	既定で、このコンポーネントには、選択したKPIまたはメトリックに関する詳細 がクラスター棒グラフ形式で表示されます。詳細については、「クラスター棒 グラフ」(256ページ)を参照してください。
	また、必要な形式を選択して、コンポーネントの表示形式をその場で変更する こともできます。一部の表示形式は適用されません。
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	• <sup>11</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細に ついては、「列形式」を参照してください。
	<ul> <li>小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グラ フ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラ フ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• III - コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、 「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、</li> <li>「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示 形式の変更」を参照してください。



[複数選択]または[ブレークダウンの選択]オプションを選択できます。

• 複数選択: このオプションを使用すると、複数のメトリックまたはKPIを比較できます。

クラスター棒グラフビュー - コンポーネントの構成	×
● 複数選択 ○ ブレークダウンの選択 表示するKPはたはメトリックを選択するには、KPはたけ したKPI]領域に移します	まメトリックを[アクティブなKPI]領域から <mark>[</mark> 選択
アクティブなKPI	選択したKPI
<ul> <li>● 国 SMデルクター</li> <li>● 国 SMデルクター(0)</li> <li>● 国 Service Manager</li> <li>● インシデント管理</li> <li>● コストの削減</li> <li>● ペインシデントの合計コスト(0)</li> <li>● @ スタッフの有効性の改善</li> <li>● 応答性の改善</li> </ul>	ステーダス順
表示期間 現在 <b>&gt;</b> 履歴期間 過去1年 <b>&gt;</b>	
	OK キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。
	さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に 文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域またはツリー領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	<ul> <li>すべて:選択したステータスを持つアクティブなKPIまたはツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul>
	○ KPI: アクティブなKPIまたはツリーにKPIだけを表示します。
	<ul> <li>目標: アクティブなKPIまたはツリーに目標とそのKPIだけを表示します。</li> </ul>
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連する項目 (存在する場合) を選択できます。
アクティブなKPI	ツリーボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。選択できる項目は ハイライトされます ([ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合は、KPIブ レークダウンだけがハイライトされます)。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④④を使用 して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダ ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
	<b>注:</b> 選択できるメトリックまたはKPIは、単位と期間が一致するものだけ です。これらの基準に一致しないものを選択すると、エラーメッセージ が表示されます。
選択したKPI	ボックスには、コンポーネントに表示するために選択したメトリックまたは KPIがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④€を使用 して、[使用可能なKPI]と[選択したKPI]の間で要素を移動します。要素をダ

UI要素	説明
	<ul> <li>ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。</li> <li>&lt;ステータスによる並べ替え&gt;</li> <li>ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータス順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>
表示期間	<ul> <li>コンポーネントに表示する期間を選択します。</li> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> </ul>
	<ul> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次:期間のリストは、選択されているメトリックあたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値です。</li> </ul>

• **ブレークダウンの選択:** このオプションを選択すると、選択したKPIブレークダウンディメンションの値を比較できます。

フラスター棒グラ	フビュー - コンポーネントの構成	
○複数選択 ●	ブレークダウンの選択	
表示するブレー	フダウンKPIを選択するには、[アクティブなKPI] 領	域でKPIをダブルクリックします
		् ≽
▶ 📰 ALM-Rnd	デルクター	
► 📰 PMO		
▶ III SMデル	クター	
▶ III SMデル	クター(0)	
E Service I	lanager	
▶ 圓 アブリケ	ーションVP	
選択したブレー?	7ダウン	
表示期間	現在	
履歴期間	過去1年 🖌	
項目の最大数	15 🗸	
		OK キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。
	さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に 文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。

UI要素	説明
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし] を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	○ <b>すべて:</b> ツリーにすべての要素を表示します。
	○ <b>KPI:</b> ツリーにKPIだけを表示します。
	○ <b>目標:</b> ツリーに目標とそのKPIだけを表示します。
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連するKPIまたはメトリックブレークダウン (存在する場合) を選択できま す。
<ツリー>	ッリーボックスには、スタジオの[アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIブレークダウン だけがハイライトされます。
	レポートに表示したい項目を選択するには、項目をダブルクリックします。 選択した項目が[ <b>選択したブレークダウン</b> ]ボックスに表示されます。項目の 選択を解除するには、[ <b>選択したブレークダウン</b> ]ボックスから削除します。
選択 したブレー クダウン	このボックスには、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンが表示さ れます。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	<ul> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	<ul> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	• 毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次: 期間のリストは、選択されているメト リックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリック のブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) に対して構成

UI要素	説明
	されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/ 日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エ ンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グ ラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されてい るメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメト リックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値で す。
履歴期間	<ul> <li>次のいずれかのオプションを選択します。</li> <li>過去3か月:レポートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。</li> <li>過去半年:レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。</li> <li>過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。</li> <li>過去2年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>(調査3年:レポートの期間の始点)は、[履歴期間]フィールドで選択された期間の最後の日付からの履歴期間の最初の日に対応します。</li> <li>例:[表示期間]フィールドで2013年第4四半期を選択し、[履歴期間]フィールドで[過去3年]を選択した場合、X軸の右端のポイントは、2010年12月31日)に対応します。</li> <li>端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日から2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> <li>×軸の右端のポイント(レポートの期間の終点)は、[表示期間]フィー</li> </ul>
	ルドで選択された期間の最後の日に刃心します。 • 1つのKPIまたはメトリックに対してのみ履歴ビューコンポーネント を表示していて、その要素に選択した期間の最初の部分のデータが

UI要素	説明
	ない場合、X軸の左端のポイントは、その要素にデータがある最初の 日に対応します。 ・レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対 応します。
項目の最大数	このフィールドは、[ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択した場合にだけ表示され ます。コンポーネントに表示するKPIブレークダウンの数を指定します。

# 予測コンポーネント

予測コンポーネントでは、選択したKPIまたはメトリックの履歴データに基づいてエンティティの将 来の動作を予測することで、将来の予想を可能にします。その結果、基になる傾向を容易に把握し、 現時点で実施できるあらゆる対策を講じて、目的の動作を改善または維持できるようになります。

選択したKPIまたはメトリック (ユーザーが権限を持っている項目) について、現在の期間から最大1年 間の予測を表示できます。

予測コンポーネントが有効になるのは、ユーザーが**予測**権限を持っている場合だけです。権限の詳細 については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。





### 予測の計算方法

予測計算の正確性はエンティティの履歴データに基づいており、計算には

DoubleExponentialSmoothingModelアルゴリズムが使用されます。データ量が増えるほど、予測の正 確性も向上します。

- $f_{t} = \alpha Y_{t} + (1-\alpha)(f_{t-1} + b_{t-1})$
- $b_t = \gamma . (f_t f_{t-1}) + (1 \gamma) . b_{t-1}$

ここで:

- Y<sub>1</sub>は時間tでの測定値です。
- f<sub>t</sub>は時間tでの予測です。
- b<sub>t</sub>は時間tでの推定勾配です。

•  $\alpha$ -(アルファ)-は1番目の平滑化定数であり、測定値を平滑化する目的で使用されます。値は0.6で す。

 $\gamma$ - (ガンマ) - は2番目の平滑化定数であり、傾向を平滑化する目的で使用されます。値は0.6です。

予測方法:

f <sub>t+m</sub> = f <sub>t</sub> + mb <sub>t-m</sub> ここで、m=1 (時間間隔) です。 初期ポイント: f<sub>1</sub>=y<sub>1</sub>; b<sub>1</sub>=y<sub>2</sub>-y<sub>1</sub>

最小限の履歴データ

最適な予測結果は、大量の履歴データに基づいています。

上記のアルゴリズムによって最適な予測結果を得るには、計算で可能な限り多くの履歴データが必要 になります。次の表は、特定の将来期間を対象として計算する場合に必要な最小限の履歴期間を示し ています。

将来期間	最小限の履歴データ (単一の将来期間を計算 する場合)	最大限の期間 (この期間に対して有 効な期間)	最大限の履歴データ (最大限の将来期間を対象と して計算する場合)
1日	30日	14日	420日
1週	12週	4週	48週
1か月	12か月	3か月	36か月
1四半期	6四半期	3四半期	18四半期
1年	3年	3年	9年

### 制限事項

データ不足が原因で、選択した将来期間に対する計算を実行できない場合、「予測の計算に十分な有 効な履歴データがないか、適切な表示権限がありません。管理者に連絡してください。」というエ ラーメッセージが表示され、予測計算は実行されません。履歴データが上記の「最小限の履歴データ (単一の将来期間を計算する場合)」の値を下回っている場合、予測は計算されません。

したがって、年単位のKPIで、履歴データの量が3年分に満たない場合、3年、2年、1年の予測計算に は必要なデータが不足していることになります。

## ワイヤリング

**ワイヤリング:** ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存 しません。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してくださ い。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

履歴ビューコンポーネントは、ブレークダウンビューコンポーネントと予測コンポーネントに自動的 にワイヤリングされます。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ) および「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。

タスク

**主なタスク:**「ダッシュボード表示」(206ページ)

ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

- フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。
- 1. ダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されて いない場合は、[ページギャラリー] 🔠 ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- 5. 予測コンポーネントにワイヤリングされたいずれかのコンポーネントをダッシュボードページ に追加します。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照して ください。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

UIの説明

予測コンポーネント

以下の例では、予測コンポーネントにワイヤリングされた履歴ビューコンポーネントで選択したKPI の予測が予測コンポーネントに表示されます。

予測	- ĭi   @ ≪ ×	履歴ビュー	→ ĭi   @ « ×
インシデント平均解決時間(履歴ビュー)でフィルター	×		
			····· ···· ···· ······················
		■ エスカレートされたイ =	72
インシデント平均解決時間			
72		■ インシデント平均解 =	
		インシデント解決時間(0) (時間数) ≡	
••	•		
0			0
31/08/2015	31/10/2015		31/07/2014 17/07/2015

<コンポーネントツールバー>

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明	
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。	
	/ ブリファレンス プリファレンス:構成中のコンポーネン	
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[名前] フィールドの内容を変 更して [OK] をクリックします。	
	● ワイヤリング ・ ワイヤリング:構成中のコンポーネントの	
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。	

UI要素	説明	
	<ul> <li>更新 更新:表示を更新します。このボタンは、</li> <li>ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> <li>引いウィンドウで開く 新しいウィンドウで開きます。</li> </ul>	
YI	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。	
	<ul> <li>注:         <ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul> </li> </ul>	
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。	
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。	
	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup>≫</sup> ボタンをクリックします。	
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。	

UI要素	説明
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

#### <グラフ領域>

UI要素	説明		
<傾向線>	傾向線は関連する期間での傾向を表します。傾向線は1次関数としてその場 で計算されます。 期間はKPIまたはメトリックの構成時に指定した周期に依存します。		
	KPIまたはメトリックの周期	予測期間	
	1日	14日	
	1週	4週	
	1か月	3か月	
	1四半期	3四半期	
	1年	3年	
<しきい値>	項目のしきい値は、コンポーネントの右側に表	示されます。	
<y軸></y軸>	Y軸には、項目の値が適切な単位で表示されます	- 0	
<x軸></x軸>	X軸には、傾向の計算を行う期間が、表示期間に に分割されて表示されます。	応じて、均等なセグメント	

# 履歴メトリックビューコンポーネント

履歴メトリックビューコンポーネントには、履歴メトリックビューコンポーネントフィルターで選択 したメトリックの時系列の値および傾向またはKPIの時系列の値、傾向、ステータス、およびしきい 値が表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限: ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## ワタスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボー ドに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>233</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- 3. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリッ クしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグし

ます。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- 5. コンポーネントの [**コンポーネントの構成**] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある [**ここをクリックして構成してください**] の [**ここ**] をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

### 傾向線の表示

履歴メトリックビューコンポーネントの場合:

- 1. コンポーネント表示が単一の折れ線グラフ形式 🗠 になっていることを確認します。
- 2. 傾向線の表示 / をクリックします。
- 3. いずれかのメトリックを選択します。

4. 傾向線は関連する期間での傾向を表します。



UIの説明

# [履歴メトリックビューコンポーネント(表示)]ダ イアログボックス

このコンポーネントには、履歴メトリックビューコンポーネントフィルターで選択したKPIまたはメ トリックの時系列の値、傾向、ステータスが表示されます。



#### コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明		
	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。		
	プリファレンス プリファレンス:構成中のコンポーネン		
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[名前] フィールドの内容を変 更して [OK] をクリックします。		
	<ul> <li>・ ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> </ul>		
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。		
	○ 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、		
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。		
	· 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント		
	を新しいウィンドウで開きます。		
YL	<b>コンボーネントの構成:</b> 関連するコンボーネントに対する [コンボーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。		
	注:		
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自</li> </ul>		

UI要素	説明
	動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
▲	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。
	> ビジネス目標に紐づ Project Name ~ 計 個 ~
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。

UI要素	説明
	オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。
	・ KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	・ KPIリストコンポーネント
	・ KPIビューコンポーネント
	• 円グラフコンポーネント
	• 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
	詳細については、「コンポーネント表示でのオンデマンド周期」を参照し てください。
傾向約のま二 □	単一の折れ線グラフ形式のみで利用できます。
	このボタンを選択すると、関連する期間に対する傾向線が表示されます。
	履歴ビュー ▼ 11   @ « ×
	保留状態の問題数(0)(折れ線/棒複合グラフビュー)でフィルター ×
	傾向線の表示 ☑
	保留状態の問題数(0) ≡
	31/01/2014 30/09/2014
	関連する形式を選択して、一部のコンポーネントの表示形式をその場で変
`农亦形讥?`	史できます。コンボーネントによって一部適用できない表示形式がありま オ
	表示形式をその場で変更でさるコンホーネントは、次のとおりです。
	• KPI Rolodexコンポーネント

UI要素	説明
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	• KPIリストコンポーネント
	• KPIビューコンポーネント
	• 円グラフコンポーネント
	• 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	• <sup>1</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細 については、「列形式」を参照してください。
	<ul> <li>小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で 表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してくだ さい。</li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・   ・   コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細 については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>レー・コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>・ ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>・ ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> <li>・ ニンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> <li>・ 三 - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> <li>詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示形式の変更」を参照してください。</li> </ul>
<ブレークダウン>	カーソルが矢印から手に変わり、表示項目にブレークダウンが存在することを示します。 表示項目をクリックすると、使用可能なブレークダウンが表示されます。

# [履歴メトリックビューコンポーネントのフィル ター]ダイアログボックス

履歴メトリックビュー - コンボーネントの構成 表示する KP/またはメトリックを選択するには、 KPIJ領域から 選択した KPIJ領域に移し、その表	× <i>KPI</i> またはメトリックを <i>【</i> アクティブな 表示を構成します
アクティブなKPI Q ≥ Financial Planning and Analysis ■ eTOM ▶ ■ マブリケーションVP	<b>選択したKPI</b> アルファベット順に並べ替え ~ ミ↓
<ul> <li>□ ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示</li> <li>表示期間 現在 ∨</li> <li>履歴期間 過去1年 ∨</li> </ul>	
	<b>OK</b> キャンセル

UI要素	説明
୍	表示する文字列を入力します。ツリーでは、指定した文字列を名前に含むメト リックとKPIだけが表示されます。
	さらに、フィルターされたメトリックの子メトリックは、その名前に文字列が 含まれていなくてもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• <b>タイプ:</b> 次の中から選択します。
	• <b>すべて:</b> 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。
	• KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。
	<ul> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する (ステータスがすべてに変更される) には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メトリック] を選択すると、[ステータス] フィールドが [すべて] に変わり、アクセスできなくなります。</li> </ul>
	• 目標:選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示しま す。
アクティブなKPI	左側のボックスには、スタジオの[アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリック、お よびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIとメトリックはハイライ トされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④ €を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
選択したKPI	右側のボックスには、コンポーネントに表示するために選択したKPIまたはメト リックがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印⊕€を使用し て、[使用可能なKPI] と[選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
<ステータスによ	次の中から選択します。
る並べ替え≻	<ul> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>オータスによる並べ替え:選択した要素をステータスに基づいて並べ替えます(例:最初は重大ステータスのKPI、次は警告ステータスのKPI、最後は良好ステータスのKPI)。</li> <li>[手動による並べ替え]を選択すると、 ボタンを使って手動で選択した項目がソートされます。このボタンが表示されるのは、[手動による並べ替え]を選択した場合のみです。</li> </ul>
ブレークダウン KPIの短い形式の 名前を表示	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションを使用するには、KPI/メトリックブレークダウンを定義し、選択したKPIのリストに少なくとも1つ移動しておく必要があります。</li> <li>KPIブレークダウンの名前は、親のKPI名の後に、作成時に指定したエンティティ名とディメンション名が続くので、長くなることがあります。</li> </ul>
	KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネントで表示されない場合があります。
	KPI with many breakdown results: 2005.0 ≡         KPI with many breakdown results: 2007.0 ≡         KPI with many breakdown results: 2008.0 ≡
	<ul> <li>KPIブレークダウン名全体ではなく、エンティティ名とディメンションのみを ダッシュボードコンポーネントで表示するには、次の手順を実行します。</li> <li>1. [選択したKPI] 領域に、KPI/メトリックブレークダウンを移動します。[ブ レークダウンKPIの短い形式の名前を表示] オプションが選択可能になりま す。</li> <li>2. [ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示] オプションを選択し、[OK]</li> </ul>
	コンホーネントに、KPI/メトリックフレークダワン名が短い形式で表示されます。 す。ツールヒントには、KPIブレークダウンの名前全体が表示されます。
	YearNumber: 2005.0 ≡     YearNumber: 2006.0 ≡     YearNumber: 2007.0 ≡     YearNumber: 2008.0 ≡
	KPIブレークダウンの詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参 照してください。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	•現在:結果を現在の期間中に受信した場合の最後の計算の値。計算が不完全 なKPI/メトリックの場合は、[履歴期間]リストで選択された期間に応じて前 の期間の値。

UI要素	説明
	<ul> <li>最終終了: [履歴期間] リストで選択された期間に計算期間が完了したKPIのみの値。</li> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次: 期間のリストは、選択されているメトリックまたはKPIに対して構成されている期間のうち最長のものによって決まります。この最長の期間が、リストで選択可能な最短の期間に対応します(たとえば、最長期間が毎四半期の場合、毎四半期と毎年の2つが選択可能です)。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値は、選択されている期間に完了したメトリックまたはKPIの値です。</li> </ul>
履歴期間	<ul> <li>次のいずれかのオプションを選択します。</li> <li>過去3か月:レポートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。</li> <li>過去半年:レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。</li> <li>過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間]で選 択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。</li> <li>過去2年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間]で選 択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間]で選 択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> </ul>
	<ul> <li>注:</li> <li>X軸の左端のポイント(レポートの期間の始点)は、[履歴期間]フィールドで選択された期間の最後の日付からの履歴期間の最初の日に対応します。</li> <li>例:[表示期間]フィールドで2013年第4四半期を選択し、[履歴期間]フィールドで[過去3年]を選択した場合、X軸の石端のポイントは2013年第4四半期の終わり(2013年12月31日)に対応し、左端のポイントは2011年第4四半期に対応します。</li> <li>端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日から2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> <li>X軸の石端のポイント(レポートの期間の終点)は、[表示期間]フィールドで選択された期間の最後の日に対応します。</li> <li>1つのKPIまたはメトリックに対してのみ履歴ビューコンポーネントを表示していて、その要素に選択した期間の最初の部分のデータがない場合、X軸の左端のポイントは、その要素にデータがある最初の日に対応します。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対応 します。</li> </ul>

## 履歴ビューコンポーネント

履歴ビューコンポーネントには、[履歴ビュー - コンポーネントの構成] ダイアログボックスで選択し たKPIの時系列の値、傾向、ステータス、およびしきい値またはメトリックの時系列の値および傾向 が表示されます。

アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンボーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限: ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## 他のコンポーネントへのワイヤリング

履歴ビューコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリングされま す。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。

**ワイヤリング:** ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存 しません。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してくださ い。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

履歴ビューコンポーネントは、ブレークダウンビューコンポーネントと予測コンポーネントに自動的 にワイヤリングされます。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ) および「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。


主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>333</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。
   ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラリーを開く必要があります。
  - ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
  - すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コ ンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

傾向線の表示

履歴ビューコンポーネントまたは単一の折れ線グラフ形式に構成された次のいずれかのコンポーネン トの場合:

- KPI Rolodexコンポーネント
- ブレークダウンビューコンポーネント
- バブルチャートビューコンポーネント
- クラスター棒グラフビューコンポーネント
- 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
- 履歴メトリックビューコンポーネント
- 履歴ビューコンポーネント
- KPIリストコンポーネント
- KPIビューコンポーネント
- 円グラフコンポーネント
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
- 1. コンポーネント表示が単一の折れ線グラフ形式 🗠 になっていることを確認します。
- 2. 傾向線の表示 / をクリックします。
- 3. いずれかのKPIを選択します。
- 4. 傾向線は関連する期間での傾向を表します。



UIの説明

## 履歴ビューコンポーネント



コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
	・ ブリファレンス プリファレンス:構成中のコンポーネン
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>0K</b> ] をクリックします。
	● ワイヤリング ワイヤリング:構成中のコンポーネントの
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「 <mark>コン</mark>

UI要素	説明
	ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。         ・       ・
	<ul> <li>コンボーネントの構成: 関連するコンポーネントに対する[コンボーネントの構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクションを参照してください。</li> <li>注:         <ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされたKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれかで項目を選択すると、ブレークダウンビューコンボーネントには、選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレークダウンビューコンポーネントには、選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレークダウンビューコンポーネントによってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいずれかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの予測データが表示されます。</li> </ul> </li> <li>注: または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構成してください]の[こ]をクリックします。</li> </ul>
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
▲	コンポーネントを折りたたむ: コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup>⊗</sup> ボタンをクリックします。

UI要素	説明
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。
	> <u>ビジネス目標に組づ</u> Project Name > 計 웹 ✓
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。
	オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。
	• KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	• KPIリストコンポーネント
	• KPIビューコンポーネント



UI要素	説明
	については、「列形式」を参照してください。 ・ 小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で 表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してくだ さい。
	<ul> <li>         ・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細について         は、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>- コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細 については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ - コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ニコンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での 表示形式の変更」を参照してください。
<ブレークダウン>	カーソルが矢印から手に変わり、表示項目にブレークダウンが存在するこ とを示します。
	表示項目をクリックすると、使用可能なブレークダウンが表示されます。



## [履歴ビュー-コンポーネントの構成] ダイアログ ボックス

<ul> <li>▶ □ CIO</li> <li>▶ □ HPボートフォリオ</li> <li>▶ □ ITIL V3</li> <li>▶ □ アブリケーションVP</li> </ul>		
トリックとКРІ	•	

UI要素	説明
0,	表示する文字列を入力します。ツリーでは、指定した文字列を名前に含むKPIが 表示されます。
	さらに、フィルターされたKPIの子KPIは、その名前に文字列が含まれていなく てもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが[アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• <b>タイブ:</b> 次の中から選択します。
	• KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。
	• 目標:選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示しま す。
アクティブなKPI	左側のボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびそのKPI、およ びKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIとKPIブレークダウンはハイ ライトされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 🕑 🕑 を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
選択したKPI	右側のボックスには、コンポーネントに表示するために選択したKPIがすべてリ ストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ③ ④を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
<ステータスによ	次の中から選択します。
る亚ベ替え>	• アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替え ます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を 切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。 ゴミュ
	<ul> <li>ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータスに基づいて並べ替えます(例:最初は重大ステータスのKPI、次は警告ステータスのKPI、最後は良好ステータスのKPI)。</li> </ul>

UI要素	説明
	• [手動による並べ替え]を選択すると、
F1 14	クリックすると、KPIをアルファベットの昇順または降順で表示できます。
ブレークダウン KPIの短い形式の 名前を表示	<ul> <li>注:         <ul> <li>このオプションを使用するには、KPI/メトリックブレークダウンを定義し、選択したKPIのリストに少なくとも1つ移動しておく必要があります。</li> <li>KPIブレークダウンの名前は、親のKPI名の後に、作成時に指定したエンティティ名とディメンション名が続くので、長くなることがあります。</li> </ul> </li> <li>KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネントで表示されない場合があります。         <ul> <li>KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネントで表示されない場合があります。</li> </ul> </li> <li>KPIブレークダウン名全体ではなく、エンティティ名とディメンションのみを ダッシュボードコンポーネントで表示するには、次の手順を実行します。</li> </ul>
	<ol> <li>[選択したKPI] 領域に、KPI/メトリックノレークダワンを移動します。[フ レークダウンKPIの短い形式の名前を表示] オプションが選択可能になりま す。</li> <li>[ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示] オプションを選択し、[OK]</li> </ol>
	をクリックします。 コンポーネントに、KPI/メトリックブレークダウン名が短い形式で表示されま す。ツールヒントには、KPIブレークダウンの名前全体が表示されます。
	YearNumber: 2005.0 =     YearNumber: 2006.0 =     YearNumber: 2007.0 =     YearNumber: 2008.0 =       KPIブレークダウンの詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。 •現在:計算期間が終了しているKPIに関してはその値、計算がまだ進行中のKPI に関しては前の期間の値。計算期間は「履歴期間1 リストで選択された期間に
	基づきます。 ・ <最長期間>: 各KPIには固有の期間があります(スタジオの[構成の詳細]タブ で設定)。KPIをフィルターの[利用可能なKPI]領域から[選択したKPI]領域に 移動すると、選択したすべてのKPI期間の中で最も長い期間が、[表示期間]

UI要素	説明
	フィールドの近くの追加オプションとして表示されます。
	<b>例</b> : 選択したKPIの1つの期間が [ <b>毎週</b> ] で、もう1つの期間が [ <b>毎年</b> ] の場 合、[表示期間] フィールドのリストは次のようになります。[ <b>現在</b> ]、[ <b>毎</b> <b>年</b> ]、[最終終了]:
	[ <b>&lt;最長期間&gt;</b> ]を選択すると、別のフィールドが右側に開きます。これには、 KPIの値、ステータス、およびスコアがエンジンによって計算された対応す る期間だけが表示されます。
	<b>例:</b> [ <b>毎四半期</b> ] を選択した場合、2008年の第1四半期と第2四半期に、期間が [ <b>毎四半期</b> ] のKPIの値をエンジンが計算しなかったとすると、これらの期間は [表示期間] フィールドの2番目のフィールドにはリストされません。このリストは選択したKPIとは無関係です。
	• 最終終了: [履歴期間] リストで選択された期間に計算期間が完了したKPIのみの値。
履歴期間 〉 ・ ・	次のいずれかのオプションを選択します。
	• 過去3か月: レポートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。
	• 過去半年: レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または [表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。
	• 過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。
	• 過去2年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。
	• 過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。
	注:
	<ul> <li>X軸の左端のポイント (レポートの期間の始点) は、[表示期間] フィール ドで選択された期間の最後の日付からの時系列期間の最初の日に対応し ます。</li> </ul>
	<b>例:</b> [表示期間] フィールドで2013年第4四半期を選択し、[ <b>履歴期間</b> ] フィールドで [過去3年] を選択した場合、X軸の右端のポイントは2013 年第4四半期の終わり (2013年12月31日) に対応し、左端のポイントは 2010年第4四半期の最後の日 (2010年12月31日) に対応します。
	<ul> <li>端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日から 2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> </ul>

UI要素	説明
	• X軸の右端のポイント (レポートの期間の終点) は、[ <b>表示期間</b> ] フィール ドで選択された期間の最後の日に対応します。
	<ul> <li>1つのKPIに対してのみ履歴ビューコンポーネントを表示していて、その KPIに選択した期間の最初の部分のデータがない場合、X軸の左端のポイ ントは、KPIにデータがある最初の日に対応します。</li> <li>レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対応 します。</li> </ul>

# KPIリストコンポーネント

KPIリストコンポーネントには、選択したKPIとその測定期間中の値、傾向、およびステータスのリストが表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限: ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>333</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>™</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

■ UIの説明

### KPIリストコンポーネント

KPIUZE	- ĭi   @ ≪ ×
インシデントの合計コスト(0) (US\$) = US\$297.18 FY2015/07(Jul)	⊗ +
時間のかかっているインシデント ≡ <b>32.69%</b> FY2015/07(Jul)	8 ♠
インシデントの平均コスト(0) (US\$) = US\$50.7025 FY2015/07(Jul)	⊗ ↓
再オープンされたインシデントの割合 (%) = <mark>8.45%</mark> FY2015/07(Jul)	<b>A</b> +

#### コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
	<ul> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネン</li> </ul>
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>0K</b> ] をクリックします。
	<ul> <li>・ ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> </ul>
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。
	○ 更新 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	<ul> <li>         ・ 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント</li> <li>         を新しいウィンドウで開きます。     </li> </ul>
YI	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>

UI要素	説明
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
*	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> メボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### <コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<表示形式>	既定で、このコンポーネントには、選択したKPIまたはメトリックに関する詳細 がバブルチャート形式で表示されます。詳細については、「バブルチャート形 式」(262ページ)を参照してください。
	また、必要な形式を選択して、コンポーネントの表示形式をその場で変更する こともできます。一部の表示形式は適用されません。
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	• <sup>個</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細に ついては、「列形式」を参照してください。
	<ul> <li>小-コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細について         は、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グラ フ形式」を参照してください。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラ フ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>レー・コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、 「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴ - コンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ニコンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、</li> <li>「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示 形式の変更」を参照してください。

## [KPIリスト - コンポーネントの構成] ダイアログ ボックス

KPIリスト - コンポーネントの構成	×
表示する <i>KP</i> を選択するには、 <i>KPIを【</i> アクティブな <i>I</i> し、その表示を構成します 	(PI]領域から 6選択した KPI]領域に移
アクティブなKPI	選択したKPI
Q, ) ≽	アルファベット順に並べ替え 💉 🗐
<ul> <li>▶ 目 CIO</li> <li>▶ 日 HPボートフォリオ</li> <li>▶ 日 アブリケーションVP</li> <li>▶ ↑ バブリックメトリックとKPI</li> </ul>	
<ul> <li>□ ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示</li> <li>表示期間</li> <li>現在 </li> </ul>	
	OK キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。ツリーでは、指定した文字列を名前に含むKPIが

UI要素	説明
	表示されます。
	さらに、フィルターされたKPIの子KPIは、その名前に文字列が含まれていなく てもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。</li> <li>[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• <b>タイプ:</b> 次の中から選択します。
	• <b>すべて:</b> 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。
	• KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。
	<ul> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する (ステータスがすべてに変更される) には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メトリック]を選択すると、[ステータス] フィールドが [すべて] に変わり、アクセスできなくなります。</li> </ul>
	• <b>目標</b> : 選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示しま す。
アクティブなKPI	左側のボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびそのKPI、およ びKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIはハイライトされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
選択したKPI	右側のボックスには、コンポーネントに表示するために選択したKPIがすべてリ ストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
<ステータスによ	次の中から選択します。
る並べ替え>	• アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替え ます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を 切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。 ゴミ
	• ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータスに基づいて並べ替え

UI要素	説明
	ます (例: 最初は <b>重大</b> ステータスのKPI、次は <b>警告</b> ステータスのKPI、最後は <b>良</b> 好ステータスのKPI)。 • [ <b>手動による並べ替え</b> ]を選択すると、 選択した項目がソートされます。このボタンが表示されるのは、[ <b>手動による並べ替え</b> ]を選択した場合のみです。
Ft 14	クリックすると、KPIをアルファベットの昇順または降順で表示できます。
ブレークダウン KPIの短い形式の 名前を表示	<ul> <li>注:         <ul> <li>このオプションを使用するには、KPIブレークダウンを定義し、選択したKPIのリストに少なくとも1つ移動しておく必要があります。</li> <li>KPIブレークダウンの名前は、親のKPI名の後に、作成時に指定したエンティティ名とディメンション名が続くので、長くなることがあります。</li> </ul> </li> <li>KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネントで表示されない場合があります。</li> </ul>
	KPI with many breakdown     KPI with many breakdown     KPI with many breakdown
	<ul> <li>KPIブレークダウン名全体ではなく、エンティティ名とディメンションのみを ダッシュボードコンポーネントで表示するには、次の手順を実行します。</li> <li>1. [選択したKPI]領域に、KPIブレークダウンを移動します。[ブレークダウン KPIの短い形式の名前を表示]オプションが選択可能になります。</li> </ul>
	2. [ <b>ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示</b> ] オプションを選択し、[ <b>OK</b> ] をクリックします。
	コンポーネントに、KPIブレークダウン名が短い形式で表示されます。ツールヒ ントには、KPIブレークダウンの名前全体が表示されます。
	YearNumber: 2005.0 ≡     YearNumber: 2006.0 ≡     YearNumber: 2007.0 ≡     YearNumber: 2008.0 ≡
	KPIブレークダウンの詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参 照してください。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	<ul> <li>現在:計算期間が終了しているKPIに関してはその値、計算がまだ進行中のKPI に関しては前の期間の値。</li> <li>&lt;最長期間&gt;:各KPIには固有の期間があります(スタジオの[構成の詳細]タブ で設定)。KPIをフィルターの[利用可能なKPI]領域から[選択したKPI]領域に 移動すると、選択したすべてのKPIの中で最も長い期間が、[表示期間]</li> </ul>

UI要素	説明
	フィールドの近くの追加オプションとして表示されます。たとえば、選択し たKPIの1つの期間が[ <b>毎週</b> ] で、もう1つの期間が[ <b>毎年</b> ] の場合、[表示期間] フィールドのリストは次のようになります。[ <b>現在]、[毎年]、[最終終了</b> ]:
	<ul> <li>[&lt;最長期間&gt;]を選択すると、別のフィールドが右側に開きます。ここには、エンジンが計算を実行した期間だけがリストされます。たとえば、[毎四半期]を選択した場合、2008年の第1四半期と第2四半期に、期間が[毎四半期]のKPIの値をエンジンが計算しなかったとすると、これらの期間は[表示期間]フィールドの2番目のフィールドにはリストされません。</li> <li>最終終了:計算期間が終了したKPのみの値です。</li> </ul>

# KPIRolodexコンポーネント

KPI Rolodexコンポーネントには、測定期間中の選択したKPIの値、傾向、およびステータスまたは選択したメトリックの値および警告がゲージ形式で表示されます。

KPI Rolodexコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリングされま す。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

他のコンポーネントへのワイヤリング

KPI Rolodexコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリングされま す。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。

**ワイヤリング:** ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存 しません。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してくださ い。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

履歴ビューコンポーネントは、ブレークダウンビューコンポーネントと予測コンポーネントに自動的 にワイヤリングされます。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ) および「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。

タスク

**主なタスク:**「ダッシュボード表示」(206ページ)

ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>223</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



# KPI Rolodexコンポーネント



コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<ul> <li>コンポーネントメニュー:次のメニュー項目を選択できます。</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネントの[&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> </ul>
	<ul> <li>ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> <li>[ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> </ul>
	● 更新 ● 更新 ● 更新 ● 更新 ● 更新 ● 更新 ● 更新 ● 更新

UI要素	説明
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。 <ul> <li>         ・  新しいウィンドウで開く         新しいウィンドウで開く         <ul> <li>新しいウィンドウで開く             </li> <li></li></ul></li></ul>
Y	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:         <ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul> </li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
*	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> メボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。
	> ビジネス目標に組づ Project Name ~ 計 目 マ
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。
	オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。
	・ KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	• KPIリストコンポーネント
	• KPIビューコンポーネント
	• 円グラフコンポーネント
	• 積み上げ棒グラフビューコンポーネント
	詳細については、「コンポーネント表示でのオンデマンド周期」を参照し てください。
傾向線の表示 🗌	単一の折れ線グラフ形式のみで利用できます。
- 1771 - 2009 YY 2009 Y	このボタンを選択すると、関連する期間に対する傾向線が表示されます。



UI要素	説明
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での 表示形式の変更」を参照してください。
<ブレークダウン>	カーソルが矢印から手に変わり、表示項目にブレークダウンが存在するこ とを示します。
	表示項目をクリックすると、使用可能なブレークダウンが表示されます。



# [KPI Rolodex - コンポーネントの構成] ダイアログ ボックス

'クティブなKPI	्, ≽	<b>選択した KPI</b> アルファベット 順に並べ替え	. ~ E
▶			
▶	1		
		<ul> <li>(1)</li> <li>(1)</li></ul>	

UI要素	説明
0,	表示する文字列を入力します。ツリーでは、指定した文字列を名前に含むKPIが 表示されます。
	さらに、フィルターされたKPIの子KPIは、その名前に文字列が含まれていなく てもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。</li> <li>[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	<ul> <li>タイプ: [KPI]または[目標]のどちらかを選択して、表示対象として限定します。</li> <li>選択したステータスを持つKPIだけを表示します。</li> </ul>
	<ul> <li>選択したステータスを持つ目標と、選択したステータスを持つKPIの目標 だけを表示します。</li> </ul>
アクティブなKPI	左側のボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびそのKPI、およ びKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIはハイライトされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
選択したKPI	右側のボックスには、KPI Overtimeレポートに表示するために選択したKPIがす べてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
<ステータスによ	次の中から選択します。
る並べ替え>	• アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替え ます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を 切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。
	<ul> <li>ステータスによる並べ替え: 選択した要素をステータスに基づいて並べ替え ます (例: 最初は重大ステータスのKPI、次は警告ステータスのKPI、最後は良 好ステータスのKPI)。</li> </ul>

UI要素	説明
	• [手動による並べ替え]を選択すると、
F† ≞↓	クリックすると、KPIをアルファベットの昇順または降順で表示できます。
ブレークダウン KPIの短い形式の 名前を表示	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションを使用するには、KPIブレークダウンを定義し、選択したKPIのリストに少なくとも1つ移動しておく必要があります。</li> <li>KPIブレークダウンの名前は、親のKPI名の後に、作成時に指定したエンティティ名とディメンション名が続くので、長くなることがあります。</li> </ul>
	KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネントで表 示されない場合があります。
	KPI with many breakdown results: 2005.0 $\equiv$ KPI with many breakdown results: 2007.0 $\equiv$ KPI with many breakdown results: 2007.0 $\equiv$ KPI with many breakdown results: 2008.0 $\equiv$
	KPIブレークダウン名全体ではなく、エンティティ名とディメンションのみを ダッシュボードコンポーネントで表示するには、次の手順を実行します。
	1. [選択したKPI] 領域に、KPIブレークダウンを移動します。[ <b>ブレークダウン</b> KPIの短い形式の名前を表示] オプションが選択可能になります。
	2. [ <b>ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示</b> ]オプションを選択し、[ <b>OK</b> ] をクリックします。
	コンポーネントに、KPIブレークダウン名が短い形式で表示されます。ツールヒ ントには、KPIブレークダウンの名前全体が表示されます。
	YearNumber: 2005.0 ≡     YearNumber: 2006.0 ≡     YearNumber: 2007.0 ≡     YearNumber: 2008.0 ≡
	KPIブレークダウンの詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参 照してください。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	• 現在:計算期間が終了しているKPIに関してはその値、計算がまだ進行中のKPI に関しては前の期間の値。
	<ul> <li>&lt;最長期間&gt;:各KPIには固有の期間があります(スタジオの[構成の詳細]タブで設定)。KPIをフィルターの[利用可能なKPI]領域から[選択したKPI]領域に移動すると、選択したすべてのKPIの中で最も長い期間が、[表示期間]フィールドの近くの追加オプションとして表示されます。たとえば、選択したKPIの1つの期間が[毎週]で、もう1つの期間が[毎年]の場合、[表示期間]フィールドのリストは次のようになります。[現在]、[毎年]、[最終終了]:</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>[&lt;最長期間&gt;]を選択すると、別のフィールドが右側に開きます。ここには、エンジンが計算を実行した期間だけがリストされます。たとえば、[毎四半期]を選択した場合、2008年の第1四半期と第2四半期に、期間が[毎四半期]のKPIの値をエンジンが計算しなかったとすると、これらの期間は[表示期間]フィールドの2番目のフィールドにはリストされません。</li> <li>最終終了:計算期間が終了したKPのみの値です。</li> </ul>

## KPIビューコンポーネント

KPIビューコンポーネントには、選択したKPI、またはメトリックとその測定期間中の値、傾向、およびステータスのリストが、垂直または水平バーまたはゲージ形式で表示されます。

KPIビューコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリングされま す。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

他のコンポーネントへのワイヤリング

KPIビューコンポーネントは、自動的にブレークダウンビューコンポーネントにワイヤリングされま す。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。

**ワイヤリング:** ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存 しません。詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してくださ い。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

履歴ビューコンポーネントは、ブレークダウンビューコンポーネントと予測コンポーネントに自動的 にワイヤリングされます。詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ) および「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。

タスク

**主なタスク:**「ダッシュボード表示」(206ページ)

ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>223</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。


# KPIビューコンポーネント



**注:** このコンポーネントは、既定でページフィルターコンポーネントにワイヤリングされます。 詳細については、「ページフィルターコンポーネント」(385ページ)を参照してください。

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。 ▶ ブリファレンス
	<ul> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネントの[&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>・ ワイヤリング・構成中のコンポーネントの 「ワイヤリング」ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ボーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> <li>・ 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> <li>・ 計しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開きます。</li> </ul>
	<ul> <li>コンボーネントの構成: 関連するコンボーネントに対する[コンボーネントの構成]ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクションを参照してください。</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。これは、ブレークダウンビューコンボーネントが、同じダッシュボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされたKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれかで項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンボーネントでは無効です。これは、ブレークダウンビューコンポーネントによってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいずれかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
*	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup>⊗</sup> ボタンをクリックします。

UI要素	説明
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。
	> <u>ビジネス目標に組づ</u> Project Name >
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。
	オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。
	• KPI Rolodexコンポーネント
	• ブレークダウンビューコンポーネント
	• バブルチャートビューコンポーネント
	• クラスター棒グラフビューコンポーネント
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント
	• 履歴メトリックビューコンポーネント
	• 履歴ビューコンポーネント
	• KPIリストコンポーネント
	・ KPIビューコンポーネント



UI要素	説明
	については、「列形式」を参照してください。 • 小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で 表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してくだ さい。
	<ul> <li>         ・ コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細について         は、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>- コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細 については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ - コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ニコンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での 表示形式の変更」を参照してください。
<ブレークダウン>	カーソルが矢印から手に変わり、表示項目にブレークダウンが存在するこ とを示します。
	表示項目をクリックすると、使用可能なブレークダウンが表示されます。



# [KPIビュー - コンポーネントの構成] ダイアログ ボックス

KPIビュー - コンポーネントの構成	×
表示する <i>KPI</i> またはメトリックを選択するには <i>KPI]</i> 領域から <i>B</i> 選択した <i>KPI]</i> 領域に移し、その 	t、 <i>KPI</i> またはメトリックを <i>I</i> アクティブな )表示を構成します
アクティブなKPI	選択したKPI
<u>्</u>	アルファベット順に並べ替え 💙 ы
<ul> <li>▶ 目 CIO</li> <li>▶ 日 HPポートフォリオ</li> <li>▶ 目 ITIL V3</li> <li>▶ 可プリケーションVP</li> <li>▶ パブリックメトリックとKPI</li> </ul>	
── □ ブレークダウンKPIの短い形式の名前を表示	
表示期間 現在 ~	
	<b>OK</b> キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。[アクティブなKPI] ボックスのツリーに は、指定した文字列を名前に含むKPIだけが表示されます。

UI要素	説明
	さらに、フィルターされたKPIの子KPIは、その名前に文字列が含まれて いなくてもリストに表示されます。
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィー ルドを開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選 択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域 に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみ が返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	• <b>すべて:</b> 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。
	• KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。
	• <b>目標</b> : 選択したステータスを持つ目標と、選択したステータスを持つKPIの目標だけを表示します。
アクティブなKPI	左側のボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストさ れているアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、および そのKPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIはハイ ライトされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ ⑥ を 使用して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。 要素をダブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできま す。
選択したKPI	右側のボックスには、KPI Overtimeレポートに表示するために選択した KPIがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ④ ④ を 使用して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。 要素をダブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできま す。
<ステータスによる並べ	次の中から選択します。
替え>	<ul> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>
	• ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータスに基づいて並

UI要素	説明
	べ替えます(例:最初は重大ステータスのKPI、次は警告ステータスの KPI、最後は良好ステータスのKPI)。 • [手動による並べ替え]を選択すると、 手動で選択した項目がソートされます。このボタンが表示されるの は、[手動による並べ替え]を選択した場合のみです。
Ft∣≌t	クリックすると、KPIをアルファベットの昇順または降順で表示できま す。
ブレークダウンKPIの短 い形式の名前を表示	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションを使用するには、KPIブレークダウンを定義し、 選択したKPIのリストに少なくとも1つ移動しておく必要がありま す。</li> <li>KPIブレークダウンの名前は、親のKPI名の後に、作成時に指定し たエンティティ名とディメンション名が続くので、長くなること があります。</li> </ul>
	KPIブレークダウン名が長いと、名前全体がダッシュボードコンポーネ ントで表示されない場合があります。
	KPI with many breakdown results: 2005.0 ≡         KPI with many breakdown results: 2007.0 ≡         KPI with many breakdown results: 2008.0 ≡
	<ul> <li>KPIブレークダウン名全体ではなく、エンティティ名とディメンションのみをダッシュボードコンポーネントで表示するには、次の手順を実行します。</li> <li>1. [選択したKPI] 領域に、KPIブレークダウンを移動します。[ブレーク</li> </ul>
	ダウンKPIの短い形式の名前を表示]オプションが選択可能になります。
	2. [ <b>ノレークラウノKPIの短い形式の名前を表示</b> ] オノションを選択 し、[ <b>OK</b> ] をクリックします。
	コンポーネントに、KPIブレークダウン名が短い形式で表示されます。 ツールヒントには、KPIブレークダウンの名前全体が表示されます。
	YearNumber: 2005.0 $\equiv$ YearNumber: 2006.0 $\equiv$ YearNumber: 2007.0 $\equiv$ YearNumber: 2008.0 $\equiv$
	KPIブレークダウンの詳細については、「KPIブレークダウン」(178ペー ジ)を参照してください。
レイアウト	次の中から選択します。
	• 重直: 結果のレイアウトは垂直です (グラフの上にKPI名)。

UI要素	説明
	• <b>水平:</b> 結果のレイアウトは水平です (グラフの左にKPI名)。
表示期間	<ul> <li>コンポーネントに表示する期間を選択します。</li> <li>現在:計算期間が終了しているKPIに関してはその値、計算がまだ進行中のKPIに関しては前の期間の値。</li> <li>&lt;最長期間&gt;:各KPIには固有の期間があります(スタジオの[構成の詳細]タブで設定)。KPIをフィルターの[利用可能なKPI]領域から[選択したKPI]領域に移動すると、選択したすべてのKPIの中で最も長い期間が、[表示期間]フィールドの近くの追加オプションとして表示されます。たとえば、選択したKPIの1つの期間が[毎週]で、もう1つの期間が[毎年]の場合、[表示期間]フィールドのリストは次のようになります。[現在]、[毎年]、[最終終了]:</li> <li>[冬最長期間&gt;]を選択すると、別のフィールドが右側に開きます。ここには、エンジンが計算を実行した期間だけがリストされます。たとえば、[毎四半期]を選択した場合、2008年の第1四半期と第2四半期に、期間が[毎四半期]のKPIの値をエンジンが計算しなかったとすると、これらの期間は[表示期間]フィールドの2番目のフィールドにはリストされません。</li> <li>最終終了:計算期間が終了したKPのみの値です。</li> </ul>

## 折れ線/棒複合グラフビューコンポーネン ト

折れ線/棒複合グラフビューコンポーネントには、既定で、選択したKPIまたはメトリックとその測定 期間中の値、傾向、およびステータスのリストが、折れ線/棒グラフ形式で表示されます。

### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限: ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

・タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、「ページギャラリー) <sup>68</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- 3. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリッ

クしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コ ンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- 5. コンポーネントの [**コンポーネントの構成**] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある [**ここをクリックして構成してください**]の [**ここ**] をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



# 折れ線/棒複合グラフビューコンポーネント



#### コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
	<ul> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネン</li> <li>トの[&lt;コンボーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前]フィールドの内容を変更して[OK]をクリックします。</li> </ul>
	<ul> <li>・ ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> <li>[ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの</li> </ul>

UI要素	説明
	コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。
	• 更新 <b>更新:</b> 表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	<ul> <li>         ・ 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント</li> <li>         を新しいウィンドウで開きます。     </li> </ul>
Yi	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	注:
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。

UI要素	説明
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### <コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<表示形式>	既定で、このコンポーネントには、選択したKPIまたはメトリックに関する詳細 が折れ線/棒複合グラフ形式で表示されます。詳細については、「折れ線/棒複 合グラフ形式」(259ページ)を参照してください。
	また、必要な形式を選択して、コンポーネントの表示形式をその場で変更する こともできます。一部の表示形式は適用されません。
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	• <sup>11</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細に ついては、「列形式」を参照してください。
	<ul> <li>小-コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グラ フ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラ フ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ーコンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、 「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴ - コンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ニコンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、</li> <li>「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示 形式の変更」を参照してください。

# [折れ線/棒複合グラフビュー - コンポーネントの 構成] ダイアログボックス

[複数選択]または[ブレークダウンの選択]オプションを選択できます。

• 複数選択: このオプションを使用すると、複数のメトリックまたはKPIを比較できます。

折れ線/棒複合グラフビュー - コンボーネン	トの構成			×
● 複数選択 ○ブレークダウンの選択 表示するKPはたはメトリックを選択するには したKPI]領域に移します	、KPIまたI	はメトリックを[アクテ・	ィブなKPI]領域から[選択	
アクティブなKPI		選択したKPI	✓ ≒	
<ul> <li>▼ ■ ALM-Rndデ ルクター</li> <li>▼ 回 リリース前</li> </ul>	^			
<ul> <li>● リリーストレーサビリティの改善</li> <li>● リリース品質の改善</li> <li>● リリース生産性の改善</li> <li>● リリース後</li> <li>▶ □ リリース後</li> </ul>	<ul> <li>(*)</li> <li>(*)</li> </ul>			
EII FMU EII SMディレクター C SMディレクター(0) C SMディレクター(0)	~			
表示期間 現在 、 履歴期間 過去1年 、	<ul><li>✓</li><li>✓</li></ul>			
			OK キャンセル	4

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまたはKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示されます。
	文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域またはツリー領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	<ul> <li>すべて:選択したステータスを持つアクティブなKPIまたはツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul>
	○ KPI: アクティブなKPIまたはツリーにKPIだけを表示します。
	<ul> <li>目標: アクティブなKPIまたはツリーに目標とそのKPIだけを表示します。</li> </ul>
	◎ メトリック: ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連する項目 (存在する場合) を選択できます。
アクティブなKPI	ツリーボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。選択できる項目は ハイライトされます ([ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合は、KPIブ レークダウンだけがハイライトされます)。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④④を使用 して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダ ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
	<b>注:</b> 選択できるメトリックまたはKPIは、単位と期間が一致するものだけ です。これらの基準に一致しないものを選択すると、エラーメッセージ が表示されます。
選択したKPI	ボックスには、コンポーネントに表示するために選択したメトリックまたは KPIがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④€を使用 して、[使用可能なKPI]と[選択したKPI]の間で要素を移動します。要素をダ

UI要素	説明
	<ul> <li>ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。</li> <li>&lt;ステータスによる並べ替え&gt;</li> <li>・ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータス順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> <li>・アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替</li> </ul>
	えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と 降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかにな ります。 व≌
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。 • 現在:選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計 算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI([複 数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウン ディメンション([ブレークダウンの選択])の値。
	<ul> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	<ul> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次:期間のリストは、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値です。</li> </ul>
履歴期間	次のいずれかのオプションを選択します。 • 過去3か月:レポートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。 • 過去半年:レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。

UI要素	説明
	• 過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。
	• 過去2年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。
	• 過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。
	注:
	• X軸の左端のポイント (レポートの期間の始点) は、[ <b>履歴期間</b> ] フィー ルドで選択された期間の最後の日付からの履歴期間の最初の日に対 応します。
	<b>例</b> : [ <b>表示期間</b> ] フィールドで2013年第4四半期を選択し、[ <b>履歴期間</b> ] フィールドで [ <b>過去3年</b> ] を選択した場合、X軸の右端のポイントは 2013年第4四半期の終わり (2013年12月31日) に対応し、左端のポイ ントは2011年第4四半期に対応します。
	<ul> <li>・ 端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日 から2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> </ul>
	• X軸の右端のポイント (レポートの期間の終点) は、[ <b>表示期間</b> ] フィー ルドで選択された期間の最後の日に対応します。
	<ul> <li>1つのKPIまたはメトリックに対してのみ履歴ビューコンポーネント を表示していて、その要素に選択した期間の最初の部分のデータが ない場合、X軸の左端のポイントは、その要素にデータがある最初の 日に対応します。</li> </ul>
	<ul> <li>レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対応します。</li> </ul>

• **ブレークダウンの選択:** このオプションを選択すると、選択したKPIブレークダウンディメンションの値を比較できます。

斤れ線 <mark>/</mark> 棒複合グ	ラフビュー - コンポー	ネントの構成	λ.				
○複数選択 ●	ブレークダウンの選択						
表示するブレーク	- ジョン・ション・ション フダウンKPIを選択する	には、「アクテ・	ィブな <mark>KPI]</mark> 領:	域で <mark>KP</mark> をダ	ブルクリック	します	
						्, ≽	
▶ 📰 ALM-Rnd	デルクター						
► 📰 PMO							
▶ III SMデル	クター						
▶ 🔳 SMデル	クター <b>(0)</b>						
Service M	lanager						
▶ 圓 アブリケ・	-SatyVP						
▶ ■ 新規スコ	アカード						
選択したブレーク	<b>ダウン</b>						
表示期間	現在	~					
履歴期間	過去1年	$\checkmark$					
項目の最大数	15 🗸						
					011		
					UK	キャンゼ	วเ

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。
	さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に 文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。

UI要素	説明
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし] を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	○ <b>すべて:</b> ツリーにすべての要素を表示します。
	○ <b>KPI:</b> ツリーにKPIだけを表示します。
	○ <b>目標:</b> ツリーに目標とそのKPIだけを表示します。
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連するKPIまたはメトリックブレークダウン (存在する場合) を選択できま す。
<ツリー>	ッリーボックスには、スタジオの[アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIブレークダウン だけがハイライトされます。
	レポートに表示したい項目を選択するには、項目をダブルクリックします。 選択した項目が[ <b>選択したブレークダウン</b> ]ボックスに表示されます。項目の 選択を解除するには、[ <b>選択したブレークダウン</b> ]ボックスから削除します。
選択 したブレー クダウン	このボックスには、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンが表示さ れます。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	<ul> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	<ul> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	• 毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次: 期間のリストは、選択されているメト リックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリック のブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) に対して構成

UI要素	説明
	されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/ 日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エ ンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グ ラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されてい るメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメト リックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値で す。
履歴期間	次のいずれかのオプションを選択します。
	• 過去3か月:レポートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。
	• 過去半年: レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または [表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。
	• 過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。
	• 過去2年: レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または [表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。
	• 過去3年: レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または [表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。
	注:
	• X軸の左端のポイント (レポートの期間の始点) は、[ <b>履歴期間</b> ] フィー ルドで選択された期間の最後の日付からの履歴期間の最初の日に対 応します。
	<b>例</b> : [ <b>表示期間</b> ] フィールドで2013年第4四半期を選択し、[ <b>履歴期間</b> ] フィールドで [ <b>過去3年</b> ] を選択した場合、X軸の右端のポイントは 2013年第4四半期の終わり (2013年12月31日) に対応し、左端のポイ ントは2011年第4四半期に対応します。
	<ul> <li>・ 端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日 から2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> </ul>
	• X軸の右端のポイント (レポートの期間の終点) は、[表示期間] フィー ルドで選択された期間の最後の日に対応します。
	<ul> <li>1つのKPIまたはメトリックに対してのみ履歴ビューコンポーネント</li> <li>を表示していて、その要素に選択した期間の最初の部分のデータが</li> </ul>

UI要素	説明
	ない場合、X軸の左端のポイントは、その要素にデータがある最初の 日に対応します。 ・レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対 応します。
項目の最大数	このフィールドは、[ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択した場合にだけ表示され ます。コンポーネントに表示するKPIブレークダウンの数を指定します。

# ページフィルターコンポーネント

ページフィルターコンポーネントにより、エグゼクティブユーザーはページのコンポーネントに表示 されているKPI/メトリックブレークダウンをフィルター処理できます。

### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにコンポーネントを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。

UIの説明 詳細情報 タスク



### 権限

**権限:** ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っている スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素 は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在 しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」と いうメッセージが表示されます。

ワイヤリング

ページフィルターコンポーネントは、次の各コンポーネントが同じダッシュボードページにあると き、これらのコンポーネントに自動的にワイヤリングされます。

- 履歴メトリックビューコンポーネント: 詳細については、「履歴メトリックビューコンポーネント」(311ページ)を参照してください。
- 履歴ビューコンポーネント: 詳細については、「履歴ビューコンポーネント」(324ページ)を参照してください。
- KPIビューコンポーネント:詳細については、「KPIビューコンポーネント」(359ページ)を参照して ください。
- KPIリストコンポーネント:詳細については、「KPIリストコンポーネント」(338ページ)を参照して ください。
- KPI Rolodexコンポーネント: 詳細については、「KPI Rolodexコンポーネント」(347ページ)を参照してください。

- Xcelsius レポートビューアー (Flash) コンポーネント: 詳細については、「Xcelsius レポートビュー アー (Flash) コンポーネント」(468ページ)を参照してください。
- Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネント: 詳細については、「Web Intelligenceレポート ビューアーコンポーネント」(443ページ)を参照してください。
- 円グラフコンポーネント: 詳細については、「円グラフコンポーネント」(396ページ)を参照してく ださい。
- バブルチャートコンポーネント: 詳細については、「バブルチャートビューコンポーネント」(282 ページ)を参照してください。
- クラスター棒グラフビューコンポーネント:詳細については、「クラスター棒グラフビューコン ポーネント」(293ページ)を参照してください。
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント: 詳細については、「積み上げ棒グラフビューコンポーネ ント」(419ページ)を参照してください。
- 折れ線/棒複合グラフビューコンポーネント: 詳細については、「折れ線/棒複合グラフビューコン ポーネント」(371ページ)を参照してください。

コンポーネント間のワイヤリングをセットアップすることもできます。ワイヤリングの詳細について は、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。

### 重要な情報

コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、 システムレベルで設定した会計年度に依存します)。

**ヒント:** ユーザーや選択するディメンションに関係なく、ページを開くたびに特定のディメンションでフィルター処理したい場合は、次の手順を実行します。

- 1. ページを作成し、ブレークダウンを指定したページフィルターコンポーネントを追加しま す。
- 2. ページを保存します。

ユーザーは、最初にページを開くときに関連のディメンションを選択し、コンポーネントを折り たたみます。次に、ページを保存しないで閉じます。

ほかのユーザーがページを開いて別のディメンションを選択した場合でも、元のユーザーがこの ページを再度開くと、前に選択したディメンションが表示されます。

必要に応じて、コンポーネントの展開や選択内容の変更が可能です。

タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項では次のトピックについて説明します。

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>66</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。

リーを開く必要があります。

- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。
   ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ
  - ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
  - すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

## 使用例 - ダッシュボードページのフィルターコ ンポーネント

本項では、ダッシュボードコンポーネントをフィルター処理する方法と、処理後のデータをダッシュ ボードページで表示する方法を説明します。

コンポーネントで表示するデータのフィルター処理には、2つのオプションがあります。

- [コンポーネントの構成] アイコンをクリックし、サポート設定に応じてコンポーネントを構成する ことにより、コンポーネントを個々にフィルター処理します。
- ページフィルターコンポーネントを使用します。このコンポーネントを使用すると、ページフィルターで選択した内容が、ページ内のほかのコンポーネントすべてに適用されます。
- ページフィルターコンポーネントを使用してフィルター処理するには、次の手順を実行します。
- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、「ページギャラリー) <sup>68</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスが開いたら、ページフィルターコンポーネント をダブルクリックして(詳細については、「ページフィルターコンポーネント」を参照してくだ さい)レイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグしま す。[コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。詳細については、「[コンポーネントギャ ラリー]ダイアログボックス」を参照してください。
  - ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
  - すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグする場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスを閉じます。
- 5. ページフィルターコンポーネントの基本構成の1つに、期間フィルターがあります。期間を選択 して[フィルター]ボタンをクリックすると、そのページに含まれるコンポーネントの全データ を対象に、選択した内容のフィルターが自動的に適用されます。
- コンポーネントにフィールドを追加して、ページをフィルター処理することができます。まず、[コンポーネントの構成] パアイコンをクリックします。[利用可能なディメンション] ペインに、使用可能なディメンションが表示されます。このディメンションは、スタジオで設定済みのKPIまたはメトリックブレークダウンをベースに作成されています。
- 7. ディメンションを1つまたは複数選択し、[選択したディメンション]領域に移動します。
- [OK] をクリックします。ページフィルターに新しいディメンションが表示されます。このディ メンションをフィルターで使用すれば、期間のほかにもさらにきめ細かなフィルター条件を指 定することができます。
- 9. フィルターの選択を解除するには、[フィルターのクリア]オプションをクリックします。
- 10. フィルターの結果が想定どおりであることを確認できたら、[保存]をクリックします。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、「ムービーへのアクセス」を参照してください。



## [ページフィルターコンポーネント(表示)]ダイア ログボックス

コンポーネントには、選択可能な期間と、ページのほかのコンポーネントのフィルター処理に使用するKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンが表示されます。

**ヒント:** KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの構成は、ページフィルターコン ポーネントをダッシュボードページに追加する前に行ってください。詳細については、「KPIブ レークダウン」(178ページ)または「メトリックブレークダウン」(185ページ)を参照してくださ い。

ページフィルター		▼ 11   0 « ×
間		
~	77NQ- <b>D</b>	

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
	プリファレンス プリファレンス・構成中のコンポーネン
	トの[ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ]ダイアログボックスが開きま

UI要素	説明
	す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>0K</b> ] をクリックします。
	<ul> <li>・ ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング! 構成中のコンポーネントの</li> <li>[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの</li> <li>コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン</li> <li>ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>更新</li> <li>更新</li> <li>更新:表示を更新します。このボタンは、</li> <li>ページフィルターコンポーネントでは無効です。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 新しいウィンドウで開く         新しいウィンドウで開く     </li> <li>         ・ 新しいウィンドウで開きます。     </li> </ul>
YI	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。

UI要素	説明
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

### コンポーネントのコンテンツ

UI要素	説明
Period	表示期間のタイプを選択します。【最終終了】、【現在】、[毎週]、[毎四半期]、[毎月]、[毎年]を指定できます。特定の期間タイプを選択した場合、 選択した期間と異なる期間を持つすべてのKPIとメトリックで、[データが ありません]と表示されます。エンジンが計算時に使用した期間が表示さ れます。エンジンで計算をまだ行っていない場合、このフィールドは空に なります。
	表示期間のタイプとして [ <b>毎週</b> ]、[ <b>毎四半期</b> ]、[ <b>毎月</b> ]、[ <b>毎年</b> ] のいずれかを 選択すると、そのタイプで指定できる具体的な期間が表示されます。
	<b>例:</b> [毎四半期] を選択すると、[FY2011/Q1]、[FY2011/Q2]、 [FY2011/Q3]、[FY2011/Q4] のいずれかを選択できます。
	選択した期間は、ページフィルターコンポーネントにワイヤリングされて いるすべてのダッシュボードページコンポーネントの表示期間として適用 されます。[ <b>フィルター</b> ]をクリックすると、ページ上の関連コンポーネン トが更新されます。
<エンティティ:ディ メンション>	[ページフィルター - コンポーネントの構成] ダイアログボックスで選択し た各エンティティおよびディメンションはページフィルターに表示され、 ドロップダウンボックスには各エンティティおよびディメンションに対し て選択した値リストが表示されます。
	選択したエンティティ:ディメンションの数が多い場合には、スクロール バーが表示されます。
	選択したエンティティ:ディメンションの値は、ページフィルターコンポー

UI要素	説明
	ネントにワイヤリングされているすべてのダッシュボードページコンポー ネントのエンティティ:ディメンションとして適用されます。[ <b>フィルター</b> ] をクリックすると、コンポーネントの関連要素が更新されます。
フィルター	[ページフィルター] で指定した条件に基づいて、ページワイヤリングコン ポーネントがフィルター処理されます。
クリア	クリックすると、選択内容がクリアされます。

## [ページフィルター - コンポーネントの構成]ダイ アログボックス

ページフィルター - コンポーネントの構成 ×	
表示するディメンションを選択するには、ディメンションを 利用可能なディメンショ ン]領域から [選択したディメンション]領域に移します。	
利用可能なディメンション	選択したディメンション
▶ Cost	
Service	
Project	
Budget	
Person	
	$( \mathbf{P} )$
	OK キャンセル

UI要素	説明
利用可能なディ	スタジオで定義したKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンに対応
メンション	するエンティティおよびディメンションのリスト。

UI要素	説明	
選択したディメ ンション	矢印で選択したエンティティおよびディメンションのリスト。	
	さらに、フィルターに含めるディメンションの値を選択できます。また、選択 から外すことで、特定の値をフィルターから除外することもできます。	
	ディメンションのレベルでチェックボックスをクリックしても、ディメンショ ン値をグローバルに選択または選択解除できます。さらに、フィルターに含め るか、含めないディメンション値を選択または選択解除できます。ディメン ション値の一部だけを選択または選択解除すると、ディメンションのレベルで チェックボックスが次のように部分的に充てんされます。	
	<ul> <li>Defect: Severity</li> <li>1 - Urgent</li> <li>2 - High</li> <li>3 - Medium</li> <li>4 - Low</li> </ul>	
$\sim$		
	[選択したディメンション] グリーでエンティティおよびディメンションを選択 し、ツリー内で上下に移動します。	
	選択したエンティティおよびディメンションの順序は、ページフィルターでの 表示順です。	
	情報を表示するには、適切なKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンを定義している必要があります。	
	例	
	KPIおよびKPIブレークダウンのツリーが次のとおりで、	
	<ul> <li>離職率 (%)</li> <li>離職率 (%) (組織別)         <ul> <li>○ 離職率 (%) (場所別)</li> </ul> </li> </ul>	
	[ページフィルター - コンポーネントの構成] ダイアログボックスで[組織] と[場所]を選択した場合、ページフィルターには[組織] および[場所] の2 つのドロップダウンが表示されます。[組織] および[場所] でそれぞれ値を 選択すると、選択した値に基づいてワイヤリングコンポーネントがフィル ターされます。[組織] で値を選択せず、[場所] で値を選択した場合、ワイ ヤリングコンポーネントのKPIブレークダウンには「データがありません」 と表示されます。	
	当該情報を常に表示するには、次のように、エンティティとディメンショ ンの別の組み合わせも定義する必要があります。	

UI要素	説明
	<ul> <li>離職率 (%)</li> <li>離職率 (%) (組織別) <ul> <li>離職率 (%) (場所別)</li> </ul> </li> <li>離職率 (%) (場所別)</li> </ul>

# 円グラフコンポーネント

円グラフコンポーネントは、異なる扇形を選択するか、ブレークダウンを選択することで、選択した KPIまたはメトリックの配分を表示します。

### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- このコンポーネントは、KPIをメトリックと同様に(ステータスもしきい値もなしで)表示します。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## • タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] 🔠 ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- 3. [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリッ クしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグし
ます。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- 5. コンポーネントの [**コンポーネントの構成**] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある [**ここをクリックして構成してください**] の [**ここ**] をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



### 円グラフビューコンポーネント

円グラフビューコンポーネントには、選択したメトリックまたはKPIの値を選択した期間にわたって 比較したり、選択したKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンディメンションを選択し た期間にわたって比較したりするための円グラフが表示されます。



コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	コンポーネントメニュー:次のメニュー項目を選択できます。 / ブリファレンス クリファレンス:構成中のコンポーネン
	トの[ <b>ミコンホーネント石シブリブアレンス</b> ] ジイアロジホッジスが開きます。コンポーネントの名前を変更するには、[名前] フィールドの内容を変更して [OK] をクリックします。
	<ul> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> <li>[ワイヤリング]ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの</li> <li>コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン</li> <li>ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• 更新 <b>更新:</b> 表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>

UI要素	説明		
	を新しいウィンドウで開きます。		
Y	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。		
	注:		
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>		
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。		
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。		
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。		
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。		
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。		
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。		

#### コンポーネントのコンテンツ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

**注:** 次のグラフの一部では、しきい値が表示されます。メトリックを選択すると(しきい値なし)、しきい値要素のないデータがグラフに表示されます。

UI要素	説明	
<階層リスト>	<b>注:</b> 階層リストは特定のコンポーネントのみで表示されます。	
	ブレークダウン (詳細は下記) を選択している場合、表示要素のレベルが表 示されます。	
	<u>…</u> > <u>ビジネス目欄に知づ…</u> Project Name > 計 图 →	
	階層リスト内にある関連項目をクリックすると、前のレベルに戻ります。	
オンデマンド周期の一時的な再計算と表示を可能にします。		
	このアイコンは、特定の表示形式に対し、以下のコンポーネントのみで利 用できます。	
	• KPI Rolodexコンポーネント	
	• ブレークダウンビューコンポーネント	
	• バブルチャートビューコンポーネント	
	<ul> <li>クラスター棒グラフビューコンポーネント</li> </ul>	
	• 折れ線/棒グラフビューコンポーネント	
	• 履歴メトリックビューコンポーネント	
	• 履歴ビューコンポーネント	
	• KPIリストコンポーネント	
	• KPIビューコンポーネント	
	• 円グラフコンポーネント	
	• 積み上げ棒グラフビューコンポーネント	
	詳細については、「コンポーネント表示でのオンデマンド周期」を参照し てください。	
傾向線の表示 🗌	単一の折れ線グラフ形式のみで利用できます。	
	このボタンを選択すると、関連する期間に対する傾向線が表示されます。	



UI要素	説明
	<ul> <li>● - コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グ ラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ 山 - コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グ ラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ ・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>・ コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>ゴンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での 表示形式の変更」を参照してください。
<ブレークダウン>	カーソルが矢印から手に変わり、表示項目にブレークダウンが存在するこ とを示します。
	表示項目をクリックすると、使用可能なブレークダウンが表示されます。



[円グラフビュー - コンポーネントの構成] ダイア ログボックス

このダイアログボックスでは、ダッシュボードに表示される円グラフビューコンポーネントを構成できます。

		AVOLULI		
्, ≫		ステータス順	~	≞↓
	[			
の改善				
~				
>				
	▲ ※			

円グラフビュー - コンポーネントの構成	>
○複数選択 ●ブレークダウンの選択 表示するブレークダウンKPIを選択するには、「アクティブなKP	1]領域でKPIをダブルクリックします
	्, ≽
▶ III ALM-Rndデ ルクター	
▶	
▶ III SMディレクター	
▶ 国 SMディレクター(0)	
Service Manager	
▶ 国 アプリケーションVP	
▶ 国 新規スコアカード	
選択したブレークダウン	
表示期間 現在 イ	
項目の最大数 15 🖌	

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
複数選択/ ブレークダウン の選択	<ul> <li>複数選択: このオプションを使用すると、複数のメトリックまたはKPIを比較できます。詳細については、次を参照してください。</li> <li>ブレークダウンの選択: このオプションを選択すると、選択したKPIブレークダウンディメンションの値を比較できます。詳細については、次を参照してください。</li> </ul>
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまたは

UI要素	説明		
	KPI (あるいはメ ます。	トリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示され	
	さらに、フィル 列が含まれてい	ターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に文字 なくてもリストに表示されます。	
≈	複数選択	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追 加のフィールドを開きます。	
		<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域またはツリー領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>	
		• タイプ: 次の中から選択します。	
		• <b>すべて:</b> 選択したステータスを持つアクティブなKPIま たはツリーのすべての要素を表示します。	
		• KPI: アクティブなKPIまたはツリーにKPIだけを表示します。	
		• <b>目標:</b> アクティブなKPIまたはツリーに目標とそのKPIだ けを表示します。	
		• メトリック: ツリーにメトリックだけを表示します。	
		関連する項目 (存在する場合) を選択できます。	
	ブレークダウ ンの選択	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追 加のフィールドを開きます。	
		<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし] を 選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>	
		• タイプ: 次の中から選択します。	
		• <b>すべて:</b> ツリーにすべての要素を表示します。	
		• KPI: ツリーにKPIだけを表示します。	
		• 目標: ツリーに目標とそのKPIだけを表示します。	
		• メトリック: ツリーにメトリックだけを表示します。	

UI要素	説明				
	関連するKPIまたはメトリックブレークダウン (存在する場合) を選択できます。				
アクティブなKPI	[ <b>複数選択</b> ]を選択した場合にだけ表示されます。				
	ツリーボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびそのKPI、およ びKPIブレークダウンがすべてリストされます。選択できる項目はハイライトさ れます ([ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合は、KPIブレークダウンだ けがハイライトされます)。				
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印 ⊕ € を使用し て、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。				
	<b>注:</b> 選択できるメトリックまたはKPIは、単位と期間が一致するものだけで す。これらの基準に一致しないものを選択すると、エラーメッセージが表 示されます。				
選択したKPI	[ <b>複数選択</b> ]を選択した場合にだけ表示されます。				
	ボックスには、コンポーネントに表示するために選択したメトリックまたはKPI がすべてリストされます。				
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④④を使用し て、[使用可能なKPI] と[選択したKPI]の間で要素を移動します。要素をダブル クリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。				
	<ステータスによる並べ替え>				
	<ul> <li>ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータス順に並べ替えます。</li> <li>その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。 計単</li> </ul>				
	<ul> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>				
<ツリー>	[ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択した場合にだけ表示されます。				
	ツリーボックスには、スタジオの[アクティブなKPI] ペインにリストされてい るアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびそのKPI、およ びKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIブレークダウンだけがハイ ライトされます。				
	レポートに表示したい項目を選択するには、項目をダブルクリックします。選				

UI要素	説明
	択した項目が[ <b>選択したメトリック</b> ] ボックスに表示されます。項目の選択を解 除するには、[ <b>選択したメトリック</b> ] ボックスから削除します。
選択したメト リック	[ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択した場合にだけ表示されます。 このボックスには、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンが表示されま す。 項目の選択を解除するには、[ <b>選択したメトリック</b> ]ボックスから削除します。
表示期間	<ul> <li>コンポーネントに表示する期間を選択します。</li> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次: 期間のリストは、選択されているメトリック</li> </ul>
	・ サイノウガノウロイが、か高のウストは、医かされているメドウウク またはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレー クダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成されている 期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択し た場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実 行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値 は、選択されている期間に完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウン ディメンション([ブレークダウンの選択])の値です。
スライスの最大 数	<ul> <li>2。値が最も大きい項目が、扇形で表されます。次に値が大きい3つの項目 は、もう1つの扇形で表されます。これら3つの項目の詳細がツールヒントに 表示されます。</li> <li>3、4、5、6、7、8、9、10、15。値が最も大きい項目が、扇形で表されま す。選択された扇形の数に応じて、その他の扇形のそれぞれが、次に値が大 きい項目に対応します。最後の扇形は、次に値が大きい3つの項目を表しま す。これら3つの項目の詳細がツールヒントに表示されます。</li> </ul>

# スコアカードコンポーネント

スコアカードコンポーネント (バランススコアカード) には、選択されたパースペクティブおよびその 目標のリストが、測定期間中のその値、傾向、およびステータスとともに表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] 🔠 ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>™</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

■ UIの説明

### スコアカードコンポーネント

スコアカード	- 1i   0 -	«×
РМО	Ŧ	現在
	E	~
プロジェクト管理		
プロジェクトコストの透明性の改善 =	保留中	
プロジェクト品質の改善 =	保留中	
プロジェクト実施の改善 三	保留中	
提案管理		
ビジネス機会の促進 三	保留中	

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明				
	<b>コンボーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。				
	<ul> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネン</li> </ul>				
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>0K</b> ] をクリックします。				
	● ワイヤリング ワイヤリング:構成中のコンポーネントの				
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほ コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「ニ ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。				
	○ 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、				
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。				
	· 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント				
	を新しいウィンドウで開きます。				
YI	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。				
	注:				
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク</li> </ul>				
	タワンヒューコンホーネントか、同じタッシュホードページ上の目 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。				

UI要素	説明
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
*	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> メボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

#### <コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<コンポーネント のコンテンツ>	<ul> <li>各KPIに関して、次の情報が左から右に表示されます。</li> <li>スコアカードの名前。名前をダブルクリックすると、選択した要素に関してフィルターされた[エクスプローラー]タブが開きます。</li> <li>スコアカードのタイムスタンプ。[スコアカード - コンポーネントの構成]ダイアログボックスの[期間]ボックスで選択した期間が表示されます。</li> <li>Y100 </li> <li>Yはスコアカードにカスケードスコアカード (部下のスコアカード)があることを示します。矢印をクリックするとカスケードスコアカードのリストが表示され、選択するとその情報が表示されます。親スコアカードに戻るには、Xをクリックしてカスケードスコアカード表示を閉じます。なお、アクセスできるのは1レベル下までです(すなわち、カスケードスコアカードにさらに部下のスコアカードがある場合、その情報にアクセスするには、カスケードスコアカードの第1レベルにスコアカードコンポーネントを作成する必要があります)。</li> </ul>

UI要素	説明				
	スコアカード アプリケーションVP ~ ITIL V3 ITの価値				
	<ul> <li>[スコアカード - コンポーネントフィルター]ダイアログボックスで選択した パースペクティブの名前。詳細については、「[スコアカード - コンポーネ ントの構成]ダイアログボックス」(415ページ)を参照してください。</li> <li>ステータス順に並べられたパースペクティブの目標(エラーステータスが最初)。次の情報が表示されます。</li> </ul>				
	<ul> <li>目標のスコア。</li> <li>■ (新しい注釈が目標に追加された場合は<sup>★=</sup>) アイコンの上にカーソル を移動すると、目標ツールヒントで目標の詳細情報が表示され、[エクス プローラー] タブにアクセスしてその目標の詳細を表示できます。詳細に ついては、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲー ション(FLN)」(507ページ)を参照してください。</li> </ul>				
	- ● ●●● 傾向アイコン。表示期間中の目標の傾向を示します。				
	• 表示期間中の目標のステータス。次のどれかです。				
	。 🝼 は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。				
	○  は、ステータスが [ <b>警告</b> ] であることを示します。				
	○ 😢は、ステータスが [ <b>エラー</b> ] であることを示します。				
	<ul> <li>は、ステータスが計算されなかったか、計算でエラーが発生した</li> <li>ことを示します。</li> </ul>				
<b>F</b> -	スコアカードの右上隅にあるボタンをクリックして、該当するステータスを選 択します:				
	:任意のステータスを持つすべての目標を表示します。				
	<mark>88</mark> : <b>エラー</b> ステータスを持つ目標だけを表示します。				

UI要素	説明
	既定の選択は、[スコアカード - コンポーネントフィルター] ダイアログボック スの [ <b>既定のフィルター状態</b> ] フィールドで構成されます。詳細については、 「[スコアカード - コンポーネントの構成] ダイアログボックス」(415ページ)を 参照してください。
<ツールヒント>	リスト中の目標名の上にマウスを移動すると、KPIに関する詳細情報がツールヒ ントに表示されます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関す る第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してください。

# [スコアカード-コンポーネントの構成]ダイアロ グボックス

スコアカード - コンポーネ	いたの構成	×		
スコアカードを選択し、パースペクティブの順序を指定し、表示を構成してください				
スコアカード:	PMO	×		
スコアカードのカスケード:		~		
パースペクティブの順序:	目標の順序:	KPIの順序:		
プロジェクト管理	ステータス順 💙 🛀	✓ ⊑↓		
提案管理	✓ この順序をすべてのパースペクティブに選用	この順序をすべての目標に適用		
	プロジェクト実施の改善 プロジェクト品質の改善 プロジェクトコストの透明性の			
既定のフィルター状態:	<b>इ</b> र्रेट 🗸			
期間:	現在			
		<b>OK</b> キャンセル		

UI要素	説明
スコアカード	コンポーネントに表示するスコアカードを選択します。

UI要素	説明
	表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが 含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。
	スコアカードのパースペクティブ、目標、KPIのリストが、[ <b>パースペクティブ</b> の順序]、[目標の順序]、[KPIの順序] の領域に表示されます。
スコアカードの カスケード	選択したスコアカードにカスケードスコアカードが含まれる場合、ユーザーに 許可されているカスケードスコアカードリストでカスケードスコアカードを選 択できます。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。
	選択したカスケードスコアカードのパースペクティブ、目標、KPIがダイアログ ボックスの下の部分に表示されるため、以下の手順でそれぞれの順序を選択で きます。
パースペクティ ブの順序	パースペクティブを選択し、領域の下部にある
	必要に応じて、パースペクティブの順序を選択した後に、各パースペクティブ をクリックし、[ <b>目標の順序</b> ]領域でそれぞれの目標の順序を指定します。
目標の順序	ダッシュボードページのスコアカードコンポーネントで目標の表示方法を選択 します。
	<b>ステータス順:</b> 目標をステータス順に並べ替えます。これが既定値です。司ᆗを クリックして昇順または降順を選択します。
	<b>アルファベット順:</b> 目標をアルファベット順に並べ替えます。वाँ⊒をクリックし て昇順または降順を選択します。
	<b>手動順:</b> 目標を手動で並べ替えます。領域の下部にある
	<b>この順序をすべてのパースペクティブに適用:</b> 必要に応じて、このオプション を選択し、現在選択されているパースペクティブの目標に対して選択した順序 を、スコアカードのすべてのパースペクティブのすべての目標に適用します。
	必要に応じて、目標の順序を選択した後に、各目標をクリックし、[ <b>KPIの順序</b> ] 領域でそれぞれのKPIの順序を指定します。
KPIの順序	ダッシュボードページのスコアカードコンポーネントにワイヤリングされたKPI ビューコンポーネントでKPIを表示する方法を選択します。

UI要素	説明
	<b>ステータス順:</b> KPIをステータス順に並べ替えます。これが既定値です。वां⊒を クリックして昇順または降順を選択します。
	<b>アルファベット順:</b> KPIをアルファベット順に並べ替えます。 ℡⇒をクリックし て昇順または降順を選択します。
	<b>手動順:</b> KPIを手動で並べ替えます。領域の下部にある
	この順序をすべての目標に適用:必要に応じて、このオプションを選択し、現 在選択されているKPIに対して選択した順序を、スコアカードのすべての目標の すべてのKPIに適用します。この並べ替えには、スコアカードの目標の子目標の KPIも含まれます。
既定のフィル ター状態	スコアカード表示で自動的に選択されるアイコンを選択します。 • <b>すべて</b>
	• 重大なエラーと警告 • 重大
期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	<ul> <li>現在:ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパースペクティブ、またパースペクティブの下に、現在の期間に対応する目標、その値、傾向およびステータスが表示されます。</li> </ul>
	• 最終終了:ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカード とそのパースペクティブ、またパースペクティブの下に、最後に閉じられた 期間に対応する目標、その値、傾向およびステータスが表示されます。
	• 毎年: [毎年] を選択すると、追加のフィールドが開きます。追加のフィール ドには、完了済みでその間に目標が計算された過去の年 (現在の年でない) の リストが表示されます。
	ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパー スペクティブ、またパースペクティブの下に、追加のフィールドで選択した 期間の終わりに対応する目標、その値、傾向およびステータスが表示されま す。
	• 毎四半期: [毎四半期] を選択すると、追加のフィールドが開きます。追加の フィールドには、完了済みでその間に目標が計算された過去の四半期 (現在 の四半期でない) のリストが表示されます。
	ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパー スペクティブ、またパースペクティブの下に、追加のフィールドで選択した 期間の終わりに対応する目標、その値、傾向およびステータスが表示されま

UI要素	説明
	す。 • 毎月: [毎月] を選択すると、追加のフィールドが開きます。追加のフィール ドには、完了済みでその間に目標が計算された過去の月(現在の月でない)の リストが表示されます。 ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパー スペクティブ、またパースペクティブの下に、追加のフィールドで選択した 期間の終わりに対応する目標、その値、傾向およびステータスが表示されま す。
	• 毎週: [毎週] を選択すると、追加のフィールドが開きます。追加のフィール ドには、完了済みでその間に目標が計算された過去の週 (現在の週でない)の リストが表示されます。
	ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパー スペクティブ、またパースペクティブの下に、追加のフィールドで選択した 期間中に計算が完了した目標が表示されます。
	• 毎日: [毎日] を選択すると、追加のフィールドが開きます。追加のフィール ドには、完了済みでその間に目標が計算された過去の日 (現在の日でない)の リストが表示されます。
	ダッシュボードでは、コンポーネントに、選択したスコアカードとそのパー スペクティブ、またパースペクティブの下に、追加のフィールドで選択した 期間中に計算が完了した目標が表示されます。
	注:
	• [現在]の期間を選択すると、それぞれの目標に現在の期間の結果が表示 されます。
	• [最終終了]の期間を選択すると、それぞれの目標に最後に閉じられた期間に対応する結果が表示されます。
	<ul> <li>ダッシュボードのスコアカードコンポーネント構成で特定の期間を選択し、スコアカードの目標の期間が異なる場合、最上位の期間のみがリストされ、選択可能になります。</li> </ul>
	<ul> <li>ダッシュボードスコアカードコンポーネントで、スコアカードに期間の 異なる目標が存在する場合、スコアカードフィルターには、[期間]リス トのスコアカード目標間で期間が最も長いものしか表示されません。</li> <li>例:スコアカードに月次のObjective-1と週次のObjective-2がある場合、</li> <li>構成ウィンドウには、月次よりも期間が短い目標は表示されません。月次よりも長い目標は、コンテキストで行う計算に応じて、表示される場 合があります。</li> </ul>

# 積み上げ棒グラフビューコンポーネント

積み上げ棒グラフビューコンポーネントには、既定で、選択したKPIまたはメトリックとその測定期 間中の値、傾向、およびステータスのリストが、積み上げ棒グラフ形式で表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

## タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>333</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>™</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。







#### <コンポーネントのコンテンツ>

UI要素	説明
<表示形式>	既定で、このコンポーネントには、選択したKPIまたはメトリックに関する詳細 が積み上げ棒グラフ形式で表示されます。詳細については、「積み上げ棒グラ フ」(257ページ)を参照してください。
	また、必要な形式を選択して、コンポーネントの表示形式をその場で変更する こともできます。一部の表示形式は適用されません。
	選択できる表示形式は、次のとおりです。
	<ul> <li><sup>1</sup> - コンポーネントのコンテンツを、垂直の列形式で表示します。詳細については、「列形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>小 - コンポーネントのコンテンツを、水平のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・コンテンツを複数の折れ線グラフ形式で表示します。詳細について         は、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	<ul> <li>- コンテンツを円グラフ形式で表示します。詳細については、「円グラ フ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ コンテンツを棒グラフ形式で表示します。詳細については、「棒グラ         フ形式」を参照してください。     </li> </ul>
	• 📼 - コンテンツを水平の列形式で表示します。詳細については、「列形 式」を参照してください。
	<ul> <li>・ コンテンツを垂直のRolodexまたはゲージ形式で表示します。詳細については、「Rolodex - ゲージ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>コンテンツを単一の折れ線グラフ形式で表示します。詳細については、「複数または単一の折れ線グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ コンテンツをクラスター棒グラフ形式で表示します。詳細については、「クラスター棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>■ - コンテンツを積み上げ棒グラフ形式で表示します。詳細については、 「積み上げ棒グラフ形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・コンテンツを棒グラフ/折れ線グラフ形式で表示します。詳細について         は、「棒グラフ/折れ線グラフ形式」を参照してください。     </li> </ul>

UI要素	説明
	<ul> <li>コンテンツをバブルチャート形式で表示します。詳細については、「バブルチャート形式」を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>□ - コンテンツをリスト形式で表示します。詳細については、「リスト形式」を参照してください。</li> </ul>
	詳細については、「ダッシュボードページのコンポーネントのその場での表示 形式の変更」を参照してください。

# [積み上げ棒グラフビュー - コンポーネントの構 成]ダイアログボックス

[複数選択]または[ブレークダウンの選択]オプションを選択できます。

• 複数選択: このオプションを使用すると、複数のメトリックまたはKPIを比較できます。

積み上げ棒グラフビュー - コンポーネント	·の構	構成	×
● 複数選択 ○ ブレークダウンの選択 表示するKPはたはメトリックを選択するには、KPはたはメトリックを【アクティブなKPI】領域から【選択 したKPI】領域に移します			
アクティブなKPI		選択したKPI	
	~	ステータス順 ✓ 斗	
<ul> <li>■リリース前</li> </ul>	^		
<ul> <li>● リリーストレーサビリティの改</li> <li>● リリース品質の改善</li> <li>● リリース生産性の改善</li> <li>● リリース後</li> </ul>	(善)		
▶ 目 PMO ▶ 目 SMディレクター ▶ 目 SMディレクター(0) く >	~		
表示期間 現在 現在 履歴期間 過去1年	<b>~</b>	]	
		<b>OK</b> キャンt	ZJU

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまたはKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示されます。
	文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。
≈	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域またはツリー領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	<ul> <li>すべて:選択したステータスを持つアクティブなKPIまたはツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul>
	○ KPI: アクティブなKPIまたはツリーにKPIだけを表示します。
	<ul> <li>目標: アクティブなKPIまたはツリーに目標とそのKPIだけを表示します。</li> </ul>
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連する項目 (存在する場合) を選択できます。
アクティブなKPI	ツリーボックスには、スタジオの [アクティブなKPI] ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。選択できる項目は ハイライトされます ([ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択している場合は、KPIブ レークダウンだけがハイライトされます)。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④④を使用 して、[使用可能なKPI] と [選択したKPI] の間で要素を移動します。要素をダ ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。
	<b>注:</b> 選択できるメトリックまたはKPIは、単位と期間が一致するものだけ です。これらの基準に一致しないものを選択すると、エラーメッセージ が表示されます。
選択したKPI	ボックスには、コンポーネントに表示するために選択したメトリックまたは KPIがすべてリストされます。
	レポートに表示する要素を選択/選択解除するには、左右の矢印④€を使用 して、[使用可能なKPI]と[選択したKPI]の間で要素を移動します。要素をダ

UI要素	説明
	<ul> <li>ブルクリックしてもう一方のボックスに移動することもできます。</li> <li>&lt;ステータスによる並べ替え&gt;</li> <li>ステータスによる並べ替え:選択した要素をステータス順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> <li>アルファベット順に並べ替え:選択した要素をアルファベット順に並べ替えます。その後、ボックスの右側にあるアイコンをクリックして昇順と降順を切り替えられます。選択に応じて、アイコンは次のいずれかになります。</li> </ul>
表示期間	<ul> <li>コンポーネントに表示する期間を選択します。</li> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> <li>最終終了: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> </ul>
	<ul> <li>毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次:期間のリストは、選択されているメトリックあたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])に対して構成されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されているメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値です。</li> </ul>

• **ブレークダウンの選択:** このオプションを選択すると、選択したKPIブレークダウンディメンションの値を比較できます。

録み上げ棒グラフビュー - コンポーネントの構成	
◯複数選択 ◉ブレークダウンの選択	
表示するブレークダウンKPIを選択するには、[アクティブ	『なKPI] 領域でKPIをダブルクリックします
	् ¥
▶ 国 ALM-Rndデ ルクター	
▶ 📰 PMO	
▶ 🗐 SMディレクター	
▶ 圓 SMディレクター(0)	
Service Manager	
▶ 国 アプリケーションVP	
▶ 国 リソースサプライマネージャー	
▶ 圓 新規スコアカード	
選択したブレークダウン	
表示期間 現在 🗸	
履歴期間 過去1年 🗸	
項目の最大数 15 🗸	
	OK キャンセル

UI要素	説明
<検索>	表示する文字列を入力します。指定した文字列を名前に含むメトリックまた はKPI (あるいはメトリックまたはKPIのブレークダウン) だけがツリーに表示 されます。
	さらに、フィルターされた項目の子KPIまたは子メトリックは、その名前に 文字列が含まれていなくてもリストに表示されます。

UI要素	説明
*	<b>詳細検索:</b> コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールド を開きます。
	<ul> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> </ul>
	• タイプ: 次の中から選択します。
	○ <b>すべて:</b> ツリーにすべての要素を表示します。
	○ <b>KPI:</b> ツリーにKPIだけを表示します。
	○ <b>目標:</b> ツリーに目標とそのKPIだけを表示します。
	○ <b>メトリック:</b> ツリーにメトリックだけを表示します。
	関連するKPIまたはメトリックブレークダウン (存在する場合) を選択できま す。
<ツリー>	ツリーボックスには、スタジオの[アクティブなKPI]ペインにリストされて いるアクティブなスコアカード、パースペクティブ、目標、およびその KPI、およびKPIブレークダウンがすべてリストされます。KPIブレークダウン だけがハイライトされます。
	レポートに表示したい項目を選択するには、項目をダブルクリックします。 選択した項目が[ <b>選択したメトリック</b> ]ボックスに表示されます。項目の選択 を解除するには、[ <b>選択したメトリック</b> ]ボックスから削除します。
選択したブレー クダウン	このボックスには、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンが表示さ れます。
表示期間	コンポーネントに表示する期間を選択します。
	<ul> <li>現在: 選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がまだ完了していない、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) の値。</li> </ul>
	<ul> <li>最終終了:選択されたメトリックまたはKPIの構成済みの期間に基づいて、計算期間がすでに完了した、選択されているメトリックまたはKPI ([複数選択])または選択されているKPIまたはメトリックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値。</li> </ul>
	• 毎年/毎月/毎四半期/毎週/日次: 期間のリストは、選択されているメト リックまたはKPI ([複数選択]) または選択されているKPIまたはメトリック のブレークダウンディメンション ([ブレークダウンの選択]) に対して構成

UI要素	説明
	されている期間のうち最長のものを表します。毎年/毎月/毎四半期/毎週/ 日次を選択した場合、右側に別のフィールドが開きます。ここには、エ ンジンが計算を実行した年/月/四半期/週/日だけがリストされます。円グ ラフに表示される値は、選択されている期間に完了した、選択されてい るメトリックまたはKPI([複数選択])または選択されているKPIまたはメト リックのブレークダウンディメンション([ブレークダウンの選択])の値で す。
履歴期間	<ul> <li>次のいずれかのオプションを選択します。</li> <li>過去3か月:レボートの表示期間が、現在の日付の3か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3か月前から始まります。</li> <li>過去半年:レポートの表示期間が、現在の日付の6か月前または[表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の6か月前から始まります。</li> <li>過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の1年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。</li> <li>過去1年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の1年前から始まります。</li> <li>過去2年:レポートの表示期間が、現在の日付の2年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の2年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>過去3年:レポートの表示期間が、現在の日付の3年前または[表示期間] で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>(表示期間]で選択した年、月、四半期、週または日の3年前から始まります。</li> <li>第400万式12ト(レポートの期間の始点)は、[履歴期間]フィー ルドで選択された期間の最後の日付からの履歴期間の最初の日に対応します。</li> <li>例:[表示期間]フィールドで2013年第4四半期を選択し、[履歴期間] フィールドで[過去3年]を選択した場合、X軸の右端のポイントは 2013年第4四半期の終わり(2013年12月31日)に対応し、左端のポイント(レポートの期間の終わりを表します。</li> <li>端の2つのポイントの間のグラフの各ポイントは、2010年12月31日 から2013年12月31日までの間の四半期の終わりを表します。</li> </ul>
	ルトで選択された期間の最後の日に刃応します。 • 1つのKPIまたはメトリックに対してのみ履歴ビューコンポーネント を表示していて、その要素に選択した期間の最初の部分のデータが

UI要素	説明
	ない場合、X軸の左端のポイントは、その要素にデータがある最初の 日に対応します。 ・レポートに複数のグラフがある場合、X軸は選択された期間全体に対 応します。
項目の最大数	このフィールドは、[ <b>ブレークダウンの選択</b> ]を選択した場合にだけ表示され ます。コンポーネントに表示するKPIブレークダウンの数を指定します。

# SWFレポートビューアーコンポーネント

SWFレポートビューアーコンポーネントには、Xcelsiusまたはその他のソースから選択したSWFファ イルを表示できます。SWFファイルの拡張子は**.swf**です。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成] <sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。





**ヒント:** SWFレポートビューアーコンポーネントは、1つのSWFファイルだけを表示します。複数のSWFファイルをダッシュボードに表示したい場合は、複数のSWFレポートビューアーコンポーネントを作成し、それぞれの名前を変更することができます。

**注:** SWFレポートビューアー (Flash) コンポーネントをダッシュボードのページフィルターコン ポーネントにワイヤリングすることはできません。



主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項では次のトピックについて説明します。

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

**注:**利用可能なSWFファイルのリストを表示するには、レポートのファイルである.**swf**を次の場 所にコピーしてください。

<HP\_BA>/glassfish/glassfish/domains/BTOA/xcelsiusディレクトリ

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、「ページギャラリー) <sup>223</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。
   ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラリーを開く必要があります。
  - ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
  - すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



## SWFレポートビューアーコンポーネント

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

UI要素	説明
	<ul> <li>コンポーネントメニュー:次のメニュー項目を選択できます。</li> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネントの[&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス]ダイアログボックスが開きます。</li> </ul>
	す。コンホーネントの名前を変更するには、「日前」 ノイールトの内谷を変 更して [OK] をクリックします。 ・ ● ワイヤリング 「ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。 ● 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	<ul> <li>         ・ 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント</li> <li>         を新しいウィンドウで開きます。     </li> </ul>
Yi	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する [コンポーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	<ul> <li>注:</li> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
UI要素	説明
------	--
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
*	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。 折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> メボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

# [SWFレポートビューアー - コンポーネントの構 成] ダイアログボックス

SWFレポートビューアー - コンポーネントの構成
SWFレポートを選択してください
  利用可能なレポートがありません /agora/xcelsius folder.

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<レポートリスト>	SWFレポートビューアーコンポーネントに表示するSWFファイルを選択しま す。

# 米国地図コンポーネント

米国地図コンポーネントでは、KPIのステータス、値、傾向、またはメトリックの値をアメリカ合衆 国の地図上に表示します。KPIまたはメトリックに州別のブレークダウンが必要です。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにコンポーネントを表示できます。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

#### 他のコンポーネントへのワイヤリング

米国地図コンポーネントは、自動的にKPIビューコンポーネントにワイヤリングされます。詳細については、「KPIビューコンポーネント」(359ページ)を参照してください。



本項の内容

•	前提条件	. 436
•	ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	437

#### 前提条件

米国地図コンポーネントを利用するには、次の前提条件を満たしている必要があります。

- KPIまたはメトリックのブレークダウンが州別の1つだけである必要があります。KPIまたはメトリックに複数のブレークダウン(組織別など)が存在する場合、米国地図コンポーネントにデータが表示されません。
- KPIビューコンポーネントをページに追加する必要があります。米国地図コンポーネントは、自動 的にKPIビューにワイヤリングされます。これは、KPIビューでKPIをクリックしたときに、米国地 図コンポーネントにそのKPIのブレークダウンの値が表示されることを意味します。
- 州別のKPIまたはメトリックブレークダウンで使用する州の名前は、地図で使用される州に対応した標準名である必要があります。

ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

ダッシュボードページで、KPIビューコンポーネントと関連する米国地図コンポーネントを追加しま す。コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、以下の手順を参照してください。

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] 🔠 ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コ ンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>™</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

### 地図形式でのデータの表示

作成したダッシュボードページで、次の手順を実行します。

KPIビューコンポーネントで、<sup>11</sup>をクリックし、関連するKPIまたはメトリックを選択して保存します。KPIまたはメトリックに州別のブレークダウンが含まれている必要があります。例:

🔻 🕼 USA I	Data
▼ \$} U	SA Data - us_map_data StateNa
C.	USA Data: Alabama
C.	USA Data: Alaska
C.	USA Data: Arizona
C.	USA Data: Arkansas
C.	USA Data: California
C.	USA Data: Colorado
Cel.	USA Data: Connecticut
C.	USA Data: Delaware
C.	USA Data: Florida
Cl.	USA Data: Georgia

ダッシュボードページのKPIビューコンポーネントで、関連するKPIとメトリックをクリックします。

KPIに州別のブレークダウンが含まれる場合、米国地図コンポーネントには、州に対するKPIまた はメトリックの値に対応する色が表示されます。



メトリックに州別のブレークダウンが含まれる場合、米国地図コンポーネントでは、州に対す る値が存在する場合は州の背景が青で表示され、州に対するデータが存在しない場合は州の背 景が灰色で表示されます。



KPIビューでKPIまたはメトリックをクリックすると、州別のKPIブレークダウンの対応するリスト がKPIビューコンポーネントに表示されます。



3. 米国地図コンポーネントで、関連する州の上にカーソルを置くと、KPIまたはメトリックに関す る詳細を示すツールヒントが表示されます。



米国地図コンポーネントの凡例には、それぞれの色の説明が表示されます。



関連する州をクリックし、エクスプローラーに関連する州のKPI/メトリックブレークダウンを開きます。

□リファレンス

# サポートされる米国の州の名前

州の英語名のみがサポートされます。州の名前は以下のリストに対応する必要があります。

Alabama	
Alaska	
Arizona	

Arkansas
California
Colorado
Connecticut
Delaware
Florida
Georgia
Hawaii
Idaho
Illinois
Indiana
lowa
Kansas
Kentucky
Louisiana
Maine
Maryland
Massachusetts
Michigan
Minnesota
Mississippi
Missouri
Montana
Nebraska
Nevada
New Hampshire
New Jersey
New Mexico
New York
North Carolina
North Dakota
Ohio
Oklahoma
Oregon
Pennsylvania
Rhode Island

South Carolina
South Dakota
Tennessee
Texas
Utah
Vermont
Virginia
Washington
West Virginia
Wisconsin
Wyoming

# Web Intelligenceレポートビューアーコン ポーネント

Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネントには、選択したSAP BusinessObjectsレポートを表示できます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[ここをクリックして構 成してください]の[ここ]をクリックします。





**ヒント:** Web Intelligence レポートビューアーコンポーネントは、1つのSAP BusinessObjects レ ポートだけを表示します。複数のWeb Intelligence レポートビューアーをダッシュボードに表示 したい場合は、複数のWeb Intelligence レポートビューアーコンポーネントを作成し、それぞれ の名前を変更することができます。

### Web Intelligenceレポートのサイズの影響

Web Intelligenceレポートのサイズによって、ダッシュボードページでのレポートの表示方法が変わ ります。レポートのサイズは、374ピクセル (幅) × 199ピクセル (高さ)、583ピクセル (幅) × 204ピクセ ル (高さ)、374ピクセル (幅) × 324ピクセル (高さ) のいずれかです。レポートのサイズは、各Web Intelligenceレポートの説明で示されています。詳細については、『BA Reports Reference Guide』の 「Web Intelligence Reports and Operational Reports」を参照してください。

# タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項の内容

- Web Intelligence レポートビューアーコンポーネントのページフィルターコンポーネントへの 444

ワイヤリング .....

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します (必要なページがダッシュボー ドに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>66</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コ ンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、
   [OK]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

## Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネン トのページフィルターコンポーネントへのワイ ヤリング

Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネントをページフィルターコンポーネントにワイヤリ ングするには、Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネントに含めるレポートに、**<エンティ** ティ>;<ディメンション>形式の名前でプロンプトが追加されていることを確認します。このエンティ ティとディメンションは、ページフィルターコンポーネントでユーザーが選択するエンティティと ディメンションと対応しています。

ページフィルターの詳細については、「ページフィルターコンポーネント」(385ページ)を参照して ください。

**UI**の説明

Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネント

コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
•	プリファレンス     プリファレンス: 構成中のコンポーネン
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[名前] フィールドの内容を変 更して [OK] をクリックします。
•	<ul> <li>・ ワイヤリング</li> <li>ワイヤリング:構成中のコンポーネントの</li> </ul>
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。
	● 更新 更新:表示を更新します。このボタンは、
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	· <sup>3</sup> 新しいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント
	を新しいウィンドウで開きます。
YL	<b>コンポーネントの構成:</b> 関連するコンポーネントに対する[コンポーネントの

UI要素	説明
	構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	注:
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup>♥</sup> ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

# [Web Intelligenceレポートビューアー - コンポーネ ントの構成] ダイアログボックス

Web Intelligenceレポートビューアー - コンポーネントの構成	×
BOレポートを選択してください	
ABC - Batch Details	▼

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<レポートリスト>	Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネントに表示するBOレポート

UI要素	説明
	を選択します。レポートの詳細については、『BA Reports Reference Guide』の「Getting Started with Reports」を参照してください。

# Web Intelligenceスタティックレポート ビューアーコンポーネント

Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネントには、選択したBOレポートを表示 できます。独自のBOレポートを作成して、Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコン ポーネントを使用してダッシュボードに表示できます。

**注:** Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネントをダッシュボードのページ フィルターコンポーネントにワイヤリングすることはできません。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。





### BOレポートについて

Web Intelligenceスタティックレポートコンポーネントビューアーコンポーネントは、1つのB0レポー トだけを表示します。複数のB0レポートをダッシュボードに表示したい場合は、複数のWeb Intelligenceスタティックレポートコンポーネントビューアーコンポーネントを作成し、それぞれの名 前を変更することができます。

BOを使用して独自のBOレポートを作成し、Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコン ポーネントに表示することができます。詳細については、BOのドキュメントを参照してください。

**注:**利用可能なXcelsiusレポートのリストを表示するには、レポートのファイルである.**swf**を次の場所にコピーしてください。

<HP-BA>\glassfish\glassfish\domains\BTOA\xcelsiusディレクトリ

コンポーネントは、元のBOレポートを分析し、テーブルとグラフを返します。テーブルはHTML形式 のテーブルになり、グラフはWeb Intelligenceスタティックレポートコンポーネントビューアーコン ポーネント内のイメージになります。テーブルはWeb Intelligenceスタティックレポートコンポーネ ントビューアーコンポーネント表示の先頭に、グラフはコンポーネント表示の末尾に移動されるた め、元のBOレポートの構造が変更される場合があります。

# Web Intelligenceレポートのサイズの影響

Web Intelligenceレポートのサイズによって、ダッシュボードページでのレポートの表示方法が変わ ります。レポートのサイズは、374ピクセル(幅)×199ピクセル(高さ)、583ピクセル(幅)×204ピクセ ル(高さ)、374ピクセル(幅)×324ピクセル(高さ)のいずれかです。レポートのサイズは、各Web Intelligenceレポートの説明で示されています。詳細については、『BA Reports Reference Guide』の 「Web Intelligence Reports and Operational Reports」を参照してください。

### タスク

**主なタスク:**「ダッシュボード表示」(206ページ)

## ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] 🕮 ボタンをクリックします)。
- 2. [**コンポーネントギャラリー**] 🔍 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、
   [OK]をクリックします。
   必要な情報がコンプ。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。



Web Intelligenceスタティックレポートコンポーネ ントビューアー (表示)



コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明	
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。	
	プリファレンス プリファレンス:構成中のコンポーネン	
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>0K</b> ] をクリックします。	
	<ul> <li>・</li> <li>・</li></ul>	
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの	

UI要素	説明
	コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。
	• 更新 <b>更新:</b> 表示を更新します。このボタンは、 ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	<ul> <li>         ・ 新しいウィンドウで開く         新しいウィンドウで開く: コンポーネント     </li> <li>         を新しいウィンドウで開きます。     </li> </ul>
コンポーネントの構成:         関連するコンポーネントに対する[コンポー]           構成]         ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクを参照してください。	
	注:
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。</li> <li>これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク ダウンビューコンポーネントが、同じダッシュボードページ上の自 動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
≈	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。

UI要素	説明
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
X	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

[Web Intelligenceスタティックレポートコンポー ネントビューアー - コンポーネントの構成]ダイ アログボックス

このダイアログボックスでは、Web Intelligenceスタティックレポートコンポーネントビューアーコ ンポーネントに表示するレポートを選択できます。

Web Intelligenceスタティックレポートビューアー - コンポーネントの構成	×
利用可能なレポートのリストは、ユーザーの権限によって異なります。 コンポーネントに表示するレポートを選択してください。	
ABC - Batch Details	•
ОК	キンセル

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<レポートリスト>	Web Intelligenceスタティックレポートコンポーネントビューアーコンポーネ ントに表示するBOレポートを選択します。レポートの詳細については、 『BA Reports Reference Guide』の「Getting Started with Reports」を参照し てください。

# 世界地図コンポーネント

世界地図コンポーネントでは、KPIのステータス、値、傾向、またはメトリックの値を世界地図上に 表示します。KPIまたはメトリックに国別のブレークダウンが必要です。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにコンポーネントを表示できます。





- コンポーネントで使用される期間は、すべて会計年度の期間です(たとえば、会計年度の終わりは、システムレベルで設定した会計年度に依存します)。
- 権限:ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っているスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」というメッセージが表示されます。

#### 他のコンポーネントへのワイヤリング

世界地図コンポーネントは、自動的にKPIビューコンポーネントにワイヤリングされます。詳細については、「KPIビューコンポーネント」(359ページ)を参照してください。



#### 本項の内容

•	前提条件	456
•	ダッシュボードページへのコンポーネントの追加	456
•	地図形式でのデータの表示	457

#### 前提条件

世界地図コンポーネントを利用するには、次の前提条件を満たしている必要があります。

- KPIまたはメトリックのブレークダウンが国別の1つだけである必要があります。KPIまたはメトリックに複数のブレークダウン(組織別など)が存在する場合、世界地図コンポーネントにデータが表示されません。
- KPIビューコンポーネントをページに追加する必要があります。世界地図コンポーネントは、自動 的にKPIビューにワイヤリングされます。これは、KPIビューでKPIをクリックしたときに、世界地 図コンポーネントにそのKPIのブレークダウンの値が表示されることを意味します。
- 国別のKPIまたはメトリックブレークダウンで使用する国の名前は、地図で使用される国名に対応 した標準名である必要があります。

### ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

ダッシュボードページで、KPIビューコンポーネントと関連する世界地図コンポーネントを追加しま す。コンポーネントをページに追加する方法の詳細については、以下の手順を参照してください。

フォーマット済みのページにコンポーネントを追加するには、次の手順を実行します。

- 1. エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>283</sup> ボタンをクリックします)。
- 2. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをクリックまたはダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグします。

ダブルクリックで操作するには、ツールバーではなく、レイアウトからコンポーネントギャラ リーを開く必要があります。

- ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
- すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグ する場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コ ンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 4. [コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、 「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
- コンポーネントの[コンポーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。または、コンポーネントの中央にある[ここをクリックして構成してください]の[ここ]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、

[OK]をクリックします。

必要な情報がコンポーネントに表示されます。

詳細については、「ページレイアウトとコンポーネント」(216ページ)を参照してください。

### 地図形式でのデータの表示

作成したダッシュボードページで、次の手順を実行します。

KPIビューコンポーネントで、<sup>11</sup>をクリックし、関連するKPIまたはメトリックを選択して保存します。KPIまたはメトリックには国別のブレークダウンが必要です。例:

🔻 🕫 Revenue	70k	- 📀
▼ ଐp Revenue - world_countries COU		
🐼 Afghanistan	163	- 😣
🐼 Albania	126	- 😆
🕫 Algeria	461	- 📀
🐼 American Samoa	152	- 😣
🐼 Andorra	185	- 😣
🐼 Angola	284	- 🕰
🕢 Anguilla	238	- 🕰

2. ダッシュボードページのKPIビューコンポーネントで、関連するKPIとメトリックをクリックしま す。

KPIに国別のブレークダウンが含まれる場合、世界地図コンポーネントには、国に対するKPIまた はメトリックの値に対応する色が表示されます。



メトリックに国別のブレークダウンが含まれる場合、世界地図コンポーネントでは、国に対す る値が存在する場合は国の背景が青で表示され、国に対するデータが存在しない場合は国の背 景が灰色で表示されます。



KPIビューでKPIまたはメトリックをクリックすると、国別のKPIブレークダウンの対応するリスト がKPIビューコンポーネントに表示されます。

KPIĽュー		
Revenue (US\$) $\equiv$		
= FY2014/10(Oct) 🤣		\$133.128k
		_
	\$0.00	\$133k

3. 世界地図コンポーネントで、関連する国の上にカーソルを置くと、KPIまたはメトリックに関す る詳細を示すツールヒントが表示されます。



世界地図コンポーネントの凡例には、それぞれの色の説明が表示されます。



関連する国をクリックし、エクスプローラーに関連する国のKPI/メトリックブレークダウンを開きます。

□リファレンス

#### サポートされる国の名前

国の英語名のみがサポートされます。国の名前は以下のリストに対応する必要があります。

Afghanistan	
Akrotiri	
Albania	

lgeria
merican Samoa
ndorra
ngola
nguilla
ntarctica
ntigua and Barbuda
rgentina
rmenia
ruba
shmore and Cartier Islands
ustralia
ustria
zerbaijan
ahamas
ahrain
angladesh
arbados
assas da India
elarus
elgium
elize
enin
ermuda
hutan
olivia
osnia and Herzegovina
otswana
ouvet Island
razil
ritish Indian Ocean Territory
ritish Virgin Islands
runei
ulgaria
urkina Faso
urma

Burundi
Cambodia
Cameroon
Canada
Cape Verde
Cayman Islands
Central African Republic
Chad
Chile
China
Christmas Island
Clipperton Island
Cocos (Keeling) Islands
Colombia
Comoros
Cook Islands
Coral Sea Islands
Costa Rica
Cote d'Ivoire
Croatia
Cuba
Cyprus
Czech Republic
Democratic Republic of the Congo
Denmark
Dhekelia
Djibouti
Dominica
Dominican Republic
East Timor
Ecuador
Egypt
El Salvador
Equatorial Guinea
Eritrea
Estonia

Ethiopia	
Europa Island	
Falkland Islands	
Faroe Islands	
Federated States of Micronesia	
Fiji	
Finland	
France	
French Guiana	
French Polynesia	
French Southern Territories	
Gabon	
Gambia	
Gaza Strip	
Georgia	
Germany	
Ghana	
Gibraltar	
Glorioso Islands	
Greece	
Greenland	
Grenada	
Guadeloupe	
Guam	
Guatemala	
Guernsey	
Guinea	
Guinea-Bissau	
Guyana	
Haiti	
Heard Island and McDonald Islands	
Holy See (Vatican City)	
londuras	
Hong Kong	
dungary	
celand	

India
Indonesia
Iran
Iraq
Ireland
Isle of Man
Israel
Italy
Ivory Coast
Jamaica
Jan Mayen
Japan
Jersey
Jordan
Juan de Nova Island
Kazakhstan
Kenya
Kiribati
Козоvо
Kuwait
Kyrgyzstan
Laos
Latvia
Lebanon
Lesotho
Liberia
Libya
Liechtenstein
Lithuania
Luxembourg
Macau
Macedonia
Madagascar
Malawi
Malaysia
Maldives

lali
lalta
Iarshall Islands
lartinique
lauritania
lauritius
layotte
lexico
Ioldova
lonaco
Iongolia
Iontenegro
lontserrat
lorocco
lozambique
lyanmar
amibia
auru
avassa Island
lepal
etherlands
etherlands Antilles
ew Caledonia
ew Zealand
icaragua
iger
igeria
iue
orfolk Island
orth Korea
orthern Mariana Islands
orway
man
akistan
alau
anama

Papua New Guinea
Paracel Islands
Paraguay
Peru
Philippines
Pitcairn Islands
Poland
Portugal
Puerto Rico
Qatar
Republic of Serbia
Republic of the Congo
Reunion
Romania
Russia
Rwanda
Saint Helena
Saint Kitts and Nevis
Saint Lucia
Saint Pierre and Miquelon
Saint Vincent and the Grenadines
Samoa
San Marino
Sao Tome and Principe
Saudi Arabia
Senegal
Serbia and Montenegro
Seychelles
Sierra Leone
Singapore
Slovakia
Slovenia
Solomon Islands
Somalia
Somaliland
South Africa

South Korea South Sudan Spain Spratly Islands Sri Lanka Sidan Sirlanka Sudan Sudan Sudan Sudan Surhame Svalbard Swalland Sweden Swalland Sweden Switzerland Syria Taiwan Tajikistan Taikan Togo Tokelau Tonga Trinidad and Tobago Tromelin Island Turks and Caicos Islands Turks and Caicos Islands Turkan Uqanda Uhited Kingdom United Kingdom United Kingdom United Kingdom United States Vanuatu Vanuatu Venezuela	South Georgia and the South Sandwich Islands
South Sudan Spain Spratky Islands Sri Lanka Sudan Sudan Sudan Sudan Sudan Sudan Sudan Sudan Sudan Svalbard Swalbard Swalland Sweden Switzerland Syria Taiwa Tajikistan Tajikistan Thailand Togo Tokelau Tonga Trinidad and Tobago Tromelin Island Turks and Caicos Islands Turks and Caicos Islands Tuvalu Uganda Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	South Korea
Spain         Spratly Islands         Sri Lanka         Sudan         Suriname         Svalbard         Swazland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Tokelau         Tonga         Trinidad and Tobago         Trinelin Island         Turks and Caicos Islands         Turks and Caicos Islands         Tuvalu         Uganda         Uhited Arab Emirates         United Kingdom         United Kingdom         United States         Uruguay         Uzbekistan         Vanuatu         Venezuela	South Sudan
Spratky Islands         Sri Lanka         Sudan         Suriname         Svalbard         Swaziland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Torkelau         Tonga         Trinidad and Tobago         Tromelin Island         Turkey         Turkey         Turkey         Turkey         Turkey         Turke         Uganda         Ukraine         United Kingdom         United Kingdom         United Kingdom         United States         Urguay         Uzbekistan	Spain
Sri Lanka         Sudan         Suriname         Svalbard         Swaziland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Tokelau         Tonga         Trinidad and Tobago         Trirelin Island         Turkey         Turkey         Turkey         Turkey         Tuvalu         Uganda         Ukraine         United Kingdom         United Kingdom         United Kingdom         United States         Uruguay         Uzbekistan         Vanuatu	Spratly Islands
Sudan         Suriname         Svabard         Swaziland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Tokelau         Tonga         Trimida and Tobago         Trimelin Island         Turkey         Turkey N         Turkey N         Turkan Gaicos Islands         Turkan Gaicos Islands         United Arab Emirates         United Kingdom         United States         Uruguay         Uzbekistan         Vanuatu         Venezuela	Sri Lanka
Suriname         Svalbard         Svalbard         Swaziland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Tokelau         Tonga         Trinida and Tobago         Trinelin Island         Tunsia         Turks and Caicos Islands         Turkand         Uyanda         Ukraine         United Arab Emirates         United Kingdom         United States         Uruguay         Uzbekistan         Vanuatu         Venezuela	Sudan
SvalbardSwazilandSwedenSwitzerlandSyriaTaiwanTajikistanTajikistanTogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTurkeyTurkeyTurkenistanTurkeySudadaUnisiaTurkeySurda and SalandsTurkeyTurkenistanTurkeySurda and SalandsTurkeySalanda <tr< td=""><td>Suriname</td></tr<>	Suriname
Swaziland         Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Tajikistan         Togo         Tokelau         Tonga         Trinidad and Tobago         Trinidad and Tobago         Turkey         Turkey         Turkey         Turkey         Turke and Caicos Islands         Tuvalu         Uganda         Ukraine         United Arab Emirates         United Kingdom         United States         Uruguay         Uzbekistan         Vanuatu         Venezuela	Svalbard
Sweden         Switzerland         Syria         Taiwan         Tajikistan         Thailand         Togo         Tokelau         Tonga         Trinidad and Tobago         Tromelin Island         Turkey         Turkey         Turkey         Urkey         Uurkensistan         Turks and Caicos Islands         Uyanda         Ukraine         United Arab Emirates         United Kingdom         United States         Urguay         Uzbekistan         Vanuatu         Venezuela	Swaziland
SwitzerlandSyriaTaiwanTajikistanThailandTogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTurisiaTurkeyTurkey NTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUhited Arab EmiratesUnited KingdomUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Sweden
SyriaTaiwanTajikistanThailandTogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTurisiaTurkeyTurkeyTurka and Caicos IslandsTuvaluUgandaUhited Arab EmiratesUnited Republic of TanzaniaUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVanuatuVenezuela	Switzerland
TaiwanTajikistanThailandTogoTogaTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTurkajTurkeyTurkeyTurka and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited Republic of TanzaniaUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Syria
TajikistanThailandTogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTunisiaTurkeyTurkmenistanTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Taiwan
ThailandTogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTurkajTurkeyTurkmenistanTurka and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited StatesUrugayUzbekistanVanuatuVenezuela	Tajikistan
TogoTokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTunisiaTurkeyTurkmenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Thailand
TokelauTongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTunisiaTurkeyTurkenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited KingdomUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Тодо
TongaTrinidad and TobagoTromelin IslandTunisiaTurkeyTurkmenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited KingdomUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Tokelau
Trinidad and Tobago Tromelin Island Tunisia Turkey Turkmenistan Turks and Caicos Islands Tuvalu Uganda Ukraine United Arab Emirates United Arab Emirates United Republic of Tanzania United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	Tonga
Tromelin IslandTunisiaTurkeyTurkmenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited Republic of TanzaniaUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Trinidad and Tobago
TunisiaTurkeyTurkmenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUnited Arab EmiratesUnited KingdomUnited Republic of TanzaniaUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Tromelin Island
TurkeyTurkmenistanTurks and Caicos IslandsTuvaluUgandaUkraineUhited Arab EmiratesUnited KingdomUnited Kepublic of TanzaniaUnited StatesUruguayUzbekistanVanuatuVenezuela	Tunisia
Turkmenistan Turks and Caicos Islands Tuvalu Uganda Uganda Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	Turkey
Turks and Caicos Islands Tuvalu Uganda Uganda Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	Turkmenistan
Tuvalu Uganda Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu	Turks and Caicos Islands
Uganda Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu	Tuvalu
Ukraine United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu	Uganda
United Arab Emirates United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	Ukraine
United Kingdom United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	United Arab Emirates
United Republic of Tanzania United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	United Kingdom
United States Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	United Republic of Tanzania
Uruguay Uzbekistan Vanuatu Venezuela	United States
Uzbekistan Vanuatu Venezuela	Uruguay
Vanuatu Venezuela	Uzbekistan
Venezuela	Vanuatu
	Venezuela

etnam	
rgin Islands	
ake Island	
allis and Futuna	
lest Bank	
estern Sahara	
emen	
ambia	
mbabwe	

# Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コン ポーネント

コンポーネントの1つであるXcelsiusレポートビューアーコンポーネントは、選択したFlash形式の Xcelsiusレポートを表示します。

レポートは、SAP BusinessObjects Enterpriseでも表示できます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードの関連するページにレポートを表示できます。

コンポーネントを構成するには、[コンボーネントの構成]<sup>11</sup>ボタンをクリックします。これにより、 コンポーネントフィルターが表示されます。または、コンポーネント中央の[**ここをクリックして構** 成してください]の[ここ]をクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明

○詳細情報

- Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネントには、Xcelsiusレポートが1つだけ表示されます。複数のXcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネントをダッシュボードページに表示するには、複数のXcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネントを作成して、それぞれの名前を変更します。
- 独自のレポートを作成し、ダッシュボードのXcelsiusレポートビューアーコンポーネントに表示できます。

・タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項の内容
## 前提条件 - Xcelsiusコンポーネントが適切に動作 していることを確認する

Xcelsiusレポートが適切に動作していることを確認するには:

ダッシュボードページへのコンポーネントの追加

コンポーネントをページに追加するには、次の手順を実行します。

1. 前提条件

コンポーネントのレポート選択リストには、次の2つのタイプのXcelsiusレポートが表示されます。

- 自己生成レポート: データをそのままの状態で表示します。
- エグゼクティブダッシュボードで、関連するページを選択します(必要なページがダッシュボードに表示されていない場合は、[ページギャラリー] <sup>333</sup> ボタンをクリックします)。
- 3. [コンポーネントギャラリー] 🔜 ボタンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ページが開いたら、コンポーネントをダブルクリックしてレイアウト領域に配置するか、コンポーネントを選択してページ上の領域にドラッグし、[コンポーネントギャラリー]ページを閉じます。ユーザーインターフェイスの詳細については、「コンポーネントギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)を参照してください。
  - ターゲット領域が[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスで隠れている場合は、[コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスのタイトルバーをクリックし、画面上の別の場所にドラッグします。
  - すでにコンポーネントが定義されているターゲット領域に新しいコンポーネントをドラッグする場合は、新しいコンポーネントをターゲット領域のタイトルバーにドラッグします。コンポーネントの白い色の部分にはドラッグしないでください。
- 5. コンポーネント内で[**コンポーネントの構成**]<sup>11</sup>をクリックするか、コンポーネントの中央にある[**ここをクリックして構成してください**]の[**ここ**]をクリックします。
- 6. コンポーネントの[フィルター]ダイアログボックスが開いたら、表示したい情報を選択して、 [**OK**]をクリックします。
- 7. 必要な情報がコンポーネントに表示されます。

## ユーザー定義のFlashレポートを作成し、Xcelsius レポートビューアー (Flash) コンポーネントで表 示

FlashレポートをXcelsiusで作成する場合は、次の点に注意してください。

- XcelsiusのFlashレポートに追加するパラメーターの指定には、<エンティティ>;<ディメンション>の形式を使用します。このパラメーターは、レポートのプロンプトパラメーターとして使用されます。
- Flash形式で表示するレポートには、<エンティティ>;<ディメンション>のプロンプトを指定する必要があります。



## Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネン ト

次に、メトリックブレークダウンレポートでのXcelsiusレポートビューアーの例を示します。

Xcelsiusレポートビューアー			* 11   @ « ×
Filtered by Organization Spending for(Metric View	i); Period FY2012/11(Nov)		
Top 10 🔹 Spending by BL	- m	☆ ⊞	ш
900,000			_
800,000		780,000.0	_
700,000			
600,000	585,000.0		
500,000			_
400,000			
300,000			
200,000			
100,000			
0			
Labs	Finance	Engineering	

### コンポーネントツールバー

**注:** コンポーネントツールバーの説明は、すべてのコンポーネントに共通です。コンポーネント によっては要素の一部が無効になっている場合があります。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
▼	<b>コンポーネントメニュー:</b> 次のメニュー項目を選択できます。
	<ul> <li>プリファレンス</li> <li>プリファレンス:構成中のコンポーネン</li> </ul>
	トの [ <b>&lt;コンポーネント名&gt;プリファレンス</b> ] ダイアログボックスが開きま す。コンポーネントの名前を変更するには、[ <b>名前</b> ] フィールドの内容を変 更して [ <b>OK</b> ] をクリックします。
	● ワイヤリング ワイヤリング:構成中のコンポーネントの
	[ワイヤリング] ダイアログボックスが開き、そのコンポーネントをほかの コンポーネントに関連付けることができます。詳細については、「コン ポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。
	<ul> <li>更新</li> <li>更新:表示を更新します。このボタンは、</li> </ul>
	ページフィルターコンポーネントでは無効です。
	・ おしいウィンドウで開く 新しいウィンドウで開く: コンポーネント
	を新しいワインドワで開きます。
Y	<b>コンボーネントの構成:</b> 関連するコンボーネントに対する [コンボーネントの 構成] ダイアログボックスを開きます。詳細については、次の各セクション を参照してください。
	注:
	<ul> <li>このボタンはブレークダウンビューコンポーネントでは無効です。 これは、ブレークダウンビューコンポーネントが、同じダッシュ ボードページ上の自動的にワイヤリングされる関連コンポーネント によってフィルターされるためです。このようにワイヤリングされ たKPIビュー、履歴ビュー、またはRolodexコンポーネントのいずれか で項目を選択すると、ブレークダウンビューコンポーネントには、 選択したKPIのKPIブレークダウンの値が表示されます。</li> <li>このボタンは予測コンポーネントでは無効です。これは、ブレーク</li> </ul>
	タワンヒューコンホーネントか、同じタッシュボードページ上の目

UI要素	説明
	動的にワイヤリングされる関連コンポーネントによってフィルター されるためです。このようにワイヤリングされた履歴ビューのいず れかで項目を選択すると、予測コンポーネントには、選択したKPIの 予測データが表示されます。
	<b>注:</b> または、コンポーネント中央の [ <b>ここをクリックして構成してくださ</b> い] の [ <b>ここ</b> ] をクリックします。
0	オンラインドキュメントが開き、構成中のコンポーネントに関するページが 表示されます。
▲	<b>コンポーネントを折りたたむ:</b> コンポーネントを折りたたみます。
	折りたたまれたコンポーネントを展開するには、折りたたまれたコンポーネ ント上の <sup></sup> ▼ボタンをクリックします。
	サイズ変更ハンドルをドラッグすると、コンポーネントの表示領域を水平方 向に拡大または縮小します。
×	<b>コンポーネントの削除:</b> コンポーネントをページから削除します。

# [Xcelsiusレポートビューアー (Flash) - コンポーネ ントの構成] ダイアログボックス

Xcelsiusレポートビューアー - コンポーネントの構成		×
   Xcelsiusレポートを選択してください		
KPI Audit 🔻		
	0K	キャンセル

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します (関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
<レポートリスト>	Xcelsiusレポートビューアー (Flash) コンポーネントで表示するFlash形式の

UI要素	説明
	Xcelsiusレポートを選択します。
	<b>注:</b> Xcelsiusコンポーネントまたはメトリックブレークダウンコンポーネ ントでメトリックブレークダウンレポートのデータを表示するには、 ページに履歴メトリックビューコンポーネントを追加する必要がありま す。履歴メトリックビューコンポーネントニアのメトリックのグラフを クリックすると、メトリックブレークダウンのリストがメトリックブ レークダウンレポートリストに表示されます。ここから、メトリックブ レークダウン情報を表示できます。

# カスタマイズされた静的または動的URLコ ンポーネント

静的URLを使用した場合、コンポーネントは単に入力したURLを開きます。動的URLを使用した場合、 コンポーネントのURLはページ上のほかのコンポーネントに応答します。

#### アクセス方法:

コンポーネントギャラリーで、[**外部コンポーネントの追加**] \*\* ボタンをクリックするか、コンポー ネントを選択して[**コンポーネントのプロパティ編集**] 🖉 ボタンをクリックします。

いの説明 詳細情報 タスク



**注:** 外部コンポーネントのURLは、次のいずれかで始まる必要があります: https://、http://、またはftp://。

## • タスク

主なタスク:「ダッシュボード表示」(206ページ)

本項の内容

## 単純なURLコンポーネントの作成

- ダッシュボードで、ダッシュボードツールバーの [コンポーネントギャラリー] ズ ボタンをク リックするか、ダッシュボードの空のコンポーネント内で、[コンポーネントの追加] バタ ンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスが開いたら、[外部コンポーネントの追加] \*
   ボタンをクリックします。

- 3. [新規コンポーネント] ダイアログボックスが開いたら、名前、URL、および説明を入力して、 [**OK**] をクリックします。
- オプション。[コンポーネントのカテゴリ分け] 領域で、コンポーネントを割り当てる1つまたは 複数のカテゴリを選択します。

新しいコンポーネントがコンポーネントギャラリーに追加され、任意のページに追加できるよう になります。

### 動的URLの作成

- ダッシュボードで、ダッシュボードツールバーの[コンポーネントギャラリー] ぶ ボタンをク リックするか、ダッシュボードの空のコンポーネント内で、[コンポーネントの追加] ボタ ンをクリックします。
- [コンポーネントギャラリー]ダイアログボックスが開いたら、[外部コンポーネントの追加] \*
   ボタンをクリックします。
- 3. [新規コンポーネント] ダイアログボックスが開いたら、コンポーネントの名前とURLの静的部分 を入力します。
- 4. オプション。[コンポーネントのカテゴリ分け] 領域で、コンポーネントを割り当てる1つまたは 複数のカテゴリを選択します。
- 5. [**ワイヤリングコンテキスト**] 領域で、その属性がURLパターンの定義に使用できるコンテキスト を、1つまたは複数選択します。
- 6. [URLパラメーターと値]領域で、[新規パラメーター] \*\* ボタンをクリックします。
- [新規パラメーター]ダイアログボックスが開いたら、URLパート(パラメーターを追加するURLの 領域)とパラメーターの名前を選択し、[OK]をクリックします。パラメーターが[URLパラメー ターと値]テーブルに追加されます。
- 該当する属性を [属性] リストからドラッグします。リストに表示される属性は、[ワイヤリング コンテキスト] 領域で選択したコンテキストに基づきます。
   [URLパターン] 領域には、作成した動的URLが、ダイアログボックスの上の領域の静的URLと、定 義したURLパラメーターを使用して表示されます。
- [OK]をクリックしてコンポーネントを保存します。
   新しいコンポーネントがコンポーネントギャラリーに追加され、任意のページに追加できるようになります。



## [新規コンポーネント]/[コンポーネントの編集] ダイアログボックス

新規コンポーネン	٢				
URLを入力して、 *名前:	使用するすべて 	ເຫ	コンテキストのバラ	メータを定義して、URLバター	シを作成します。
*URL :	https://www.g	oog	le.com/search?q=t	ıp	
説明 <b>:</b>					
	□ 最新の更新	i∋^	ドルを表示		
> コンボーネ:	ントのカテゴリ分	ነታ			
▼ 配線の構成	Ì				
ワイヤリングコ	ンテキスト   +	Ī	Ū.		
KPIリストの選	択		KPIListItemChang	edのURLバラメータと値	
			* 属性リストから。 選択した属性を	属性をドラッグするか、Alt+C パラメータ値に挿入できます。	[trl + l丰―を押して、
			*		属性:
			URLバラメータ	値	<< dimensionVal
			(バス)	search	<< kpild >>
			q	hp	<< periodName
			URLバターン:	https://www.google.com/sea	arch?q=hp
				ОК +	キンセル ヘルブ

### <上のペイン>

UI要素	説明
0	<b>更新</b> : URLの静的部分を編集した場合、[更新] をクリックして下のURLパターン を更新します。
名前	コンポーネントに割り当てる名前を入力します。
URL	コンポーネントのURLを入力します。 パラメーターを使用する動的URLを作成している場合、URLの静的部分をここ に入力します。
	<b>例</b> : Googleで文字列hpを検索するURLは、次の形式を取ります: http://www.google.com/search?q=hp。このURLの静的部分は、疑問符より 前の次の部分です: http://www.google.com/search。
	BAはセキュアなHTTPS上で実行されるため、静的URLを作成している場合に HTTPを使用すると、ブラウザーによって安全でないスクリプトとみなされてリ ンクがブロックされる可能性があります。Chromeを使用している場合は、URL バーの右側に小さなシールド(盾)が表示されます。IEを使用している場合は、 [インターネット オプション] > [セキュリティ] > [インターネット] > [レベルの カスタマイズ]を選択し、[混在したコンテンツを表示する]の下の[有効にす る] ボックスがオンになっていることを確認します。また、証明書エラー(自己 署名など)がある場合、一部のブラウザーでフレーム内にページがロードされ ないことがあります。この場合、エラーがない状態でページをロードできるよ うにして(たとえば、信頼されたストアに証明書をインポートして)、もう一度 やり直してください。
説明	コンポーネントの説明。

#### [コンポーネントのカテゴリ分け] 領域

ドロップダウン要素をクリックして、既存のカテゴリのリストを表示します。1つまたは複数のカテ ゴリを選択できます。新しいカテゴリを作成することもできます。詳細については、「コンポーネン トギャラリーとコンポーネントカテゴリ」(234ページ)の「左ペイン」のセクションを参照してくだ さい。

#### 配線の構成

この領域では、1つまたは複数のコンテキストを選択します。このコンテキストの属性は、URLパ ターンの定義に使用できます。

### 次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

UI要素	説明
ワイヤリングコ ンテキスト	構成済みのワイヤリングコンテキストをリストします。各行は、その属性が URLパターンの定義に使用できるコンテキストを表しています。
+	<b>コンテキストの追加</b> : クリックして、その属性がURLパターンの定義に使用でき るコンテキストを追加します。
	[ <b>コンテキストの追加</b> ] ボタンを使用するには、[URL] ボックスにURLが入力され ている必要があります。
	[コンテキストの選択] ダイアログボックスでは、追加するコンテキストを選択 できます。
	<ul> <li>コンテキストの選択</li> <li>フィルターの変更</li> <li>財務フィルターの変更</li> <li>財務期間の変更</li> <li>KPIリストの選択</li> <li>ブレークダウンの選択</li> <li>ブレークダウンの選択</li> <li>目標の選択</li> <li>BH22 団世のの支ま</li> </ul>
	次の中から選択できます。 • KPIリストの選択:ソースコンポーネントでKPIを選択すると、このコンテキ
	ストがターゲットコンポーネントに送信されます。 • 目標の選択: ソースコンポーネントで目標を選択すると、このコンテキスト がターゲットコンポーネントに送信されます。
Ŵ	<b>削除</b> : ワイヤリングコンテキストを選択してこのボタンをクリックすると、コ ンテキストはリストから削除されます。

### KPIリストの選択と目標の選択用の [URLパラメーターと値] 領域

この領域では、URLパラメーターと値を追加して、ワイヤリングコンテキストの属性を使用するURL パターンを作成できます。 次にユーザーインターフェイス要素について説明します。

* 新規パラメーター: クリックするとURLパラメーターを追加できます ターを追加するURLの部分を、[URLパート]で次の中から選択します	<sup>-</sup> 。パラメー <sup>-</sup> 。
<b>パス</b> : パラメーターはURLのパス部分で用いられます。	
<b>クエリストリング</b> : パラメーターはURLのクエリストリングで用いら	れます。
<b>フラグメント</b> : パラメーターはURLの残りの部分で用いられます。	
[URLパラメーター] ダイアログボックスが表示されたら、[ <b>名前</b> ] ボッ ラメーター名を入力します。	クスにパ
新規バラメータ ×	
http(s):// domain / path ? <b>query_string</b> # fragment	
・ クエリストリング	
◎ フラグメント	
*名前: 新規パラメータ	
<b>OK</b> キャンセル	
<b>例</b> : http://www.google.com/search?q=hpに基づいて動的URLを作成 は、qという名前のURLパラメーターを追加します。	成するに

UI要素	説明	
	新規コンボーネント       マ         URLを入力して、使用するすべてのコンテキストのパラメータを定難して、URLパターンを作成します。         *名前:         *URL:         URL:         URL:         B新の更新ラベルを表示         >コンボーネントのカテゴリ分け         ● 配象の構成         ワイヤリングコンテキスト         * 「         KPUストの方式リンテキスト         * 「         KPUストの適振         * 「         KPUストの意識状         * 「         * *	
URLパラメーター と値	構成済みのURLパラメーターをリストします。 各行は、URLパターンの作成に使用できるURLパラメーターの名前とその値を 表します。パラメーター名を定義した後で、URLパラメーターの[ <b>属性</b> ] 領域か ら[ <b>値</b> ] 領域に属性をドラッグします。 パラメーター値を編集するには、値自体をクリックして、その内容を編集しま	
属性	す。 ここには、URLパターンの作成に使用される属性のリストが含まれます。この リストは、[ワイヤリングコンテキスト]領域で選択したコンテキストに依存し ます。 • [ワイヤリングコンテキスト]領域でKPIChangeを選択した場合、属性 < <kpild>&gt;がURLパターンの作成に利用できます。このパラメーターは、ソー スコンポーネントでクリックしたKPIのIDを表し、KPIのIDをパラメーターと して外部URLを実行するために使用します。</kpild>	

UI要素	説明
	<ul> <li>[ワイヤリングコンテキスト] 領域でObjectiveChangesを選択した場合、属性</li> <li><id>&gt;および&lt;<type>&gt;がURLパターンの作成に利用できます。</type></id> <li>&gt;パラ</li> <li>メーターは、ソースコンポーネントでクリックした目標のIDを表し、</li> <li>&lt;<type>&gt;パラメーターはその目標のタイプを表します。これらは、KPIのID</type></li> <li>をパラメーターとして外部URLを実行するために使用します。</li> <li>属性をURLパラメーターの値として使用するには、属性をこの領域からパラ</li> <li>メーターの[値] 領域にドラッグします。</li> </li></ul>
URLパターン	ここには、[URL]フィールドに入力した静的URLと、[URLパラメーター]領域で 定義したURLパラメーターを使用して作成されたURLパターンが表示されま す。

# コンポーネント間のワイヤリング

ダッシュボードには既定のコンポーネントがあります。既定のコンポーネントは、コンポーネント ギャラリーに格納されています。

外部コンポーネントを追加することもできます。外部コンポーネントもコンポーネントギャラリーに 格納されています。詳細については、「カスタマイズされた静的または動的URLコンポーネント」 (475ページ)を参照してください。

コンポーネントの間のワイヤリングを定義して、ダッシュボードページのコンポーネント間の相互作 用を指定できます。コンポーネントのワイヤリングでは、ターゲットコンポーネントでの表示を制御 するソースコンポーネントを定義します。エンドユーザーがソースコンポーネントでKPIまたはメト リックをクリックすると、そのソースコンポーネントにワイヤリングされているすべてのターゲット コンポーネントに、クリックされたKPIまたはメトリックに関連するデータがターゲットコンポーネ ントの表示形式を使用して表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードのツールバーにある [**ワイヤリング**] <sup>- (\*</sup> ボタンをクリックします。

詳細情報 タスク UIの説明



ワイヤリング

ワイヤリングはコンポーネント間で行われます。コンポーネントの内部形式には依存しません。

同じページの別のコンポーネントにワイヤリングされている特定のコンポーネントで(ブレークダウンに)ドリルダウンし、トリガー元のコンポーネントをクリックした場合、ブレークダウン状態のコンポーネントはトップレベルに復元されて、トリガー元のコンポーネントに基づいてフィルターされます。

コンポーネント間のワイヤリングは、次の手順でセットアップします。

ソースコンポーネント	コンテキスト	ターゲットコンポーネント
<ul> <li>KPI Rolodexコンポーネント</li> <li>ブレークダウンビューコン ポーネント</li> <li>バブルチャートビューコン ポーネント</li> </ul>	KPI/メトリックの選択	履歴ビューコンポーネント 予測コンポーネント

ソースコンポーネント	コンテキスト	ターゲットコンポーネント
<ul> <li>クラスター棒グラフビューコンポーネント</li> <li>折れ線/棒グラフビューコン</li> </ul>		
ボーネント <ul> <li>履歴メトリックビューコン</li> <li>プーネント</li> <li>履歴ビューコンポーネント</li> </ul>	ブレークダウンの選択	ブレークダウンビューコンポーネ ント 世界地図コンポーネント 米国地図コンポーネント
<ul> <li>・ 円グラフコンポーネント</li> <li>・ 積み上げ棒グラフビューコン ポーネント</li> <li>・ KPIリストコンポーネント</li> </ul>	メトリックブレークダウ ンの選択	ブレークダウンビューコンポーネ ント 世界地図コンポーネント 米国地図コンポーネント
・ KPIリストコンポーネント	KPIリストの選択	
スコアカード	目標の選択	KPIビューコンポーネント

詳細については、「[ワイヤリング]ダイアログボックス」(488ページ)を参照してください。



## コンポーネント間のワイヤリングのセットアッ プ

コンポーネントのワイヤリングは、同じダッシュボードページのコンポーネント間の相互作用を定義 します。2つのコンポーネントの間にワイヤリングがある場合、片方のコンポーネントがそのコン ポーネントで変更された内容を示すワイヤリングコンテキストを送信すると、もう一方のコンポーネ ントがその変更に応答します。

**例**: KPIビューコンポーネントと、同じページにある履歴ビューコンポーネントが配線されてい て、KPIビューコンポーネントがソースになっている場合、KPIビューコンポーネントでKPIが選択 されると、履歴ビューコンポーネントにそのKPIの詳細が表示されます。

スコアカードコンポーネントで目標を選択した場合、同じページでスコアカードコンポーネントと配 線されているコンポーネントに、その目標のすべてのKPIの詳細が表示されます。

設定済みページではワイヤリングがあらかじめ定義されています。既定のワイヤリング定義を変更することもできます。

ページのコンポーネントの間のワイヤリングを構成するには、次の手順を実行します。

- ダッシュボードで該当するページを開き、ダッシュボードのツールバーの [ワイヤリング] <sup>●</sup> ボ タンをクリックします。[ワイヤリング] ダイアログボックスが開きます。ユーザーインターフェ イスの詳細については、次を参照してください。読み取り専用の設定済みページでは、[ワイヤ リング] ボタンは通常は無効になっています。
- [ワイヤリング]ダイアログボックスの左側の[ソースコンポーネント]には、ワイヤリングコンテキストを1つまたは複数のターゲットコンポーネントに送信するコンポーネントがリストされます。適切なソースコンポーネントを選択します。たとえば、スコアカードを選択します。
- 3. [コンテキスト] ボックスには、選択したソースコンポーネントから送信できるコンテキストがリ ストされます。適切なコンテキストを選択します。たとえば、[目標の選択]を選択します。コン テキストとその説明のリストについては、次を参照してください。

ワイヤリング 'KPビュー'				
コンテキスト		ターゲ	ットコンポーネント	
KPIビューの選択				
ブレークダウンの選択				
			履歴ビュー	
			76)正一二	
ページワイヤリングの	サマリ			
ソースコンボーネント	コンテキスト		ターゲット コン	パーネ
スコアカード	目標の選択		KPIĽ⊐−	
KPIĽュー	KPビューの遅	訳	履歴ビュー	
		ОК	キャンセル	ヘルブ

- [ワイヤリング] ダイアログボックスの右側の [ターゲットコンポーネント] のリストで、ソースコンポーネントからコンテキストを受信するコンポーネントを1つまたは複数選択します。たとえば、KPI Viewを選択します。
- [OK] をクリックします。
   [ページワイヤリングのサマリー] 領域に、ページに定義されているすべてのワイヤリングが表示 されます。
- ダッシュボードページで、スコアカードコンポーネント内の該当する目標の三アイコンの上に カーソルを移動します。ツールヒントに目標のKPIが表示されます。例: コスト (ディメンション 別)。

財務ビュー	
年次財務レポー	+ =
月ごとの資産ゴ	年次財務レポート 所有者が未定義 ▲ 有効なデータが利用できません 利用できる履歴データがありません ● ● 年次財務レポート データが… 2 ● 「コスト(ディメンシ…データが… 2 ● 実績コスト対計画… データが… 2 表示数を増やす… 利用できる注釈がありません
	11111111111111111111111111111111111111

スコアカードコンポーネントで、関連する目標をクリックします。スコアカードコンポーネントに配線されたKPビューコンポーネントがただちに更新され、目標のKPIに関するKPIビューが表示されます。例: コスト (ディメンション別)。さらに、KPビューコンポーネントの期間がスコアカードの期間にリセットされます。KPIビューの表示がスコアカードコンポーネントに配線されているというメッセージが表示されます。

KPビュー 年次財務レポート (スコアカード)でフィルター			▼ ĭi   @ « × ×
コスト (ディメンション別) 三	実績コスト対計画コスト 三	利用可能なコスト (US\$) ≡	
データがありません	データがありません	データがありません	(
🛛 FY2014 💻	FY2014 -	🖉 FY2014 💻	

8. KPIビューコンポーネントを元の表示に戻すには、黄色のメッセージ上にあるXをクリックしま す。



# [ワイヤリング]ダイアログボックス

コンテキスト		ターゲ	ットコンポーネント	
KPビューの選択	KPビューの選択			
ブレークダウンの選択				
			履歴ビュー	
			腹圧ニュ	
ページワイヤリングのサ	ナマリ			
ソースコンポーネント	コンテキスト		ターゲット コン	パーネ
スコアカード	目標の選択		KPビュー	
KPIĽ =	KPビューの選	訳	履歴ビュー	
		ОК	キャンセル	ヘルプ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明

ソースコンポ ネント	この列には、ほかのコンポーネントにコンテキストを送信する能力を持つすべてのページコンポーネントが表示されます。ソースコンポーネントを選択した後、コンテキストとターゲットコンポーネントを選択します。
コンテキスト	左の列でソースコンポーネントを選択すると、コンテキストボックスにこの ソースからターゲットコンポーネントに送信できるコンテキストのリストが表示されます。
	ターゲットに送信するコンテキストを選択し、ターゲットコンポーネントを選 択します。
	コンテキストは次のとおりです。
	<ul> <li>KPI/メトリックの選択: ユーザーがソースコンポーネントでKPI/メトリック を選択すると、KPIまたはメトリックの選択イベントが発行されます。ソー スコンポーネントにワイヤリングされたターゲットコンポーネントがそのイ ベントを受信し、その表示が更新されて、関連する情報が表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>ブレークダウンの選択: ユーザーがソースコンポーネントでKPIを選択する</li> <li>と、ブレークダウンの選択イベントが発行されます。ソースコンポーネント</li> <li>にワイヤリングされたターゲットコンポーネントがそのイベントを受信し、</li> <li>その表示が更新されて、関連する情報が表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>メトリックブレークダウンの選択: ユーザーがソースコンポーネントでメト リックを選択すると、メトリックブレークダウンの選択イベントが発行され ます。ソースコンポーネントにワイヤリングされたターゲットコンポーネン トがそのイベントを受信し、その表示が更新されて、関連する情報が表示さ れます。</li> </ul>
	• 目標の選択: ユーザーがスコアカードコンポーネントで目標を選択すると、 目標の選択イベントが発行されます。スコアカードコンポーネントにワイヤ リングされたターゲットコンポーネントがそのイベントを受け取り、その表 示が更新されて、目標の子 (第1レベルのKPI)の詳細が表示されます。
	<ul> <li>KPIリストの選択: ユーザーがソースコンポーネントでKPIを選択すると、KPI の選択イベントが発行されます。ソースコンポーネントにワイヤリングされ たターゲットコンポーネントがそのイベントを受信し、その表示が更新され て、関連する情報が表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>フィルターの変更: ユーザーがページフィルターコンポーネントで別のエン ティティ:ディメンションを選択すると、フィルターの変更イベントが発行 されます。スコアカードコンポーネントにワイヤリングされたコンポーネン トがそのイベントを受け取り、表示が更新され、目標の子(目標、KPI、また はKPIブレークダウン)の詳細が表示されます。ページフィルターコンポーネ ントにワイヤリングされているコンポーネントが「ワイヤリング」(483ペー ジ)に表示されます。</li> </ul>
ターゲットコ ポーネント	この列には、ページ上のほかのコンポーネントからコンテキストを受信する能力を持つすべてのページコンポーネントが表示されます。

	ソースコンポーネントとコンテキストを選択すると、指定したソースから当該 コンテキストを受信する能力を持つすべてのページコンポーネントがここに表 示されます。 ソースコンポーネントからコンテキストを受信するターゲットコンポーネント のチェックボックスをクリックして選択します。複数のターゲットコンポーネ ントを選択できます。				
	ターゲット コン	ボーネント			
		KPIĽ = -			
ページワイヤリ ングのサマリー	ここには、ペー 各行に、ソース トを受信するタ	ジに定義されてし 、ソースが送信す ーゲットコンポー	ヽるワイヤリングの └るコンテキスト、 -ネントが表示され	サマリーが表示されます。 ソースからこのコンテキス ます。	
	ページワイヤリングの	)サマリ			
	ソースコンポーネント	コンテキスト	ターゲットコンボーネ		
	スコアカード	目標の選択	KPE		
		日信の選択 KPH <sup>ビ</sup> ューの選択	NFIL ユー 阿爾ビュー		
			ngue		

# ダッシュボードページのパーソナライズ

ダッシュボードページをパーソナライズするには、ユーザーの画像をダッシュボードフレームに追加 します。

詳細情報 タスク

🖸 詳細情報

### 制限事項

イメージのアップロードには次の制限があります。

• 画像のサイズは5 MB未満である必要があります。

• 使用可能な拡張子は、.png、.jpg、.jpeg、.png、.tif、.bmpです。

• 最適な表示のための推奨される大きさの比率は3×4です。

アップロードの際に、イメージのサイズは自動的に100×100ピクセルに変更され、ファイルのサイズが縮小されます。



ユーザーの画像のダッシュボードフレームへの 追加

ユーザーの画像をダッシュボードフレームに追加するには、次の手順を実行します。

1. [ユーザー]の隣のグラフィックにカーソルを移動します。



2. 表示される [イメージの追加] ボタンをクリックします。



3. [イメージの追加/編集]ダイアログボックスが開いたら、適切な画像を指定します。イメージが ダイアログボックスに表示されます。[送信]をクリックすると変更が保存されます。

[参照]をクリックして、アップロードするイメージを選択	してください
	参照
送信	キャン

該当する画像がダッシュボードフレームに表示されます。

ューザー: 🥑		administrator	ログアウト	ヘルプ 🕄	
---------	--	---------------	-------	-------	--

#### また、該当するユーザーから送信される注釈にもこの画像が表示されます。



# ビジネス目標の表示と分析

自分のグループに対して設定したビジネス目標は、次のように表示して分析できます。

- ダッシュボードのページでは、権限に応じて、自分、自分の部門、または自分の企業に対して設定したビジネス目標を表示して分析できます。この情報は、関連するスコアカードおよびコンポーネントに表示されます。管理者がダッシュボードに関連するページをセットアップしたら、ページに含まれる情報を表示し、下記の機能を使用して分析できます。詳細については、「ダッシュボード」(494ページ)を参照してください。
- ページ内のスコアカードコンポーネントから、カーソルを目標名の端にある アイコンの上に動かすと、目標に関する時系列情報、目標のKPIに関する詳細、およびユーザーがスコアカードに追加した注釈が表示されます。ほかの設定済みコンポーネントから、カーソルをKPI名の端にある アイコンの上に動かすと、KPIに関する時系列情報、その値、傾向、およびステータス、およびほかのユーザーがKPIに追加した注釈が表示されます。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)」(507ページ)を参照してください。
- [エクスプローラー]タブには、選択した項目の構成と履歴情報が表示されます。データの分析や調査も実行できるので、利用可能なデータを包括的な視点から理解することができます。分析機能では、KPIやメトリックなどBusiness Analyticsのメインフローエンティティを対象にした分析を行い、KPIまたはメトリックの計算に使用される数式の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、および計算に使用されるデータの分析などを実行します。さらに、選択したKPIまたはKPIブレークダウンが関連する目標、パースペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノードがツリー形式で表示されます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。

ダッシュボード

管理者がダッシュボードに関連するページをセットアップしたら、ページに含まれる情報を表示し、 下記の機能を使用して分析できます。

**権限:** ダッシュボードコンポーネントと構成ダイアログボックスには、ユーザーが権限を持っている スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウンが表示されます。権限がない要素 は表示されません。コンポーネント内のすべての要素を表示する権限がない場合は、「データが存在 しないか、適切な表示権限がないため、データは表示されません。管理者に連絡してください。」と いうメッセージが表示されます。

### アクセス方法:

ダッシュボードにある関連タブをクリックします。

詳細情報 タスク

■詳細情報

### 設定済みページ

設定済みページは、エグゼクティブが自身のビジネスチャレンジの管理に役立つ戦略を計画、拡張、 監視するのに役に立つツールを提供します。各役割のビジネスチャレンジの詳細については、「エグ ゼクティブペルソナおよびそのビジネスチャレンジ」(13ページ)を参照してください。

### 10進数の精度

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

ĸ₽Ľュー		- ¥   0 ∧ ×
		(4) v
	SLA遵守率 (%)	=
	100 000	26
	0.00%	100%
	- 🤣 FY	/2014/07(07)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

[	-100	13715060	36123929	55136524	7287.457		23456789



本項の内容

•	ページへの関連する目標の表示	496
•	ページ上のコンポーネントを使用した目標の分析	496
•	部下のスコアカードへのドリルダウン	497
•	特定の目標またはKPIに関する詳細情報の表示	.498

		. 500
•	[エクスプローラー] タブの目標、KPI、KPIブレークダウンの詳細情報へのドリルダウン	.500
•	[エクスプローラー] タブのスコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウ	
ン、	メトリック、メトリックブレークダウン、孤立KPIの詳細情報の表示	. 501
•	目標またはKPIの意味の理解	.501
•	KPIブレークダウン情報へのドリルダウン	. 501
•	エクスプローラーを使用した選択したKPIまたは目標に関する詳細情報の表示	502
•	特定の目標またはKPIへの注釈の追加	. 502
•	関連する注釈の印刷、メール送信、またはPDF化	503
•	スコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリッ	
クフ	プレークダウン、または未割り当てのKPIの詳細情報の表示	. 503
•	KPIまたはメトリックの未加工データの分析	504
•	目標、パースペクティブ、およびスコアカードに対する1つのKPIの影響の理解	. 505
•	KPIの予測の分析	505

### ページへの関連する目標の表示

● Dイヤリング機能にトスVDIに関するその他の詳細の主張

使用可能なページが管理者によって準備されています。これらのページは、自分または自分の部門に 対して設定した目標を反映しています。

ダッシュボードで、関連するタブをクリックします。これには、目標の分析に使用できるいくつかの コンポーネントが含まれています。

# ページ上のコンポーネントを使用した目標の分 析

権限に応じて、ページには特定のスコアカードコンポーネントが含まれる場合があります。各スコア カードコンポーネントには、選択されたパースペクティブおよびその目標のリストの結果が、測定期 間中のその値、傾向、およびステータスとともに表示されます。これは、ページの対象となるエグゼ クティブに率いられる組織の戦略的ゴールを表します。

権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。

さらに、ページには追加情報を表示するその他のコンポーネントが含まれる場合があります。

- ブレークダウンビューコンポーネント: 詳細については、「ブレークダウンビューコンポーネント」(274ページ)を参照してください。
- バブルチャートビューコンポーネント: 詳細については、「バブルチャートビューコンポーネント」(282ページ)を参照してください。

- クラスター棒グラフビューコンポーネント:詳細については、「クラスター棒グラフビューコン ポーネント」(293ページ)を参照してください。
- 予測コンポーネント: 詳細については、「予測コンポーネント」(305ページ)を参照してください。
- 履歴メトリックビューコンポーネント: 詳細については、「履歴ビューコンポーネント」(324ページ)を参照してください。
- 履歴ビューコンポーネント: 詳細については、「履歴ビューコンポーネント」(324ページ)を参照してください。
- KPIリストコンポーネント: 詳細については、「KPIリストコンポーネント」(338ページ)を参照して ください。
- KPI Rolodexコンポーネント: 詳細については、「KPI Rolodexコンポーネント」(347ページ)を参照してください。
- KPIビューコンポーネント: 詳細については、「KPIビューコンポーネント」(359ページ)を参照して ください。
- 折れ線/棒複合グラフビューコンポーネント:詳細については、「折れ線/棒複合グラフビューコン ポーネント」(371ページ)を参照してください。
- ページフィルターコンポーネント:詳細については、「ページフィルターコンポーネント」(385 ページ)を参照してください。
- 円グラフビューコンポーネント: 詳細については、「円グラフコンポーネント」(396ページ)を参照 してください。
- スコアカードコンポーネント:詳細については、「スコアカードコンポーネント」(409ページ)を参照してください。
- 積み上げ棒グラフビューコンポーネント: 詳細については、「積み上げ棒グラフビューコンポーネント」(419ページ)を参照してください。
- 米国地図コンポーネント: 詳細については、「米国地図コンポーネント」(436ページ)を参照してく ださい。
- Web Intelligenceレポートビューアーコンポーネント: 詳細については、「Web Intelligenceレポート ビューアーコンポーネント」(443ページ)を参照してください。
- Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネント: 詳細については、「Web Intelligenceスタティックレポートビューアーコンポーネント」(449ページ)を参照してください。
- 世界地図コンポーネント:詳細については、「世界地図コンポーネント」(455ページ)を参照してください。
- Xcelsiusレポートコンポーネント: 詳細については、「SWFレポートビューアーコンポーネント」 (430ページ)を参照してください。

## 部下のスコアカードへのドリルダウン

該当する機能が管理者によって準備されている場合、自分のスコアカードから部下のスコアカードに ドリルダウンすることができます。 分析対象のスコアカードコンポーネントに、部下の (カスケード) スコアカードへのドリルダウンがある場合、スコアカードのタイトルの右側に小さい黒い矢印が表示されます。

スコアカード	
アプリケーションVP 〜	
ITIL V3	

#### ITの価値

IT投资管理 ☰

矢印をクリックすると、部下のスコアカードのリストが表示され、目的のものを選択することで表示 できます。

親スコアカードに戻るには、Xをクリックして部下のスコアカードの表示を閉じます。なお、アクセ スできるのは1レベル下までです(すなわち、部下のスコアカードにさらに部下のスコアカードがある 場合、その情報にアクセスするには、部下のスコアカードの第1レベルにスコアカードコンポーネン トを作成する必要があります)。

詳細については、「スコアカードコンポーネント」(409ページ)を参照してください。

## 特定の目標またはKPIに関する詳細情報の表示

スコアカードコンポーネントから、カーソルを目標名の端にある■アイコンの上に動かすと、目標に 関する時系列情報、目標のKPIに関する詳細、およびユーザーがスコアカードに追加した注釈が表示 されます。

このほかに、注釈の追加、ツールヒントの電子メールによる送信、PDF化、または印刷も実行できま す。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)」 (507ページ)を参照してください。

ナレッジ管	理の改善				×
•	- 725	•		•	-•
2014/02/28				201	4/06/19
- ▼ @ ナ1	/ッジ管理の	改善	8.61	- 1	
Ĩ.	ドキュメン	ト化さ	89.781	% 1	N 📀 🗌
	利用できる	注釈があ	うりませ	r	
調査	<u>II</u>	þ	Ó	$\bowtie$	Ţ

ほかの設定済みコンポーネントから、カーソルをKPI名の端にある■アイコンの上に動かすと、KPIに 関する時系列情報、その値、傾向、およびステータス、およびほかのユーザーがKPIに追加した注釈 が表示されます。

このほかに、注釈の追加、ツールヒントの電子メールによる送信、PDF化、または印刷も実行できま す。詳細については、「目標、KPI、またはメトリックに関する第1レベルナビゲーション (FLN)」 (507ページ)を参照してください。



## ワイヤリング機能によるKPIに関するその他の詳 細の表示

コンポーネントのワイヤリングは、同じページのコンポーネントの間の相互作用を定義します。2つ のコンポーネントが配線されている場合、1つ目のコンポーネントの要素を1つ選択すると、2つ目の コンポーネントの表示がただちに変化して、選択した要素に関連する情報が表示されます。

**例:** 履歴ビューに配線されたKPIビューコンポーネントでKPIを選択すると、そのKPIの詳細が同じ ページ上の履歴ビューコンポーネントに、履歴ビューコンポーネントのフォーマットを使用し て、ただちに表示されます。

詳細については、「コンポーネント間のワイヤリング」(483ページ)を参照してください。

[エクスプローラー]タブの目標、KPI、KPIブレー クダウンの詳細情報へのドリルダウン

目標またはKPIツールヒントから、[詳細情報]をクリックすると、目標、KPI、またはKPIブレークダウンに関してフィルターされた[エクスプローラー]タブが開きます。[エクスプローラー]タブには、時系列情報、目標またはKPIの構成に関する詳細、注釈の完全なリスト、アクティブツリー内の目標ま

たはKPIの位置、および要素の目標マップが表示されます。詳細については、「エクスプローラー」 (517ページ)を参照してください。

[エクスプローラー]タブのスコアカード、パー スペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、 メトリック、メトリックブレークダウン、孤立 KPIの詳細情報の表示

選択したエンティティのタイプ(スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPI)に応じて、[エクスプローラー] タブには、項目の時系列情報、構成詳細、注釈の一覧、注釈の追加または編集機能、アクティブなツリーでの選択した項目の位置、および目標マップが提供されます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。

### 目標またはKPIの意味の理解

ページやコンポーネントに表示される目標は、追跡する全体的なパフォーマンスゴールを表します。 詳細については、「目標」(58ページ)を参照してください。

目標には、ゴールのさまざまな側面を表す異なるタイプのKPIのグループが含まれます。詳細については、「重要業績評価指標 (KPI) およびメトリック」(58ページ)を参照してください。

**例**: IT部門の応答性を測定したい場合、応答性に関連するIT部門のさまざまな側面を測定する目標 を作成します。それぞれの側面は、異なるKPIタイプによって測定されます(例: プロジェクト開 始までの時間、PC購入までの時間など)。これらのKPIは、ゴールの追跡に役立つ値、傾向、ス テータスを提供します。

## KPIブレークダウン情報へのドリルダウン

KPIは、ビジネスコンテキストを表します。KPIの値は、ビジネスコンテキストに関する情報を提供するエンティティ (ファクトまたはディメンション)に基づいて計算されます。ビジネスコンテキストには、多数のファクトやディメンションが含まれることがあります。

管理者は、KPIの定義とKPIのビジネスコンテキストに応じて、複数のレベルのKPIブレークダウンを作成します。これらの定義から生じるさまざまなレベルのブレークダウンを使用すれば、測定対象のビジネスの側面に関するきわめて詳細な情報が得られます。

詳細については、「KPIブレークダウン」(178ページ)を参照してください。

## エクスプローラーを使用した選択したKPIまたは 目標に関する詳細情報の表示

選択したKPIまたは目標に関するさらに詳細な情報を表示するには、ダッシュボード内のページ、コンポーネント、またはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。 開いたツールヒントで、[**分析**]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー]タブが 開きます。

また、[**エクスプローラー**]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の目標お よびKPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに 表示できます。

情報には、項目の説明、値またはスコア、時系列の値、ほかのユーザーが送信した注釈、関連ページ へのリンク、外部URL、レポートなどがあります。

詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。

特定の目標またはKPIへの注釈の追加

- 1. [エクスプローラー] ページで、関連する目標またはKPIを [アクティブなKPI] ツリーでクリックします。
- エクスプローラーの [概要]、[データセット]、および [目標マップ] タブの各領域に表示されている情報を確認します。
- 3. コメントがある場合、[注釈] 領域の下部にある [**注釈の表示**] 🗐 ボタンをクリックします。
- 4. 開いたボックスに注釈を入力し、[**注釈の追加**]をクリックして [注釈] 領域の注釈のリストに注釈 を追加します。

注釈	
ここに注釈を入力	
	+ <sup>∞</sup> + ×

5. 注釈がリストに追加されます。



詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。

## 関連する注釈の印刷、メール送信、またはPDF化

分析対象の目標またはKPIの所有者にメールを送信できます。

また、[概要] タブに表示された情報 (チャート、注釈、およびKPIまたは目標に関する追加情報) のス ナップショットをPDF形式で保存したり、スナップショットを印刷したりすることができます。

詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してください。

スコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、 KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブ レークダウン、または未割り当てのKPIの詳細情 報の表示

- エクスプローラーで、関連するスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIを[アクティブなKPI]ツリーでクリックします。
- 2. [概要]ボタンをクリックします。

エクスプローラーの[概要]領域には、選択したスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、 KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIに関する情報、 現在の期間から始まる時系列情報が表示されます。過去の期間を選択して過去の情報を表示す ることもできます。表示内容は、選択した項目タイプに応じて異なります。

詳細については、「概要」(526ページ)を参照してください。

	コストの削減 (Score) 期間:現在 ▼ 1.017 ↑ ③ 過去1年 ▼	іц ⊞
⑦ 概要		
■ データセット	10	10 6.6 3.3
<ul><li> <li>         ・</li><li>         ・<th>0 17/07/2014 17/0</th><th>0 07/2015</th></li></li></ul>	0 17/07/2014 17/0	0 07/2015
▶ * 予測	全般的な詳細 計算の詳細 追加傍報	
	所有者: 說明:	

🔓 i 🖂 🖗

### KPIまたはメトリックの未加エデータの分析

- 1. エクスプローラーで、関連するKPIまたはメトリックを[アクティブなKPI] ツリーでクリックしま す。
- [データセット]ボタンをクリックします。これは、KPIまたはメトリックの計算に使用される数 式の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、および計算に使用されるデータの分 析を行う機能を提供します。ページでは、数式、フィルター、およびデータの表示が提供され ます。詳細については、「データセット」(545ページ)を参照してください。

	インシデントの合計コスト(0)(US\$) 期間:現在 🚽 \$ 297.18 🕹 🛇					
() 概要	SUM (ServiceMa ServiceManagement	inacement.Total Cost t 4個のレコード (合	of Incident) まゃなま 計4個) レコードセット	<del>ば</del> 全体を表示するIこは、[CS	v	1
	Total_Cost_of_In \$	Incident_Category	Incident_Priority	Month	Service_Name	Agreement_Category
■ データセット	23.04	complaint	2	2015-07-02 00:00:0	SharePoint	sla
	85.78	incident	3	2015-07-03 00:00:0	Advantage Inc Apps	ola
	87.94	incident	1	2015-08-01 00:00:0	Exchange	sla
	100.42	complaint	4	2015-07-04 00:00:0	D.F.S.	uc
▶*° 予測						

tr 🖉 🖨 Ó 🖂 🛡
# 目標、パースペクティブ、およびスコアカード に対する1つのKPIの影響の理解

- 1. エクスプローラーで、関連するKPIを [アクティブなKPI] ツリーでクリックします。
- 2. [目標マップ]ボタンをクリックします。[目標マップ]タブに表示された情報を調べます。目標マップには、関連する目標、パースペクティブ、およびスコアカードに対する選択したKPIのインパクト、または関連するパースペクティブおよびスコアカードに対する選択した目標のインパクトを表示するノードのツリーがあります。目標マップは、選択したKPIまたは目標の現在の期間のみに関するインパクト構成を表示します。[目標マップ]に表示される情報は、ユーザーの権限によって異なります。アクティブツリーでノード(KPIまたは目標)をダブルクリックすることで、KPIまたは目標を選択し、選択したノードと現在の期間に関する[概要]タブを表示することができます。詳細については、「目標マップ」(562ページ)を参照してください。



₽ @ ⊠ ₽

## KPIの予測の分析

- 1. エクスプローラーで、関連するKPIを [アクティブなKPI] ツリーでクリックします。
- 2. [**予測**] ボタンをクリックします。

Business Analyticsは、[ダッシュボード] および [エクスプローラー] タブで過去および現在の期間 での目標、KPI、またはメトリックのステータスおよび値に関する情報を提供します。エクスプ ローラーの[予測] タブは、履歴データに基づいてエンティティの将来の動作を予測すること で、将来の予想を可能にします。その結果、基になる傾向を容易に把握し、現時点で実施でき るあらゆる対策を講じて、目的の動作を改善または維持できるようになります。

選択した目標、KPIまたはメトリック (ユーザーが権限を持っている項目) について、現在の期間 から最大1年間の予測を表示できます。



詳細については、「予測」(572ページ)を参照してください。

# 目標、KPI、またはメトリックに関する第1 レベルナビゲーション(FLN)

ページ内のスコアカードコンポーネントから、カーソルを目標名の端にある アイコンの上に動かすと、目標に関する時系列情報、目標のKPIに関する詳細、およびユーザーが目 標に追加した注釈が表示されます。

ほかの設定済みコンポーネントから、カーソルをKPI名の近くにある──または<sup>★</sup>──アイコンの上に動かすと、KPIに関する時系列情報、その値、傾向、ステータス、ブレークダウン詳細、およびKPIに追加された注釈が表示されます。

円グラフビューコンポーネントと履歴メトリックビューコンポーネントから、カーソルをメトリック 名の近くにあるまたはまでアイコンの上に動かすと、メトリックに関する時系列情報、その値、 傾向、ステータス、ブレークダウン詳細、およびメトリックに追加された注釈が表示されます。

#### アクセス方法:

ダッシュボードコンポーネントのKPIまたはメトリックの近くにあるまたは 移動すると、KPIの第1レベルナビゲーション (FLN) 領域が表示されます。

スコアカードコンポーネントの目標の近くにある==または<sup>|||||||||</sup>の上にカーソルを移動すると、目標の第1レベルナビゲーション (FLN) 領域が表示されます。

タスク UIの説明



本項の内容

# 特定の目標に関する詳細情報の表示

ページ内のスコアカードコンポーネントから、カーソルを目標名の端にある = アイコンまたは<sup>★</sup> ア イコンの上に動かすと、目標に関する時系列情報、目標のKPIに関する詳細、およびユーザーが目標 に追加した注釈が表示されます。 このほかに、注釈の追加、注釈の電子メールによる送信、追加情報への到達、PDF化、または印刷も 実行できます。詳細については、「目標の第1レベルナビゲーション (FLN) 領域」(513ページ)を参照 してください。

特定のKPIまたはメトリックに関する詳細情報の 表示

ほかの設定済みコンポーネントから、カーソルをKPI名の端にある≡または<sup>\*</sup>=アイコンの上に動か すと、KPIに関する時系列情報、その値、傾向、およびステータス、KPIブレークダウンの詳細、およ びほかのユーザーがKPIに追加した注釈が表示されます。

ほかの設定済みコンポーネントから、カーソルをメトリック名の端にある≡または<sup>\*</sup>=アイコンの上 に動かすと、メトリックに関する時系列情報、その値、傾向、ブレークダウン詳細、およびメトリッ クに追加された注釈が表示されます。

このほかに、注釈の追加、注釈の電子メールによる送信、PDF化、または印刷も実行でき、該当する 場合、KPIまたはメトリックの追加情報も表示できます。詳細については、「第1レベルナビゲーショ ン (FLN) 領域」(509ページ)を参照してください。

# 使用例 - 注釈の追加、電子メールの送信、PDFとして保存、印刷

詳細については、『Getting Started with BA』の「Use Case - Add an Annotation, Send Email, Save as PDF, and Print」を参照してください。



# 第1レベルナビゲーション(FLN)領域

KPIの場合:



ビジネスアナリストユーザーガイド ビジネス目標の表示と分析

メトリックの場合:

<b>ビジネス目</b> 所有者が未知	標稿 に紐づく	プロジ	ェクトロ	の割合	×
					٩
2014/07/02				2014	1/07/03
- 🖂 Ĕ:	ジネス目標に	紐づ	37.5%	-	
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	Person 27		100%	-	
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	Person 22		100%	-	
- 表	示数を増やす	r			
	利用できる	注釈がす	5りませ <i>,</i>	r	
調査		₿	Ó		Ţ

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前>	KPIまたはメトリックの名前。
<時系列値>	グラフには、KPIまたはメトリックの表示期間で構成された期間からさかのぼっ て5つの期間にわたるKPIまたはメトリックの時系列値が表示されます。
	<b>例</b> : KPIまたはメトリックの表示期間が1か月の場合、グラフには表示期間で 構成された期間からさかのぼって過去5か月のKPIまたはメトリックの値が 表示されます。
	グラフに注釈を追加するには、 マラフに注釈を追加するには、 す。
<kpi、kpiブレー クダウン、メト リック、または メトリックブ</kpi、kpiブレー 	このセクションには次の情報が表示されます。 • KPIまたはメトリックの名前、値、傾向、およびステータス(KPI)。 • KPIに存在するKPIブレークダウンが4つ以上の場合は、スコアが最も小さい2

UI要素	説明
レークダウン>	<ul> <li>つのKPIブレークダウンの名前、値、傾向、およびステータスがFLN領域に表示されます。</li> <li>メトリックに存在するメトリックブレークダウンが4つ以上の場合は、2つのブレークダウンの名前、傾向、および値がFLN領域に表示されます。</li> <li>KPIまたはメトリックに3つより多くのKPIまたはメトリックブレークダウンのリストの下に[表示数を増やす]リンクが表示されます。リンクをクリックすると、選択したKPIまたはメトリックブレークダウンのリストの下に[表示数を増やす]リンクが表示されます。リンクをクリックすると、選択したKPIまたはメトリックに対してフィルターされた[エクスプローラー]ページが表示され、選択したKPIまたはメトリックのすべてのKPIまたはメトリックブレークダウンを見ることができます。</li> <li>計算されたデータがない(数式が正しくない、0除算が含まれるなどの理由で)ためにKPIまたはメトリックにデータが表示されない場合、KPIまたはメトリックのFLN領域は利用できますが、[データがありません]と表示され、KPIまたはメトリックのFLN領域でKPIをクリックすると、[エクスプローラー]タブにデータが存在しない問題の簡単な説明が表示されます。</li> <li>KPIまたはメトリックにデータが表示されない理由が、KPIまたはメトリックがまだスタジオで構成されていなかった時間に計算期間が一致するためである場合は、KPIまたはメトリックのFLN領域は利用できません。</li> </ul>
注釈	すべてのユーザー(現在のユーザーを含む)が送信した最新の2つの注釈をリストします。選択したKPIまたはメトリックに対して2つより多くの注釈が送信されている場合は、2つだけが表示され、その後に[表示数を増やす]リンクが表示されます。リンクをクリックすると、選択したKPIまたはメトリックに対してフィルターされたエクスプローラーが表示され、選択したKPIまたはメトリックのすべての注釈を見ることができます。
	注釈の追加:注釈を追加するためのボックスを開きます。         「「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」         「」」」」」」         「」」」」」」         「」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」」         「」」」」」」」」」」         「」」」」」」」         「」」」」」」」」         「」」」」         「」」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」
$\bowtie$	电ナメールの运信: 八の内谷を含むOutlook電ナメールが開さます。 • [To] ボックスには、選択したKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメト

UI要素	説明
	<ul> <li>リックブレークダウンの所有者 (スタジオで定義済みの場合) が入力されます。</li> <li>[Subject] ボックスには、選択したKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメトリックブレークダウンの名前が入力されます。</li> </ul>
	<ul> <li>電子メールの本文には書き込んだばかりの注釈のテキストが入力されます (注釈を入力した場合)。</li> <li>電子メールの末尾には、コンポーネントFLN (スコアカードコンポーネントで はない) からKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメトリックブレークダ ウンへのリンクが追加されます。電子メールで、リンクをクリックすると、 選択した期間のエンティティのコンテキストで、エクスプローラーが開きま す。</li> </ul>
	③ 日 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	John,+' Please send an explanation as soon as possible.+' Thanks,+' Bill+' Link to the "% of Met SLAs":+' <u>https://///indwar/loadedApplication.jsp?</u> <u>forceRedirect=true&amp;type=kpi_type&amp;entityId=3464&amp;stardDate=1385848800000&amp;timeRange</u> +' +'
	<b>注:</b> 同じセッション内でアクティブになっている場合、リンクがユーザー 名とパスワードの組み合わせを要求することはありません。
Ó	<b>スナップショットの保存:</b> ディレクトリのリストを開いて、PDFを作成する場所 を選択します。
<b>₽</b>	<b>印刷:</b> プリンターを選択して設定し、FLN領域の内容を送信して印刷するための ダイアログボックスを開きます。
	<b>追加情報:</b> KPIまたはメトリックに対して構成されたすべての追加情報 (レポート、ダッシュボードページ、または外部URL) をリストしたポップアップが開き

UI要素	説明
	ます。このボタンが有効になるのは、KPIまたはメトリックに追加情報がある場 合のみです。
	追加情報の選択
	нр
	閉じる
エクスプロー ラー	クリックすると、選択したKPIまたはメトリックに対してフィルターされたエク スプローラーが開きます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ) を参照してください。

# 目標の第1レベルナビゲーション(FLN)領域



ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
名前>	目標の名前。
<時系列値>	グラフには、[目標] で構成した期間からさかのぼって5つの期間にわたる目標 の時系列値が表示されます。表示される期間は、目標に対して構成されている 期間に基づきます。
	<b>例</b> : 目標の期間が1か月の場合、グラフには過去5か月の目標の値が表示さ れます。
	グラフに注釈を追加するには、 マラフに注釈を追加するには、 す。
<目標>	このセクションには次の情報が表示されます。
<目標>	• 目標の名前、値、傾向、およびステータス。
	• 目標に存在するKPIが3つ以下の場合は、スコアが最も小さい3つのKPIの名前、値、傾向、およびステータスがFLN領域に表示されます。
	<ul> <li>目標に3つより多くのKPIが存在する場合は、KPIのリストの下に[表示数を増やす]リンクが表示されます。リンクをクリックすると、選択した目標に対してフィルターされたエクスプローラーが表示され、選択した目標のすべてのKPIを見ることができます。</li> </ul>
	注:
	<ul> <li>目標のデータが表示されるが、そのKPIの一部に計算されたデータがない場合(同じ目標下のKPIが異なるビジネスコンテキストに対応する、一部のビジネスコンテキストが計算されなかったなど)、目標のFLN領域は利用できますが、[目標が部分データで計算されています]が表示され、目標のFLN領域で目標をクリックすると、同じメッセージが[エクスプローラー]タブに表示されます。</li> </ul>
<目標>	<ul> <li>すべてのKPIにデータがないために目標が表示されない場合、目標のFLN 領域は利用できます。</li> </ul>
	<ul> <li>目標にデータが表示されない理由が、目標の計算期間が、そのすべての KPIがスタジオにまだ構成されていなかった期間に対応するためである 場合は、目標のFLN領域は利用できません。</li> </ul>
注釈	すべてのユーザー (現在のユーザーを含む) が送信した最新の2つの注釈をリス トします。選択した目標に対して2つより多くの注釈が送信されている場合 は、2つだけが表示され、その後に [ <b>表示数を増やす</b> ] リンクが表示されます。

UI要素	説明
	リンクをクリックすると、選択した目標に対してフィルターされたエクスプ ローラーが表示され、選択した目標のすべての注釈を見ることができます。
	注釈の追加: 注釈を追加するためのボックスを開きます。         「「「」」」」」」」」         「」」」」」」」         「」」」」」」」         「」」」」」」         「」」」」」」」         「」」」」」」         「」」」」」         「」」」」」         「二」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」」         「」」         「」」」         「」」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」」         「」         「」         「」
	<ul> <li>電子メールの送信:次の内容を含むOutlook電子メールが開きます。</li> <li>「To」ボックスには、選択した目標の所有者 (スタジオで定義済みの場合) が入力されます。</li> <li>「Subject] ボックスには、選択した目標の名前が入力されます。</li> <li>電子メールの本文には書き込んだばかりの注釈のテキストが入力されます (注釈を入力した場合)。</li> <li>電子メールの末尾には、コンポーネントFLN (スコアカードコンポーネントではない) からKPIまたはメトリック、またはKPIまたはメトリックブレークダウンへのリンクが追加されます。電子メールで、リンクをクリックすると、選択した期間のエンティティのコンテキストで、エクスプローラーが開きます。</li> </ul>

UI要素	説明
	<b>注:</b> 同じセッション内でアクティブになっている場合、リンクがユーザー 名とパスワードの組み合わせを要求することはありません。
Ó	<b>スナップショットの保存:</b> ディレクトリのリストを開いて、PDFを作成する場所 を選択します。
e	<b>印刷:</b> プリンターを選択して設定し、FLN領域の内容を送信して印刷するための ダイアログボックスを開きます。
	追加情報:目標に対して構成されたすべての追加情報(レポート、ダッシュボードページ、または外部URL)をリストしたポップアップが開きます。このボタンが有効になるのは、目標に追加情報がある場合のみです。 追加情報の選択 ● HP 閉じる
エクスプロー ラー	クリックすると、選択した目標に対してフィルターされたエクスプローラーが 開きます。詳細については、「エクスプローラー」(517ページ)を参照してくだ さい。

エクスプローラー

[エクスプローラー] タブには、選択した項目の構成と履歴情報が表示されます。データの分析や調査 も実行できるので、利用可能なデータを包括的な視点から理解することができます。分析機能では、 KPIやメトリックなどBusiness Analyticsのメインフローエンティティを対象にした分析を行い、KPIま たはメトリックの計算に使用される数式の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、およ び計算に使用されるデータの分析などを実行します。さらに、選択したKPIまたはKPIブレークダウン が関連する目標、パースペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノードがツリー形式で 表示されます。

アクセス方法:

 [エクスプローラー]タブをクリックし、関連する項目をクリックしてから[概要]ボタンをクリッ クすると、Executiveスタジオ内でアクティブなすべてのスコアカード、目標、パースペクティ ブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPI に関する詳細情報が表示されます。KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダ ウン、未割り当てのKPIの詳細を表示するには、[データセット]または[目標マップ]ボタンをク リックします。

スコアカードやKPIコンポーネントにあるダッシュボードページでは、次の操作を実行できます。

- ■または<sup>\*=</sup>の上にマウスを移動すると、第1レベルナビゲーション (FLN) が表示されます。
   FLNの [調査...]をクリックすると、[エクスプローラー] タブにスコアカードの目標またはKPIの 詳細情報が表示されます。
- ■または<sup>\*=</sup>をクリックすると、[エクスプローラー]タブに詳細情報が表示されます。
- 履歴ビューまたは履歴メトリックビューコンポーネントの特定の位置をダブルクリックすると、 その位置に対応する期間とKPIに対応する[エクスプローラー]タブが開きます。詳細については、 『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「履歴ビューコンポーネント」または「履歴メト リックビューコンポーネント」を参照してください。





- KPIまたはメトリックOvertimeコンポーネント、またはほかのコンポーネントの≡または<sup>\*</sup>=をダ ブルクリックすると、ユーザーの権限に応じて、[エクスプローラー] タブで選択したKPIの詳細の みが表示されます。アクティブツリーのすべてのノードを表示することはできません。
- [エクスプローラー] タブを表示する権限がない場合、権限のある目標とKPIまたはメトリックは表示できても、詳細情報を表示することはできません。
- [エクスプローラー] タブの右上隅のXをクリックすると、ダッシュボードにアクセスするか戻るこ とができます。



本項の内容

•	[エクスプローラー]にアクセスして選択したKPI、メトリック、または目標に関する詳細情報	
の表	示	518
•	使用例 - エクスプローラーでの詳細情報表示へのドリルダウン	519
•	概要	526
•	データセット	545
•	目標マップ	.562
•	予測	572
•	注釈	585

# [エクスプローラー]にアクセスして選択した KPI、メトリック、または目標に関する詳細情報 の表示

選択したKPI、メトリックまたは目標に関してさらに詳細な情報を表示するには、ダッシュボード ページのKPI、メトリックまたはスコアカードコンポーネントにある項目の上にカーソルを移動しま す。開いたツールヒントで、[**調査..**]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー] タブが開きます。

また、[**エクスプローラー**]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の目標お よびKPIまたはメトリックをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプ ローラー]タブに表示できます。

表示内容には、項目の説明、値またはスコア、時系列の値、すべてのユーザーが送信した注釈、関連 ページへのリンク、外部URL、レポートなどが含まれます。

[エクスプローラー]タブには、次のタブと機能が含まれています。

「概要」(526ページ) 「データセット」(545ページ) 「目標マップ」(562ページ) 「予測」(572ページ) 「注釈」(585ページ)



このセクションでは、エクスプローラーのドリルダウンによって、ダッシュボードで選択したスコア カード、パースペクティブ、目標、KPI、メトリック、KPIブレークダウン、メトリックブレークダウ ンの詳細情報を表示する方法を説明します。

[エクスプローラー] タブには、選択した項目の構成と履歴情報が表示されます。データの分析や調査 も実行できるので、利用可能なデータを包括的な視点から理解することができます。分析機能では、 KPIやメトリックなどBusiness Analyticsのメインフローエンティティを対象にした分析を行い、KPIま たはメトリックの計算に使用される数式の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、およ び計算に使用されるデータの分析などを実行します。さらに、選択したKPIまたはKPIブレークダウン が関連する目標、パースペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノードがツリー形式で 表示されます。

エクスプローラーにアクセスするには、次のいずれかの手順を実行します。

- 1. [エクスプローラー] タブをクリックします。詳細については、 『BAビジネスアナリストユー ザーガイド』の「エクスプローラー」を参照してください。
- 2. [概要]タブ:

選択した項目に応じて、タブには次の内容が表示されます。

- スコアカードまたはパースペクティブの場合、スタジオで定義した項目の名前と説明、スコ アカードのカスケードまたはスコアカード (存在する場合) が表示されます。
- 目標、KPI、メトリック、未割り当てのKPIの場合、選択した項目の情報が、グラフ、表、棒 グラフで表示されます。表示期間は、選択した目標、KPI、未割り当てのKPIの現在の期間ま で、または[概要] タブで選択した期間となります。さらに、スタジオで定義した構成と計算 の詳細情報も表示されます。

グラフ上でカーソルを動かすと、特定のポイントの正確な日付と値を示す線が表示されま す。

 KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの場合、円グラフに加えて、外部ページ へのリンク、スタジオでKPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンで設定したダッ シュボードページへのリンク、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンで設定し たBOまたはXcelsiusレポートへのリンクも表示されます。

円グラフでは扇型を10個まで表示できます。

KPIブレークダウンまたはメトリックディメンションの値の数が10を超える場合、上位9個の 値が9個の扇型で表示され、最後の扇形は、残りすべての値を表します。KPIまたはメトリッ クブレークダウンの名前、ディメンションの値など、各扇型の詳細はツールヒントで表示さ れます。10個目の扇型のツールヒントでは、残りすべての値の詳細が表示されます。

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「概要」を参照してください。

3. [**データセット**]タブ:

[エクスプローラー] タブの [データセット] 領域を使用できるのは、KPI、メトリック、KPIブレー クダウン、メトリックブレークダウンのみです。これは、KPIまたはメトリックの計算に使用さ れる数式の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、および計算に使用されるデー タの分析を行う機能を提供します。ページでは、数式、フィルター、およびデータの表示が提 供されます。

• 各集計関数の数値結果を表示します。選択したKPIまたはメトリックの数式に使用される各集 計関数の数値結果を表示するには、次の手順を実行します。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式の集計 部分をクリックすると、その部分がアクティブになります。アクティブな部分は、背景が青 色になります。

RATIO\_MATH ( COUNT (Defect, ... ), COUNT (Defect, ... )) 完全な数式

該当する領域上にカーソルを移動して、その関数の値を表示します。

RATIO\_MATH ( 93 (Defect, ...), COUNT (Defect, ...)) 完全な数式

- 各集計関数の生データのテーブルを表示します。選択したKPIまたはメトリックの数式に使用 される各集計関数の生データのテーブルを表示するには、次の手順を実行します。
  - ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。アク ティブ化された集計関数の背景は青色です。

RATIO\_MATH ( COUNT (Defect,...), COUNT (Defect,...)) 完全な数式

○ 数式の下のテーブルに生データを表示する集計関数をクリックします。

テーブルには、ターゲットデータベースの生データが最大10行、既定で6列(列数はカス タマイズ可能)で表示されます。列は、関数の作成時に使用したエンティティのフィール ドに相当します。例: sum (defects, defect.severity = "High")の場合、結果セットとして defectsエンティティのフィールドが表示されます。

テーブルを開くと、先頭列でソートされます。

	インシデントの合計コスト	(0) (US\$) 期間: 現在	▼ \$ 297.18 ♥ S					
SUM (ServiceManadement.Total Cost of Incident) ***#								I
⑦ 概要	ServiceManagement	4個のレコード (合	計4個) レコードセット:	全体を表示するl こは、 <mark>[CS</mark>	v			
	Total_Cost_of_In \$	Incident_Category	Incident_Priority	Month	Service_Name	Agree	ment_Catego	iry
■ データセット	23.04	complaint	2	2015-07-02 00:00:0	SharePoint	sla		
	85.78	incident	3	2015-07-03 00:00:0	Advantage Inc Apps	ola		
	87.94	incident	1	2015-08-01 00:00:0	Exchange	sla		
	100.42	complaint	4	2015-07-04 00:00:0	D.F.S.	uc		
▶ * 予測								
						r e	6	P

- 列を並べ替え、テーブルを並べ替えると、データベースから追加情報を表示できます。

**す**。 **し** SV をクリックして、数式で現在強調表示されている関数の計算に使用される、ター ゲットデータベーステーブルに含まれているすべてのデータ(GUIテーブルに表示されている データだけでなく)を.csv形式のファイルにエクスポートします。これでディレクトリのリス トが開くので、作成している.csvファイルを保存する場所を選択できます。ブラウザーの設 定に応じて、ファイルはあらかじめ決められたダウンロードディレクトリに自動的に保存さ れます。

数式で使用されるSQLクエリを表示します。データベースで実行されるSQLフレーズおよび関連するデータベース接続の詳細 (DBサーバーとDBスキーマ)を表示するには、次の手順を実行します。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式に表示 される集計関数の背景は青色です。

 関連する集計関数をクリックして をクリックします。ダイアログボックスが開き、 データベースがインストールされているマシンの名前、使用されるポート、ターゲットス キーマの名前、および数式で現在強調表示されている関数に対応して計算実行のために行 われるSQLクエリが表示されます。

クエ	りの詳細			×
	データベースサーバー:	16.184.28.113:5433		
	データベーススキーマ:	vmartdb		
	取得クエリ:	SELECT SUM(ext.SM_Demo."Total_Cost_of_Incide nt") ServiceManagementTotal_Cost_of_Incide nt1 FROM ext.SM_Demo WHERE ( ( DATEDIFF(MI , '1970-01-01 00:00:00:000' , ext.SM_Demo."Month") - 480 ) * 60000 +	•	
	クエリ	リをクリップボードにコピー 閉じる	5	

• 割合 (%) 数式の詳細な説明を表示します。割合 (%) 数式の詳細な説明を表示するには、次の 手順を実行します。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式に表示 される集計関数の背景は青色です。円グラフには、割合(%)数式の一般セクションおよびそ の他のすべてのデータに対応する情報が表示されます。

フィルターには、フィルター数式の説明が表示されます。

ビューされた要求の割合 (%) 期間:現在 🗸 <mark>46.473% ♥ </mark>								
44.2% Requirement	レビュ <u>) 数</u> エ 10個のレコード (合計1117	ーされた要求の割合 (9 <b>t</b> 一 個) レコードセット全体	6) を表示するIこは、[CSV					
REVIEW_STATUS	REVIEWED_DATE	COVERAGE_STATUS	CREATED_DATE	DESCRIPTION		DOCUM	IENTATIO	N
Reviewed	2014-06-02 00:00:	Passed	2014-01-02 00:00:			100		
Reviewed	2014-06-07 00:00:	Not Completed	2013-05-07 00:00:			10		
Reviewed	2014-06-07 00:00:	Not Covered	2014-01-07 00:00:			167		
Reviewed	2014-06-04 00:00:	Failed	2013-06-04 00:00:			52		
Reviewed	2014-07-01 00:00:	Passed	2013-10-01 00:00:			0		
Reviewed	2014-06-04 00:00:	Failed	2013-07-04 00:00:			150		
Reviewed	2014-06-04 00:00:	Not Completed	2014-01-04 00:00:			46		
Reviewed	2014-06-11 00:00:	N/A	2013-04-11 00:00:			198		
Reviewed	2014-06-04 00:00:	N/A	2013-03-04 00:00:			85		
Reviewed	2014-06-02 00:00:	No Run	2013-04-02 00:00:			86		
				[csv		Ą	6	3 🖗

- 次の操作が可能です。
  - [データセット]ページの内容の電子メールによる送信
  - 。 [データセット] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート
  - [データセット] ページの内容の印刷

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「データセット」を参照して ください。

4. [**目標マップ**]タブ:

目標マップでは、選択したKPIまたはKPIブレークダウンの現在の期間について、選択したKPIまた はKPIブレークダウンが目標、パースペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノー ドがツリー形式で表示されます。また、[目標マップ]の表示は、ユーザーの権限によって異なり ます。

 アクティブツリーで目標、KPI、KPIブレークダウンをダブルクリックすると、その項目と現 在の期間に基づいて[目標マップ]タブが表示されます。



- 次の操作が可能です。
  - [目標マップ]ページの内容の電子メールによる送信
  - [目標マップ] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート
  - [目標マップ]ページの内容の印刷

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「目標マップ」を参照してください。

5. [**予測**]タブ:

Business Analyticsは、[ダッシュボード] および [エクスプローラー] タブで過去および現在の期間 での目標、KPI、またはメトリックのステータスおよび値に関する情報を提供します。エクスプ ローラーの [予測] タブは、履歴データに基づいてエンティティの将来の動作を予測すること で、将来の予想を可能にします。その結果、基になる傾向を容易に把握し、現時点で実施でき るあらゆる対策を講じて、目的の動作を改善または維持できるようになります。

アクティブツリー内の目標、KPI、またはメトリックをダブルクリックして、[予測]をクリックします。このタブには、[概要]タブと同じ情報に加えて、グラフの右側に予測のウィンドウが追加で表示されます。



₽ @ ⊠ ₽

- 次の操作が可能です。
  - 。[予測]ページの内容を電子メールで送信する
  - [予測] ページの内容をPDFファイルにエクスポートする
  - [予測]ページの内容を印刷する

詳細については、『BAビジネスアナリストユーザーガイド』の「予測」を参照してください。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

#### **UI**の説明

**注:** BAでは、別のタブに移動した後 [エクスプローラー] タブに戻ると、移動前に選択していた項目の詳細が再び表示されます。ただし、プロパティは更新されることがあります。

[エクスプローラー] タブには、次のタブと機能が含まれています。

「概要」(526ページ)

「データセット」(545ページ)

「目標マップ」(562ページ)

「予測」(572ページ)

「注釈」(585ページ)

概要

エクスプローラーの[概要]領域には、選択したスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブ レークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIに関する情報、現在の期 間から始まる時系列情報が表示されます。過去の期間を選択して過去の情報を表示することもできま す。表示内容は、選択した項目タイプに応じて異なります。

表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。

#### アクセス方法:

[**エクスプローラー**]タブをクリックすると、Executiveスタジオ内でアクティブなすべてのスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、 または未割り当てのKPIに関する詳細情報が表示されます。[エクスプローラー]タブで、関連する項目をクリックし、[概要]ボタンをクリックします。





- 履歴ビューまたは履歴メトリックビューのコンポーネント内のポイントをダブルクリックする か、任意のコンポーネントの==または\*=をダブルクリックすると、選択した項目の詳細のみが エクスプローラーに表示されます(ただし、適切な権限が必要です)。検索ボックスの右にあるXを クリックすると、アクティブツリー内のノードがすべて表示されます。
- [エクスプローラー] タブを表示する権限がない場合、権限のある目標とKPIは表示できても、詳細 情報を表示することはできません。
- [エクスプローラー]タブの右上隅のXをクリックすると、ダッシュボードにアクセスするか戻ることができます。

## 10進数の精度

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

K⅁ピュー		~	ĭi   Ø ∧ ×
			44~
	SLA遵守率	[ (%) ≡	
	100.0	00%	
	0.00%	100%	
	- 📀	FY2014/07(07)	

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

-100	13715060	36123929	55136524	7287.457		23456785



本項の内容

•	[エクスプローラー]-[概要]を使用した選択したKPI、メトリック、または目標に関する詳細	
情朝	その表示	.528
•	[概要] ページの内容の電子メールによる送信	. 528
•	[概要] 領域の内容のスナップショットの保存	. 528
•	[概要] 領域の内容の印刷	529

- KPIまたはメトリックの周期のオンデマンドでの変更 ......529

[エクスプローラー]-[概要]を使用した選択したKPI、メト リック、または目標に関する詳細情報の表示

選択したKPIまたは目標に関してさらに詳細な情報を表示するには、次の手順を実行します。

- ダッシュボードページのKPIまたはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。開いた第1レベルナビゲーション(FLN)で、[調査..]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー]タブが開きます。
   または、[エクスプローラー]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の関連する目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに表示します。
- 【概要】をクリックして、項目の構成で定義された現在の期間における選択した項目の時系列情報 を表示します。過去の期間を選択して過去の情報を表示することもできます。
   表示内容は、選択した項目タイプに応じて異なります。

[概要]ページの内容の電子メールによる送信

- 1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[概要] を クリックします。
- 電子メールをエンティティの所有者に送信するには、[電子メールの送信] アイコンをクリックします。
   注釈の追加後すぐに電子メールを送信する場合、注釈の内容が自動的に電子メールに追加されます。

詳細については、「[エクスプローラー]タブ-[概要]」(530ページ)を参照してください。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

[概要]領域の内容のスナップショットの保存

- [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[概要] を クリックします。
- 2. [概要] 領域の内容のスナップショット (イメージ) を保存するには、[スナップショットの保存]

詳細については、「[エクスプローラー]タブ - [概要]」(530ページ)を参照してください。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

#### [概要]領域の内容の印刷

1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[概要] を クリックします。

2. [概要]領域の内容を印刷するには、[印刷] = アイコンをクリックします。

詳細については、「[エクスプローラー]タブ - [概要]」(530ページ)を参照してください。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

## 注釈の追加

- [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[概要] を クリックします。
- 2. 注釈を追加するには、[**注釈の表示**] アイコンをクリックします。[注釈] 領域が開きます。 詳細については、「注釈」(585ページ)を参照してください。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

## KPIまたはメトリックの周期のオンデマンドでの変更

- [エクスプローラー] タブで、関連するKPIまたはメトリックを[アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[概要] をクリックします。
- 8. 周期スライダーを使用し、KPIまたはメトリックの周期をローカルに変更します。KPIまたはメトリックは即座に再計算されます。再計算された値は[概要] タブに表示されます。その他の[エクスプローラー]、[スタジオ]、[ダッシュボード] タブでは、KPIまたはメトリックの周期は変更されません。[エクスプローラー]>[概要] で選択した周期は維持されます。

この機能は、KPIブレークダウンおよびメトリックブレークダウンでも利用できます。

UIの説明

## [エクスプローラー]タブ-[概要]

**注:** Business Analyticsでは、別のタブに移動した後 [エクスプローラー] タブに戻ると、移動前に 選択していた項目の詳細が再び表示されます。ただし、プロパティは更新されることがありま す。

[概要] 領域には、項目の構成で定義された現在の期間における選択した項目の時系列情報が表示され ます。過去の期間を選択して過去の情報を表示することもできます。

表示内容は、選択した項目タイプに応じて異なります。

[概要]領域には、次の領域が含まれています。

「[アクティブなKPI] 領域」(531ページ)

「[概要]領域」(533ページ)

「ツールバー」(543ページ)

[アクティブなKPI] 領域

アクティブなKPI		
		<b>Q</b> ≥
(		-
*		
▼ Ⅲ アブリケーションVP		
▼ 🔄 ITのセキュリティ確保		
▶ ⊚ リスクの低減	7.527	- 📀
▼ ITの価値		
▶ 💿 IT投資管理	0	- 😣
▶ ⊚ ビジネス戦略との整合	2.288	+ 😣
▶ ◎ 自動化のROIの改善	3.679	- 🔺
▼ 将来方針		
▶ ⊚ スタッフの有効性の改善	2.89	+ 😣
▶ ⊚ ナレッジ管理の改善	8.61	1 🗸
▼ - 運用改善		
▶ ⊚ アジリティの向上	2.169	+ 😢
▶ ⓪ ブロジェクト実施の改善	3.377	<b>A</b>
<ul> <li>島質の改善</li> </ul>	4.362	<b>↑</b>
▶ ⊚ 自動化適用の向上	7.441	+ 🕗
▶ ⓪ 高水準のブロセス実現	2.637	+ 😢
▼		
 ▶ ◎ 提供品質の改善	データが	
<ul> <li>顧客満足度の改善</li> </ul>	3.608	<b>+</b>

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
〇、 <検索>	文字列を入力すると、指定した文字列を名前に含むノードがツリーに表示され ます。
	さらに、フィルターされたノードの子ノードは、その名前に文字列が含まれて いなくてもリストに表示されます。
	表示がフィルターされているかどうか (ダッシュボードのコンポーネントから エクスプローラーにアクセスした場合、<検索>ボックスにはフィルターに関す る情報が表示されます)。例:

UI要素	説明
	アクティブなKPI コスト × × ≪ プロジェクトコストの変化率(%) データが… ∠ ≪ プロジェクトの計画コストに対… データが… ∠
*	<ul> <li>詳細検索: コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを開きます。</li> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが[アクティブなKPI]領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> <li>タイプ: 次の中から選択します。 <ul> <li>すべて: 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul> </li> <li>KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。</li> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する(ステータスがすべてに変更される)には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メトリック]を選択すると、[ステータス] フィールドが[すべて]に変わり、アクセスできなくなります。</li> <li>目標: 選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示します。</li> </ul>
アクティブなKPI	<ul> <li>[エクスプローラー]タブへのアクセス方法に応じて、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIなどすべての項目、HP IT Business Analyticsでアクティブな項目、項目の一部が表示されます。</li> <li>表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。</li> <li>注:スコアカード管理者は、エクスプローラーで新規作成したスコアカードを表示したい場合(スコアカードを表示する権限が必要)、[更新]ボタンをクリックしてエクスプローラーを更新する必要があります。</li> <li>スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIのどれかをクリックす</li> </ul>

UI要素	説明
	ると、その詳細情報がほかのペインに表示されます。
	[アクティブなKPI] ペインの右側の領域には、選択した項目タイプに応じて、次 の項目が表示されます。
	• 項目の名前。
	<ul> <li>項目の値。</li> </ul>
	- ━ ╋ ♥ 傾向アイコンは、現在の期間にわたって計算された値の傾向を示し
	ます。
	• 現在の期間中の項目のステータス。次のどれかです。
	▪ <sup>──</sup> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	• ⚠️は、ステータスが [警告] であることを示します。
	<b>。 😢</b> は、ステータスが [ <b>重大</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが [保留中] であり、計算が実行されていない状態また は完了していない状態であることを示します。</li> </ul>

## [概要] 領域

• スコアカードの場合:

Service Manager 名前 Service Manager 説明:

UI要素	説明
<名前>	[アクティブなKPI] ペインで選択したスコアカードの名前
名前	[アクティブなKPI] ペインで選択したスコアカードの名前
説明	スコアカードの [構成の詳細] ペインに表示されるスコアカードの説明。
スコアカードの	スコアカードに割り当てられているカスケードスコアカードのリスト。
カスケード	<b>注:</b> このフィールドは、スコアカード専用で、スコアカードにカス

UI要素	説明
	ケードスコアカードが割り当てられている場合に表示されます。

#### • パースペクティブの場合:

インシデント管理	
名前 インシデント管理 <b>説明:</b>	

UI要素	説明
<名前>	[アクティブなKPI] ペインで選択したパースペクティブの名前
名前	[アクティブなKPI] ペインで選択したパースペクティブの名前
説明	パースペクティブの [構成の詳細] ペインに表示されるパースペクティブ の説明。

#### • 目標、KPI、メトリック、未割り当てのKPIの場合:

この領域には、選択した目標、KPI、メトリック、未割り当てのKPI、または[概要] タブで選択 した期間の現在の期間に至るまでの選択した項目の時系列情報が表示されます。グラフ、 バー、またはテーブル形式を選択してデータを表示できます。

KPIまたはメトリックの場合は、周期スライダーを使用して、タブに表示される周期をオンデマ ンドで変更することもできます。





概要	毎日 毎週	毎月 毎四半期 毎年	過去1年	▼ 14 1
データセット	1000 A		AE -	77. 87
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	期间沿	10	100	AF-9A
	EY2015/06(Jun)	301.21	•	
目標マップ	FY2015/05(May)	160.74	•	8
	FY2015/04(Apr)	141.57	+	₩
予測	<u>全愛的な詳細</u> 計算の詳細 追加 所有者: 説明: 測定期間付 れない場合	i情報 PIこ作成されたインシデントの合計コスト。(制)防 ilt、このKPIではカウントできません) いージョ:	- コスト変更時刻とインシデント ンの制限 - このKPIは、SM 9.40=	作成時刻が同じ測定期間内に記録さ コードレスモード (PD) バージョンの場合

この領域には、選択したメトリック、または[概要]タブで選択した期間の現在の期間に至るま での選択した項目の時系列情報が表示されます。

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括 弧付きで示されます)。

UI要素	説明
<名前> 期間<選択> <値> < 傾向> <ステータス>	保留状態のデマンド数 期間:現在 👻 1.249K# 🕈
	タイトルには次の内容が表示されます。
	<ul> <li>&lt;名前&gt;: 選択した項目 (KPI、KPIブレークダウン、未割り当 てのKPI、メトリック、またはメトリックブレークダウン) の名前。</li> </ul>
	<ul> <li>期間 &lt;選択&gt;: 表示する期間を選択します。次の中から選択 できます。</li> </ul>
	• 現在:ページのタイトルには、選択した項目の現在の 値、傾向、およびステータスが表示されます。
	• 最終終了:ページのタイトルには、計算期間が完了した 選択した項目の値、傾向、およびステータスが表示され ます。
	• 選択した項目の値が計算された期間のリスト。
	○ <b>値:</b> 選択した項目の値。
	◎ <b>傾向: <sup>●</sup> </b>

UI要素	説明
	<ul> <li>目の値と、前の期間の値との比較を示します。</li> <li>ステータス:現在の期間中のKPIとKPIブレークダウンのス テータス(メトリックおよびメトリックブレークダウンに はステータスはありません)。次のどれかです。</li> <li>✓は、ステータスが[良好]であることを示します。</li> <li>▲は、ステータスが[警告]であることを示します。</li> <li>✓は、ステータスが[重大]であることを示します。</li> <li>✓は[保留中]または[データがありません]のステータ スを示します。これは、ステータスの計算が完了してい ないか、計算でエラーが発生したためステータスが計算 されていないことを示します。</li> </ul>
Periodicity	<ul> <li>注: スライダーは、KPI、メトリック、KPIブレークダウ ン、メトリックブレークダウンに対してのみ表示されます。</li> <li></li></ul>

#### ビジネスアナリストユーザーガイド ビジネス目標の表示と分析

UI要素	
過去1年	
//////////////////////////////////////	
過去1か月	
過去3か月	
過去半年	
過去1年	
過去2年	
過去3年	

南ルドリ	
履歴情報を表示するには、 す。	関連する過去の期間を選択しま
ページのタイトルの [ <b>期間</b> ] 表示期間。	:] リストで選択した期間に対応する

#### 例

=# DR

[期間:現在]および[過去1年]を選択した場合、グラフ、バー、またはテーブルには、現在の日付の1年前から始まり、現在の日付で終了する情報が表示されます。

	ステータス	傾向	値	期間名
	0	+	297.18	FY2015/07(Jul)
	8	<b>↑</b>	301.21	FY2015/06(Jun)
	8	<b>↑</b>	160.74	FY2015/05(May)
	8	+	141.57	FY2015/04(Apr)
	8	<b>↑</b>	203.7	FY2015/03(Mar)
	8	<b>†</b>	198.65	FY2015/02(Feb)
	8	+	189.92	FY2015/01(Jan)
8	8	+	141.99	FY2014/12(Dec)
	8	+	228	FY2014/11(Nov)
	•			

「期間:最終終了]および[過去1年]を選択した場合、グラフ、バー、またはテーブルには、最後に閉じられた期間の1年前から始まり、最終終了の日付で終了する閉じられた期間の情報が表示されます。現在の月、たとえば、2013年10月は画像の作成時点で完了していないため、含まれていません。

期間名	値	傾向	ステータス	
FY2015/06(Jun)	301.21	+	8	
FY2015/05(May)	160.74	+	8	
FY2015/04(Apr)	141.57	+	8	
FY2015/03(Mar)	203.7	+	8	
FY2015/02(Feb)	198.65	+	8	
FY2015/01(Jan)	189.92	+	8	
FY2014/12(Dec)	141.99	+	8	
FY2014/11(Nov)	228	+	8	-
FY2014/10(Oct)	198.29	+	8	
			*	-

[期間: FY2014/12 (Dec) (14/1/12 - 14/12/31)] および
 [過去1年] を選択した場合、グラフ、バー、またはテーブルには、項目の値が計算された期間の情報が表示されます。表示される期間は、選択した期間の1年前から始まり、選択した期間で終了します。

ステータス	傾向	道	期間名
8	+	141.99	FY2014/12(Dec)
8	+	228	FY2014/11(Nov)
8	+	198.29	FY2014/10(Oct)
8	<b>†</b>	244.47	FY2014/09(Sep)
0	+	25.43	FY2014/08(Aug)
<b>A</b>	+	91.49	FY2014/07(Jul)
8	<b>†</b>	218.35	FY2014/06(Jun)
0	+	180.34	FY2014/05(May)
8	+	363.78	FY2014/04(Apr)
8	+	268.84	FY(2014/03(Mar)

UI要素	説明
	次のいずれかのグラフの種類を選択します。
	は情報を折れ線グラフで表示します。
	山は情報を棒グラフで表示します。
<棒グラフ>	<ul> <li><x軸>: X軸には、選択した期間が項目の構成された期間に 対応して均等なセグメントに分割されて表示されます。</x軸></li> <li><y軸>: Y軸には、選択した項目の値が適切な単位で表示さ れます。</y軸></li> <li>&lt;ツールヒント&gt;: 関連する期間の項目の値を表示します。</li> </ul>
<折れ線グラフ形式>	<ul> <li>●■は、期間の1目盛りに対応する定期的な「ポイント」を示します。</li> <li>グラフ上でカーソルを動かすと、特定のポイントの正確な日付を示す線が表示されます。</li> <li>●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●</li></ul>
	<ul> <li></li></ul>

UI要素	説明
<テーブル形式>	<ul> <li>期間名: 関連する期間のリスト。詳細については、過去1年およびテーブル内のより上位のその他の履歴期間の説明を参照してください。</li> <li>値: 該当する期間に選択した項目の値。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・          ・          ・</li></ul>
	す。 • <b>ジ</b> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>         ・          ・          ・</li></ul>
[全般的な詳細] タブ	<ul> <li>所有者: [アクティブなKPI] ペインで選択された項目(目標、</li> <li>KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPI)の所有者。</li> <li>説明: [アクティブなKPI] ペインで選択した項目の説明。</li> <li>ビジネスモチベーション: [アクティブなKPI] ペインで選択した</li> <li>KPIまたはKPIブレークダウンのビジネスモチベーション。</li> </ul>
[計算の詳細] タブ	このタブには、スタジオに表示する際の目標、KPI、またはメ トリックの構成が表示されます。 <sup> </sup>
	<ul> <li>単位: メトリック、KPI、KPIブレークダウン、メトリックブレークダウンの単位。</li> <li>計算期間: 目標、メトリック、KPI、KPIブレークダウンの期間。</li> <li>ビジネスコンテキスト: メトリック、KPI、KPIブレークダウン、メトリックブレークダウンに割り当てられているコンテキスト。</li> <li>KPI数式/メトリック数式: KPI/メトリックの値の計算に用いられる数式。</li> </ul>
UI要素	説明
------	--
	<b>フィルター:</b> KPI/メトリックに割り当てられているフィル ター。
	<b>コメント:</b> KPI/メトリックの定義に追加されているコメント。
	<b>計算方法:</b> 目標のスコアをその子のスコアに基づいて計算する ためのルールのタイプ。次のどれかです。
	<ul> <li>ワーストチャイルド: 目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPIの最低スコア (目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられている目標の最低スコアです。</li> </ul>
	。 ベストチャイルド: 目標のスコアは親目標に割り当てられ ているすべてのKPIの最高スコア (目標に子KPIがある場 合)、または親目標に割り当てられている目標の最高スコア です。
	<ul> <li>重み付き平均: 目標のスコアは、親目標に割り当てられているKPIのスコアに重みを掛けたものの平均、または子目標が存在する場合は、子目標のスコアに重みを掛けたものの平均です。このルールをスタジオで選択すると、列(ウェイト)が追加されるので、重み付き平均の計算で子(目標またはKPI)に適用するウェイトを構成できます。この値を選択すると、重み付き平均の説明が表示されます。</li> </ul>
追加情報	外部ページへのリンク、目標、KPI、メトリックについてスタ ジオで設定されているダッシュボードページへのリンク、項 目の構成で指定されているBOまたはXcelsiusレポートへのリン ク。
	[追加情報]のダッシュボードページに目標、KPI、メトリック、KPIブレークダウン、メトリックブレークダウンのいずれかを割り当てた状態で、ダッシュボード内のページ名を変更すると、変更内容はエクスプローラーに反映されません。エクスプローラーが更新されるのは、キャッシュのリフレッシュ後です。たとえば、スタジオの編集や計算の実行などでリフレッシュが発生します。
	<b>システム管理者への注意:</b> 管理データベースのSETTINGS_ MANAGEMENTテーブルで <b>parameter bo.in.use</b> を <b>true</b> に設定す ると、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリッ クブレークダウン、未割り当てのKPIの構成でXcelsiusとBOレ ポートを[追加情報]として追加できます。

### • KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの場合:

[エクスプローラー] ページの [アクティブなKPI] 領域にあるKPIブレークダウンまたはメトリッ クブレークダウンをクリックすると、次のような円グラフが表示されます。



下の図は、KPIブレークダウンの概要を示します。

UI要素	説明
<名前>	<ul> <li>&lt;名前&gt;: 選択した項目 (KPI、KPIブレークダウン、未割り当てのKPI、メトリック、またはメトリックブレークダウン) の名前。</li> </ul>
<凡例>	表示色、KPIブレークダウンまたはメトリックのディメンションの値が表 示されます。
<円グラフ>	円グラフでは扇型を10個まで表示できます。

UI要素	説明
	KPIブレークダウンまたはメトリックディメンションの値の数が10を超え る場合、上位9個の値が9個の扇型で表示され、最後の扇形は、残りすべ ての値を表します。KPIまたはメトリックの名前、ディメンションの値な ど、各扇型の詳細はツールヒントで表示されます。10個目の扇型のツー ルヒントでは、残りの上位3個の値の詳細が表示されます。
説明	[アクティブなKPI] ペインで選択したKPIブレークダウンまたはメトリック ブレークダウンの説明。
ビジネスモチ ベーション	[アクティブなKPI] ペインで選択したKPIブレークダウンまたはメトリック ブレークダウンのビジネスモチベーション。
追加情報	外部ページへのリンク、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダ ウンについてスタジオで設定されているダッシュボードページへのリン ク、KPIブレークダウンまたはメトリックブレークダウンの構成で指定さ れているBOまたはXcelsiusレポートへのリンク。
	[追加情報]のダッシュボードページに目標、KPI、メトリック、KPIブレー クダウン、メトリックブレークダウンのいずれかを割り当てた状態で、 ダッシュボード内のページ名を変更すると、変更内容はエクスプロー ラーに反映されません。エクスプローラーが更新されるのは、キャッ シュのリフレッシュ後です。たとえば、スタジオの編集や計算の実行な どでリフレッシュが発生します。

ツールバー

UI要素	説明
$\bowtie$	<b>電子メールの送信:</b> Outlookの電子メールが開きます。[ <b>件名</b> ] ボックスには、選 択したエンティティの名前が入力されます。
Ċ	<b>スナップショットの保存:</b> エクスプローラーで現在表示されている内容 (すべ て) のスナップショットを取得し、新しいウィンドウで開きます。イメージの 保存先を指定するダイアログボックスが開きます。
<b>₽</b>	<b>印刷:</b> [印刷] ダイアログボックスが開くので、[エクスプローラー] タブの内容を 印刷するプリンターと印刷方法を選択します。
	プリントアウトには次の内容が含まれます。
	• ボタンをクリックした時点で選択されていた領域の内容。

UI要素	説明
	• 注釈領域。
	注釈の表示/非表示: このボタンを使用できるのは、目標、KPI、KPIブレークダ ウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIのみです。注 釈を追加できる場所にボックスが開き、表示後に非表示することもできます。 詳細については、「注釈」(587ページ)を参照してください。 もう一度ボタンをクリックすると、[注釈]領域が閉じます。 注: 下のツールバーの[注釈の表示]/[非表示]アイコンに小さいプラス記号 が表示されている場合、過去1週間の間に、選択した項目に新しく注 釈が追加されたことを示します。 注釈が新規と見なされる日数については、[管理] > [スコアカード] > [ダッ シュボードの設定] > [注釈が新規と見なされる日数] で管理者が構成できま す。たとえば、管理者がこの設定に対して値14を指定し、プラス記号が表 示されている場合、過去2週間の間にその注釈が追加されたことを示しま す。既定値は1週間です。

# データセット

[エクスプローラー] タブの [データセット] 領域を使用できるのは、KPI、メトリック、KPIブレークダ ウン、メトリックブレークダウンのみです。これは、KPIまたはメトリックの計算に使用される数式 の詳細へのドリルダウン、計算結果の構成要素の表示、および計算に使用されるデータの分析を行う 機能を提供します。ページでは、数式、フィルター、およびデータの表示が提供されます。

#### アクセス方法:

[**エクスプローラー**]タブをクリックすると、Executiveスタジオ内でアクティブなすべてのスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、 または未割り当てのKPIに関する詳細情報が表示されます。[エクスプローラー]タブで、関連する項目をクリックし、[**データセット**]ボタンをクリックします。



# 💽 タスク

本項の内容

•	エクスプローラーを使用した選択したKPIまたは目標に関する詳細情報の表示	545
•	数式に使用される各集計関数の数値結果の表示	. 546
•	数式に使用される各集計関数の生データのテーブルの表示	. 546
•	SQLクエリの詳細の表示	. 547
•	生データの.csvファイルへのエクスポート	548
•	割合 (%) 数式の主要要素の表示	.549
•	[データセット] ページの内容の電子メールによる送信	.550
•	[データセット] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート	550
•	[データセット] ページの内容の印刷	550

# エクスプローラーを使用した選択したKPIまたは目標に関 する詳細情報の表示

選択したKPIまたは目標に関してさらに詳細な情報を表示するには、次の手順を実行します。

 ダッシュボードページのKPIまたはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。開いたツールヒントで、[調査..]をクリックします。選択した項目に関する [エクスプローラー]タブが開きます。

または、[**エクスプローラー**]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の 関連するKPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当て のKPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに表示します。

2. [**データセット**] ボタンをクリックして、KPIまたはメトリックの計算に使用される数式の詳細の 表示、計算結果の構成要素の表示、および計算に使用されるデータの分析を行います。ページ では、数式、フィルター、およびデータの表示が提供されます。

数式に使用される各集計関数の数値結果の表示

選択したKPIまたはメトリックの数式に使用される各集計関数の数値結果を表示するには、次の手順 を実行します。

- [エクスプローラー]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の関連する KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIをク リックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに表示し ます。
- 2. [データセット] ボタンをクリックします。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式の集計部 分をクリックすると、その部分がアクティブになります。アクティブな部分は、背景が青色に なります。

RATIO\_MATH ( COUNT (Defect, ...), COUNT (Defect, ...)) 完全な数式 該当する領域上にカーソルを移動して、その関数の値を表示します。 (Defect,...), COUNT (Defect,...)) 完全な数式 93 RATIO MATH(

数式に使用される各集計関数の生データのテーブルの表

示

選択したKPIまたはメトリックの数式に使用される各集計関数の生データのテーブルを表示するに は、次の手順を実行します。

- [エクスプローラー]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の関連する KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIをク リックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに表示し ます。
- 2. [**データセット**]ボタンをクリックします。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。アクティブ化 された集計関数の背景は青色です。 RATIO\_MATH ( COUNT (Defect, ...), COUNT (Defect, ...)) 完全な数式

3. 数式の下のテーブルに生データを表示する集計関数をクリックします。

テーブルには、ターゲットデータベースの生データが最大10行、既定で6列(列数はカスタマイズ可能)で表示されます。列は、関数の作成時に使用したエンティティのフィールドに相当します。例: sum (defects, defect.severity = "High")の場合、結果セットとしてdefectsエンティティのフィールドが表示されます。

テーブルを開くと、先頭列でソートされます。



列を並べ替え、テーブルを並べ替えると、データベースから追加情報を表示できます。

生データの完全なリストを表示するには、 しいをなり、クリックします。

SQLクエリの詳細の表示

データベースで実行されるSQLフレーズおよび関連するデータベース接続の詳細 (DBサーバーとDBス キーマ) を表示するには、次の手順を実行します。

ダッシュボードページのKPI、メトリック、またはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。開いたツールヒントで、[調査..]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー]タブが開きます。

または、[**エクスプローラー**]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の 関連するKPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当て のKPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブ に表示します。

2. [データセット]ボタンをクリックします。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式に表示される集計関数の背景は青色です。

3. 関連する集計関数をクリックして をクリックします。ダイアログボックスが開き、データ ベースがインストールされているマシンの名前、使用されるポート、ターゲットスキーマの名 前、および数式で現在強調表示されている関数に対応して計算実行のために行われるSQLクエリ が表示されます。

クエ	りの詳細			×
	データベースサーバー:	16.184.28.113:5433		
	データベーススキーマ:	vmartdb		
	取得クエリ:	SELECT SUM(ext.SM_Demo."Total_Cost_of_Incide nt") ServiceManagementTotal_Cost_of_Incide nt1 FROM ext.SM_Demo WHERE ( ( DATEDIFF(MI , '1970-01-01 00:00:00:000' , ext.SM_Demo."Month") - 480 ) * 60000 +	4 III •	
	クエリ	リをクリップボード にコピー 閉じる	5	]

# 生データの.csvファイルへのエクスポート

生データを.csvファイルにエクスポートするには、次の手順を実行します。

- [エクスプローラー]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の関連する 目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当ての KPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに 表示します。
- 2. [データセット]ボタンをクリックします。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式に表示される集計関数の背景は青色です。

RATIO\_MATH ( COUNT (Defect, ...), COUNT (Defect, ...)) 完全な数式

3. 【CSV (またはリンク) をクリックして、数式で現在強調表示されている関数の計算に使用される、ターゲットデータベーステーブルに含まれているすべてのデータ (GUIテーブルに表示され

ているデータだけでなく)を.csv形式のファイルにエクスポートします。これでディレクトリの リストが開くので、作成している.csvファイルを保存する場所を選択できます。

ブラウザーの設定に応じて、ファイルはあらかじめ決められたダウンロードディレクトリに自 動的に保存されます。

## 割合(%)数式の主要要素の表示

割合 (%) 数式の詳細な説明を表示するには、次の手順を実行します。

ダッシュボードページのKPI、メトリック、またはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。開いたツールヒントで、[調査..]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー]タブが開きます。

または、[**エクスプローラー**]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の 関連する目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割 り当てのKPIをクリックすることによって、選択した項目に関する詳細情報を[エクスプロー ラー]タブに表示します。

2. [データセット]ボタンをクリックします。

ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示されます。数式に表示される集計関数の背景は青色です。円グラフには、割合(%)数式の一般セクションおよびその他の すべてのデータに対応する情報が表示されます。

フィルターには、フィルター数式の説明が表示されます。詳細については、「データセット」 (554ページ)を参照してください。

レビ	ビューされた要求の割合 (%) 期間: 現在 → 46.473% + 😒							
	44.2%	レビュ ) 数式	ーされた要求の割合 (% <b>t</b>	6)				
	Requirement 10	0個のレコード (合計1111	固) レコードセット全体	を表示するIこは、[ <mark>CSV</mark>				
	REVIEW_STATUS 🗘	REVIEWED_DATE	COVERAGE_STATUS	CREATED_DATE	DESCRIPTION	DOCUM	ENTATION	<b>۱</b>
	Reviewed	2014-06-02 00:00:	Passed	2014-01-02 00:00:		100		
	Reviewed	2014-06-07 00:00:	Not Completed	2013-05-07 00:00:		10		
	Reviewed	2014-06-07 00:00:	Not Covered	2014-01-07 00:00:		167		
	Reviewed	2014-06-04 00:00:	Failed	2013-06-04 00:00:		52		
	Reviewed	2014-07-01 00:00:	Passed	2013-10-01 00:00:		0		
	Reviewed	2014-06-04 00:00:	Failed	2013-07-04 00:00:		150		
	Reviewed	2014-06-04 00:00:	Not Completed	2014-01-04 00:00:		46		
	Reviewed	2014-06-11 00:00:	N/A	2013-04-11 00:00:		198		
	Reviewed	2014-06-04 00:00:	N/A	2013-03-04 00:00:		85		
	Reviewed	2014-06-02 00:00:	No Run	2013-04-02 00:00:		86		
						₿	6 🖂	] 🖗

- [データセット]ページの内容の電子メールによる送信
  - 1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[**データ セット**] をクリックします。
- 電子メールをエンティティの所有者に送信するには、[電子メールの送信] アイコンをクリックします。
   注釈の追加後すぐに電子メールを送信する場合、注釈の内容が自動的に電子メールに追加されます。

詳細については、「[エクスプローラー] タブ - データセット」(551ページ)を参照してください。

ムービー:ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある[**へ** ルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につい ては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

[データセット]ページの内容のPDFファイルへのエクス ポート

- 1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[**データ セット**] をクリックします。
- [データセット]ページの内容をPDFファイルにエクスポートするには、[スナップショットの保存] ローンをクリックします。

詳細については、「[エクスプローラー] タブ - データセット」(551ページ)を参照してください。

ムービー:ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある[**へ** ルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につい ては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

## [データセット]ページの内容の印刷

1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[**データ セット**]をクリックします。

2. [データセット] ページの内容を印刷するには、[**印刷**] 🕞 アイコンをクリックします。 詳細については、 「[エクスプローラー] タブ - データセット」(551ページ)を参照してください。

ムービー:ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある

[**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細については、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。





**注:** Business Analyticsでは、別のタブに移動した後 [エクスプローラー] タブに戻ると、移動前に 選択していた項目の詳細が再び表示されます。ただし、プロパティは更新されることがありま す。

[エクスプローラー] タブには、次の領域が含まれています。

「アクティブなKPI」(552ページ)

「データセット」(554ページ)

「ツールバー」(560ページ)

「ツールバーのその他のボタン」(561ページ)

アクティブなKPI

アクティブなKPI		
	0.	2
l	-\	) *
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
▼ 国 アプリケーションVP		
▼ 🔄 ITのセキュリティ確保		
▶ ⊚ リスクの低減 7	7.527 =	0
▼ ITの価値		
▶ <ol> <li>IT投資管理</li> </ol>	) =	8
▶ ⊚ ビジネス戦略との整合 🛛 💈	2.288 🚽	8
▶ <ol> <li>● 自動化のROIの改善</li> </ol>	3.679 =	A
▼ 🔄 将来方針		
▶ ⊚ スタッフの有効性の改善 2	2.89 🚽	8
▶ ⊚ ナレッジ管理の改善 ℓ	3.61 🛉	• 📀 👘
▼ 運用改善		
▶ ⊚ アジリティの向上 2	2.169 🚽	8
▶ ⊚ ブロジェクト実施の改善 3	3.377 🔺	•
▶ <ol> <li>● 品質の改善 4</li> </ol>	4.362 🔺	•
▶ <ol> <li>● 自動化適用の向上</li> </ol>	7.441 🚽	· 📀
▶ ⊚ 高水準のブロセス実現 2	2.637 🚽	8
▼ 顧客		
▶ ⊚ 提供品質の改善 →	データが	
▶ ⊚ 顧客満足度の改善 3	3.608 🕇	•

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
〇、 <検索>	文字列を入力すると、指定した文字列を名前に含むノードがツリーに表示され ます。
	さらに、フィルターされたノードの子ノードは、その名前に文字列が含まれて いなくてもリストに表示されます。
	表示がフィルターされているかどうか (ダッシュボードのコンポーネントから エクスプローラーにアクセスした場合、<検索>ボックスにはフィルターに関す る情報が表示されます)。例:

UI要素	説明
	アクティブなKPI コスト × × ≪ ブロジェクトコストの変化率(%) データが… ∠ ≪ ブロジェクトの計画コストに対… データが… ∠
*	<ul> <li>詳細検索: コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。</li> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択する と、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されま す。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> <li>タイプ: 次の中から選択します。 <ul> <li>すべて: 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul> </li> <li>KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。</li> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する (ステータスがすべ てに変更される) には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メト リック]を選択すると、[ステータス] フィールドが[すべて] に変わり、ア クセスできなくなります。</li> <li>目標: 選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示しま す。</li> </ul>
アクティブなKPI	<ul> <li>[エクスプローラー]タブへのアクセス方法に応じて、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIなどすべての項目、HP IT Business Analyticsでアクティブな項目、項目の一部が表示されます。</li> <li>表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。</li> <li>注:スコアカード管理者は、エクスプローラーで新規作成したスコアカードを表示したい場合(スコアカードを表示する権限が必要)、[更新]ボタンをクリックしてエクスプローラーを更新する必要があります。</li> <li>スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIのどれかをクリックす</li> </ul>

UI要素	説明
	ると、その詳細情報がほかのペインに表示されます。
	[アクティブなKPI] ペインの右側の領域には、選択した項目タイプに応じて、次 の項目が表示されます。
	• 項目の名前。
	• 項目の値。
	- ● 🕈 🗣 傾向アイコンは、現在の期間にわたって計算された値の傾向を示し
	ます。
	• 現在の期間中の項目のステータス。次のどれかです。
	▪ <sup>──</sup> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	• は、ステータスが [警告] であることを示します。
	<b>・ 😢</b> は、ステータスが [ <b>重大</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが[保留中]であり、計算が実行されていない状態または完了していない状態であることを示します。</li> </ul>

### データセット

ん	/シデントの合計コスト	(0) (US\$) 期間: 現在	▼ \$ 297.18 ♥ Ø					
	SUM (ServiceMar	nadement.Total Cost (	of Incident) 👳 🚓 🗮	æ				
⑦ 概要	ServiceManagement	4個のレコード (合	計4個) レコードセットき	全体を表示するI こは、 [CS	v			
	Total_Cost_of_In ¢	Incident_Category	Incident_Priority	Month	Service_Name	Agree	ment_Cate	gory
三 データセット	23.04	complaint	2	2015-07-02 00:00:0	SharePoint	sla		
	85.78	incident	3	2015-07-03 00:00:0	Advantage Inc Apps	ola		
	87.94	incident	1	2015-08-01 00:00:0	Exchange	sla		
	100.42	complaint	4	2015-07-04 00:00:0	D.F.S.	uc		
▶** 予測								
					Ecsv ,		6 🖂	9

• <分析領域>

UI要素	説明
<名前> 期間<選 択> <値> <傾向> <ステータス>	保留状態のデマンド数 期間:現在 👻 <b>1.249K# 🕈 </b>
	タイトルには次の内容が表示されます。
	<ul> <li>&lt;名前&gt;: 選択した項目 (KPI、KPIブレークダウン、未割り当てのKPI、メトリック、またはメトリックブレークダウン)の名前。</li> </ul>
	• 期間 <選択>: 表示する期間を選択します。次の中から選択できます。
	<ul> <li>現在:ページのタイトルには、選択した項目の現在の値、傾向、およびステータスが表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>最終終了:ページのタイトルには、計算期間が完了した選択した項目の値、傾向、およびステータスが表示されます。</li> </ul>
	∘ 選択した項目の値が計算された期間のリスト。
	• <b>値:</b> 選択した項目の値。
	• 傾向: ● ● ● ● 傾向アイコンは、選択した期間で選択した項目の値と、前の期間の値との比較を示します。
	<ul> <li>ステータス:現在の期間中のKPIとKPIブレークダウンのステータス(メトリックおよびメトリックブレークダウンにはステータスはありません)。 次のどれかです。</li> </ul>
	。 🥑は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	。  は、ステータスが [ <b>警告</b> ] であることを示します。
	。 😢は、ステータスが [重大] であることを示します。
	。 2 は [ <b>保留中</b> ] または [ <b>データがありません</b> ] のステータスを示しま す。これは、ステータスの計算が完了していないか、計算でエラーが 発生したためステータスが計算されていないことを示します。
<数式>	ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式が表示され ます。数式に表示される集計関数の背景は青色です。
	RATIO_MATH(COUNT(Defect,),COUNT(Defect,))完全な数式
	該当する領域上にカーソルを移動して、その関数の値を表示します。

### ビジネスアナリストユーザーガイド ビジネス目標の表示と分析

UI要素	説明	
	RATIO_MATH ( 93 (Defect, ), COUNT (Defect, )) 完	全な数式
	数式でPERCENTAGE集計関数が使用されている場合、画面に円グ されます。	ラフが表示
	レビューされた要求の割合 (%) 期間: 現在 ▼  46.473% ◆ ③ 44.2%  レビューされた要求の割合 (%)  ▶ 数式	
	Requirement 10版のレコード (合計111個) レコードセット全体を実示するには、[rsv	
	Reviewed         2014-06-02 00:00:         Passed         2014-01-02 00:00:         100	
	Reviewed 2014-06-07 00:00: Not Completed 2013-05-07 00:00: 10	
	Reviewed 2014-06-07 00:00: Not Covered 2014-01-07 00:00: 167	
	Reviewed 2014-06-04 00:00: Failed 2013-06-04 00:00: 52	
	Reviewed 2014-07-01 00:00: Passed 2013-10-01 00:00: 0	
	Reviewed 2014-06-04 00:00: Failed 2013-07-04 00:00: 150	
	Reviewed         2014-06-04 00:00:         Not Completed         2014-01-04 00:00:         45	
	Reviewed         2014-06-11 00:00:         N/A         2013-04-11 00:00:         198           Double of the control of the c	
	Reviewed 2014-06-02 00:00: N/A 2013-03-04 00:00: 85	
	<ul> <li><b>制限事項:</b> <ul> <li>PERCENTAGE_MATH数学的関数を使用するKPIまたはメトリーでは、その他の数学的関数に類似した画像が表示され(一般の画像については、上記を参照)、円グラフは表示されませ</li> <li>被除数が除数のサブセットである割合の場合、円グラフで表ができます。             </li></ul> <li>PERCENTAGE(Defect, Defect.Severity='Urgent', Defect.Severity='Urgent' or Defect.Severity='Warning', 0)             <ul> <li>被除数が除数のサブセットでない場合は、円グラフで表す。</li></ul></li></li></ul>	ック数式 的な画面 ん。 表すこと ことがで
	<ul> <li>また、PERCENTAGE関数をRATIO関数に変更することもお勧め す。たとえば、次のPERCENTAGE数式は円グラフで表すこと せん。</li> <li>ページの上部に、KPIまたはメトリックの計算に使用された数式</li> </ul>	めしま :ができま が表示され
	ます。数式に表示される集計関数の背景は青色です。円グラフル	こは、KPIま

UI要素	説明					
	たはメトリックの値を表す上部セクション ( <kpiまたはメトリックの名前 &gt;)、および100% - <kpiまたはメトリックの値>を表す下部セクション (その 他) の2つのセクションがあります。</kpiまたはメトリックの値></kpiまたはメトリックの名前 					
	KPIの値を表すセクションは次のようになります。					
	• KPIしきい値定義が最小値が望ましい構成の場合 (KPI値が小さい方がステータスが良好)、KPIに対して赤色。					
	• KPIしきい値定義が最大値が望ましい構成の場合 (KPI値が大きい方がス テータスが良好)、KPIに対して青色。					
	数式を表示するには、 <b>数式</b> を展開します。					
	重大な不具合の割合(%) ✓ 数式 PERCENT AGE (Defect, (Defect.Severity = '4 - Very High' or Defect.Severity = '5 - Urgent')					
	And Defect.DetectedDate IN_PERIOD, Defect.DetectedDate IN_PERIOD) その他					
完全な数式/	数式全体を表示するには、[ <b>完全な数式</b> ]をクリックします。					
<b>首略された</b> 数式	RATIO_MATH ( COUNT (Defect, Defect, ClosedDate IN_PERIOD), COUNT (Defect, Defect, DetectedDate IN_PERIOD)) 🕋					
	切り詰められた数式を表示するには、[ <b>省略された数式</b> ]をクリックします。					
	RATIO_MATH ( COUNT (Defect, ) , COUNT (Defect, ) ) 完全な数式					
<フィルター数式 >	KPIまたはメトリック用に構成されたフィルター。フィルターの内容は、既 定では表示されません。フィルターの内容を展開して表示するには、[ <b>フィ</b> <b>ルター</b> ]をクリックします。					
	<ul> <li>▼ フィルター</li> <li>▼ Project.Name is not null</li> </ul>					
	 フィルターに表示されるこのアイコン <sup>▼</sup> は、フィルターがKPIまたはメト リック用であることを示します。					
	フィルターに表示されるこのアイコン 🌐 は、フィルターがKPIブレークダ ウンまたはメトリックブレークダウン用であることを示します。					

	説明						
	<ul> <li>フィルター </li> <li>Project Name is not null </li> <li>Service Name * 'CRM</li> </ul>			and			
	フィルターにか 合、フィルタ- クをグローバル <b>&lt;グローバルフ</b>	<sup>ブ</sup> ローバル -の各セク レおよび部 <b>ィルター&gt;</b>	と部分の両 ションをク 分的にフィ および<部5	方のフィ リックす ルターで <b>分フィル</b> 5	ルター構造 ることで、 きます。 <b>7 ー &gt;</b> 。	が含まれ KPIまたは	.ている場 \$メトリッ
<分析領域>	数式の関連する	5関数をク	リックしま	<b>す</b> 。			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	次のトラに公共	いるめにノ	-++++				
	へのように万作	川限場が衣	小ごれまり	0			
	<ul> <li>選択した関</li> </ul>	<b>数を持つ数</b>	虹。				
	のフィール テーブルを	ドか表示さ開くと、先	をれます。 こ頭列でソー コスト(0) (US\$) 期間:現在	-トされま - トされま	きす。 ®		
		SUM (Servic	eManagement.Total Cost	of Incident) *****	数式		
			nent 4個のレコード(合	合計4個) レコードセット	△仲太吉二ナス - + [cc		
	⑧ 概要	ServiceManagen			、王仲で改訂(きの)には、【し	V	
	⑧ 視要	ServiceManager Total_Cost_of_In		Incident_Priority	Month	Service_Name	Agreement_Catego
	<ul> <li>● 概要</li> <li>E データセット</li> </ul>	ServiceManager Total_Cost_of_In 23.04 85.78	Incident_Category complaint	Incident_Priority	Month 2015-07-02 00:00:0 2015-07-03 00:00:0	Service_Name SharePoint Advantage Inc Apps	Agreement_Catego
	④ 根要       三 データセット	ServiceManager           Total_Cost_of_In           23.04           85.78           87.94	complaint incident incident	Incident_Priority 2 3 1	Month           2015-07-02 00:00:0           2015-07-03 00:00:0           2015-08-01 00:00:0	Service_Name SharePoint Advantage Inc Apps Exchange	Agreement_Catego sia ola sia
	<ul> <li>● 根要</li> <li>三 データセット</li> <li>● 目標マップ</li> <li>● 日標マップ</li> </ul>	ServiceManager Total_Cost_of_tr 23.04 85.78 87.94 100.42	Incident_Category complaint incident incident complaint	Incident_Priority 2 3 1 4	¥ (P2 2015 07-02 00:00:0           2015-07-02 00:00:0           2015-07-03 00:00:0           2015-07-04 00:00:0	Service_Name SharePoint Advantage Inc Apps Exchange D.F.S.	Agreement_Catego sia ola sia uc

### ビジネスアナリストユーザーガイド ビジネス目標の表示と分析

Nation Column         Cose_ Date         Creation _ Date         Date Date         Nation           2014-06-07 00:00:         2012-03-08 00:00:         2012-01-07 00:00:         2013-04-08 00:00:         Project Issue 351           2014-06-07 00:00:         2012-04-08 00:00:         2012-01-07 00:00:         2013-12-07 00:00:         Project Issue 351           2014-06-02 00:00:         2013-03-03 00:00:         2013-03-02 00:00:         2013-12-07 00:00         Project Issue 524           2014-06-10 00:00:         2014-05-10 00:00:         2012-11-10 00:00:         2013-12-02 00:00         Project Issue 812           2014-06-10 00:00:         2014-05-10 00:00:         2012-11-10 00:00:         2014-04-10 00:00:         Project Issue 858           2014-06-03 00:00:         2014-05-02 00:00:         2015-02-01 00:00:         2014-11-03 00:00:         Project Issue 463           2014-06-04 00:00:         2014-07-03 00:00:         2014-11-03 00:00:         Project Issue 463           2014-07-01 00:00:         2015-11-02 00:00:         2014-07-03 00:00:         2014-07-03 00:00:         Project Issue 470           2014-06-09 00:00:         2013-07-10 00:00:         2014-07-03 00:00:         2014-07-03 200:00:         Project Issue 450           2014-06-09 00
とり1+0-0-0 00:00: 101:1-05-00 00:00: 2012-01-07 00:00: 1015-03-00 00:00: 11-0jct113u8 351 2014-06-07 00:00: 2012-04-08 00:00: 2012-01-07 00:00: 2013-12-07 00:00: Project 1ssue 524 2014-06-02 00:00: 2013-03-03 00:00: 2013-03-02 00:00: 2013-12-02 00:00: Project 1ssue 858 2014-06-02 00:00: 2014-05-10 00:00: 2012-11-10 00:00: 2014-04-10 00:00: Project 1ssue 858 2014-06-02 00:00: 2014-05-02 00:00: 2015-02-01 00:00: 2015-10-01 00:00: Project 1ssue 858 2014-06-03 00:00: 2014-05-02 00:00: 2014-01-03 00:00: 2015-10-01 00:00: Project 1ssue 463 2014-06-03 00:00: 2015-08-03 00:00: 2014-01-03 00:00: 2014-11-03 00:00: Project 1ssue 470 2014-07-01 00:00: 2015-11-02 00:00: 2014-01-01 00:00: 2014-09-02 00:00: Project 1ssue 540 2014-06-09 00:00: 2013-07-10 00:00: 2015-02-08 00:00: 2013-03-10 00:00: Project 1ssue 655 2014-06-06 00:00: 2014-08-06 00:00: 2014-06 00:00: 2014-03-06 00:00: Project 1ssue 800 <b>• 列の表示または非表示: 列のヘッダーを右クリックして、利</b>
2014-06-00 00:00:       2013-03-03 00:00:       2013-03-02 00:00:       2013-12-02 00:00:       Project Issue 812         2014-06-02 00:00:       2014-05-10 00:00:       2013-03-02 00:00:       2013-12-02 00:00:       Project Issue 812         2014-06-02 00:00:       2014-05-10 00:00:       2012-11-10 00:00:       2014-04-10 00:00:       Project Issue 812         2014-06-02 00:00:       2014-05-02 00:00:       2015-02-01 00:00:       2014-04-10 00:00:       Project Issue 858         2014-06-02 00:00:       2014-05-02 00:00:       2015-02-01 00:00:       2015-10-01 00:00:       Project Issue 858         2014-06-03 00:00:       2014-07-03 00:00:       2014-11-03 00:00:       Project Issue 463         2014-06-04 00:00:       2015-11-02 00:00:       2014-07-03 00:00:       2014-10-103 00:00:       Project Issue 463         2014-06-09 00:00:       2015-11-02 00:00:       2014-01-01 00:00:       2014-09-02 00:00:       Project Issue 540         2014-06-09 00:00:       2015-01-00:00:       2015-02-08 00:00:       2014-03-10 00:00:       Project Issue 695         2014-06-06 00:00:
2014-06-08 00:00: 2013-05-05 00:00: 2013-05-02 00:00: 2013-12-02 00:00: Project Issue 858 2014-06-10 00:00: 2014-05-10 00:00: 2012-11-10 00:00: 2014-04-10 00:00: Project Issue 858 2014-06-02 00:00: 2014-05-02 00:00: 2015-02-01 00:00: 2015-10-01 00:00: Project Issue 858 2014-06-03 00:00: 2014-09-03 00:00: 2014-01-03 00:00: 2014-11-03 00:00: Project Issue 463 2014-06-04 00:00: 2015-08-03 00:00: 2014-07-03 00:00: 2014-11-03 00:00: Project Issue 463 2014-06-04 00:00: 2015-10-20 00:00: 2014-07-03 00:00: 2014-11-03 00:00: Project Issue 463 2014-06-09 00:00: 2015-11-02 00:00: 2014-01-01 00:00: 2014-09-02 00:00: Project Issue 470 2014-06-09 00:00: 2013-07-10 00:00: 2015-02-08 00:00: 2013-03-10 00:00: Project Issue 595 2014-06-06 00:00: 2014-08-06 00:00: 2014-04-06 00:00: 2014-03-06 00:00: Project Issue 800 <b>• 列の表示または非表示: 列のヘッダーを右クリックして、利</b>
2014-06-02 00:00: 2014-05-02 00:00: 2015-02-01 00:00 2015-10-01 00:00 Project Issue 284 2014-06-02 00:00: 2014-09-03 00:00: 2015-02-01 00:00: 2015-10-01 00:00: Project Issue 284 2014-06-04 00:00: 2015-08-03 00:00: 2014-01-03 00:00: 2014-11-03 00:00 Project Issue 463 2014-06-04 00:00: 2015-08-03 00:00: 2014-07-03 00:00: 2014-11-03 00:00: Project Issue 470 2014-07-01 00:00: 2015-11-02 00:00: 2014-01-01 00:00: 2014-09-02 00:00: Project Issue 540 2014-06-09 00:00: 2013-07-10 00:00: 2015-02-08 00:00: 2013-03-10 00:00: Project Issue 695 2014-06-06 00:00: 2014-08-06 00:00: 2014-04-06 00:00: 2014-03-06 00:00: Project Issue 800
2014-06-02 00:00:       2014-03-02 00:00:       2013-02-07 00:00:       2013-10-07 00:00:       Project issue 284         2014-06-03 00:00:       2014-09-03 00:00:       2014-01-03 00:00:       2014-11-03 00:00:       Project issue 463         2014-06-04 00:00:       2015-08-03 00:00:       2014-07-03 00:00:       2014-11-03 00:00:       Project issue 463         2014-07-01 00:00:       2015-11-02 00:00:       2014-01-01 00:00:       2014-09-02 00:00:       Project issue 470         2014-06-09 00:00:       2013-07-10 00:00:       2014-01-01 00:00:       2013-03-10 00:00:       Project issue 540         2014-06-06 00:00:       2013-07-10 00:00:       2015-02-08 00:00:       2013-03-10 00:00:       Project issue 695         2014-06-06 00:00:       2014-08-06 00:00:       2014-04-06 00:00:       2014-03-06 00:00:       Project issue 800
2014-06-05 00:00::       2014-09-05 00:00:       2014-01-05 00:00:       2014-11-03 00:00:       Project issue 485         2014-06-04 00:00:       2015-08-03 00:00:       2014-07-03 00:00:       2014-11-03 00:00:       Project issue 470         2014-07-01 00:00:       2015-11-02 00:00:       2014-01-01 00:00:       2014-09-02 00:00:       Project issue 540         2014-06-09 00:00:       2013-07-10 00:00:       2015-02-08 00:00:       2013-03-10 00:00:       Project issue 555         2014-06-06 00:00:       2014-08-06 00:00:       2014-04-06 00:00:       2014-03-06 00:00:       Project issue 695         2014-06-06 00:00:       2014-08-06 00:00:       2014-04-06 00:00:       2014-03-06 00:00:       Project issue 800
2014-06-04 00:00: 2015-06-05 00:00: 2014-07-05 00:00: 2014-17-05 00:00: Project Issue 470 2014-07-01 00:00: 2015-11-02 00:00: 2014-01-01 00:00: 2014-09-02 00:00: Project Issue 540 2014-06-09 00:00: 2013-07-10 00:00: 2015-02-08 00:00: 2013-03-10 00:00: Project Issue 695 2014-06-06 00:00: 2014-08-06 00:00: 2014-04-06 00:00: 2014-03-06 00:00: Project Issue 800 <b>列の表示または非表示: 列のヘ</b> ッダーを右クリックして、利
2014-07-01-00:00: 2013-01-02:00:00: 2014-01-01-00:00:00 2014-03-02:00:00: Project Issue 340 2014-06-09:00:00: 2013-07-10:00:00: 2015-02-08:00:00: 2013-03-10:00:00: Project Issue 695 2014-06-06:00:00: 2014-08-06:00:00: 2014-04-06:00:00: 2014-03-06:00:00: Project Issue 800 • 列の表示または非表示: 列のヘッダーを右クリックして、利
2013-03-05 00:00 2013-07-10 00:00 2015-02-08 00:00 2013-03-10 00:00 Project issue 895 2014-06-06 00:00 2014-08-06 00:00 2014-04-06 00:00 2014-03-06 00:00 Project issue 800 <b>列の表示または非表示: 列</b> のヘッダーを右クリックして、利
2014-06-06 00:00: 2014-08-06 00:00: 2014-04-06 00:00: 2014-03-06 00:00: Project Issue 800 <b>列の表示または非表示:</b> 列のヘッダーを右クリックして、利
ての列のリストを表示します。リストの関連する列名をクリ 画面に表示、または画面から削除します。
Identified_Dat
→ 表示列の選択 → Coentified_Da
2014-06-07 00:00: 2012-03-08 00 🗸 Close_Date
2014 oc oz op.op. 2012 o4 op.op 🗸 Creation Dat
2014-06-07 00:00: 2012-04-08 00
2014 05 02 00:00: 2012 02 02 00 V Due_Date
∠014-06-02 00:00: 2013-03-03 00 ✓ Name
2014-06-10 00:00: 2014-05-10 00 🗸 Priority
Deschular
2014-06-02 00:00: 2014-05-02 00 Resolution
Status
2014-06-03 00:00: 2014-09-03 00
Туре

UI要素	説明
	B. Ctrl + C <b>キーを押します。</b> C. データを貼り付ける場所まで移動し、Ctrl + V <b>キーを押しま</b> す。
	• <b>列の順序変更:</b> 列の場所を変更するには、関連する列ヘッダーをクリックし、関連する場所までドラッグします。

### ・ツールバー

UI要素	説明
$\bowtie$	<b>電子メールの送信:</b> Outlookの電子メールが開きます。[ <b>件名</b> ] ボックスには、 選択したエンティティの名前が入力されます。
Ċ	<b>スナップショットの保存:</b> エクスプローラーで現在表示されている内容 (す べて) のスナップショットを取得し、新しいウィンドウで開きます。イメー ジの保存先を指定するダイアログボックスが開きます。
e	<ul> <li>印刷: [印刷] ダイアログボックスが開くので、[エクスプローラー] タブの内容を印刷するプリンターと印刷方法を選択します。</li> <li>プリントアウトには次の内容が含まれます。</li> <li>ボタンをクリックした時点で選択されていた領域の内容。</li> <li>注釈領域。</li> </ul>
	注釈の表示/非表示: このボタンを使用できるのは、目標、KPI、KPIブレーク ダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIのみで す。注釈を追加できる場所にボックスが開き、表示後に非表示することもで きます。詳細については、「注釈」(587ページ)を参照してください。 もう一度ボタンをクリックすると、[注釈] 領域が閉じます。 注: 下のツールバーの[注釈の表示]/[非表示] アイコンに小さいプラス 記号 が表示されている場合、過去1週間の間に、選択した項目に新 しく注釈が追加されたことを示します。 注釈が新規と見なされる日数については、[管理] > [スコアカード] > [ダッシュボードの設定] > [注釈が新規と見なされる日数] で管理者が構 成できます。たとえば、管理者がこの設定に対して値14を指定し、プラ

UI要素	説明
	ことを示します。既定値は1週間です。

• ツールバーのその他のボタン

UI要素	説明			
Tcsv	.csvへのエクスポート: クリックして、数式で現在強調表示されている関数 の計算に使用される、ターゲットデータベーステーブルに含まれているすべ てのデータ(GUIテーブルに表示されているデータだけでなく)を.csv形式の ファイルにエクスポートします。 これでディレクトリのリストが開くので、作成している.csvファイルの場所 を選択できます。ブラウザーの設定に応じて、ファイルはあらかじめ決めら れたダウンロードディレクトリに自動的に保存されます。			
	SQLの表示: クリックして、数式で現在強調表示されている関数の計算に実行されるSQLクエリを表示します。これで、SQLクエリで使用されるデータベースサーバー名とスキーマ名も表示されます。         クエリの詳細         データベースサーバー:       16.184.28.113:5433         データベーススキーマ:       vmartdb         取得クエリ:       SELECT         SUM(ext.SM_Demo."Total_Cost_of_Incide nt1 FROM ext.SM_Demo WHERE (         DATEDIFF(MI, '1970-01-01         00:00:00:00', ext.SM_Demo."Month") - 480)*60000 +         クエリをクリップボードICコビー         閉じる			
	<b>クエリをクリップボードにコピー:</b> クリックして、取得クエリの内容をク リップボードにコピーします。			

# 目標マップ

[エクスプローラー] タブの目標マップでは、選択したKPI、KPIブレークダウンが関連する目標、パー スペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノードがツリー形式で表示されます。

表示される要素は、ユーザーに許可されている要素に対応します。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。

#### アクセス方法:

[**エクスプローラー**]タブをクリックすると、Executiveスタジオ内でアクティブなすべてのスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウンの KPIに関する詳細情報が表示されます。[エクスプローラー]タブで、関連する項目をクリックし、[**日** 標マップ]ボタンをクリックします。





10進数の精度

Business Analyticsの表示では、次の精度が使用されます。

 スタジオ/ダッシュボード/エクスプローラーのアクティブツリー: KPIとメトリックの値は、最大6 桁が表示されます。小数点も表示されます。小数点以下の桁は、最大3桁に丸められます。整数部 は最大3桁に丸められ、K、M、Tが使用されます。例: 456.7893は456.789、3300122.111は 3.300M、999999は999.999Kのように表示されます。

ĸ₽Ľュー			• 1i   0 ∧ ×
			45~
	SLA遵守	宰 (%) ≡	
	100	000%	
	0.00%	100%	
	0.0070	10070	
	- 📀	FY2014/07(0	7)

スタジオでのしきい値。

スタジオのしきい値フィールドにはユーザーがしきい値を入力するので、整数部にはすべての桁 が表示されます。ただし、KPIしきい値の整数部が4桁以上ある場合、3桁に丸められます。例:

,00000					
-100	13715060	36123929	55136524	7287.457	23456789



### 本項の内容

•	目標マップを使用した詳細情報の表示	564
•	[目標マップ]ページの内容の電子メールによる送信	564
•	[目標マップ] ページの内容のPDFファイルへのエクスポート	.564
•	[目標マップ] ページの内容の印刷	. 565

## 目標マップを使用した詳細情報の表示

選択したKPIに関してさらに詳細な情報を表示するには、次の手順を実行します。

ダッシュボードページのKPIまたはスコアカードコンポーネント内の関連する項目の上にカーソルを移動します。開いたツールヒントで、[分析]をクリックします。選択した項目に関する[エクスプローラー]タブが開きます。
 または、「エクスプローラー]タブをクリックしてアクティブなKPIツリーを表示し、ツリー内の

または、[エクスプローラー]タフをフリックしてアクティフなKPIクリーを表示し、クリー内の 関連するKPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIをクリックすることによって、選択し た項目に関する詳細情報を[エクスプローラー]タブに表示します。

[目標マップ]ボタンをクリックすると、選択したKPI、KPIブレークダウン、未割り当てのKPIが関連する目標、パースペクティブ、スコアカードに与えるインパクトを示すノードがツリー形式で表示されます。

[目標マップ]ページの内容の電子メールによる送信

- [エクスプローラー]タブで、関連する項目を[アクティブなKPI]ツリーでクリックし、[目標マップ]をクリックします。
- 電子メールをエンティティの所有者に送信するには、[電子メールの送信] アイコンをクリックします。
   注釈の追加後すぐに電子メールを送信する場合、注釈の内容が自動的に電子メールに追加されます。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

[目標マップ]ページの内容のPDFファイルへのエクスポー ト

- [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[目標マップ] をクリックします。
- [目標マップ]ページの内容をPDFファイルにエクスポートするには、[スナップショットの保存]
   アイコンをクリックします。

詳細については、「[エクスプローラー] タブ - [目標マップ]」(565ページ)を参照してください。

**ムービー:** ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [**ヘルプ**]をクリックして、[**ムービー**]オプションで視聴したいムービーを選択します。詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。

# [目標マップ]ページの内容の印刷

[エクスプローラー]タブで、関連する項目を[アクティブなKPI] ツリーでクリックし、[目標マップ]をクリックします。

2. [目標マップ] ページの内容を印刷するには、[**印刷**] ロアイコンをクリックします。 詳細については、「[エクスプローラー] タブ - [目標マップ]」(565ページ)を参照してください。

ムービー: ムービーを視聴するには、BAアプリケーションを開き、メインページの右上にある [ヘルプ]をクリックして、[ムービー]オプションで視聴したいムービーを選択します。 詳細につ いては、『Getting Started with BA』の「Access Movies」を参照してください。



## [エクスプローラー]タブ-[目標マップ]

**注:** Business Analyticsでは、別のタブに移動した後 [エクスプローラー] タブに戻ると、移動前に 選択していた項目の詳細が再び表示されます。ただし、プロパティは更新されることがありま す。

[エクスプローラー]-[目標マップ]ページには、次の領域が含まれています。

「アクティブなKPI」(566ページ)

「目標マップ」(568ページ)

「ツールバー」(570ページ)

アクティブなKPI

アクティブなKPI		
	0.	2
l	-\	) *
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
▼ 国 アプリケーションVP		
▼ 🔄 ITのセキュリティ確保		
▶ ⊚ リスクの低減 7	7.527 =	0
▼ ITの価値		
▶ <ol> <li>IT投資管理</li> </ol>	) =	8
▶ ⊚ ビジネス戦略との整合 🛛 💈	2.288 🚽	8
▶ <ol> <li>● 自動化のROIの改善</li> </ol>	3.679 =	A
▼ 🔄 将来方針		
▶ ⊚ スタッフの有効性の改善 2	2.89 🚽	8
▶ ⊚ ナレッジ管理の改善 ℓ	3.61 🛉	• 📀 👘
▼ 運用改善		
▶ ⊚ アジリティの向上 2	2.169 🚽	8
▶ ⊚ ブロジェクト実施の改善 3	3.377 🔺	•
▶ <ol> <li>● 品質の改善 4</li> </ol>	4.362 🔺	•
▶ <ol> <li>● 自動化適用の向上</li> </ol>	7.441 🚽	· 📀
▶ ⊚ 高水準のブロセス実現 2	2.637 🚽	8
▼ 顧客		
▶ ⊚ 提供品質の改善 →	データが	
▶ ⊚ 顧客満足度の改善 3	3.608 🕇	•

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
〇、 <検索>	文字列を入力すると、指定した文字列を名前に含むノードがツリーに表示され ます。
	さらに、フィルターされたノードの子ノードは、その名前に文字列が含まれて いなくてもリストに表示されます。
	表示がフィルターされているかどうか (ダッシュボードのコンポーネントから エクスプローラーにアクセスした場合、<検索>ボックスにはフィルターに関す る情報が表示されます)。例:

UI要素	説明
	アクティブなKPI コスト × × ≪ プロジェクトコストの変化率(%) データが… ∠ ≪ プロジェクトの計画コストに対… データが… ∠
*	<ul> <li>詳細検索: コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを開きます。</li> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択すると、選択したステータスの要素のみが[アクティブなKPI]領域に表示されます。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> <li>タイプ: 次の中から選択します。 <ul> <li>すべて: 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul> </li> <li>KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。</li> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する(ステータスがすべてに変更される)には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メトリック]を選択すると、[ステータス] フィールドが[すべて]に変わり、アクセスできなくなります。</li> <li>目標: 選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示します。</li> </ul>
アクティブなKPI	<ul> <li>[エクスプローラー]タブへのアクセス方法に応じて、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIなどすべての項目、HP IT Business Analyticsでアクティブな項目、項目の一部が表示されます。</li> <li>表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。</li> <li>注:スコアカード管理者は、エクスプローラーで新規作成したスコアカードを表示したい場合(スコアカードを表示する権限が必要)、[更新]ボタンをクリックしてエクスプローラーを更新する必要があります。</li> <li>スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIのどれかをクリックす</li> </ul>

UI要素	説明
	ると、その詳細情報がほかのペインに表示されます。
	[アクティブなKPI] ペインの右側の領域には、選択した項目タイプに応じて、次 の項目が表示されます。
	<ul> <li>項目の名前。</li> </ul>
	• 項目の値。
	<ul> <li>● ●●● 傾向アイコンは、現在の期間にわたって計算された値の傾向を示します。</li> </ul>
	• 現在の期間中の項目のステータス。次のどれかです。
	<b>。 ──</b> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	•  は、ステータスが [警告] であることを示します。
	<b>・ 😢</b> は、ステータスが [ <b>重大</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが [保留中] であり、計算が実行されていない状態または完了していない状態であることを示します。</li> </ul>

#### 目標マップ

目標マップは、選択したKPIまたはKPIブレークダウンの現在の期間のみに関するインパクト構成を表示します。

また、[目標マップ]の表示は、ユーザーの権限によって異なります。

目標マップでは、アクティブツリーで目標、KPIまたはKPIブレークダウンをダブルクリックすると、 その項目と現在の期間に基づいて[概要]が表示されます。

	インシデントの合計コスト(0)(US\$) 期間:現在 💌 \$ 297.18 🕈 😂			
	移動洗のオブジェクトをダブルクリックしてください			
<ul> <li>● 根要</li> <li>目 データセット</li> </ul>	E Broke Musager	SMFAL	-79-(0	Þ
<ul> <li>              日間マップ      </li> </ul>	0090/88		⊐⊼F	
N" 70	0 27,644	IT運用=17 1.02495	11-0813 1	
	යන්නාවන්තවරණ 20739 <b>◆ ම</b>			
		80		Ð

UI要素	説明
<名前> 期間<選択> <値> <傾向> <ステータス>	保留状態のデマンド数 期間:現在 👻 1.249K# 🕈 😣
	タイトルには次の内容が表示されます。
	<ul> <li>&lt;名前&gt;: 選択した項目 (KPI、KPIブレークダウン、未割り当てのKPI、メトリック、またはメトリックブレークダウン)の名前。</li> </ul>
	• 期間 <選択>: 表示する期間を選択します。次の中から選択で きます。
	• 現在:ページのタイトルには、選択した項目の現在の 値、傾向、およびステータスが表示されます。
	• 最終終了:ページのタイトルには、計算期間が完了した 選択した項目の値、傾向、およびステータスが表示され ます。
	• 選択した項目の値が計算された期間のリスト。
	• <b>値:</b> 選択した項目の値。
	• 傾向: ● ◆ ◆ 傾向アイコンは、選択した期間で選択した項 目の値と、前の期間の値との比較を示します。
	<ul> <li>ステータス:現在の期間中のKPIとKPIブレークダウンのス テータス(メトリックおよびメトリックブレークダウンには ステータスはありません)。次のどれかです。</li> </ul>
	<b>。                                    </b>
	•  は、ステータスが [ <b>警告</b> ] であることを示します。
	<b>・  は、ステータスが [<b>重大</b>] であることを示します。</b>
	<ul> <li>は[保留中]または[データがありません]のステータスを示します。これは、ステータスの計算が完了していないか、計算でエラーが発生したためステータスが計算されていないことを示します。</li> </ul>
■ アプリケーションVP	選択したKPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIの親 スコアカードを表します。
	スコアカードの名前がアイコンのそばに表示されます。

UI要素	説明	
ு ாறகுட்	選択したKPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIの親 パースペクティブを表します。	
	パースペクティブの名前がアイコンのそばに表示されます。	
◎ 自動化の ROIの改善 3.679 = <u>1</u>	<ul> <li>次のいずれかを表します。</li> <li>選択した目標。目標の名前、スコア、傾向、およびステータ スがアイコンのそばに表示されます。</li> <li>選択したKPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIの 親目標を表します。</li> </ul>	
≪      矢敗したテストの割合 (%)     26.6% ■      4	選択したKPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIを表 します。	
	KPI、KPIブレークダウン、または未割り当てのKPIの名前、値、 傾向、およびステータスがアイコンのそばに表示されます。	

## ツールバー

UI要素	説明
$\bowtie$	<b>電子メールの送信:</b> Outlookの電子メールが開きます。[ <b>件名</b> ] ボックスには、選 択したエンティティの名前が入力されます。
Ċ	<b>スナップショットの保存:</b> エクスプローラーで現在表示されている内容 (すべ て) のスナップショットを取得し、新しいウィンドウで開きます。イメージの 保存先を指定するダイアログボックスが開きます。
Ê	<ul> <li>印刷: [印刷] ダイアログボックスが開くので、[エクスプローラー] タブの内容を</li> <li>印刷するプリンターと印刷方法を選択します。</li> <li>プリントアウトには次の内容が含まれます。</li> <li>ボタンをクリックした時点で選択されていた領域の内容。</li> </ul>
	• 注釈領域。
	<b>注釈の表示/非表示:</b> このボタンを使用できるのは、目標、KPI、KPIブレークダ ウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIのみです。注 釈を追加できる場所にボックスが開き、表示後に非表示することもできます。 詳細については、「注釈」(587ページ)を参照してください。 もう一度ボタンをクリックすると「注釈]領域が閉じます。
	もつ一度小ツノをソリツン9ると、[注釈] 視域が闭しより。

UI要素	説明
	注: 下のツールバーの [注釈の表示] / [非表示] アイコンに小さいプラス記号 ✓ が表示されている場合、過去1週間の間に、選択した項目に新しく注 釈が追加されたことを示します。 注釈が新規と見なされる日数については、[管理] > [スコアカード] > [ダッ シュボードの設定] > [注釈が新規と見なされる日数] で管理者が構成できま す。たとえば、管理者がこの設定に対して値14を指定し、プラス記号が表 示されている場合、過去2週間の間にその注釈が追加されたことを示しま す。既定値は1週間です。

予測

Business Analyticsは、[ダッシュボード] および [エクスプローラー] タブで過去および現在の期間での 目標、KPI、またはメトリックのステータスおよび値に関する情報を提供します。エクスプローラー の [予測] タブは、履歴データに基づいてエンティティの将来の動作を予測することで、将来の予想を 可能にします。その結果、基になる傾向を容易に把握し、現時点で実施できるあらゆる対策を講じ て、目的の動作を改善または維持できるようになります。

選択した目標、KPIまたはメトリック (ユーザーが権限を持っている項目) について、現在の期間から 最大1年間の予測を表示できます。

**注:** [予測] ボタンが有効になるのは、ユーザーが**予測**権限を持っている場合だけです。権限の詳 細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。

選択した項目 (KPI、目標、またはメトリック) の十分な履歴データがあるにもかかわらず、現在の期間で計算されない場合、その項目が無効であると認識されています。この場合、[**予測**] ボタンは無効になります。

#### アクセス方法:

[**エクスプローラー**]タブをクリックすると、Executiveスタジオ内でアクティブなすべてのスコアカード、目標、パースペクティブ、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウンの KPIに関する詳細情報が表示されます。[エクスプローラー]タブで、関連する目標、KPIまたはメト リックをクリックし、[予測]ボタンをクリックします。





## 予測の計算方法

予測計算の正確性はエンティティの履歴データに基づいており、計算には

DoubleExponentialSmoothingModelアルゴリズムが使用されます。データ量が増えるほど、予測の正 確性も向上します。

- $f_{t} = \alpha . Y_{t} + (1 \alpha)(f_{t-1} + b_{t-1})$
- $b_t = \gamma . (f_t f_{t-1}) + (1 \gamma) . b_{t-1}$

ここで:

- Y<sub>1</sub>は時間tでの測定値です。
- f<sub>1</sub>は時間tでの予測です。
- ・ b<sub>1</sub>は時間tでの推定勾配です。

•  $\alpha$ -(アルファ)-は1番目の平滑化定数であり、測定値を平滑化する目的で使用されます。値は0.6で す。

γ-(ガンマ)-は2番目の平滑化定数であり、傾向を平滑化する目的で使用されます。値は0.6です。

予測方法:

f <sub>t+m</sub> = f <sub>t</sub> + mb <sub>t-m</sub> ここで、m=1 (時間間隔) です。

初期ポイント: f<sub>1</sub>=y<sub>1</sub>; b<sub>1</sub>=y<sub>2</sub>-y<sub>1</sub>

最小限の履歴データ

最適な予測結果は、大量の履歴データに基づいています。

上記のアルゴリズムによって最適な予測結果を得るには、計算で可能な限り多くの履歴データが必要 になります。次の表は、特定の将来期間を対象として計算する場合に必要な最小限の履歴期間を示し ています。

将来期間	最小限の履歴データ (単一の将来期間を計算 する場合)	最大限の期間 (この期間に対して有 効な期間)	最大限の履歴データ (最大限の将来期間を対象と して計算する場合)
1日	30日	14日	420日
1週	12週	4週	48週
1か月	12か月	3か月	36か月
1四半期	6四半期	3四半期	18四半期
1年	3年	3年	9年

## 制限事項

データ不足が原因で、選択した将来期間に対する計算を実行できない場合、「予測の計算に十分な有 効な履歴データがないか、適切な表示権限がありません。管理者に連絡してください。」というエ ラーメッセージが表示され、予測計算は実行されません。履歴データが上記の「最小限の履歴データ (単一の将来期間を計算する場合)」の値を下回っている場合、予測は計算されません。

したがって、年単位のKPIで、履歴データの量が3年分に満たない場合、3年、2年、1年の予測計算に は必要なデータが不足していることになります。



本項の内容

# エンティティの予測の表示

エンティティの予測を表示するには、次の手順を実行します。

- 1. [エクスプローラー]をクリックします。
- [アクティブなKPI] ペインで関連するエンティティを選択して、[予測]をクリックします。
   このタブが有効になるのは、ユーザーが予測権限を持っている場合だけです。
- 3. ページタイトルの期間<期間>で[現在]モードを選択します。
- 4. [予測]ページで、予測期間を選択します。
  - a. 日単位の期間の場合 リストには次の14日の日付が日単位の粒度で表示されます。
  - b. 週単位の期間の場合 リストには次の4週の日付が週単位の粒度で表示されます。
  - c. 月単位の期間の場合 リストには次の3か月の日付が月単位の粒度で表示されます。
  - d. 四半期単位の期間の場合 リストには次の3四半期の日付が四半期単位の粒度で表示されま す。
  - e. 年単位の期間の場合 リストには次の3年の日付が年単位の粒度で表示されます。 これで予測計算が実行されます。

## 使用例

#### 使用例1 - KPIの3か月予測の表示:

KPIの現在のステータスを確認したときに、KPIがしきい値を超えそうになっている傾向があると 通知されたとします。今後3か月の間、KPIを可能な限り安定した状態に保つことが非常に重要で す。このため、エクスプローラーを開き、KPIを選択し、[**予測**] タブをクリックして、KPIが今後3 か月にどのように動くと予測されているか確認します。翌月にKPIがしきい値を超える可能性があ ることに気がついたとします。これ以上の放置はできないので、KPIの結果が即座に改善するよう に、大幅な変更を加えます。

#### 使用例2 – 目標の14日間の予測の表示 (履歴データが不十分な場合):

今後14日間の目標の予測を確認するとします(目標のKPIすべて日単位)。エクスプローラーで、目標を選択し、[予測]をクリックして、予測期間を14日先に設定します。この選択を実行すると、目的の将来期間を計算するために必要な履歴データが不足しているという通知が表示されます。 その場合、この目標に対する30日以上の履歴データを用意した上で、目標の予測を再計算します。

UIの説明

## [エクスプローラー]タブ-[予測]

**注:** Business Analyticsでは、別のタブに移動した後 [エクスプローラー] タブに戻ると、移動前に 選択していた項目の詳細が再び表示されます。ただし、プロパティは更新されることがありま す。

注: [予測] ボタンが表示されるのは、ユーザーが適切な権限を持っている場合だけです。

[エクスプローラー]-[予測]ページには、次の領域が含まれています。

「アクティブなKPI」(576ページ)

「予測」(578ページ)

「ツールバー」(583ページ)

アクティブなKPI

アクティブなKPI		
	0.	2
l	-\	) *
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
▼ 国 アプリケーションVP		
▼ 🔄 ITのセキュリティ確保		
▶ ⊚ リスクの低減 7	7.527 =	0
▼ ITの価値		
▶ <ol> <li>IT投資管理</li> </ol>	) =	8
▶ ⊚ ビジネス戦略との整合 🛛 💈	2.288 🚽	8
▶ <ol> <li>● 自動化のROIの改善</li> </ol>	3.679 =	A
▼ 🔄 将来方針		
▶ ⊚ スタッフの有効性の改善 2	2.89 🚽	8
▶ ⊚ ナレッジ管理の改善 ℓ	3.61 🛉	• 📀 👘
▼ 運用改善		
▶ ⊚ アジリティの向上 2	2.169 🚽	8
▶ ⊚ ブロジェクト実施の改善 3	3.377 🔺	•
▶ <ol> <li>● 品質の改善 4</li> </ol>	4.362 🔺	•
▶ <ol> <li>● 自動化適用の向上</li> </ol>	7.441 🚽	· 📀
▶ ⊚ 高水準のブロセス実現 2	2.637 🚽	8
▼ 顧客		
▶ ⊚ 提供品質の改善 →	データが	
▶ ⊚ 顧客満足度の改善 3	3.608 🕇	•

ユーザーインターフェイス要素について以下で説明します(関連するラベルのない要素は山括弧付き で示されます)。

UI要素	説明
〇、 <検索>	文字列を入力すると、指定した文字列を名前に含むノードがツリーに表示され ます。
	さらに、フィルターされたノードの子ノードは、その名前に文字列が含まれて いなくてもリストに表示されます。
	表示がフィルターされているかどうか(ダッシュボードのコンポーネントから エクスプローラーにアクセスした場合、<検索>ボックスにはフィルターに関す る情報が表示されます)。例:
UI要素	説明
-----------	--
	アクティブなKPI コスト × × グロジェクトコストの変化率(%) データが… / グロジェクトの計画コストに対… データが… /
*	<ul> <li>詳細検索: コンポーネントのフィルターを絞り込むための追加のフィールドを 開きます。</li> <li>ステータス: すべて、良好、警告、重大、データなしのいずれかを選択する と、選択したステータスの要素のみが [アクティブなKPI] 領域に表示されま す。[データなし]を選択すると、データのない要素のみが返されます。</li> <li>タイプ: 次の中から選択します。 <ul> <li>すべて: 選択したステータスを持つツリーのすべての要素を表示します。</li> </ul> </li> <li>KPI: 選択したステータスを持つKPIだけを表示します。</li> <li>メトリック: すべてのメトリックのリストを表示する (ステータスがすべ てに変更される) には:[ステータス] で値を選択している場合は、[メト リック]を選択すると、[ステータス] フィールドが[すべて] に変わり、ア クセスできなくなります。</li> <li>目標: 選択したステータスを持つ目標と、その目標のKPIだけを表示しま す。</li> </ul>
アクティブなKPI	<ul> <li>[エクスプローラー]タブへのアクセス方法に応じて、スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIなどすべての項目、HP IT Business Analyticsでアクティブな項目、項目の一部が表示されます。</li> <li>表示されるスコアカードのリストには、ユーザーが権限を持つスコアカードが含まれています。権限の詳細については、『BA Administrator Guide』の「User Management」を参照してください。</li> <li>注:スコアカード管理者は、エクスプローラーで新規作成したスコアカードを表示したい場合(スコアカードを表示する権限が必要)、[更新]ボタンをクリックしてエクスプローラーを更新する必要があります。</li> <li>スコアカード、パースペクティブ、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIのどれかをクリックす</li> </ul>

UI要素	説明
	ると、その詳細情報がほかのペインに表示されます。
	[アクティブなKPI] ペインの右側の領域には、選択した項目タイプに応じて、次 の項目が表示されます。
	<ul> <li>項目の名前。</li> </ul>
	<ul> <li>項目の値。</li> </ul>
	<ul> <li>● ●●● 傾向アイコンは、現在の期間にわたって計算された値の傾向を示します。</li> </ul>
	• 現在の期間中の項目のステータス。次のどれかです。
	<b>。 🝼</b> は、ステータスが [ <b>良好</b> ] であることを示します。
	• ⚠️は、ステータスが [警告] であることを示します。
	<b>・ 😢</b> は、ステータスが [ <b>重大</b> ] であることを示します。
	<ul> <li>は、ステータスが [保留中] であり、計算が実行されていない状態また は完了していない状態であることを示します。</li> </ul>

予測

特定のエンティティに対する予測の表示は、そのエンティティに対するユーザーの権限によって異な ります。



UI要素	説明
UI要素 <名前> 期間<選択> <値> < 傾向> <ステータス>	<ul> <li>説明</li> <li>リスクの低減(スコア)期間:現在 ▼ 7.527 - ○</li> <li>タイトルには次の内容が表示されます。</li> <li>&lt;名前&gt;: 選択したエンティティの名前(目標、KPI、メトリック)。</li> <li>値:選択した項目の値。</li> <li>傾向: ● ● ● 傾向アイコンは、選択した期間で選択した項目の値と、前の期間の値との比較を示します。</li> <li>ステータス:現在の期間中のKPIとKPIブレークダウンのステータス(メトリックおよびメトリックブレークダウンのステータス(メトリックおよびメトリックブレークダウンにはステータスはありません)。次のどれかです。</li> <li>● ● は、ステータスが[良好]であることを示します。</li> <li>● ● は、ステータスが[雪告]であることを示します。</li> <li>● ● ○ は[保留中]または[データがありません]のステータスを示します。</li> </ul>
	します。これは、ステーダスの計算が売了していないか、計算 でエラーが発生したためステータスが計算されていないことを 示します。
<日付リスト>	<b>注:</b> [概要] ページのタイトルの <b>期間&lt;期間&gt;</b> で [ <b>現在</b> ] モードが選択 されていることを確認します。
	表示される期間のリストは、使用可能な履歴データに基づいて予測 を計算できる期間に対応しています。
<グラフ形式>	<ul> <li>履歴データ (左側の領域):</li> <li>は、期間の1目盛りに対応する定期的な「ポイント」を示します。</li> <li>グラフ上でカーソルを動かすと、特定のポイントの正確な日付を示す線が表示されます。</li> </ul>

#### ビジネスアナリストユーザーガイド ビジネス目標の表示と分析



UI要素	説明
	<ul> <li></li></ul>
しきい値	目標またはKPIのしきい値の定義。メトリックにはしきい値は適用さ れません。
[全般的な詳細] タブ	金数切心詳細         計算の詳細           所有者:            説明:         測定期間中に開始されたブロジェクトの含計数に対する、ビジネス目標と一致するブロジェクトの数。           ビジネスモチベーション:当社の投資が組織の戦略的目標に焦点を当てていることを確認します。           追加情報:
	<b>所有者:</b> [アクティブなKPI] ペインで選択したエンティティ (目標、 KPI、またはメトリック) の所有者。
	説明: [アクティブなKPI] ペインで選択したエンティティの説明。 ビジネスモチベーション: [アクティブなKPI] ペインで選択したKPIの ビジネスモチベーション。
	<b>追加情報:</b> 外部ページへのリンク、目標、KPI、メトリックについて スタジオで設定されているダッシュボードページへのリンク、項目 の構成で指定されているBOまたはXcelsiusレポートへのリンク。
	[追加情報]のダッシュボードページに目標、KPI、メトリックのいず れかを割り当てた状態で、ダッシュボード内のページ名を変更する と、変更内容はエクスプローラーに反映されません。エクスプロー ラーが更新されるのは、キャッシュのリフレッシュ後です。たとえ ば、スタジオの編集や計算の実行などでリフレッシュが発生しま す。

UI要素	説明
	<b>システム管理者への注意:</b> 管理データベースのSETTINGS_ MANAGEMENTテーブルで <b>parameter bo.in.use</b> を <b>true</b> に設定すると、 目標、KPI、またはメトリックでXcelsiusとBOレポートを[追加情報] として追加できます。
[計算の詳細] タブ	このタブには、スタジオに表示する際の目標、KPI、またはメトリッ クの構成が表示されます。
	金数的な評細     計算の詳細       単位:     %       計算期間:     毎月       ビジネスコンテキスト:     ProjectPortfolioManagementDemo       KP模式:     PERCENTAGE(Project, ProjectHasObjectiveIndicator=1 And ProjectStartDate IN_PERIOD, Project.StartDate IN_PERIOD, 100)       フィルター:     コメント:
	<b>単位:</b> メトリック、KPI、KPIブレークダウン、メトリックブレークダ ウンの単位。
	<b>計算期間:</b> 目標、メトリック、KPI、KPIブレークダウンの期間。
	<b>ビジネスコンテキスト:</b> メトリック、KPI、KPIブレークダウン、メト リックブレークダウンに割り当てられているコンテキスト。
	<b>KPI数式/メトリック数式:</b> KPI/メトリックの値の計算に用いられる数 式。
	<b>フィルター:</b> KPI/メトリックに割り当てられているフィルター。
	<b>コメント:</b> KPI/メトリックの定義に追加されているコメント。
	<b>計算根拠:</b> 目標のスコアをその子のスコアに基づいて計算するための ルールのタイプ。次のどれかです。
	<ul> <li>ワーストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられているすべてのKPIの最低スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目標に割り当てられている目標の最低スコアです。</li> </ul>
	<ul> <li>ベストチャイルド:目標のスコアは親目標に割り当てられている すべてのKPIの最高スコア(目標に子KPIがある場合)、または親目 標に割り当てられている目標の最高スコアです。</li> </ul>
	• <b>重み付き平均</b> : 目標のスコアは、親目標に割り当てられているKPI のスコアに重みを掛けたものの平均、または子目標が存在する場 合は、子目標のスコアに重みを掛けたものの平均です。このルー ルをスタジオで選択すると、列( <b>ウェイト</b> ) が追加されるので、重 み付き平均の計算で子(目標またはKPI)に適用するウェイトを構成 できます。この値を選択すると、重み付き平均の説明が表示され

UI要素	説明				
	ます。				
[予測の詳細] タブ	このタブには、スタジオに表示する際の目標、KPI、またはメトリッ クの構成が表示されます。				
	全般的な詳細 計算の詳細 予測の詳細				
	アルゴリズム double exponential smoothing 平均絶対パーセント誤差 0.37%				
	アルファ 0.6				
	ガンマ 0.6				
	アルゴリズム: アルゴリズムの名前。詳細については、「予測の計算 方法」(572ページ)を参照してください。				
	<b>平均絶対パーセント誤差</b> : 予測結果の正確性のパーセンテージ。0% に近いほど、正確な予測です。				
	<b>アルファ</b> : アルゴリズムのアルファパラメーターに使用される値。				
	<b>ガンマ:</b> アルゴリズムのガンマパラメーターに使用される値。				
	<b>履歴ポイント数</b> :計算に使用される履歴ポイントの数。				

ツールバー

UI要素	説明
$\bowtie$	<b>電子メールの送信:</b> Outlookの電子メールが開きます。[ <b>件名</b> ] ボックスには、選 択したエンティティの名前が入力されます。
Ó	<b>スナップショットの保存:</b> エクスプローラーで現在表示されている内容 (すべ て) のスナップショットを取得し、新しいウィンドウで開きます。イメージの 保存先を指定するダイアログボックスが開きます。
<b>₽</b>	<b>印刷:</b> [印刷] ダイアログボックスが開くので、[エクスプローラー] タブの内容を 印刷するプリンターと印刷方法を選択します。
	プリントアウトには次の内容が含まれます。

UI要素	説明
	<ul> <li>・ボタンをクリックした時点で選択されていた領域の内容。</li> <li>・注釈領域。</li> </ul>
	<b>注釈の表示/非表示:</b> このボタンを使用できるのは、目標、KPI、KPIブレークダ ウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIのみです。注 釈を追加できる場所にボックスが開き、表示後に非表示することもできます。 詳細については、「注釈」(587ページ)を参照してください。 もう一度ボタンをクリックすると、[注釈]領域が閉じます。
	<ul> <li>注:下のツールバーの[注釈の表示]/[非表示]アイコンに小さいプラス記号</li> <li>が表示されている場合、過去1週間の間に、選択した項目に新しく注釈が追加されたことを示します。</li> <li>注釈が新規と見なされる日数については、[管理]&gt;[スコアカード]&gt;[ダッシュボードの設定]&gt;[注釈が新規と見なされる日数]で管理者が構成できます。たとえば、管理者がこの設定に対して値14を指定し、プラス記号が表示されている場合、過去2週間の間にその注釈が追加されたことを示します。既定値は1週間です。</li> </ul>

### 注釈

[注釈] 領域では、注釈を選択した項目 (目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブ レークダウン、または未割り当てのKPI) に追加できます。

#### アクセス方法:





- [エクスプローラー] タブを表示する権限がない場合、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メト リックブレークダウン、または未割り当てのKPIは表示できても、詳細情報を表示することはでき ません。
- [エクスプローラー] タブの右上隅のXをクリックすると、ダッシュボードにアクセスするか戻るこ とができます。
- [注釈の表示] 🤝 をクリックすると、[注釈] 領域を開くか閉じることができます。

## • タスク

#### 本項の内容

•	特定の目標、	KPI、	KPIブレーク	<b>゚</b> ダウン、	メトリック、	メトリック	<b>יブレークダウ</b>	ン、	または未	
割り	当てのKPIへの	D注新	の追加							585
•	注釈の電子メ	ール	による送信							.586

特定の目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メ トリックブレークダウン、または未割り当てのKPIへの注 釈の追加

- 1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックします。
- エクスプローラーの [概要]、[データセット]、および [目標マップ] の各領域に表示されている情報を確認します。
- 3. コメントがある場合、[注釈] 領域の下部にある [**注釈の表示**] デンボタンをクリックします。

 開いたボックスに注釈を入力し、[注釈の追加]をクリックして[注釈]領域の注釈のリストに注釈 を追加します。
 をクリックしても、注釈を[注釈]領域の注釈のリストに追加して、電子 メールを開くことができます。

[概要]、[データセット]、または[目標マップ]内の項目の詳細を電子メールに追加する場合、 をクリックし、
そのようので
のの本文でControl +Vキーを押 します。

注釈	
ここに注釈を入力	
	+ <sup>∞</sup> + ×

5. 注釈がリストに追加されます。



# 注釈の電子メールによる送信

- 1. [エクスプローラー] タブで、関連する項目を [アクティブなKPI] ツリーでクリックします。
- 2. 注釈を入力して をクリックします。



### 注釈

注釈						
<i>33/5進</i> 。	<i>聚を入力</i>					
				+	+	×
	administrator パッチの成功率を上げることでリスクを低減します				/	<u> </u>
<u> </u>	2014/06/25 17:22					
		þ	Ċ	$\bowtie$	ě	

**注:** この領域は、目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダウン、または未割り当てのKPIに対してのみ表示されます。

UI要素	説明				
<注釈ボックス>	注釈を入力し、[ <b>注釈の追加</b> ] をクリックして [注釈] 領域の注釈のリストに注釈 を追加します。				
	<u>注釈</u> 	<i>≊入力</i> + <sup>≅</sup> + ×			
	UI要素	説明			
	+	<b>注釈を追加、電子メールで送信します。</b> 注釈を [注釈] 領域の注釈 のリストに追加して、電子メールを開きます。 ・ [ <b>To</b> ] ボックスには、選択した目標、KPI、メトリック、KPIブ			

UI要素	説明	
	UI要素	説明
		<ul> <li>レークダウン、またはメトリックブレークダウンの所有者(ス タジオで所有者が構成済みの場合)が入力されます。</li> <li>[Subject]ボックスには、選択した目標、KPI、メトリック、KPI ブレークダウン、またはメトリックブレークダウンの名前が入 力されます。</li> <li>電子メールの本文には書き込んだばかりの注釈のテキストが入 力されます。</li> <li>目標、KPI、メトリック、KPIブレークダウン、またはメトリッ クブレークダウンへのリンク(スコアカードFLNから)。 電子メールで、リンクをクリックすると、選択した期間のエン ティティのコンテキストで、エクスプローラーが開きます。</li> </ul>
		(A) 「 Accelerate Agility - メッセージ(HTML 形式) - □ ×     (オス オブション 書式設定 校閲 開発 診断
		<b>注:</b> 同じセッション内でアクティブになっている場合、リン クがユーザー名とパスワードの組み合わせを要求することは ありません。
	+	注釈を [注釈] 領域の注釈のリストに追加します。
	×	現在ワイヤリングしている注釈を破棄します。
<注釈領域>	選択した目 ウン、また 送信者の名	目標、KPI、KPIブレークダウン、メトリック、メトリックブレークダ Eは未割り当てのKPI用に送信される注釈をリストします。注釈には、 G前と画像 (利用可能な場合)、注釈が送信された日時、および注釈の

UI要素	説明
	内容が含まれます。
	administrator     / 面       パッチの成功率を上げることでリスクを低減します       2014/06/25   17:22
	送信者は次のこともできます。
	• 🖉をクリックして注釈を編集します。注釈テキストの周りに編集ボックス
	が開きます。[ <b>保存</b> ] 💾 アイコンと [ <b>キャンセル</b> ] ᄣ アイコンが表示されま
	す。
	administrator 💾 🗙
	パッチの成功率を上げることでリスクを低減します
	2014/06/25 17:22
	<ul> <li>■</li> <li>■</li> <li>■</li> <li>をクリックして注釈を破棄します。確認メッセージが表示されます。</li> <li>[OK] をクリックすると破棄されます。</li> </ul>

### ツールバー

UI要素	説明
$\bowtie$	<b>電子メールの送信:</b> Outlookの電子メールが開きます。[ <b>件名</b> ] ボックスには、選 択した目標、KPI、メトリック、KPIブレークダウン、メトリックブレークダウ ンが挿入されます。
Ċ	<b>スナップショットの保存:</b> エクスプローラーで現在表示されている内容 (すべ て) のスナップショットを取得し、新しいウィンドウで開きます。イメージの 保存先を指定するダイアログボックスが開きます。
<b>₽</b>	<b>印刷:</b> [印刷] ダイアログボックスが開くので、[エクスプローラー] タブの内容を 印刷するプリンターと印刷方法を選択します。
	プリントアウトには次の内容が含まれます。
	<ul> <li>・ボタンをクリックした時点で選択されていた領域の内容。</li> <li>・注釈領域。</li> </ul>

UI要素	説明
	注釈の表示/非表示: このボタンを使用できるのは、目標、KPI、KPIブレークダ ウン、メトリック、メトリックブレークダウン、未割り当てのKPIのみです。注 釈を追加できる場所にボックスが開き、表示後に非表示することもできます。 詳細については、「注釈」(587ページ)を参照してください。 もう一度ボタンをクリックすると、[注釈] 領域が閉じます。 注: 下のツールバーの[注釈の表示]/[非表示]アイコンに小さいプラス記号 が表示されている場合、過去1週間の間に、選択した項目に新しく注 釈が追加されたことを示します。 注釈が新規と見なされる日数については、[管理]>[スコアカード]>[ダッ シュボードの設定]>[注釈が新規と見なされる日数] で管理者が構成できま す。たとえば、管理者がこの設定に対して値14を指定し、プラス記号が表 示されている場合、過去2週間の間にその注釈が追加されたことを示しま す。既定値は1週間です。

# ドキュメントフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご 連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリック することで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

#### Feedback on ビジネスアナリストユーザーガイド (IT Business Analytics 10.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの 新規メッセージに貼り付け、SW-Doc@hp.com宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。



